

年報 22 平成 21 年度 (2009. 4. 1-2010. 3. 31)

千葉県立中央博物館  
(PDF 版)

# 目 次

1. 資料収集・整理保存	1
1.1 収集	1
1.2 整理保存	6
1.3 利用	8
1.4 総合的有害生物管理 (IPM)	13
2. 調査研究	14
2.1 重点研究	14
2.2 地域研究 (本館・大利根分館・大多喜分館)	16
2.3 普遍研究 (本館・大利根分館・大多喜分館)	24
2.4 課題研究 (分館海の博物館)	31
2.5 助成を受けた研究	31
2.6 シンポジウム	33
2.7 中央博セミナー	36
2.8 館友、共同研究、市民研究、研究生の受け入れ等	36
2.9 海外研究者訪問	37
2.10 研究業績・委員・社会貢献等	38
3. 展示	78
3.1 常設展示	78
3.2 企画展示	78
3.3 出前展示	86
4. 教育普及	88
4.1 市民学習支援 (当館主催の講座観察会・外部主題の講座観察会)	88
4.2 学校教育支援	108
4.3 教員研修	116
4.4 標本・学習キットの利用による支援	117
4.5 学習情報センターにおけるレファレンス件数 (本館)	118
4.6 他機関等への支援活動	118
4.7 受けた助成	121
4.8 市民参画	122
5. 情報の発信と公開	123
5.1 刊行物一覧	123
5.2 研究成果の公表	124
5.3 ウェブサイト	124
5.4 マスコミを通じての発信	124
6. 県立博物館ネットワーク	130
6.1 県立博物館情報システム	130
6.2 千葉県博物館職員研修会	130

7. 入館者状況	131
7.1 月別入館者	131
7.2 団体入館者状況	132
7.3 展覧会別入館者状況	135
8. 組織	137
8.1 千葉県博物館協議会委員	137
8.2 職員	137
9. 予算	140
9.1 平成 21 年度歳入決算額	140
9.2 平成 21 年度歳出決算額	140
9.3 外部資金	140
10. 千葉県立中央博物館友の会	141
10.1 会員数	141
10.2 平成 21 年度役員	141
10.3 事業実施状況	141
10.4 刊行物	142
10.5 サークル活動	142
10.6 その他	143

# 1. 資料収集・整理保存

## 1.1 収集

### 1.1.1 寄贈資料（敬称略）

#### 1) 本館

##### (1) 地学資料

- ・日本産鉱物標本 一式 個人
- ・古生代および中生代無脊椎動物化石、植物化石 33点 個人

##### (2) 植物資料

- ・加藤亮明採集植物標本 一式 個人

#### 2) 大多喜城分館

- ・天田昭次作 刀1口 個人
- ・前装管打古式銃1丁 個人
- ・回転式拳銃1丁 個人

#### 3) 大和分館

- ・ウナギガマ 4点 個人

### 1.1.2 受託資料

#### 1) 本館

- ・鑄銅鰐口 1点 鑄銅孔雀文磬 1点 鑄銅唐草文釣灯籠 1点 笠森寺
- ・板絵馬著色武者絵（弁慶） 1点 板絵馬著色武者絵（牛若） 1点 縣神社
- ・大絵馬会津藩士遊泳 1点 木造菩薩半伽像 1点 三柱神社
- ・九十九里町いわし博物館所蔵資料 20点 九十九里町
- ・地引網絵馬 4点 揚繰網絵馬 1点 玉前神社
- ・千葉寺経塚出土資料 7件 県立千葉高等学校

#### 2) 大和分館

- ・下小野区有文書 5点 下小野区
- ・十六島図 1点 香北土地改良区
- ・神宮寺文書 540点 神宮寺
- ・柴田家蔵書 119点 個人
- ・寺田家文学資料 447点 個人
- ・鈴木家文書 167点 個人
- ・神崎神社文書 91点 個人
- ・三区用水関係文書 20点 三区
- ・石毛嘉左衛門家文書 1,525点 個人
- ・船板図 20点 個人勉
- ・ナウマン・クジラの化石 2点 成田市教育委員会
- ・鵜崎区古文書 34点 鵜崎区
- ・寺内区有文書 15点 寺内区
- ・山来家文書 2,127点 個人
- ・船大工道具・船模型 73点 九十九里町
- ・古文書・造船関係用具他 244点 個人

### 1.1.3 移管資料

#### 1) 本館

- ・三番瀬海生生物現況調査に係る魚類標本 サンプルビン166本 環境生活部自然保護課
- ・葛飾北斎作 千絵の海シリーズより「蚊針流」「甲州火振」「待子網」「絹川はちふせ」4点 県立上総博物館

- ・千葉県文化財実態調査事業 歴史の道調査 調査カード 1,102枚 写真（スリーブ） 922連 教育振興部文化財課。

#### 1.1.4 交換

##### (1) 植物資料

- ・維管束植物標本 720点 中国科学院北京植物研究所
- ・維管束植物標本 200点 台湾国立自然科学博物館

#### 1.1.5 借用資料（敬称略）

##### 1) 本館常設展

##### (1) 地学資料

- ・サンゴ岩体化石 1点 とみうら元気倶楽部
- ・ニホンジカ角化石 2点 木更津市立中郷小学校
- ・鳥瞰図ほか一式 個人
- ・銚子産化石・岩石 105点 個人
- ・馬蹄石 1点 個人
- ・トロゴンテリゾウ臼歯化石 2点 個人
- ・ナウマンゾウ臼歯化石ほか 23点 個人
- ・ナウマンゾウ臼歯化石 1点 個人
- ・ナウマンゾウ下顎骨化石 4点 個人
- ・石筍ほか 2点 個人

##### (2) 動物資料

- ・海岸漂着物 16点 個人

##### (3) 植物資料

- ・海岸漂着物 17点 個人

##### (4) 歴史資料

- ・山田水呑遺跡出土品ほか 24点 東金市教育委員会
- ・三田遺跡出土赤彩土器ほか 8点 芝山町教育委員会
- ・西広貝塚出土石剣ほか 17点 市原市教育委員会
- ・農業要集ほか 3点 個人
- ・中山新田 I 遺跡出土石器ほか 498点 (財)千葉県教育振興財団
- ・林跡遺跡出土細隆起線文土器ほか 8点 鎌ヶ谷市教育委員会
- ・城の腰遺跡出土品ほか 105点 県立房総のむら
- ・鳥浜貝塚出土クルミほか 9件 福井県立若狭歴史民俗資料館
- ・山武姥山貝塚出土土器 9点 慶應義塾大学
- ・村明細帳及び年貢割付状 2点 個人
- ・地租改正丈量器具 一式 富津市文化協会
- ・下ヶ戸宮前遺跡出土骨角器 7点 我孫子市教育委員会
- ・下向山遺跡出土土器ほか 4点 袖ヶ浦市教育委員会
- ・本名輪遺跡出土炭化米 一式 君津市教育委員会
- ・四留作第1号墳出土鉄製鋤先ほか 35点 木更津市教育委員会
- ・新坂1号墳出土円頭太刀ほか 60点 山武市教育委員会
- ・古文書831点、古文書の容器4点 個人 (君津市)

##### 2) 大利根分館常設展

- ・黒田家文書 8点 個人
- ・板碑 2点 惣持
- ・板碑 1点 個人
- ・丸木舟 1艘 匝瑳市教育委員会
- ・木造阿弥陀如来坐像 1軀 西福寺

- ・阿玉台北遺跡出土土器 炭化米 石製浮子 石錘 土器片錘 17点 県立房総のむら
- ・馬場遺跡 東野遺跡 多田遺跡 鴫崎貝塚 取香和田戸遺跡出土遺物 74点 (財)千葉県教育振興財団
- ・城山第5号前方後円墳出土人物埴輪 大六天遺跡 織幡ササノ倉遺跡出土土器 プロペラ 河童図 42点 香取市教育委員会

### 3) 本館企画展・季節展示の開催に伴う借用

#### (1) 企画展「生物多様性1：生命のにぎわいとつながり 虫, 魚, 鳥, ・・草, 木, ・・・人」

- ・先カンブリア時代の岩石5点 K-T境界層ブロック1点 アンモナイト化石2点 現生ストロマトライト1点 マーチソン隕石1点 露頭写真7点 神奈川県立生命の星・地球博物館
- ・エディアカラ化石2点 アンモナイト化石5点 群馬県立自然史博物館
- ・バージェス化石復元模型等5点 ミュージアムパーク茨城県自然博物館
- ・ニホンオオカミ剥製1点 和歌山大学教育学部
- ・ニホンカワウソ剥製1点 愛媛県総合科学博物館
- ・ニホンカワウソ写真1点 個人
- ・ニホンザル写真1点 個人
- ・アマミノクロウサギほか写真3点 個人
- ・小笠原諸島の野生化ヤギ写真1点 (財)自然環境研究センター
- ・カミツキガメ写真2点 小林頼太
- ・トキの剥製標本一式 県立千葉高校
- ・時田直善氏作「寧日／鴫その3」日本画1点 市原市
- ・ベッコウトンボ生態写真1点 個人
- ・ベッコウトンボ生態写真1点 生息地写真1点 個人
- ・カワラハンミョウ生態写真1点 個人
- ・コバンムシ標本4点 生息地写真1点 個人
- ・ヒヌマイトトンボ生態写真1点 生息地写真1点 個人
- ・コガシラコバネナガカメムシ写真1点 個人
- ・「イネの遺伝子解析」パネル1点 コメ各品種標本10点 千葉県農林総合研究センター
- ・DNA関係資料およびパネル3点 かずさDNA研究所
- ・脚立 海苔下駄 アオギス竿 (3本継ぎ) 餌箱 品川沖蒸気船鉄道遠望 (錦絵) 浦安市郷土博物館
- ・江戸周辺の釣り場パネル等6点 江東区中川船番所資料館

#### (2) 企画展「生物多様性2：縄文の躍動」

- ・青森県七戸町二ツ森貝塚鹿角製腕輪 1点 釣針 1点 刺突具 6点 つがる市田小屋野貝塚深鉢1点 クジラ骨 1点 イルカ骨 2点 貝輪 2点 イルカ骨製垂飾1点 ヘラ 1点 青森市三内丸山遺跡釣針 2点 深鉢 2点 浅鉢 2点 ヘアピン 1点 サメ椎骨製垂飾 3点 刺突具 3点 青森県立郷土館
- ・東北町東道ノ上遺跡刺突具 3点 大間町小奥戸遺跡土器片錘 2点 青森県埋蔵文化財調査センター
- ・青森市三内丸山遺跡深鉢 7点 土偶10点 岩偶 2点 石製垂飾品 10点 耳飾 5点 块状耳飾1点 イモガイ形土製品 2点 ミニチュア土器 3点 ヒスイ未製品1点 動物遺存体一式 青森県教育委員会
- ・岩手県一戸町御所野遺跡深鉢 8点 斧状土製品 3点 三角形土製品 5点 ミニチュア土器 5点 石棒 2点 耳飾 2点 一戸町教育委員会
- ・一関市白浜貝塚鹿角製腰飾 2点 貝類垂飾品 1点 貝輪 8点 釣針 1点 野田村根井貝塚刺突具 10点 軽石 2点 釣針 2点 刺突具 3点 ヘラ 2点 鹿角製髪飾 2点 歯牙製垂飾 2点 大船渡市長谷堂貝塚牙製垂飾 1点 大槌町赤浜貝塚獣骨製垂飾 1点 岩泉町岩谷洞穴石製装身具 3点 貝製装身具4点 動物遺存体一式 岩手県立博物館
- ・九戸村田代IV遺跡大珠 2点 二戸市大向上平遺跡大珠 2点 軽米町大日向II遺跡玉類 12点 盛岡市上米内遺跡土偶 3点 勾玉 3点 小玉 8点 玉 3点 垂飾 3点 板状土製品 1点 管状土製品 2点 垂飾 1点 鼻形土製品 1点 二戸市上里遺跡块状耳飾 1点 雫石町塩ヶ森遺跡块状耳飾 1点 陸前高田市東角地遺跡块状耳飾 1点 軽米町長倉I遺跡深鉢 2点 注口土器 3点 壺 1点 浅鉢 1点 切断土器 1点 単孔土器 1点 ミニチュア土器 4点 土偶 6点 鐸形土製品 5点 耳飾 6点 分銅形土製品 2点 内面渦状土製品 4点 土器片錘 2点 土錘 3点 軽石 5点 二戸市荒谷A遺跡土偶

- 1点 盛岡市萩内遺跡玦状耳飾1点 盛岡市湯沢遺跡石笛 2点 岩手県教育委員会。 宮城県気仙沼市田柄貝塚刺突具(鏃) 2点 釣針 2点 刺突具(銚頭) 4点 骨製玉類 2点 貝製玉類 2点 髪飾 1点 耳飾 2点 刺突具 2点 サメ歯製垂飾 2点 動物遺存体一式 東松島市里浜貝塚貝輪 2点 石製玉類 2点 土偶 1点 刺突具(ヤス) 3点 刺突具(鏃) 2点 刺突具(鈎先) 2点 刺突具 1点 釣針 1点 動物遺存体一式 東北歴史博物館
- ・東松島市里浜貝塚刺突具10点 釣針 3点 鹿角製腰飾 1点 髪飾 3点 装身具 3点 貝輪 2点 ヘラ 2点 ピン 2点 深鉢 2点 貝層剥ぎ取り断面 1点 奥松島縄文村歴史資料館。
  - ・七ヶ浜町大木圀貝塚深鉢 5点 有孔土器 1点 注口土器 1点 釣針 1点 動物遺存体一式 七ヶ浜歴史資料館
  - ・芝山町香山新田中横堀遺跡深鉢 1点 香取市鴫崎貝塚土偶 4点 骨角器 1点 垂飾 1点 貝刃 5点 成田市庚塚遺跡土偶 1点 香取市毛内遺跡土製玦状耳飾 9点 千葉市バクチ穴遺跡玦状耳飾 2点 石製垂飾 1点 柏市石揚遺跡土偶 2点 千葉市有吉北貝塚深鉢 4点 鉢1点 大珠等石製垂飾 3点 石製装身具類 9点 軽石 4点 土器片錘 5点 耳飾 7点 貝刃 2点 磨貝 6点 貝製品 16点 骨角歯牙製品 14点 釣針・刺突具6点 刺突具 15点 ヘラ 2点 加工痕のある鹿角 5点 骨角歯牙製品 3点 貝層剥ぎ取り断面一式 千葉市有吉南貝塚篋状腰飾 1点 イモガイ製環状垂飾 1点 柏市中山新田I遺跡深鉢 2点 千葉市小金沢貝塚土偶 1点 千葉市六通貝塚土偶 1点 市原市武士遺跡壺1点 器台 1点 深鉢 2点 土版 1点 耳飾 2点 土錘 1点 土偶 2点 土製垂飾3点 石棒 4点 石錘 3点 玉類11点 穿孔貝製品 2点 イモガイ製品 1点 サメ製垂飾 2点 骨角製垂飾 2点 貝牙製垂飾 5点 ピン 1点 ヘラ1点 刺突具 2点 流山市三輪野山貝塚深鉢 1点 浅鉢 1点 君津市三直貝塚玉類 19点 異形台付土器 4点 人面付土器 1点 舟形土器1点 ミニチュア土器 7点 耳飾 14点 穿孔土製品 2点 土偶 1点 石棒 9点 独鈷石 1点 線刻礫 1点 垂飾 12点 刺突具 5点 貝製装身具 6点 君津市踊ヶ作遺跡深鉢1点 千葉県教育委員会・(財)千葉県教育振興財団
  - ・船橋市飯山満東遺跡深鉢 1点 千葉市矢作貝塚釣針 2点 牙製垂飾 2点 釣針未製品 3点 加工痕のある鹿角 10点 成田市木の根拓美遺跡土偶 7点 千葉市鳥込貝塚深鉢 千葉県立房総のむら
  - ・千葉市中鹿子第2遺跡土偶 1点 千葉市内野第1遺跡石錘 4点 独鈷石 3点 岩版 1点 石剣・石棒1点 玉類 10点 骨角器 3点 土偶 8点 土版 4点 アワビ形土製品 1点 耳飾 8点 土錘 2点 土器片錘 5点 ミニチュア土器 3点 手燭形土器 1点 千葉市教育委員会・(財)千葉市文化財調査協会
  - ・千葉市加曾利貝塚深鉢8点 浅鉢 2点 注口土器 1点 アワビ形土製品 1点 異形台付土器 2点 器台 1点 ミニチュア土器 3点 釣針 1点 刺突具 8点 土器片錘・土錘 7点 軽石3点 ヘラ 1点 骨角製装身具 4点 牙製垂飾 4点 髪飾 1点 石製垂飾 3点 硬玉製丸玉 1点 鹿角製垂飾1点 耳飾1点 イタボガキ製貝輪 1点 オオツタノハ製貝輪 2点 アカニシ製貝輪 1点 土偶 3点 土版 2点 石棒 2点 貝刃 4点 独鈷石 1点 石剣 1点 動物遺存体一式 千葉市教育委員会・千葉市立加曾利貝塚博物館
  - ・船橋市高根木戸遺跡ヒスイ製大珠 1点 貴蛇紋岩製垂飾1点 サトウガイ製貝輪1点 刺突具 2点 骨角製装身具2点 船橋市飛ノ台史跡公園博物館
  - ・松戸市幸田貝塚深鉢 4点 小形土器 2点 玦状耳飾 2点 動物遺存体一式 松戸市子和清水貝塚深鉢 5点 ミニチュア土器 2点 土器片錘 5点 貝刃 3点 貝輪 1点 垂飾2点 大珠 1点 松戸市一の谷西遺跡深鉢 1点 松戸市貝の花貝塚注口土器 2点 石剣・石棒 3点 土版 3点 貝輪 1点 耳飾 3点 土偶 3点 垂飾 4点 刺突具 2点 有孔貝製品 3点 松戸市下水遺跡クジラ椎骨1点 松戸市教育委員会・松戸市立博物館
  - ・柏市榊形遺跡オオツタノハ製貝輪形土製品 1点 柏市教育委員会
  - ・流山市中野久木谷頭遺跡深鉢4点 ミニチュア土器3点 土器片錘 11点 器台 1点 土偶 1点 装身具 1点 イモガイ製垂飾 1点 大珠 1点 軽石 1点 貝輪 2点 流山市三輪野山貝塚土錘・石錘 12点 軽石 5点 土版 5点 石剣・石棒・独鈷石 4点 ヒスイ等垂飾 44点 滑石製・土製垂飾 52点 耳飾 16点 大珠1点 イモガイ形垂飾 1点 流山市教育委員会・流山市立博物館
  - ・我孫子市西大作遺跡玦状耳飾 1点 玉類 4点 我孫子市下ヶ戸宮前遺跡刺突具9点 貝製品・骨角器 4点 耳飾 10点 石製垂飾 2点 土錘 4点 石錘 5点 土偶 1点 土版 4点 石剣・石棒 7点 独鈷石1点 我孫子市教育委員会
  - ・鎌ヶ谷市根郷貝塚イルカ下顎骨製垂飾 2点 鎌ヶ谷市中沢貝塚深鉢 2点 異形台付土器 2点 玉類 10点 石剣・石棒 3点 耳飾 15点 土偶 4点 鎌ヶ谷市教育委員会

- ・佐倉市宮内井戸作遺跡注口土器 2点 深鉢 3点 ミニチュア土器 3点 アワビ形土製品 1点 耳飾 20点 土版 4点 土偶 11点 軽石 3点 土錘 3点 石錘 5点 骨牙製品 3点 サメ歯製垂飾 1点 石製垂飾 11点 石棒 5点 吊り手土器1点異形台付土器1点 手燭形土器1点 佐倉市教育委員会
- ・市原市西広貝塚 (I) 深鉢 2点 釣針1点 土偶 4点 石棒3点 土版3点 石製垂飾 5点 独鈷石1点 市原市西広貝塚 (II) 舟形土器1点 玉類 4点 土器片錘 7点 骨角製品 (装身具) 4点 鹿角製品 (腰飾) 1点 刺突具1点 骨角製垂飾1点 貝輪 1点 土偶1点 釣針未製品・刺突具 3点 石製玉類4点 石棒 2点 土製品1点 市原市西広貝塚 (III) 土器片錘 5点 耳飾 3点 土製垂飾 6点 土偶 1点 土版1点 石棒 2点 石製玉類 14点 刺突具 28点 釣針 3点 釣針・刺突具 4点 貝刃8点 ヘラ状貝製品 3点 髪飾 4点 歯牙骨製髪飾 7点 歯牙骨製垂飾 8点 イノシシ牙製垂飾 2点 ウミガメ骨製垂飾 4点 イノシシ牙製腕輪 4点 鹿角製垂飾3点 鳥類管骨製垂飾 6点 骨角製管状垂飾 4点 ツノガイ類製管状垂飾 8点 魚類椎骨穿孔品 5点 ベンケイガイ製貝輪 2点 サトウガイ製貝輪1点 オオツタノハ・マツバガイ製貝輪 3点 アカニシ製貝輪 2点 貝製垂飾品 3点 貝玉 7点 イモガイ類加工品 10点 タカラガイ類加工品 6点 穿孔貝 10点 赤彩貝 3点 市原市能満上小貝塚土偶1点 土版2点 円形土版1点 手燭形土器1点 石製垂飾 3点 深鉢1点 注口土器1点 市原市教育委員会
- ・館山市大寺山洞穴動物遺存体一式 千葉大学考古学研究室
- ・現代カジキモリ 1点 現代ヤス 1点 現代釣針 1点 カツオ剥製標本 1点 館山市立博物館

### (3) 出土遺物巡回展・地域展示「東北出土の房総関係文字資料」

- ・秋田城跡出土木簡 秋田県秋田市
- ・市川橋遺跡出土木簡 宮城県多賀城市
- ・平木遺跡出土墨書土器 千葉県教育振興財団
- ・続日本紀20冊 国立歴史民俗博物館

### (4) トピックス展示「篠崎四郎の房総金石文研究—金属や石に刻まれた文字の世界—」

- ・東葛飾郡本土寺建治四年梵鐘 (拓本) 印旛郡公津村超林寺雲板 (拓本) 印旛郡酒々井町浄泉寺雲板 (拓本) 印旛郡酒々井町清光寺銅造阿弥陀像背銘 (拓本) 下総印旛郡大森町長楽寺応安古鐘 (拓本) 成田不動尊碑 (拓本) 香取郡昭栄村大慈恩寺足利時代金銅幡 (拓本) 香取郡昭栄村大慈恩寺天正戒体箱金具 (拓本) 香取郡米沢村妙楽寺文安五年文字阿弥陀碑 (拓本) 佐原市観福寺国宝銅造佛光背銘 (拓本) 銚子市円福寺享徳鐘銘 (拓本) 山武郡東金町本漸寺弘安三年鐘銘 (拓本) 山武郡二川村芝山仁王尊銅製棟札銘 (拓本) 長生郡西村報恩寺鰐口 (拓本) 長生郡東村妙覚寺鰐口 (拓本) 長生郡本納村万光寺応永古鐘 (拓本) 長生郡水上村笠森寺江戸時代柄鏡 (拓本) 長生郡水上村笠森寺応永磬 (拓本) 安房郡豊房村小網寺弘安鐘 (拓本) 船橋市西図書館

## 4) 大利根分館企画展

### (1) 企画展「関東灘礼賛—利根川下流域の酒文化—」

- ・香取文書ほか 5点 香取神宮
- ・絵馬ほか 5点 成田山靈光館
- ・絵馬 1点 東海寺
- ・絵馬 1点 山倉大神
- ・縄文土器ほか 7点 (財)千葉県教育振興財団
- ・古文書ほか 3点 県立関宿城博物館
- ・指樽 2点 個人
- ・酒林ほか 4点 県立房総のむら
- ・伊能家文書ほか 10点 伊能忠敬記念館 (香取市教育委員会)
- ・瓶子 2点 横芝光町教育委員会
- ・樽廻船写真 1点 西宮市郷土資料館
- ・看板ほか 4点 鍋店株式会社
- ・酒造道具ほか 5点 株式会社寺田本家
- ・看板ほか 4点 石上酒造株式会社
- ・酒造道具ほか 5点 飯田酒造場



- ・看板ほか 8点 馬場本家
- ・酒造写真 2点 東薫酒造株式会社
- ・酒造道具ほか 21点 神明酒造
- ・酒造道具 3点 飯田本家
- ・酒造道具 7点 小林酒造場
- ・祭器ほか 2点 側高神社
- ・酒造好適米稲標本 2点 千葉県農林総合研究センター
- ・醸造試験道具ほか 15点 千葉県産業支援技術研究所
- ・酒造好適米稲標本ほか 5点 千葉県酒造組合

## 5) 大多喜城分館企画展

### (1) 企画展「日本メキシコ交流の歴史ーロドリゴ漂着から400年ー」

- ・花樹草花蒔絵螺鈿洋櫃ほか 9点 国立歴史民俗博物館
- ・日墨修好通商条約調印書 1点 外務省外交史料館
- ・ドライコンパスほか 6点 東京海洋大学
- ・ガレオン船模型 1点 船の科学館
- ・赤羅背板陣羽織 1点 靖国神社遊就館
- ・胎動（メヒコ）1点 千葉県立美術館
- ・資料 2点 御宿町
- ・資料 3点 大多喜町
- ・資料 6点 個人

## 6) 分館海の博物館

### (1) マリンサイエンスギャラリー「海の生きものの共生ーパートナーシップの多様性ー」

- ・タコクラゲ標本 1点 国立科学博物館
- ・オニヒトデ等用標本ケース 1点 神奈川県立生命の星・地球博物館
- ・マゴコロガイ標本 1点 トリウムアカイソモドキ等画像 2点 高知大学教育学部
- ・アナジャコ巢型 1点 東邦大学理学部
- ・ハマクマノミ生体 1点 財団法人海洋生物環境研究所
- ・シロウリガイ画像 1点 独立行政法人海洋研究開発機構
- ・マンボウノチョウ等画像 3点 個人
- ・スナイソギンチャク等画像 13点 個人
- ・ハクセンアカホシカクレエビ等画像 2点 個人
- ・クボミテッポウエビ画像 1点 個人
- ・ハシナガウバウオ等画像 7点 個人
- ・ガラスハゼ等画像 2点 ばんざいダイバーズ
- ・スジコバン等画像 2点 個人
- ・タコクラゲ等画像 5点 個人
- ・ガンガゼエビ等画像 6点 個人
- ・ニセクロスジギンボ画像 1点 個人
- ・ヒトデヤドリエビ画像 1点 個人
- ・オニヒトデ画像 1点 個人
- ・掃除共生エビ画像 1点 個人

## 1.2 整理保存

平成21年度末までの登録資料総点数（カッコ内は今年度収集・登録点数）

### 1) 本館

#### (1) 地学資料

- ・岩石・鉱物 12,263点（685点）
- ・地層（はぎとりなど）26点（0点）
- ・植物化石 115点（0点）

- ・脊椎動物化石 1,027点 (13点)
  - ・軟体動物化石 5,140点 (130点)
  - ・その他無脊椎動物化石 2,618点 (8点)
  - ・地学景観画像 217点 (0点)
  - ・その他 819点 (0点)
- (2) 動物資料
- ・哺乳類 5,182点 (103点)
  - ・鳥類 1,666点 (0点)
  - ・魚類 12,277点 (67点)
  - ・両生・は虫類 2,049点 (0点)
  - ・昆虫 131,550点 (3,965点)
  - ・甲殻類 9,582点 (352点)
  - ・カブトガニ・ウミグモ・多足類 590点 (0点)
  - ・クモ類 547点 (3点)
  - ・軟体動物 67,411点 (956点)
  - ・多毛類 1,024点 (14点)
  - ・その他無脊椎動物 76点 (0点)
- (3) 植物資料
- ・維管束植物 253,042点 (17,279点)
  - ・蘚苔類 33,375点 (2,531点)
  - ・藻類 5,920点 (50点)
- (4) 菌類資料
- ・地衣類 10,800点 (329点)
  - ・担子菌類 22,325点 (705点)
  - ・微小菌類 3,040点 (1,810点)
  - ・変形菌類 169点 (3点)
- (5) 歴史資料
- ・古文書・古典籍 1,345点 (1,133点)
  - ・美術工芸品 139点 (63点)
  - ・埋蔵文化財 12,738点 (12,689点)
  - ・その他 (工業・科学技術) 1,041点 (910点)
- (6) 生態・環境資料
- ・生態・環境にかかわる生物音響資料 903点 (0点)
  - ・生態・環境にかかわる映像資料 14,117点 (0点)
  - ・生態・環境にかかわる文献資料 5,543点 (0点)
  - ・環境教育資料 54点 (0点)
  - ・地域の生態系に関する資料 36点 (0点)
- (7) 図書・雑誌
- ・単行本 43,178冊 (購入 41点、寄贈 176点、その他 2,456点)
  - ・雑誌 4,720誌 (379点、寄贈 10点、その他 3,662点)
- (8) 特殊資料
- ・リンネ関係レンスコークコレクション 5,397点 (0点)
  - ・その他 (稀観本) 50点 (0点)
- 2) 大和根分館
- (1) 動物資料
- ・動物資料 (鳥類) 262点 (0点)
- (2) 歴史・民俗資料
- ・民俗資料 237点 (0点)
  - ・埋蔵文化財 253点 (0点)

(3) その他

- ・絵葉書258点 (0点)

(4) 図書資料 (H18年度以降)

- ・単行本 1,034冊 (186点)
- ・雑誌 1,162誌 (203点)

3) 大多喜城分館

(1) 歴史・民俗資料

- ・歴史資料 723件 (0点)
- ・生活資料 382件 (0点)
- ・芸術資料 1件 (0点)
- ・宗教資料 54件 (0点)
- ・文学資料 18件 (0点)
- ・古文書 301件 (0点)
- ・その他 409件 (0点)

(2) 図書資料 (H18年度以降)

- ・単行本 610点 (148点)
- ・雑誌 588誌 (158誌)

4) 分館海の博物館

- ・台帳登録点数 58,223点 (2,655点) (画像、図書を含む)

(1) 動物資料

- ・海綿動物 299 (9点)
- ・刺胞動物 5,924 (952点)
- ・環形動物 2,067点 (0点)
- ・貝類 8,957 (646点)
- ・頭足類 243 (9点)
- ・甲殻類 2,502 (84点)
- ・棘皮動物 1,560 (69点)
- ・その他無脊椎動物 328 (0点)
- ・魚類 14,241 (200点)

(2) 植物資料

- ・種子植物 72 (6点)
- ・藻類 6,616 (281点)

(3) 画像資料

- ・画像 (写真) 資料 12,215 (0点)
- ・画像 (動画) 資料 1,322 (258点)

(4) 図書資料

- ・図書・雑誌等 1,877 (141点)

1.3. 利用

1.3.1. 一般資料の利用

1.3.1.1 貸出

1) 本館

(1) 地学資料

- ・鉱物資料 (鉄関係) 26件 千葉県立現代産業科学館

(2) 動物資料

- ・有殻後鰓類 (軟体動物腹足綱) 標本 16点 (株誠文堂新光社)
- ・二枚貝 (マシジミ、タイワンシジミ) 標本 2点 (株そうえん社)
- ・土壌動物拡大模型 6点、土壌動物液浸標本 9点、土壌動物乾燥標本 3点 櫃原市昆虫館

- ・土壌動物拡大模型 6点、土壌動物液浸標本 26点、土壌動物乾燥標本 5点、菌根拡大模型1点 大阪市立自然史博物館
- ・昆虫標本 19点 印旛村立いには野小学校
- ・昆虫標本（セイヨウミツバチ）の標本（女王蜂、働き蜂、雄蜂）3点 （株）クリエイティブネクサス
- ・食用昆虫標本 一式 豊橋市自然史博物館
- ・鳥類の剥製標本 11点 千葉県立房総のむら
- ・鳥類標本 6点、コアジサシの巣の小型ジオラマ 一式 ミュージアムパーク茨城県自然博物館
- ・哺乳類体毛標本20種 100点 千葉県環境生活部自然保護課
- ・ニホンザル全身組立骨格 1点、ほ乳類頭骨標本 23点 千葉市立星久喜小学校
- ・哺乳類頭骨標本 7点（財）自然環境研究センター
- ・哺乳類頭骨標本 18点 市川市立第二中学校
- ・哺乳類頭骨標本 7点 東京学芸大学附属竹早小学校
- ・生痕化石等 11点 ミュージアムパーク茨城県自然博物館
- ・哺乳類頭骨標本 10点 千葉市立打瀬中学校
- ・哺乳類等骨格標本 4点 八千代市
- ・ヤマネ仮剥製 3体 帝京科学大学アニマルサイエンス学科

### (3) 植物資料

- ・オニバス樹脂包埋標本 5点 香取郡神崎町教育委員会
- ・バイオデリバリーキット「旅するタネのいろいろ」 1点 東京情報大学
- ・展示用看板等 2点 福井市自然史博物館
- ・プータン展関連パネル類、写真等 5点 市川市環境清掃部

## 2) 大和分館

- ・土摺臼 1点 神栖市歴史民俗資料館
- ・土摺臼 1点 稲敷市立歴史民俗資料館
- ・石枕 2点 芝山町教育委員会
- ・「むかしの道具」展示資料一式 東庄町立石出小学校
- ・「むかしの道具」展示資料一式 匝瑳市立豊栄小学校
- ・「むかしの道具」展示資料一式 八街市立交進小学校
- ・「むかしの道具」展示資料一式 銚子市立双葉小学校
- ・「むかしの道具」展示資料一式 匝瑳市立八日市場小学校
- ・「むかしの道具」展示資料一式 富里市立七栄小学校
- ・「むかしの道具」展示資料一式 東庄町市立石出小学校
- ・「むかしのおもちゃ」資料一式 香取市立新島小学校
- ・「むかしのおもちゃ」資料一式 香取市立北佐原小学校
- ・奈良屋のお雛さま1対 香取市教育委員会
- ・五玉そろばんほか 7点 旭市立干潟小学校

## 3) 大多喜城分館

- ・短刀 1点 県立現代産業科学館
- ・試着用甲冑 2点 長南町中央公民館
- ・試着用甲冑 2点 県総合企画部政策推進室
- ・試着用甲冑 2点、模造刀 2振、試着用畳具足 1点、槍 1点 茂原市立萩原小学校
- ・試着用甲冑 2点、模造刀 2振 四街道市立八木原小学校
- ・いすみ市作田地先出土須恵器・鉄製燈籠 2点 いすみ市郷土資料館
- ・試着用袴 1点、試着用鎧下着 1領、模造刀大小 2振 千葉経済大学

### 1.3.1.2 館内で撮影

#### 1) 本館

- ・貝類標本（カワヒバリガイ） 1点 千葉県環境生活部自然保護課

- ・春田コレクション所収のネパール産ガ類標本 中尾健一郎
- ・魚類、鳥類、ほ乳類骨格組み立て標本 16点 (有)ハユマ
- ・ハンドウイルカ全身骨格標本 1点 (有)ハユマ
- ・市原市西広貝塚出土 独鈷石 1点 千葉市加曽利貝塚博物館 小澤清男
- ・荒海川表遺跡の出土遺物など(土器、石器、石製品、骨格製品など) 一式 明治大学大学院文学研究科 三戸堅司
- ・本館エントランスホール壁面 1点 タイルの本編集室(株)

## 2) 大利根分館

- ・水郷の稲作風景 ミニチュア模型(田植え準備・田植え) 株式会社トランプメディア

### 1.3.1.3 デジタル情報の利用

#### 1) 本館

- ・ナウマンゾウ全身骨格復元標本写真のデジタル画像 1点 大日本図書(株)
- ・ナウマンゾウ全身骨格復元標本写真のデジタル画像 1点 (株)ワード(PHP研究所発行『なぞにせまる! 化石・恐竜の大研究 生命の記録を読みとこう』)
- ・ナウマンゾウ全身骨格復元標本写真 1点 (株)アマゾン
- ・ツノゼミ類写真 1点 (株)河出出版書房新社
- ・アブラゼミの羽化の写真 6点 (有)大悠社
- ・哺乳類(タヌキ、アナグマ、アライグマ、ハクビシン)の顔面写真のデジタル画像 4点 東京都小平市役所環境部
- ・哺乳類(タヌキ、アライグマ、ハクビシン)剥製のデジタル画像 3点 愛媛県東温市役所市民福祉部市民環境課
- ・哺乳類(タヌキ、アナグマ、アライグマ、ハクビシン)写真のデジタル画像 8点 日の出町役場産業振興課
- ・維管束植物標本データ(稲垣氏採集、上川支庁産標本) 一式 旭川市北邦野草園・嵐山公園センター
- ・リトマスゴケ標本撮影画像 1点 NHKエンタープライズ
- ・収蔵風景写真 1点 文部科学省生涯学習政策局社会教育課
- ・千葉県産ハマグリの写真 1点 千葉県環境生活部自然保護課生物多様性センター

#### 3) 大利根分館

- ・神宮寺文書・神宮寺文書唐櫃写真 2点 八街市郷土資料館

#### 4) 分館海の博物館(9件 35点)

- ・ウミウシ2種の画像 2点 (株)オフィス・トゥ・ワン
- ・ノリ類の画像 2点 海藻デザイン研究所
- ・ノリ類の画像 4点 (株)アドレイ
- ・ノリ類の画像 5点 (株)日企
- ・ノリ類の画像 8点 南三陸町自然環境活用センター
- ・アサクサノリの写真 2点 HNKおはよう日本
- ・ノリ類の画像 2点 (株)日企
- ・ヤドカリの動画 1点 (株)ハウフルス
- ・潮間帯生物の画像 7点 (有)ハユマ

### 1.3.1.4 閲 覧

#### 1) 本館(標本の閲覧は除く)

- ・アサ(レプリカ) 2点 個人

#### 2) 大利根分館

- ・下小野区有文書 5箱 房総史料調査会

### 1.3.2 著作物資料の利用

#### 1.3.2.1 貸出

##### 1) 本館

- ・植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画のポジフィルム 1点 (株)グループ現代
- ・植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画のポジフィルム 1点 一般社団法人京都大学出版会
- ・植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画のポジフィルム 5点 千葉大学園芸学部創立100周年記念事業会
- ・植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画のポジフィルム 9点 (株)NHKアート
- ・植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画 29点 (株)NHKアート
- ・植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画 60点 (株)NHKアート
- ・植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画のポジフィルム 6点 (財)東京都公園協会緑と水の市民カレッジ事務局
- ・野草カード 一式 大日本図書(株)
- ・林辰雄氏撮影写真「かつての九十九里浜(昭和30~40年代)および九十九里鉄道(昭和32年)」 47点 九十九里サロン
- ・林辰雄氏撮影写真「かつての九十九里浜(昭和30~40年代)」 20点 九十九里サロン

##### 2) 大利根分館

- ・図録『水郷一水の里に生きる一』 さつき丸 35ミリ白黒写真ネガ 1点 稲敷市立歴史民俗資料館
- ・写真集「水郷の原風景」 漁獵争論一件絵図写しほか 写真原版および紙焼き9点 株式会社芳林社
- ・写真集「利根川高瀬船」 樽を運ぶ高瀬船 ネガフィルム2点 株式会社アドレイ
- ・写真集「水郷の原風景」 水屋・閘門にて 写真パネル2点 (株)トータルメディア開発研究所
- ・写真集「利根川高瀬船」 牛堀より霞ヶ浦方面を望む 紙焼き1点 株式会社アルバ

#### 1.3.2.2 館内で撮影

##### 1) 本館

- ・地形地質模式図および地質層序表の写真 2点 東日本高速道路(株)関東支社 木更津工事事務所
- ・明治14~15年測量の迅速図原図復刻版(龍角寺村・大竹村ほか) 千葉県立房総のむら
- ・C. Linnaeus著Systema Naturae第10版の表紙、ヤシガニの原記載の掲載されているページ 宮古島市総合博物館
- ・菌類図譜 4点 大阪市立自然史博物館
- ・「青湾茗醺図誌」草の巻、第23丁裏および第24丁表 さいたま市(大宮盆栽美術館)
- ・林辰雄氏撮影写真「印旛沼ものがたり-あの日あのとき-」の写真デジタル画像 1点 千葉県河川環境課
- ・林辰雄氏撮影写真より東京湾岸、印旛沼周辺、九十九里浜~外房海岸のデジタル画像 35点 (株)広域高速ネット二九六

##### 2) 大多喜城分館

- ・「四季豊年図」 房総のむら

#### 1.3.2.3 館内においてコピー作成

##### 1) 本館

- ・生物音響資料(鳥類音声) 11点 赤旗編集局 くらし家庭部
- ・生物音響資料(鳥類音声) 14点 (有)エディッシュ
- ・ききみみずきん改訂版用サンプル音 一式 鹿島建設(株)環境本部

#### 1.3.2.4 閲覧

##### 1) 本館

- ・美術盆栽図等 10点 個人
- ・カーチス植物学雑誌 一式 個人

### 1.3.2.5 デジタル情報の利用

#### 1) 本館

- ・「クリフォード庭園のバナナ」のデジタル画像 1点 テレコムスタッフ(株)
- ・植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画のデジタル画像 4点 千葉大学園芸学部戸定会
- ・植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画のデジタル画像 1点 美術出版 銀河社
- ・植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画のデジタル画像 50点 (株)NHKアート
- ・植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画のデジタル画像 1点 テレビ朝日映像(株)制作本部
- ・植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画のデジタル画像 1点 (財)都市緑化技術開発機構
- ・「房総の植物誌研究の歴史」掲載写真のデジタル画像 2点 千葉大学園芸学部教授
- ・小櫃川河口三角州の航空写真 3点 (有)ハユマ
- ・小金巻狩り図屏風、フランス植物誌より「ナガエノスギタケの図」のデジタル画像 2点 (株)技術評論社
- ・林辰雄氏撮影写真「昭和30年代の東京湾」のデジタル画像 6点 東京湾に打瀬舟を復活させる協議会
- ・林辰雄氏撮影写真「昭和30年代の東京湾岸」 4点 千葉県環境生活部水質保全課
- ・二代歌川広重作「江戸名勝図絵 染井」のデジタル画像 1点 (株)エヌワイアソシエイツ

#### 2) 大利根分館

- ・展示図録「人生開拓」中央排水路の改修工事写真 1点 千葉県農林振興技術連盟
- ・写真集「利根川高瀬船」高田の船溜り写真 1点 株式会社地域開発研究所
- ・酒造図絵馬(東海寺奉納) 全体写真1点 部分写真13点 新潟県立歴史博物館
- ・写真集「利根川高瀬船」利根川高瀬船・権現堂にて 2点 五霞町教育委員会(デジタルミュージアムより)
- ・「水郷の原風景」田畑とエンマほか 3点 株式会社ネクサス
- ・「むかしの道具」田下駄 1点 千葉県教育庁教育振興部指導課
- ・「水郷の原風景」午後の水郷堤ほか 10点 (株)トータルメディア開発研究所
- ・「水郷の原風景」モク取り 1点 社団法人瀬戸内海環境保全協会

#### 3) 大多喜城分館

- ・遠山景元公肖像画 山川出版
- ・本多忠勝画像 株式会社グレイル
- ・甲冑写真 6点 株式会社集出版社
- ・遠山景元公肖像画 千葉県立文書館
- ・本多忠勝画像 香川県立ミュージアム
- ・本多忠勝画像 株式会社学習研究社
- ・本多忠勝画像 株式会社十象舎 5回
- ・大多喜城外観写真 株式会社メルプランニング
- ・本多忠勝画像 株式会社日経BP
- ・本多忠勝画像 株式会社郷土出版
- ・本多忠勝画像 株式会社エヴォルブド・インフォ 2回
- ・本多忠勝画像 株式会社豊文堂
- ・大多喜城外観写真 株式会社風来堂
- ・本多忠勝画像 南魚沼市
- ・大多喜藩校明善堂蔵書、明善堂平面図写真 株式会社コア
- ・本多忠勝画像 P H P 研究所
- ・紺糸威二枚胴具足写真、茶金糸威縫延胴具足写真 株式会社エヴォルブドインフォ
- ・本多忠勝画像 株式会社アート・センター
- ・上総国夷隅郡大多喜城地之絵図 樹林舎

### 1.3.3 研究用貸出

#### 1) 本館

- ・貝類化石標本 1件 14ロット 名古屋大学環境学研究科
- ・脊椎動物化石 2件 6点 群馬県立自然史博物館ほか
- ・多毛類標本 1件 1点 横浜国立大学教育人間科学部
- ・貝類標本 2件 188点 高知大学理学部ほか
- ・甲殻類標本 2件 5点 中国科学院海洋研究所ほか
- ・昆虫標本 2件 20点 首都大学東京理工学研究科ほか
- ・哺乳類仮剥製標本 1件 3点 帝京科学大学アニマルサイエンス学科
- ・菌類標本 6件 113点 エーテボリ大学植物・環境科学部（スウェーデン）

## 2) 分館海の博物館（6件15点）

- ・棘皮動物標本 一式 日本海区水産研究所
- ・棘皮動物標本 一式 国立科学博物館
- ・甲殻類標本 一式 A. N. Severtzov Institute of Ecology and Evolution
- ・刺胞動物標本 一式 福岡大学
- ・刺胞動物標本 一式 京都大学瀬戸臨海実験所
- ・甲殻類標本 一式 琉球大学熱帯生物圏研究センター

### 1.3.4 図書資料の利用

- (1) 職員による図書資料館内借用 1,963冊
- (2) 外来研究員・研究生等の図書室利用登録 10人
- (3) 館外研究者の図書室利用 60人
- (4) 大学図書館からの文献複写等取り寄せ 複写 4件
- (5) 図書の館内修理 80冊
- (6) 書庫図書の閲覧請求 19件274冊
- (7) コピーサービス 129件1,528枚

## 1.4 総合的有害生物管理（IPM）

### 1.4.1 環境調査等（本館）

#### (1) 調査区域

保管部門 4,151㎡（1F 収蔵庫）、展示部門 4,291㎡（2F 展示室）、教育普及部門 633㎡（1F 講堂、研修室など）

#### (2) 方法

調査には合計176個の粘着式トラップを使用し、室内に生息する生物を捕獲した。個々のトラップは生物の通り道となるような場所、あるいは外部からの侵入口となり得るような場所に置いた。トラップを2週間設置したあと、各トラップ内に捕獲された生物の種類を同定し、個体数を数えた。資料に影響を与えと思われるものについては種名まで同定した。各部屋別に捕獲された生物名と個体数の集計表を作成した。

#### (3) 実施期間

3回実施した（平成21年7月7日～7月22日、10月6日～10月20日、平成22年1月28日～2月11日）。

#### (4) 結果と対応

各所でコナチャタテ類が捕獲された。個体数は多くはないが、継続して発生しているようである。毎月1回1収蔵庫の清掃を実施した（年間で各収蔵庫2回ずつ実施）。第5収蔵庫などで継続的に発生していたタバコシバンムシはほとんど捕獲されなくなった。

### 1.4.2 燻蒸装置の運転（本館）

エキヒュームによる燻蒸 9回（毎回24時間の燻蒸の後、約100時間の排気、その後2～4日程度の換気）。



## 2. 調査研究

### 2.1 重点研究 (5課題)

#### (1) 海岸域における多様性の変化を探る—遺跡出土遺体と現生との比較から—

代表者：黒住耐二

分担者：加藤久佳、樋泉岳二（共同研究員；早稲田大学）、西野雅人（共同研究員；千葉縄文研究会）

目的：今回の研究では、房総半島を中心とした地域における海岸域（海岸部の森林から、海浜部・飛沫帯・潮間帯～約水深10 m程度まで）の動物の多様性変化を、縄文時代貝塚を中心とした遺跡から出土した種と現在生息している（あるいは明治期以降確認されていた）種を比較することによって明らかにすることを目的とする。

成果：千葉市/園生貝塚では、東京湾から絶滅したオキアサリを優占種とする特異な貝類組成が確認され、千葉県初記録のケマイマイ類が得られる等の大きな発見があった（樋泉 2010等）。銚子市に打ち上げられた貝化石の年代は8000年程前であり、このころに大きな海域環境の変化の生じていたことが推測される。8月3日に「沖縄の海底に遺跡が眠る」の表題でNHK総合（全国）「おはよう日本」に出演し、研究成果を伝えた。

#### (2) 千葉県内における維管束植物の分布変遷

代表者：斎木健一

分担者：天野 誠、御巫由紀、友田暁子、大場達之（館友）

目的：1) 千葉県内、特にいすみ市、大多喜町の維管束植物の分布調査、標本採集、文献調査を行い、千葉県内における在来植物と帰化植物の分布変遷を明らかにする。これにより現在起きている環境問題等の諸問題に対処するための基礎となるデータが得られる。2) 小中学生を対象として、校庭の野草を観察するための教材キットを開発する。主に中学生を対象とした野草観察教材「野草カード」を作成、配布し、授業で使用していただく。授業等での使用状況を調査し、改良を加える。

成果：植物の分布調査をいすみ市・大多喜町地域で9回実施し、標本約1,200点を採集し、目視約6,000点を記録した。また、ボランティアにより採集された4,394点の標本を同定を確認した。その結果、希少種の発見：環境省レッドデータブック最高ランクIA指定種ズカケソウを発見した。また、講習会を2回実施、ニュースレターを8回発行した。併せて、野草カードを県内の小中学校121校、179名の教員に配布。アンケートによると少なくとも8,565名の児童生徒が使用した。

#### (3) 古代房総三国と陸奥国

代表者：米谷 博

分担者：佐久間 豊、田村 隆、田邊由美子、清藤一順、小林清隆、萩原恭一（国立歴史民俗博物館）、松本正久（長柄町教育委員会）

目的：房総三国と陸奥国とのかかわりを探るために、房総の古墳、土器、寺院跡などの古代の考古資料を中心に調査をする。とくに夷隅川流域には同時代の寺院跡があり、また周辺には蝦夷の伝承も存在するなど重要な地域であるので、今年度は空中写真を用いながら、以下の地点を重点的に現地調査する。なお、先行調査をした立教大学考古研究会や市原市埋蔵文化財センターなどでも情報収集をし、保管されている資料があれば実測などを行う。

成果：夷隅地域に関して、基本的な報告書と論文等の収集を行った。

#### (4) 生態園の生態系変遷

代表者：原 正利

分担者：落合啓二（副代表）、大野啓一、由良浩、林紀男、倉西良一

目的：中央博物館生態園は、植物群落園ゾーンが平成元年に一般公開されてから平成21年1月で開園20年を迎える。この間、植物群落園ゾーンでは、植物が成長し植生遷移が進行して、昆虫その他の動物相も変化をしてきた。また、舟田池でも池内の物理化学的環境条件が大きく変化し、これとともに生物群集が大きく変化してきてきた。さらに周辺でも、青葉の森公園が整備され開園したほか、住宅地や商店その他の開発も進んで生態園を取り囲む環境が著しく変貌

した。このことも、生態園の生態系に大きな変化をもたらしていると推測される。

生態園の生態系の変遷については、平成6年に“整備経過と初期の生物相の変化”に関する調査報告書が刊行され、その後も生物相や生態系の変遷に関するモニタリング調査と報告がなされてきたが、予算その他の制約により不十分な点も多く残されている。本研究課題では、これまで未発表な調査資料を整理解析するとともに、不十分であった分野の調査を補足して、開園後20年を経た生態園の生態系変遷を記録にとどめ、さらに将来のモニタリング調査の基礎となる空間情報基盤を準備することを目的とする。

成 果 : 1) 航空写真等を用いた生態園および周辺の景観変化の解析

博物館および生態園のオープン直前の時期（1989年1月2日・5日）における、生態園を含む約3.5km四方の航空写真をオルソ化（正射投影化）して、GIS上で扱えるデジタル画像を作成した。この画像は、今後の景観解析の基礎画像となる。オリエンテーションハウスにおいて、オルソ化空中写真を最新の衛星画像（グーグルアースによる）を比較して見られるよう、速報的に展示した。

2) 生態園の植物相・動物相のモニタリング調査

生態園に生育する維管束植物のリストを作成し、併せて、その所在や生育数を把握、確認するために、園内（本館外構部を含む）を12区域に分け、初夏と秋にくまなく歩き回って、出現した種（品種、変種、亜種も1種とした）の種名と個体数階級を記録した。その結果、532種を記録し、20年度の調査と併せると、合計566種が生育していることが判明した。このうち木本は224種、草本は342種であり、外来種（原産地が国外）が101種あった。21年度には新たに、舟田池の水辺でノニガナが発見されたほか、ナンゴクナライシダ、オオベニシダ、オオアブラススキ、アマドコロなどの在来種も見出された。生態園における開園以来の生物相の変化と保全・再生の取り組みについて、オリエンテーションハウスで生態園トピックス展「生態園20年」として紹介した（H21年2月24日～5月10日）。

3) 舟田池のモニタリング調査および水生植物の育成に関する実験的研究

舟田池の水質について、これまで実施してきたモニタリング調査を継続した。また、水生植物の育成については、下記の3項目について研究した。a)池の水位操作によるアメリカザリガニ駆除および水生植物再生に関する検証実験。b)池底土をバット水槽へ撒きだすことによる埋土種子の探索。c)池土着の沈水植物の試験的移植および食害による影響の検証。舟田池にまつわるアメリカザリガニに関する話題を、トピックス展「アメリカザリガニ」として紹介した（H21年10月6日～11月8日）。

(5) 地域の音環境の記録および音声資料の共有を促進する地理情報ネットワークシステムの構築

代表者：大庭照代

分担者：小林田鶴子（名古屋女子大学）・西村昌子（ブンテック・四日市音の出る地図コンテスト）・日本サウンドスケープ協会ワーキンググループ 音環境調査会（耳をたよりにプロジェクト）

目 的：自然の音の体験は、地域の自然や環境に対する理解を深め、文化や歴史も関わって自然と人間のかかわりを広く問うことにつながることを期待される。平成18-20年度重点課題研究「子どもの自然・文化体験に果たす博物館の役割」の一端として、音環境調査会（耳をたよりにプロジェクト）を専門家・市民により組織し、生態園・千葉市・長生郡長柄町・香取市において地域の音環境を実際に記録し、世代を越えた音の共有と未来のビジョンなどを議論するための音環境の表現方法を検討してきた。その成果は、平成21年度に「地域の音環境録音誌作成のためのマニュアルCD（仮称）」にまとめ、今後の博物館と連携した市民参加型音環境調査の普及に役立てていくことが期待される。

しかしながら、現在使用しているシステムは、主として博物館の学習プログラムや展示などへの活用には十分であるが、博物館資料として地域の音環境記録を長期的に保存し、インターネットなどで広く活用する上では不十分である。また、市民のアクセス面で使いにくく、容量的にも頭打ちであり、システムの汎用性には問題がある。生物音声識別装置「ききみみずきん」により収集される音を用い、地図上で聞くことができる「地域の音が出る地図」や

地図上の地点における音環境の再現ができる「360度パノラマ音空間地図」を博物館の音環境資料として今後も継続して活用するには、適切な地理情報ネットワークシステムの構築が必要である。

本研究では、耳をたよりにプロジェクトに基づく市民参加型音環境調査を例に、1年目にはWeb(ブラウザ)で地図を閲覧し、音を聞くことができるようにシステムを開発する。2年目には、360度パノラマ音空間地図が、本システム上で作成できるように、地図情報や音の情報の転送プログラム(プロトタイプ)を開発し、その効果を検証する。3年目には地図情報や音の情報の転送プログラムの開発とリリースを行い、「地域の音が出る地図ネットワーク(仮称)」としてインターネットにおける公開実験を行う。

耳をたよりにプロジェクトに基づいて実施してきた市民参加型音環境調査結果を、Web(ブラウザ)で閲覧できる「地域の音が出る地図」として閲覧し、生態園や県内各地でこれまでに収集した音を聞くことができるように、日本大学生産工学部マネジメント工学部准教授豊谷純氏の指導のもと、テクノバン株式会社第3システムインテグレーション部との製作委託によりシステムを開発した。これにより、過去の調査結果を統合するとともに、サーバーとしてインターネットに接続したPCからであれば地域の音の出る地図を作成することができるようになった。当初、製作委託契約は遅くとも平成21年7月中に結ぶ予定だったが、委託先の変更があり、11月にずれこんでしまった。そのため、予定していた12月の研究交流会(兼日本サウンドスケープ協会の例会)の開催はできなかった。平成22年3月14日に、名古屋女子大学助教授文学部児童教育学科准教授小林田鶴子氏・生物多様性フォーラム(JFB)理事曾我部行子氏を招き、生態園観察会「とりの声キャッチ名人」で収集したデータをもとに、本システムの概要説明ならびに今後の活用などについて議論を行った。

成果：1)本システムの導入により、生物音響資料の収集と整理保存・活用に、市民の自主的な参加がしやすくなった。今後、生涯学習・社会教育に係る個人の学習成果を、学校や博物館その他地域において行う教育活動の中に活かす上で役立てることができる。2)日本サウンドスケープ協会誌サウンドスケープに活動報告を執筆準備中。3)平成22年10-11月に成果発表の展示として、応募する。

## 2.2 地域研究 (本館・大和分館・大和喜城分館) (課題数：50)

### 2.2.1地球誌系：「房総の大地から探る地球の歴史」、「房総半島南部の大地の動きをさぐる」、「房総丘陵の地誌・地形・地質と生物と人のくらしの関連性」

(課題数：10)

#### (1) 館山沖の島遺跡堆積物の形成機構 (岡崎浩子、江口誠一、館外研究者)

目的：館山市沖ノ島遺跡は、土器やイルカの骨を包含し、縄文早期の遺跡と考えられる。この遺物包含層の上部は海成の砂層で覆われ、特異な層相を呈している。また、この地域は今までの縄文海進最盛期より以降の地質研究は進められていたが、それより古い地層の解析例はなく、古気候、古地震などの復元に重要な地点である。したがって、この層相解析を考古、化石調査とあわせて総合的におこなっていく。

成果：地層観察、粒度分析、微化石および大型植物遺体の分析からは、館山市沖ノ島遺跡は海水準上昇期の洪水によって縄文早期の漁撈サイトが消滅したものと考えられた。

#### (2) 房総半島嶺岡帯の地質構造の解明 (高橋直樹)

目的：嶺岡帯は無数の断層が発達したきわめて複雑な地質構造を持っている。詳細な現地調査を実施するとともに、構成岩石の岩石学的特長の検討を加えて、これらの地質構造を明らかにする。

成果：嶺岡帯中で、主にグリーンタフ地域(伊豆半島や丹沢山地など)に卓越する顕著な緑色凝灰質礫岩～砂岩が見いだされ、その中に嶺岡帯を特徴づける蛇紋岩や斑れい岩などの礫や粒子が含まれていることが確認された。嶺岡帯の蛇紋岩などの貫入現象が、古伊豆弧からの堆積物が供給されるような場所(現在の相模トラフ類似の場所)で起こったことが示唆された。

**(3) 房総半島の脊椎動物化石の分布調査 (伊左治鎮司)**

目的：房総半島に分布する上総層群と下総層群から産出する脊椎動物化石は多種多様であり、化石密集層から産出する例も知られている。脊椎動物化石を多く含む地層について、産出化石と堆積環境について調査する。

成果：上総層群市宿層より産出した鳥類化石の剖出を行ない、ミズナギドリ類の胸骨であることが判明した。市宿層からの鳥類化石の産出報告はなく、本化石が初めての発見である。

**(4) 房総の十脚甲殻類化石相 (加藤久佳)**

目的：中生代白亜紀前期完新世に及ぶ、千葉県産の十脚甲殻類化石の分類、記載を行う。この中には、未記載種をはじめとして、学問上重要な意義を持つもの、房総の古環境復元に寄与すると思われるもの、

成果：天津小湊の中新統産ダイオウグソクムシ化石について学会で発表した。銚子層群の下部白亜系より3種の十脚類、1種の等脚類を収集し、剖出作業中。

**(5) 房総の花粉・環境誌—房総半島の化石および表層花粉群に基づく日本列島の万年スケールの環境・気候変動史 (奥田昌明、館外研究者)**

目的：房総とその周辺で以下3段階の花粉調査を実施する。(1) 上総・下総層群相当層に対し化石花粉分析をおこない日本列島の過去78万年の標準花粉層序を得る。(2) 房総とその周辺で現生対比資料としての表層花粉データの収集整備に努める。(3) 当館生態園を用いて植生と花粉群の対応関係を確認する。以上により日本列島の第三紀以降の環境変動とくに気候変動史の高精度復元を目指す。

成果：1) 上総・下総層群相当層を含む銚子コアからの化石花粉データのとりまとめ、2) 南房総(館山市～勝浦市)における表層花粉試料の収集(20点前後)をおこなった。なお自然植生の少ない千葉市周辺における表層試料の代用として、中央区道場南のボーリング土を花粉分析し、古墳時代以前のデータを得た。成果は、「池田の池」復元研究会の協働として2009年12月のシンポジウム(中央博物館講堂)で広く県民に公開された。

**(6) 房総丘陵におけるタゴガエルの産卵場所に関する環境地質学的研究 (大木淳一)**

目的：タゴガエルの産卵場所および越冬場所である湧水箇所を環境地質学的に解明する。

成果：タゴガエルの繁殖地を千葉県内で6箇所発見し、繁殖場所の崖の地質学的記載を行った。

**(7) 房総丘陵における河川の発達と河道の変遷に関する研究 (小田島高之、島立理子)**

目的：房総丘陵における河川の発達と河道の変遷を解明し、河川環境と人との関わりについて考察する。

成果：小櫃川中流域の河道の変遷について、古地図や衛星データ、空中写真を用いて解析を行った。

**(8) 植物珪酸体化石による古環境復原 (江口誠一)**

目的：千葉県内の地域における古植生を植物珪酸体化石によって空間的に復原する。その基礎研究を進めると共に、他の研究資料を含めた総合的な古環境復原を目指す。

成果：千葉市中央区道場南から産出した植物珪酸体化石によって古植生を復原した。

**(9) 白亜系銚子層群の動物化石相と生層序に関する調査研究 (浅井秀彦)**

目的：白亜系銚子層群の動物化石相と生層序について、頭足類化石を中心として調査・研究を行う。銚子層群からは古くからアンモナイトなどの大型動物化石の産出が報告されているが、当博物館には銚子層群産の動物化石資料が少ない。銚子層群産化石資料の充実・補完を図る。

成果：銚子層群産化石資料約60点(うち頭足類化石資料10点)を収集し、一部資料についてクリーニング及び同定を行った。

#### (10) 南房総周辺に分布する化石サンゴの分類と種の生態環境の解明 (新 和宏)

目的：沼層産出の化石サンゴを分類し、礁形成時の古環境復元とその検証を行うとともに、現生サンゴの分布、礁形成にともなう環境との比較を行う。

成果：化石サンゴの現状調査を行い、古環境のデータ収集を行った。同研究テーマに即した講演会を鴨川市教育委員会の依頼により実施した。

### 2.2.2 生命誌系1：房総の分類学的多様性の特徴とその保全 (課題数：15)

#### (1) 房総のハチ類誌 (宮野伸也)

目的：ハチ類について生息する種を調査することにより、房総のハチ類の戸籍簿を作成する。

成果：県内での昆虫の新分布情報3件(キノカワハゴロモ、ツマアカクモバチ、マダラアシナガヤセバエ)を昆虫同好会誌「房総の昆虫」に発表した。

#### (2) 房総の魚類誌 (宮 正樹)

目的：房総の生息する魚類を網羅的に収集し、種組成や生態などを明らかにする。

成果：引き続き東京海底谷を中心とする房総半島周辺海域での魚類の収集を行った。本年度は新たに珍種ミズワニを採集することができた。

#### (3) 房総の十脚甲殻類誌 (朝倉 彰)

目的：房総半島に生息する十脚甲殻類を収集し、分類、フォーナ(種組成)、生態、生物地理に関する研究をおこなう。

成果：主として房総半島南部の海岸から河川の河口域において、採集調査をおこなった。その結果、従来千葉県からは知られていなかったカニ類やエビ類を採集した。それらはすべて南方系の種であり、これまで分布北限域が伊豆半島や紀伊半島とされてきたものであった。地球温暖化との関連について、考察した。

#### (4) 房総の昆虫誌 (直海俊一郎)

目的：房総、特に南房総には固有の昆虫が多く生息しているが、地域によってどのような種類が生息・分布しているかについて甲虫を中心に調査・収集する。

成果：千葉県をはじめとするメダカハネカクシ相の解明を行い、特にビカラメダカハネカクシおよびアシュラメダカハネカクシの分布について研究した。その結果、千葉県ではこれまでほとんど採集例がなかったこれらの2種が、南房総に広く分布し、自然環境が残った林の落葉下から比較的普通に採集できることを明らかにし、房総の昆虫に投稿した。

#### (5) 房総の貝類誌 (黒住耐二)

目的：房総半島にどのような貝類が第四紀以降生息しており、それが人間活動を含めた環境変化に対して、どのように変遷し、また人間にどのように利用されてきたか等について調査する、

成果：県内各地の調査で、約800点の標本を収集した。千葉市内のボーリング調査の貝化石を検討し、調査の分担を行った(木村ら 2009)。これまで行ってきた千葉県内の貝塚の研究を、一般書籍の分担としてまとめた(黒住 2009)。成果の一般的還元として、11月9日NHKゆうどきネットワークで「館山湾の飛び跳ねる巻貝：キヌシタダミ」や11月25日テレビ朝日「ナニコレ珍百景」で千葉市内の外来シジミに出演した。

#### (6) 房総の土壤動物誌 (萩野康則)

目的：房総に生息する多種多様の土壤動物について文献調査と採集を行い、詳細な文献リストと生息種リストを作成し、生息種の標本を収集する。

成果：中村修美氏同定の、千葉県産カマアシムシ類標本プレパラート87点の提供を受け、千葉県産同類標本をほぼ全種収集することができた。また、平成15年度に提供を受けたまま未整理だった篠原圭三郎氏の多足類関連文献のデータベースを作成し、文献の一部約400点について

て、データ入力をした。

**(7) 房総の甲殻類誌 (駒井智幸)**

目的：房総半島に出現する軟甲甲殻類相の解明を行う。端脚目などは特に研究が遅れており、外来種の存在の評価も困難な状況にあるので、現状の改善を図りたい。

成果：ヤドカリ科の2新種を発見し、論文を投稿した。20ロットを同定、登録した。

**(8) 房総の菌類誌 (吹春俊光)**

目的：千葉県内の大型菌類相を明らかにする。そのために重点地域(今年度は君津市)を設け現地調査をおこなった。併せてこれまで採集した標本に分類学的な検討をくわえ目録を整備し追加をおこなった。

成果：今年度は新たに約600点の標本と約500点の目撃記録を追加し、房総産大型菌類のデータを収集・整備した。採集された県内・国内の未報告種や未記載種については、標本化をおこない、継続して検討中である。

**(9) 房総の地衣類誌 (原田 浩)**

目的：千葉県内の地衣類相を明らかにするために、既に収集した標本資料の分類学的検討をおこなう。また、必要に応じ、主として千葉県南部(あるいは銚子地域)において補足調査を行う。21年度は、千葉県新産種等について報告した。

成果：市原市民の森にて採集したアオキノリ属地衣類が新種であることを明らかにした(論文を投稿)。千葉県産のカシゴケ属の分類学的検討を行い、3種を認めた(市民研究員と共同研究)。

**(10) 房総の蘚苔類誌 (古木達郎)**

目的：千葉県内に生育するコケ植物について、分類学的な再検討を行い、併せて分布と生態を記述する。重点地域は特にこれまで調査研究があまり行われていなかった下総台地とする。

成果：船橋市の蘚苔類を市民研究員と調査し、約700点の標本を採集し、同定確認を進めている。オオギボウシゴケモドキやキスジキヌイトゴケなど千葉県新産種を確認し、論文化を進めている。

**(11) 千葉県の中甲虫相に関する研究 (斉藤明子)**

目的：本研究は、房総地域に生息する昆虫の戸籍簿の作成を目的とするもので、昆虫の内、カミキリムシ科を中心とする甲虫類の調査を行う。カミキリムシ科甲虫は幼虫が生木あるいは枯れ木を餌とする食材性の昆虫であり、森林環境を指標する生物群のひとつといえる。カミキリムシ相を調べることで、その地域の森林の状況を推測するための資料ともなる。

成果：君津市田代、東京大学清澄演習林、いすみ市、大多喜町、勝浦市鶴原理想郷、清和県民の森、館山市で調査を行った。これまで本州からは神奈川県猿島、三浦半島、伊豆大島、神津島からのみ記録のあった南方系の種であるサタカミキリモドキを勝浦市で採集し、千葉県初記録として報告した。

**(12) 房総丘陵の両生爬虫類相 (大木淳一、尾崎煙雄、小田島高之)**

目的：千葉県の中でも最も多くの両生爬虫類が生息する房総丘陵の両生爬虫類相を解明し、1 kmメッシュ単位の分布図を作成する。

成果：タゴガエルの生息場所が1 kmメッシュで6箇所、生息が確認できた。

**(13) 房総丘陵の昆虫・クモ類相 (尾崎煙雄、大木淳一)**

目的：「房総三角帯」に属し特有の昆虫およびクモ類が生息する房総丘陵の昆虫・クモ類相を解明し、標本および生態写真のデータベースを作成する。

成果：三島小教室博物館を拠点に、地域の方々の協力を得て500点以上の標本を得た。今後、整理・登録を進める。

#### (14) 房総丘陵の維管束植物相 (尾崎煙雄)

目的：博物館ボランティアとの協力の下、千葉県の中でも特有の植物種を多く擁する房総丘陵の維管束植物相を解明し、1 kmメッシュ単位の分布図を作成する。

成果：三島小教室博物館を拠点に、100点以上の標本を得た。今後、整理・登録を進める。

#### (15) 千葉県の鳥類相に関する研究 (桑原和之)

目的：千葉県を中心とした文献を基礎的資料として、千葉県全域の鳥類相を把握する。期間は4-6年間を予定している。千葉県全体の鳥類相を知る目的から、はじめに海岸部の鳥類相の状況などを現地調査により可能な限り把握し、過去の文献と比較する。

成果：千葉県全体の鳥類相を明らかにするため、現地調査および過去の文献を収集し検討した。県内に約420種の鳥類が生息していることを確認した。

### 2.2.3 生命誌系2：房総の生態学的多様性の特徴とその保全 (課題数：10)

#### (1) 生態園の生態系変遷に関する野鳥調査 (大庭照代 館外協力者；綾 富美子、泉 宏子、神 伴之、百目木純子)

目的：野鳥のカウント調査(開館以来継続)から生態園における野鳥の生息状況を記録し、生物多様性をはかる基礎資料とする。

成果：生態園では、平成元年より野鳥調査を継続させてきたが、平成21年度(2009年4月-2010年3月)には全73回実施した。園内を一周するルートを歩きながら目視と聴取による早朝調査(7:45分-8:45)と野鳥観察舎から見える範囲で行う日中調査をあわせて、生息鳥類種及び個体数を記録した。21年度は、2008年1-12月のデータ集計を完了させ、全62種8353羽を記録した。

#### (2) 房総のヒメコマツの保全生態学的研究 (尾崎煙雄)

目的：近年急速に減少している房総丘陵のヒメコマツ個体群について、群落生態学、分子生態学、造林学などの手法を用い、その保全に向けた研究を行う。

成果：東京大学千葉演習林、千葉県農林総合研究センター森林研究所等と連携し、ヒメコマツ生存個体のモニタリング、繁殖状況調査、樹幹注入試験等を行った。

#### (3) 生態園の生態系変遷に関する総合研究 (原 正利、落合啓二、大野啓一、由良 浩、林 紀男、倉西良一)

目的：生態園の生態系の変遷について、長期的な視野で記録に残し、今後の生態系管理に役立てていくことを目的とする。当面は、既存のデータや資料の所在確認や整理を行いつつ、日常的な記録システムのありかたや、市民との連携方法、総合的な調査の時期や方法について検討を進める。研究体制は仮のものであり、今後、関連分野の職員や館外研究者とも相談しつつ、実効的な研究体制に移行していきたい。

成果：舟田池にて水生植物植生再生におけるアメリカザリガニ食害影響を検証し、印旛沼および手賀沼での千葉県の事業施策に反映させた。

#### (4) 照葉樹林の植生地理 (原 正利)

目的：千葉県の森林生態系の基盤をなす照葉樹林について、様々な空間スケールで植生地理学的研究を行う。(1) 東アジアスケールでは、熱帯山地林と照葉樹林の比較研究を進める。(2) 日本列島スケールでは、分布北限付近に位置する東日本各地の照葉樹林の特性を、西日本との比較も行いつつ明らかにする。(3) 千葉県スケールでは、照葉樹林の大部分は社叢林として残されていることから、その分布や地域特性を、人との関わりも含めて明らかにしていく。

成果：印旛村内に位置する社寺林について現地踏査を行って現況を把握した。また、地球環境基金の助成を受けたNPO法人社叢学会の調査では、銚子市猿田神社社叢の調査を行い、過去のデータと比較して、近年の変化や保全上の留意点について明らかにし、報告書を作成した。

さらに、分担者となっている科学研究費により、マレーシア・サラワク州ムルドゥ山の熱帯山地林の調査を行い、結果を中央博研究紹介コーナーで速報展示した。

**(5) 千葉県における哺乳類各種の生息状況と生態（落合啓二）**

目的：千葉県に生息する哺乳類各種について、分布・生態等の調査研究を進める。特に、房総のニホンジカと外来種キョンの食性の重複・競合についてデータ分析・論文作成を進める。  
成果：千葉県のムササビについて、近世～現代の文献資料・生息情報の吟味を行い、生息していない可能性が高いことを確認した。本成果は、当館研究報告に投稿し受理された。房総のニホンジカと外来種キョンの食性の重複・競合について、データ分析を進めた。

**(6) 房総に自生する植物のフェノロジー（大野啓一）**

目的：房総に分布する在来植物種について、開葉・落葉の時期や期間などの季節的な生長様式を、網羅的に調査する。既に草本種約200種、木本種約100種についてデータを得ているが、さらに資料の蓄積を図る。木本種については、市民と連携した調査もすすめる。  
成果：生態園、千葉市緑区、君津市高宕山の3地点において、自生する草本種33種（うちシダ植物20種）について、個葉レベルの季節的な生長様式を毎月記録した。これらの種のうち多くについてフェノロジー型や開葉時期、落葉時期、葉寿命を明らかにした。

**(7) 海岸植物の保護増殖（由良 浩）**

目的：千葉県をはじめとして海岸植物、特に砂浜と塩性湿地の植物は全国的に激減している。千葉県に生育する海岸植物を対象に海岸植物の生態を明らかにし、最適な保護策を考察する。  
成果：小櫃川河口に生育するハマツナの生育立地について調査している。ハマツナは千葉県レッドデータブックに掲載されている要保護種である。当地では、ハマツナは潮溜まりの岸に帯状に生育する。21年度は潮の干満とハマツナの生育地の関係を調査し、ハマツナの生育地が潮間帯の上部だが、潮間帯内にあるという結果が得られた。

**(8) 千葉県における原生生物等の生息状況（林 紀男）**

目的：千葉県内の池沼、ダム湖、水田など陸水域に生息する原生生物等の浮遊・付着生物の分布状況を網羅的に踏査し、県内生物相に関する同分類群の基礎的知見を集積する。  
成果：水田に生息する原生生物類およびミジンコ類の網羅的出現種リストをまとめ、「田んぼの生きもの全種リスト」の編集に組み込んで発行し公表した。

**(9) 千葉県の水辺環境と水生昆虫類の分布特性（倉西良一）**

目的：千葉県内の河川や湖沼においてその水生昆虫相を明らかにし、その特徴となる水生昆虫の調査を行う。特に、房総半島に分布する絶滅危惧種『シャープゲンゴロウモドキ』などの昆虫について保全生物学的研究を行う。  
成果：千葉県で最初に記録され、全国に拡散したと考えられる外来種フロリダマミズヨコエビについて調査を行い、結果をまとめ投稿した。研究上のトピックスを友の会ニュース67や多摩川（とうきゅう環境浄化財団）や読売新聞（2009年7月12日掲載）にも執筆し広報に努めた。印旛沼・手賀沼の底生動物相を調査し結果を千葉県立中央博物館自然誌研究報告に投稿した。

**(10) 房総に生息する生物の動画記録に関する研究（山口 剛）**

目的：主に昆虫を対象とし、その生態・行動をビデオ映像として記録し、整理、活用する方法などを研究する。  
成果：主に動物を対象とした生態・行動のビデオ映像の、整理や活用する方法などについて、文献調査を行い、先行研究を検討した。その結果より、当面はDVテープにより映像を収集し、テープごとに撮影記録原簿を作成することにした。また、その後の編集・保存等にはHDD&DVDプレイヤーを活用することが望ましいことなどがわかった。



## 2.2.4 人類誌系：房総という環境の成り立ち及び人々の生活誌に関する研究

(課題数：12)

### (1) 房総半島後期旧石器時代の研究 (田村 隆 外部研究者；若干名)

目的：房総半島後期旧石器時代を総合的に研究する。

### (2) 近世江戸湾沿岸地域の総合的研究 (筑紫敏夫)

目的：江戸時代の東京湾とその沿岸地域を対象に、漁業(貝漁を含む)・交通・沿岸防備を柱にして、その実態の解明を行う。分析にあたっては、古文書を中心とするが、石造物や現地での聞き取り調査も積極的に行いたい。

成果：研究の成果は、一般市民や大学生向けの講演会で講演し、また、学術雑誌や一般向けの歴史雑誌などに掲載された。

### (3) 房総丘陵における人の生活と自然のかかわりに関する研究 (島立理子)

目的：房総丘陵に生活する人々が、地域の自然とどのようにかかわりながら生活をしてきたを調査する。

成果：民俗調査を中心として、山と人々の生活のかかわりについて調査した。堆肥用の落ち葉をかき集める技術などを映像に残す作業をおこなった。

### (4) 下総台地における近世以降の薪炭林育成に関する歴史地理学的研究 (白井 豊)

目的：下総台地において、近世以降に幕府直轄の馬牧とその周辺で展開した薪炭林育成について、空間的広がりパターン、経過を探求しその意義を明らかにする。

成果：テーマに関連する聞き取り調査の成果を文章にまとめた。すなわち白井市折立で木材業に従事していた方への聞き取り調査(平成21～22年に4回実施)について、テープ起こしから文章化に至る作業をした。また、テーマに関連する研究文献を収集し、従来の自分自身が行った研究成果との関連において読み進んだ。

### (5) 近世房総における和算文化に関する研究 (米谷 博)

目的：近世の房総で展開した和算文化を、房総を訪れた遊歴の和算家や地域の算術師匠などの活動を中心に地域社会とのかかわりから検討する。

成果：上総国周准地方で活躍した近世後期の和算家である鈴木重昌について調査を行った。鈴木氏の墓地は君津市にあり、その墓石を調査することで門人の広がりを確認することができた。蓄積の少ない房総地方の科学史分野について、一つの事例を蓄積することができたが、まだまだ遅れている分野であるので更なる事例発掘の必要性が見えてきた。

### (6) 近世の利根川水運について (米谷 博)

目的：近世における利根川水運の輸送機構や川船の船体構造について、河岸とその後背の内陸部の村々を含め、文献や絵画・民俗資料などから検討する。

成果：利根川を利用した物資輸送を支えた大型貨物船の利根川高瀬船の構造について、船大工が残した板図や文人が描いた絵画資料などから、その構造的な特徴を分析した。また、大利根分館所蔵の商家の古文書から、近世後期の佐原河岸と江戸方面への運輸の実態について検討し、積み荷の種類や輸送する際の単位などを確認した。これらの成果は中央博物館本館や大多喜城分館での古文書講座で紹介した。

### (7) 東京湾美術史の構築 (高橋 覚)

目的：東京湾沿岸をモチーフとした美術作品を通史的に集成し、作家作品の個別研究を蓄積し、データベース化する。

成果：江戸時代房総を訪れた渡辺華山、歌川広重、葛飾北斎などについて資料を収集した。

**(8) 房総における縄文時代石製玉類について (小林清隆)**

目的：縄文時代の石製玉類について、時期・種類別の属性と出土状況について調査・分析を行い、地域的な特徴について検討する。

成果：房総の縄文時代中期の遺跡から出土している大珠の集成を行い、個々の属性と出土状況について検証し、地域における在り方を検討した。本地域における特徴は、集落内の限定された人物が所有していた状況が推測されるものの、墓坑からの出土例が極めて少数であることから、副葬品にはならないという点に見いだされる。この成果の一部については、『史館』終刊記念論集(2010年5月20日刊行)に投稿した。

**(9) 近世後期房総地方における「組合村」に関わる研究 (安齋信人)**

目的：江戸時代後期、特に文化文政期に関東一円に展開した関東取締出役及び「組合村」制の実態について、房総地方の事例を中心に、地方史料に基づき検討する。

成果：関連学会において、史料管理に関わる知識を高め歴史資料(特に古文書)の史料管理学について知識を深め、修了論文を作成するとともに、県内特に上総地方の旧家・機関が所蔵する関東取締出役及び「組合村」関連の古文書のリストアップを行った(次年度より撮影等調査を実施する)。

**(10) 井戸掘り職人の職能と技術の伝播について (地引尚幸)**

目的：西上総地方の上総掘りの技術を調査する中で、古態と考えられる技術が養老川上流域に存在したと考えられる。本年度は調査範囲を広げ、小櫃、小糸川の上流域にも同様な技術や用具が存在するかを調査する。このことで、上総掘りの初期の技術とその技術の伝播等を考えたい。

成果：小櫃川上流域である君津市大戸見で君津市立久留里城址資料館の職員と共同で調査を行った。上総掘り職人は、昭和28年から大工を行いながら掘削をしていたN氏である。掘削方法は、開始時にトイブセという大型のノミを使用し、以降、ノミの刃が鉄管から2, 3cmはみ出るものを使用して掘削を行っていたという。ホリテックンとノミを接合する部分にはペカと呼ぶ弁が取り付けられていた。ホリテックンには爪は付けていない。以上の掘削用具及びその名称、さらに掘削方法は養老川上流域の掘削方法と類似しており、上総掘りの初期の技術とその伝播を考える上で興味深い調査であった。

**(11) 香取市新島地区における水塚の研究 (西川博孝)**

目的：職員若干名、地元一般市民30名程度との共同研究。香取市新島地区における水塚の悉皆調査を行い、分布状況、水塚の構造を記録し、他地域と比較して共通点、相違点を明らかにする。

成果：調査2年次目。今年度は加藤洲地区及び扇島大割・上組・中組・下組地区の実地調査を3回、成果のまとめ1回の都合4回を実施した。また、業者委託により水塚1基の測量を行った。その成果は「たかっぼ通信」第2号に掲載、刊行した。

**(12) 遺跡出土馬骨の形態学的研究 (田邊由美子)**

目的：遺跡出土の馬歯骨について集成し、形態学的な分析を行う。

成果：県内各遺跡の発掘調査報告書等を用いて、馬骨の出土遺跡名、時代、計測値等の集成を行った。

**2.2.5 博物館誌系：博物館とその社会的役割に関する研究 (課題数：3)**

**(1) 中央博物館の収蔵資料の保存管理に関する研究 (齊藤明子、御巫由紀、友田暁子、駒井智幸)**

目的：博物館の貴重な資料を劣化させない収蔵環境を維持するためには、総合的有害生物管理(IPM)を行う必要がある。これまで温湿度などの管理、燻蒸釜による燻蒸、トラップによる生物生息調査などを継続的に行い、異常を素早く見つけて対処しているが、さらに中央博物館に適切な総合的有害生物管理を行うための調査研究を行う。

成 果：総合的有害生物管理による適切な収蔵資料の保存のため、生物生息調査を実施した。調査には合計176個の粘着式トラップを2週間ずつ3回館内に設置し、捕獲された生物を同定し、有害生物の発生に関するモニタリングを継続して実施した。各所でコナチャタテ類が捕獲され継続して発生していることが示唆された。第5収蔵庫などで継続的に発生していたタバコシバンムシはほとんど捕獲されなくなった。

#### (2) 中央博物館の学習支援体制の構築と実践（新 和宏）

目 的：博物館における学習支援に関する課題を洗い出した上で、博物館の資料及び人材を活用した学習支援体制を構築し、実践、検証を行う。

成 果：関連学会において情報収集等を行うと共に、県内の教員対象の研修会等において実践事例等発表した。また、君津市・袖ヶ浦市教委の依頼で科学論文指導を行った。大学生及び院生の論文指導を3件行った。

#### (3) 「おばあちゃんの畑」をテーマとした地域・学校との連携による博物館活動（島立理子）

目 的：「おばあちゃんの畑」をテーマに博物館と地域との連携による活動を実践し、日本におけるエコミュージアムの可能性を探る。

### 2.3. 普遍研究（本館・大利根分館・大多喜城分館）（課題数：42）

#### 2.3.1 地球誌系：地質学的多様性に関する基礎研究（課題数：8）

##### (1) 実験水路を用いた洪水堆積物の再現（岡崎浩子、館外研究者）

目 的：関東平野の台地をつくる更新統（約40～10万年前の地層）には、河川堆積物が全地球的な海水準変動により周期的に挟まれる。この河川堆積物の中の洪水堆積物を実験水路で再現実験をおこない、高周波電磁波反射法を用いて実験堆積物の解析と地層条件の検証をおこなう。これによって地球環境変動による中長期的な河川動態変化を明らかにする。

成 果：実験水路を製作し、河川モデル実験をおこなった。その結果、蛇行河川の形状が流量、傾斜、給砂によって変化し、それは既報の水理特性と整合した。

##### (2) 東北日本弧新第三紀火山活動の特質（高橋直樹）

目 的：東北日本弧の新第三紀火山活動に関して、特に珪長質火山活動の要因を探求することを目的とし、それらの時空分布、並びに、苦鉄質火山活動との成因的關係を中心に調査を進める。

成 果：新第三紀から第四紀にかけて関東地方北部から東北地方で発生した大規模珪長質火山活動の1つである白河火砕流について、地質学的・岩石学的な検討を行った。これらは「白河石」の名称で石材として利用されているが、その中でも、異なる火砕流堆積物に属するものが存在することが示唆された。

##### (3) 白亜紀手取層群の動物化石包含層の解析（伊左治鎮司）

目 的：白亜系の手取層群にある陸生動物化石を多産する河川成堆積物について、その堆積環境ごとの化石構成と含有量との対応を調査し、陸域生態系復元のための解析を行う。

成 果：手取層群桑島層から産出した淡水生巻貝類化石の分類学的考察を行ない、未報告種を5種確認した。このうち、3種は未記載種であり、同時代の中国の白亜系との共通種や近縁種を含むことが明らかとなった。

##### (4) 東アジアを中心とした地域の貝類相の変遷（黒住耐二）

目 的：現生/考古学遺跡/化石等の調査を行い、人間の貝類利用を含めて、包括的に変遷史を明らかにする、

成 果：茨城県/陸平貝塚では、東京湾岸の貝塚では稀なバカガイの出土・“縄文海進期”に分散してきたと考えられるオカミミガイ等の縄文後期までの生存等が明らかとなった（黒住2010a）。島根県の弥生時代遺跡から西日本で初めて同時期の陸産貝類を詳細に検討し、集落内はかなり開けていたことを示した（黒住2010b）。また、6月27日朝日新聞/夕刊1面に、

東京湾へ侵入した外来種ホンビノスガイ取材記事が掲載された。

(5) 日本産十脚甲殻類化石の古地理と古生態 (加藤久佳)

目的：本研究では、主として東北日本産十脚甲殻類化石の古地理と古生態について、化石記録から検討する。特に、古第三紀のテチス要素から北太平洋東西両岸要素への入れ替わり、新第三紀中新世の、熱帯・亜熱帯海洋気候の影響と、その後の寒冷化に伴う冷温帯フォーナの形成に焦点を当て、古地理学的な検討と。共産する底生動物化石から得られる情報もふくめた古生態学的なアプローチからの検討を行う。

成果：東北日本の古第三系?東北及び西南日本の新第三系から多産するスナモグリ類4種について、ハサミ脚の性的二型を見出し、学会等で報告した。

(6) 太平洋周辺域の花粉・環境誌—東アジア/南太平洋の第三紀以降の気候変動解析 (奥田昌明、外来研究員または館外研究者)

目的：1) 日本列島、2) 中国雲南、3) 南米南端域等を中心として化石花粉分析と表層花粉試料収集をおこなう。日本列島と雲南は東アジアモンスーンの強い影響という点で共通しており、また南米南端域は地球気候への関与が想定される南極大陸に隣接し、エルニーニョ/南方振動の発現域にも近い。これら太平洋周辺域に対する花粉調査は地球気候変動のメカニズム・発現論に貢献する。

成果：1) 鹿児島県～沖縄、2) 中国雲南省(北西部山岳地帯)へ現地調査に赴き、表層花粉試料(100点前後)を収集した。財源はH19-22科研 若手研究(A)(研究代表者奥田)である。作業内容は化石花粉から古気温を復元するためのモダンアナログ整備である。成果は、日本第四紀学会2009大会シンポジウム(滋賀県立琵琶湖博物館)で講演するとともに、奥田ほか(2010) 第四紀研究特集号に研究意義を詳述した。

(7) 河川地形の動態と生物分布に関する環境地質学的研究 (大木淳一)

目的：水辺に生息する鳥類、両生類、昆虫類などの生息環境や繁殖場所が規制される要因を環境地質学的に解明する。

成果：ショウドウツバメのコロニー調査を北海道帯広地域で行った。天候不順に伴う河川の増水や溪畔林の成長がコロニーサイズに影響を与えることが分かった。

(8) 地形や地質の生物分布に与える影響について (小田島高之)

目的：地形・地質が生物分布に与える影響について地理情報システムを用いて解析する。

成果：房総丘陵の衛星画像の土地被覆分類を行い、土地被覆の不自然な場所を中心に現地調査を行った。

2.3.2 生命誌系1：分類学的多様性に関する基礎的研究 (課題数：12)

(1) ミトコンドリアゲノム分析に基づく魚類の系統進化 (宮 正樹)

目的：ミトコンドリアゲノム全長配列に基づき、魚類の系統進化史を解明する。

成果：淡水で成長するウナギ科魚類の進化的起源が深海であること、北日本と南日本に生息するメダカが日本列島形成史と深く関連して分化したこと、日本のフナ属魚類の起源の解明、さらにはアンコウ目魚類の進化史解明など、多大な成果を上げることができた。成果は原著論文12編にまとめられ国際誌に報告された。また、成果はテレビ・新聞・雑誌等メディアにも多数取り上げられた。

(2) ヤドカリ類の分類 (朝倉 彰)

目的：ヤドカリ類に関して陸上、浅海、深海のすべての環境に生息する種の分類学的研究をおこなう。

成果：フィリッピンからフレンチポリネシアにいたる海域の潮間帯から水深数10メートルの範囲に棲息するヤドカリ類について、主としてホンヤドカリ科の種について、シンガポール大学やパリ自然史博物館がおこなった採集調査に基づく標本の分類学的研究をおこなった。

### (3) 生物の種のあり方と認識 (直海俊一郎)

目的：より良い自然理解を得るための生物の種のあり方と認識を深く探求すると共に、ハネカクシ科甲虫の種などの記載を通して、種の実際を知る。

成果：現代的種概念における理論的用語「種(species)」が何であるかについての記述において、種の実在性の記述と種の認識論が混同されているゆえ、現代的種概念が自然界の生物個体からなる系統を適切に分節化できない点を、日本植物分類学会等の諸学会で論じた。さらに、進化的リニージの現時点の断面である進化群とは何かを直海(2009)で論じ、種と自然界のリアルな実体としての進化的リニージを同一視する理念を直海(2010)にて論じた。

### (4) 日本産エダヒゲムシ類の分類学的研究 (萩野康則)

目的：日本産エダヒゲムシ類は現在までに種名が確定しているのは約30種であるが、潜在的には100種以上が生息しているものと推定される。日本産本類を収集し調査研究し、多数の新種記載を含めて日本のファウナを明らかにする。

成果：茨城県北部産のエダヒゲムシ類約300個体をプレパラート化し、検鏡・同定した。

### (5) 十脚甲殻類の分類 (駒井智幸)

目的：全世界の十脚甲殻類を対象とした分類学的研究を行い、系統学的研究や生物多様性研究への基礎整備に貢献する、

成果：11編の英文原著論文を国内外の学術誌に出版し、日本周辺／台湾／南西太平洋海域から2新属、18新種を公表した。国内外の研究者との共同研究が多く含まれる。12編の英文原著論文を国内外の学術誌に投稿した。321ロットの標本を登録した。

### (6) 特殊生態の菌類誌 (吹春俊光)

目的：動物関連物質が土壌表面で分解した跡に発生する大型菌類(アンモニア菌)の、各地の菌類相を明らかにすることによって、房総半島の自然と、日本各地や世界各地の自然と比較・俯瞰する。

成果：ニュージーランドと日本各地ですすめている調査の結果を、著書(単著)にまとめ出版した。また奄美大島、ニュージーランド、カナダで見つかった目的とする菌群の未記載種3種について、関連する学会(日本きのこ学会、日本菌学会、アジア菌学会議)で発表(単著・共著)をおこなった。

### (7) 地衣類の多様性に関する研究 (原田 浩)

目的：主として日本および周辺地域を対象として、アナイボゴケ科を中心とする地衣類の分類・分布、化学成分等に関する研究をおこなう。共同研究員および館外研究者と協力する。22年度は、(1)日本地衣類誌の編纂、(2)沖縄ヤンバルの地衣類相、(3)東アジア産被果地衣類の分類学的研究、等。

成果：日本産ツメゴケ属(共著論文)と、カシゴケ属(市民研究員との共著論文)の分類を明らかにした。東アジア産ハリガネキノリ属の分類形質として地衣体の微細形態を記載した(共著)。台湾で見つかったツヅミゴケ属地衣類の分類を明らかにした。オオクロボシゴケなどの日本における分布を明らかにした(共著)。

### (8) アジア太平洋地域におけるコケ植物の分類学的研究 (古木達郎)

目的：千葉県と関係が深いアジア・太平洋地域に生育するコケ植物の多様性を探り、系統分類学的な研究を推進する。

成果：台湾南投懸太魯閣国家公園奇菜山において、苔類の調査を行い、約100点の標本を採集した。ヨシナガムチゴケなど多くの台湾新産の生育を確認し、現在、現地のカンターパートと共同で論文文化を進めている。

### (9) アジア高山帯における植物分類学的研究 (天野 誠)

目的：アジアの高山帯には、特異な種分化を遂げた分類群が数多く存在する。その分化の様式は一様ではない。ユーラシア大陸の東のはずれに位置する日本の植物相を明らかにするためにも、ヒマラヤ山脈を中心とする地域の植物相の調査は欠かせない。本研究は、アジアの高山帯で多様に分化した分類群（特にゴマノハグサ科）を生物地理学的、細胞分類学的観点も含めて、研究するものである。

成果：ヒマラヤ山脈にあるネパール連邦共和国バジャン地方で、科学研究費による調査を行い、151点の標本（研究対象種シオガマギク属6種、ゴマノハグサ属3種を含む）を採集し、仮同定した。また、約50点の染色体サンプルを採集した。

#### (10) 日本産ハナカミキリ亜科の分子系統（斉藤明子）

目的：本研究は、日本産ハナカミキリ亜科に属する種について種間あるいは属間の系統関係を明らかにすることを目的とする。これまでの形態質による分類の限界を補うため、遺伝子の解析による分子系統学的アプローチを加えて分類学的な再検討を行う。

成果：系統解析の精度を上げるため、これまでに蓄積した種のmtND5の塩基配列データに、チェコの共同研究者によるCoIのデータを加え、解析中である。

#### (11) バラ属植物の花色素分析（御巫由紀）

目的：バラ花卉に含まれるフラボノイド成分の組成を分析し、属内分類群とのかかわりを解明する。特にペラルゴニジン配糖体に注目し、野生種における分布調査とともに、19世紀以来の品種改良に伴うペラルゴニジン合成能力の拡大と花色の関係を検討する。

成果：19世紀にアメリカとフランスで作出が進められたノワゼット系統の品種群について分析を進め、結果の一部を博物館における講座に反映させた。

#### (12) 植物珪酸体の形態分類（江口誠一）

目的：イネ科・カヤツリグサ科のほか珪酸分を多く含む樹木の植物珪酸体形態を分類する。それらを古植生復原に利用できるよう基礎研究を行なう。

成果：主にタイ産の樹木を中心に植物珪酸体形態を分類し、その拡散様式を調査した。

### 2.3.3 生命誌系2：生態学的多様性の維持機構に関する基礎的研究（課題数：11）

#### (1) 社会性ハチ類の生態・行動・進化に関する研究（宮野伸也）

目的：社会性ハチ類、特にアシナガバチ類の生態や行動の特徴を明らかにし、社会性進化のなぞの解明を目指す。

成果：「フタモンアシナガバチの幼虫を人工給餌で育てる」とのタイトルで、千葉県昆虫談話会第73回例会で講演を行ったほか、ハチに関する講演を6件行った。

#### (2) 生物音声自動認識および環境モニタリングに関わる生物の音声信号と音環境構造の研究（大庭照代）

目的：生物音声識別装置「ききみみずきん」により収集した音声データをもとに、生物音声辞書改良に必要な条件を探す。生態園などで実施した識別活動から得られたデータを解析し、本装置の学習や環境モニタリング活動における効果についてまとめる。また、辞書作成ツール導入の可能性を検討する。

成果：生物音声識別支援装置「ききみみずきん」は、平成15年度に開発してから6年の歳月がたち、その間平成16年度と17年度に辞書の改善を行った後はその状態で使用しているが、そろそろ本体のバッテリーやプリボイスなどのパーツが使用の限界に近づいた。環境モニタリングに将来的に利用できるように、更新の可能性を探っていたところ、高機能携帯電話を利用した「ききみみずきん」の可能性が浮上した。

#### (3) 温帯性針葉樹の群落生態学的研究（尾崎煙雄）

目的：温帯域に分布し広葉樹と混交して森林群落を形成することの多い針葉樹についてその生態学的特性を明らかにする。

成 果：房総および関東周辺のヒメコマツ自生地について、文献調査を行った。

#### (4) ブナ林の動態と生物地理 (原 正利)

目 的：東日本に本来は広く分布し、この地域の自然生態系の基盤をなしていたブナ林について、特に、(1) 再生・維持動態、および(2) 生物地理(生態地理および系統地理)について研究を進める。(1)については、これまでに行ってきた研究を継続し、ブナ林の再生・維持動態を長期モニタリングデータに基づいて明らかにする。(2)については、東日本各地の残存林の分布や植生学的特徴、DNA解析によるブナの系統地理学について研究を進める。

成 果：上記の(1)については、開始20年目のモニタリング調査を行い、結果を日本生態学会第57回大会で発表した。(2)については、ブナおよびイヌブナの分布に関する研究の成果を専門誌で原著論文として公表した。

#### (5) ニホンカモシカの生態学的研究 (落合啓二)

目 的：青森県下北半島・山形県朝日山地・長野県上高地の3地域の比較を通して、ニホンカモシカの生息密度、なわばりサイズ、繁殖成功率、食物条件の相互関係を明らかにする。

成 果：ニホンカモシカと生息環境の関係について、本研究内容の観点よりデータ解析・論文作成を行い、哺乳類学の専門誌に投稿した。

#### (6) 芽ばえに関する記載的研究 (大野啓一)

目 的：木本・草本の芽ばえ(当年生実生)を、生態写真、スキャナー画像、標本、形態記載により、網羅的に記録し資料化する。採種、播種、育苗などについては市民と連携しておこなう。これらの資料をもとに、自然観察や自然の再生、管理に役立つ図鑑の編纂をめざす。

成 果：木本・草本あわせて78種類の芽ばえの標本を収集し、一部については写真資料も得た。うち50種は、21年度にはじめて資料が得られた種類である。また、約半数の種については、市民によって播種・育苗された芽ばえを、提供いただいたものである。

#### (7) ススキ、オギ、アシの比較生態 (由良 浩)

目 的：アシ、ススキ、オギの生育域は、湿性、乾性、半湿性とはっきりと分かれている。3種とも種子は広く散布されているにもかかわらず、なぜそれほど生育域がはっきりと分かれているのかは未解明の点が多い。本研究ではなぜ湿性の植物が乾性的な環境に生育できないのかをさぐることに特に重点をおいて進める。

成 果：アシがなぜ湿地にしか生育せず、水はけのよい台地上などには生育しないのかという問題の解明を目指している。アシの成長は単に土壌の含水量を低く保ってもさほど悪くはならないが、なかば強制的に排水させて含水量を低く保った時のみ成長が悪くなることが明らかになった。アシは単に乾燥に弱いということではなさそうである。

#### (8) 生物学的水浄化に貢献する水生動物の生理・生態 (林 紀男)

目 的：環境生態工学の視点で広く注目を集める水生植物植栽浄化法において、有毒藍藻類の捕食分解等に貢献する有用微小動物を探索する。これら有用微小動物の各種環境条件における応答性など生理・生態的特性を究明し、浄化効率向上に寄与せしめる。

成 果：水生植物の近傍に集積する浮遊・付着生物に関する基礎的知見を集積し、学会にて17件発表し成果を公表した。

#### (9) 平滑岩盤河床河川の底生動物の多様性維持機構と新しい河床構造の見方 (倉西良一)

目 的：平滑岩盤河床河川は、三面コンクリート張りで見間違うような単純な河川地形で、生息する底生動物は頻繁に増水の攪乱を受ける。そのような河川で底生動物は、どのようにして多様性を維持しているのか? 本研究では、この問題を解明することにより、新しい河床構造の見方を提案したい。

成 果：日本全土の主要河川の上流から中流にきわめて普遍的に存在するヒゲナガカワトビケラが、房総丘陵の河川では欠落する。この意味を房総丘陵の平滑岩盤河床の特性と関係づけなが

ら調査を行った。調査には、ヒゲナガカワトビケラ研究の権威である西村 登 博士にも参加いただき実施した。これらの結果は、水生昆虫関係の専門誌に投稿した。

#### (10) アリ類の行動・生態学的研究 (山口 剛)

目的：アリ類は社会性昆虫であり複数の個体が協力して採餌や営巣活動などを行っている。しかし、その生態は種によって異なっており未知な部分が多い。この研究では、特に人の身近に生息しているアリ類を対象に、種ごとの行動・生態的特性について研究する。

成果：クロヤマアリとクロオオアリを実験的に落下以外に脱出手段のない閉鎖空間に投入すると、そこから飛降りて脱出するという行動を発見した。この結果は、筑波大学で行なわれた日本動物行動学会第28回大会において「アリの飛降り」というタイトルでポスター発表した。

#### (11) シギ・チドリ類の越冬生態、特に個体数変動に関する研究 (桑原和之)

目的：チドリ目の越冬期の生態に関して、チドリ科、シギ科に属する種を中心に生態的な基礎研究を行なう。シギ・チドリ類の個体数の変動は、気象状況や捕食者に大きく影響をうけるので、これらの記録も現地調査で収集し、解析する。

成果：チドリ目の鳥類の越冬期の生態に関して、利根川流域、東京湾、九十九里海岸で現地調査を行なった。

### 2.3.4 人類誌系： 景観史という新領域の創出 (課題数：8)

#### (1) 狩猟採集民研究 (田村隆)

目的：狩猟採集民の考古学。

#### (2) 近現代における裁縫教育についての研究 (島立理子)

目的：近現代において、衣類を調整する技術がどのような場で、どのように伝承あるいは教授されてきたかを明らかにし、近代以降の裁縫教育の持つ意味を明らかにする。

成果：県内の博物館等に所蔵されている「裁縫ひな形」および「裁縫教室図」の資料調査をおこなった。裁縫教室図は近代の一時期にのみ奉納され、その地域も山武地域にのみ濃厚であることがわかった。裁縫上達祈願の方法も地域差が大きかったことがわかるとともに、地域における裁縫教育の受容のされかたも違うのではないかと仮説をたてた。

#### (3) 関東平野における明治10年代の土地利用に関する研究 (白井 豊)

目的：迅速測図を基礎的資料として、関東平野全域の土地利用を約2 kmメッシュのオーダーで把握する。明治10年代の土地利用の意義を知る目的から近世の都市・信仰的中心地や交通の状況なども可能な限り把握する。その際には近世の道標を初めとする石造文化財や古文書を資料とする場合もある。

成果：迅速測図を基礎的資料とする土地利用の把握の作業を進めた。すでに千葉県北部を終えているが、この作業を千葉県中部、茨城県西南部に拡大して行った。約2 kmメッシュのオーダーでは、各メッシュ内で最も卓越する土地利用、および各メッシュに含まれる土地利用の全てを記した表を作成した。約1 kmメッシュのオーダーでは、各メッシュ内で最も卓越する土地利用を記した表を作成した。

#### (4) 大河川の流域と近世の地域社会について (米谷 博)

目的：産業・経済・文化などに河川の影響を強く受けてきた流域について、文献や民俗資料などを基に、地域社会やそこに生きた人々と河川との関係を考える。

成果：大利根分館に収蔵されている佐原河岸の商人仲間に関する史料を対象に、近世後期の在方町の物価や商家経営の規範などを分析した。その成果は大多喜城分館や中央博物館本館での古文書講座で紹介した。

#### (5) 近世図像資料の研究 (高橋 覚)

目的：絵図、絵画、古写真などを活用し、文献資料だけではわかりづらい近世の情景を視覚



にうったえる形で再現する。

成 果：館蔵資料「大多喜城地之図」という図像資料から大多喜藩松平家中の統治組織を推定した。

#### (6) 漁撈文化の研究（安齋信人）

目 的：人類の生業の一つである漁撈及び漁撈文化について、房総地方を事例として、文献史学からのアプローチにより明らかにする。

成 果：旧県立安房博物館をはじめとする県内関連施設で所蔵する文献資料を収集し、近世・近代における房総地方の水産・流通業。特に「関澤明清」「穀宿」について、また房総地方を代表する漁撈民俗衣装「万祝」について執筆した。

#### (7) 縄文時代中期耳栓の研究（西川博孝）

目 的：列島における縄文時代中期の耳栓出土事例を集成し、型式分類を行って時代的変遷と地域間の関連を探り、土器型式のそれとの異同を比較し、形態変化の原理を探る。あわせて、装身具としての耳栓着装の意味を考える。

成 果：継続的に出土事例の集成を行っている。

#### (8) 房総における動物の利用について（田邊由美子）

目 的：過去の人々の動物利用について、遺跡から出土する動物遺存体を用いて考える。

成 果：県内の遺跡から出土した動物遺存体の分析を行った。また、その成果の一部について、展示を行った。

### 2.3.5 博物館誌系：博物館の歴史および機能の充実・発展に関する基礎的研究（課題数：3）

#### (1) 持続可能な社会のための教育と博物館（林 浩二）

目 的：国際的にも国内でも関心を集めている「持続可能な社会のための教育」に、博物館として何ができるか、具体的な活動から探る。

成 果：中央博物館・生態園での学校団体対応や教員との打合せの経験を元に、エッセイ「学びとは、バラバラなことがつながる快感」を発表し、持続可能な社会のための教育に向けて提言した。2003年に成立した環境保全活動・環境教育推進法の改正に向けての動きが国会内外であり、日本環境教育学会第20回大会（東京農工大学）で『「環境保全活動・環境教育推進法」の改正を考える』としてポスター発表を行った。

#### (2) 21世紀型博物館の評価制度の課題と提言～そして博物館の変革に向けて～（新 和宏）

目 的：21世紀に入り、世情の変化と比例するように博物館及びそれを取り巻く環境に大きな転機が訪れている。併せて、ニーズも多様化の傾向を呈している。そのような中、博物館及び我々学芸員は変革することが期待されている。そこで、今まで聖域とされてきた文化・学術の分野に多大な影響を及ぼそうとしている様々な課題を洗い出した上で、博物館の管理運営、博物館機能、展示技法、普及事業、連携事業、そして、危機管理等に関して、提言する。

成 果：県立博物館の評価事業のリーダーとして全体の掌握、自己評価・外部評価の事業展開を実践した。また、学会において新執筆の関連論文の配布解説を行った。

#### (3) 博物館の資料及び地域文化財保護のためのリスクマネジメントシステムの構築（新 和宏）

目 的：博物館は、その設置主体や館種に例外なく、地域の自然遺産、文化遺産を収蔵するとともに、フィールドにおいてもその利活用を図る使命を有している。しかし、これらの遺産は、地震や台風等の自然災害の影響を直接受けることが多い。そこで、予期せぬ自然災害が生じた際、これらの遺産を早急に、かつ、安全に保護するための文化財救済ネットワークシステムを構築し、併せて、博物館職員の資質向上のための研修を行うとともに、地域ボランティア等の育成、指導のカリキュラムを確立する。

成 果：文部科学省の補助金事業として、千葉県博物館協会を主体としたネットワーク構築を推進し、調査、シンポジウムを開催すると共に研究報告書を刊行した。

## 2.4 課題研究（分館海の博物館）（課題数：9）

海の博物館では、房総半島周辺海域の海洋生物相とその特徴を明らかにすることを目的に、各研究員が一体となって行う「総合分野」の研究と、各研究員の専門分野をより深く研究する「詳細分野」の研究の2つからなる調査研究活動を行っている。

### 2.4.1 総合分野研究（課題数：1）

房総半島の海洋生物相とその特徴：主に資料収集活動により収集された一次資料および二次資料に基づき、分類・形態・分布などの分野で詳細な調査研究を行った。

### 2.4.2 詳細分野研究（課題数：8）

目的：房総半島の海洋生物や沿岸域の生物、また民俗・歴史・文化に関する注目すべきいくつかの事項について、各研究員の専門分野を加味し、より詳細な研究課題を設定して深く掘り下げた研究を実施した。

- (1) 紅藻サンゴモ科の系統分類学的研究（宮田昌彦）
- (2) 勝浦における死滅回遊魚の分類、生態に関する研究（中村裕明）
- (3) 温帯性魚類の繁殖生態に関する研究（川瀬裕司）
- (4) 日本産イシサンゴ類の分類・生物地理に関する研究（立川浩之）
- (5) 原始紅藻亜綱植物の分類学的・生態学的研究（菊地則雄）
- (6) 日本産共生性コエビ類の分類学的研究（奥野淳兒）
- (7) フジツボ類の繁殖生態（村田明久）
- (8) 房総半島に営みをもった画家に関する研究（大久保守）

成果：10月27～30日に京都府舞鶴の京都大学付属舞鶴水産実験所の協力を得て、魚類の資料収集を行った。1）舞鶴漁港に水揚げされる魚類の標本収集。2）けた網による舞鶴湾内外の底生魚類の採集。3）実験所周辺に出現する魚類の潜水撮影による動画資料の収集。

調査で得られた魚類標本は、合計26科35種（120個体）で、海の博物館の資料として登録した。また、魚類の動画資料は今回初めてハイビジョン画質で撮影を行った。

## 2.5 助成を受けた研究

### 2.5.1 文部科学省科学研究費補助金（13件：14,110,000円）

#### 2.5.1.1 研究代表者になっている研究（6件：7,680,000円）

- (1) 挑戦的萌芽研究。継続（H19～）。研究代表者：伊左治鎮司。課題番号：19654077。研究課題：ボロン法を用いた白亜紀淡水棲貝類の幼生の抽出。500,000円。
- (2) 若手研究（A）（一般）。継続（H19～）。研究代表者：奥田昌明。課題番号：19684018。研究課題：日本列島周辺の暖温帯・亜熱帯の表層花粉整備。2,500,000円。
- (3) 基盤研究（C）（一般）。継続（H19～）。研究代表者：熊代（岡崎）浩子。課題番号：19540486。研究課題：電磁波反射法を用いた水路実験3次元モニタリングとその河川堆積相への適用。650,000円。
- (4) 基盤研究（C）（一般）。新規。研究代表者：古木達郎。課題番号：21570104。研究課題：苔類ツキヌキゴケ科の多様性と初期個体発生に基づく種分化。1,950,000円。
- (5) 基盤研究（C）（一般）。新規。研究代表者：島立理子。課題番号：2160101。研究課題：「おばあちゃんの畑」をテーマとした地域・学校との連携による博物館活動。650,000円。

#### 2.5.1.2 研究分担者になっている研究（7件：6,430,000円）

- (1) 新学術領域研究（研究領域提案型）。新規。当館分担者：黒住耐二。研究代表者：高宮広土（札幌大学）。課題番号：21101005。研究課題：環太平洋の環境文明史；「琉球班：琉球列島の先史・原始時代における環境と文化の変遷にかんする実証的研究」。分担金：1,200,000（直接経費）円。
- (2) 基盤研究（A）（一般）。継続（H19～）。当館分担者：宮正樹。研究代表者：西田睦（東大海洋研）。課題番号：19207007。研究課題：魚類多様性の進化ダイナミクス：網羅的大規模分子系統樹からのアプローチ。分担金：3,300,000円。

- (3) 基盤研究 (B) (一般)。継続 (H19～)。当館分担者：原 正利。研究代表者：高橋 誠 (森林総合研究所)。課題番号：19380096。研究課題：葉緑体ゲノムのSNPを用いたブナの分子系統地理学・環境適応的研究。分担金：300,000円。
- (4) 基盤研究 (B) (海外学術)。継続(H20～)。当館分担者：江口誠一。研究代表者：岡田直紀 (京都大学)。課題番号：20405028。研究課題：タイ熱帯季節林における森林火災と植生変遷。分担金：450,000円。
- (5) 基盤研究 (B) (海外学術)。新規。当館分担者：原 正利。研究代表者：神崎 護 (京都大学)。課題番号：20405008。研究課題：熱帯雲霧林の林冠内植物の多様性と動態：気候変動モニタリングに向けたサイト構築。分担金：400,000円。
- (6) 基盤研究 (B) (海外学術)。新規。当館分担者：堀江義一。研究代表者：田中玲子 (千葉大学真菌医学研究センター)。研究課題：中央アジアにおける文化人類学的観点から見たヒト常在菌の遺伝子型調査。分担金：650,000円。
- (7) 基盤研究 (C) (一般)。継続 (H19～)。当館分担者：古木達郎。研究代表者：山口富美夫 (広島大学)。課題番号：20570087。研究課題：海洋島の蘚苔類多様性を明きあらかにし、絶海の孤島への種の移入経路と種分化を探る。分担金：130,000円。

### 2.5.1.3 研究協力者になっている研究

- (1) 基盤研究 (A) (一般)。継続 (H18～)。当館協力者：天野 誠。研究代表者：大場秀章 (東京大学総合研究博物館)。課題番号：18255004。研究課題：ヒマラヤ高山帯植物相の分子遺伝・地理・分類学的解析。
- (2) 基盤研究 (B) (海外学術)。継続 (H19～)。当館協力者：原 正利。研究代表者：大久保達弘 (宇都宮大学)。課題番号：19405025。研究課題：熱帯アジア山地林ブナ科樹木個体群のマルチスケール分布様式の地理的変異。
- (3) 基盤研究 (C) (一般) 新規。当館研究協力者：駒井智幸。研究代表者：佐竹 潔 (国立環境研究所)。課題番号：21510248。研究課題：小笠原諸島における十脚目甲殻類のインベントリ作成および保全に関する基礎的研究。

### 2.5.2 他の研究機関との共同研究及びその他の助成 (8件：1,591,350円)

(名称、出資団体・機関、当館分担者、代表者、研究課題、助成額など)

#### 2.5.2.1 研究代表者になっている研究 (2件：600,000円)

- (1) 日本サウンドスケープ協会ワーキンググループ活動助成 (日本サウンドスケープ協会)  
研究代表者：大庭照代。研究課題：音環境調査会(耳をたよりにプロジェクト) 助成額：30,000円。
- (2) 平成21年度財団法人高梨学術奨励基金 (財団法人高梨学術奨励基金) 研究代表者：黒住耐二。研究課題：東アジアのサンゴ礁域における貝類利用の伝播・収斂・多様化。助成額：300,000円。

#### 2.5.2.2 研究分担者になっている研究 (6件：991,350円)

- (1) 私立大学高度研究推進事業・明治大学学術フロンティア (日本学術振興会)  
当館協力者：黒住耐二。研究代表者：杉原重夫 (明治大学文学部)。研究課題：境変遷史と人類活動に関する学際的研究。分担金0円。
- (2) 地球環境基金助成金 (独立行政法人 環境保全再生機構)  
当館分担者：原 正利。研究代表者：上田正昭 (NPO法人 社叢学会)。研究課題：市街地における社叢(歴史的緑地)管理の実態調査と管理手法の確立。分担金0円。
- (3) 現地調査業務委託 (千葉県環境生活部自然保護課)  
当館分担者：尾崎煙雄。研究代表者：藤平量郎 (房総のヒメコマツ研究グループ)。研究課題：房総のヒメコマツ現地調査。分担金：700,350円。
- (4) プロ・ナトゥーラ・ファンド (財団法人自然保護助成基金)  
当館分担者：尾崎煙雄。研究代表者：宮本句子 (鹿児島大学)。研究課題：奄美群島における絶滅危惧植物の生育地調査と保全遺伝学的研究。分担金：291,000円。
- (5) 文化遺産国際協力拠点交流事業 (文部科学省)  
当館研究分担者：黒住耐二、江口誠一。研究代表者：津村宏臣 (同志社大学文化遺産情報科学セン

ター)。研究課題：オマーンにおける考古学的遺跡の保護に関する拠点交流事業。分担金：0円

(6) 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（文部科学省）

当館分担者：原 正利。研究代表者：新沼勝利（東京情報大学）。研究課題：アジア東岸域の環境圏とそれに依存する経済・社会圏の持続的発展のための研究拠点形成。分担金：0円

## 2.6 シンポジウム

### 2.6.1 平成21年度企画展「生物多様性1：生命のにぎわいとつながり」関連シンポジウム

#### (1) 平成21年度企画展「生物多様性1：生命のにぎわいとつながり」記念講演会

日 時：2009年7月5日(日) 14:00-16:00

場 所：千葉県立中央博物館講堂

主 催：千葉県立中央博物館・千葉県生物多様性センター

参加者：71名

内 容：記念講演「地域サステナビリティと生物多様性」古在豊樹（千葉大学前学長）

#### (2) 平成21年度企画展「生物多様性1：生命のにぎわいとつながり」生物多様性シンポジウム 第1回「生物多様性保全研究の最前線」

日 時：2009年7月11日(土)13:00-16:30

場 所：千葉県立中央博物館講堂

主 催：千葉県生物多様性センター・千葉県立中央博物館

共 催：江戸川大学、千葉大学大学院園芸学研究科、東京大学大学院新領域創成科学研究科、東京海洋大学、東京情報大学、東邦大学

参加者：100名

内 容：

- ・開会・挨拶 庄司英実（千葉県環境生活部参事）
- ・発表1「大学連携の意義と生物多様性研究の課題、そして今後の研究」熊谷宏尚（千葉県生物多様性センター主幹）
- ・発表2「生物多様性保全に果たす中央博物館の役割とこれまで行ってきた取組」宮野伸也（千葉県立中央博物館自然誌・歴史研究部長）
- ・発表3「堆積物中の種子による絶滅が危惧される水生植物の再生と保全の研究」百原新（千葉大学大学院園芸学研究科准教授）
- ・発表4「温暖化と生息地の分断化が里山の生物多様性に及ぼす影響：クツワムシとニホンアカガエルの研究から」長谷川雅美（東邦大学理学部教授）
- ・発表5「都市化が生物多様性におよぼす影響に関する研究」吉田正人（江戸川大学社会学部教授）
- ・発表6「都市林の菌類相と生物多様性」落丸武彦（東京大学大学院新領域創成科学研究科特任研究員）
- ・発表7「水温の上昇と長期的な魚類相モニタリング体制の確立」須之部友基（東京海洋大学水圏科学フィールド教育研究センター准教授）
- ・発表8「リモートセンシングとGISによる千葉の生物多様性保全-情報が里山・里沼・里海を守る-」原慶太郎（東京情報大学総合情報学部教授）

#### (3) 平成21年度企画展「生物多様性1：生命のにぎわいとつながり」生物多様性シンポジウム 第2回「里山里海サブグローバル生態系評価・冬水田たんぼ報告」

日 時：2009年7月18日(土)10:00-16:30

主 催：千葉県生物多様性センター・千葉県立中央博物館・里山シンポジウム実行委員会

場 所：千葉県立中央博物館講堂

参加者：93名

内 容：

- ・第1部：ふゆみずたんぼ報告会趣旨説明 荒尾稔（里山シンポジウム実行委員会事務局）
- ・特別講演「ふゆみずたんぼ～過去・現在・未来～」 呉地正行（日本雁を守る会会長）
- ・報告1「ふゆみずたんぼ報告概要・水質」小倉久子（千葉県環境研究センター水質環境室長）
- ・報告2「植生・雑草類」金子是久（北総生き物研究会）

- ・報告3「鳥類」大野美枝子（佐倉自然同好会）
- ・報告4「プランクトン」林紀男（千葉県立中央博物館上席研究員）
- ・報告5「ふゆみずたんぼ報告総括」岩澤信夫（日本不耕起栽培普及会会長）
- ・第2部：里山里海サブグローバル評価報告会挨拶 庄司英実（千葉県環境生活部参事）
- ・趣旨説明 中村俊彦（千葉県生物多様性センター副技監・千葉県立中央博物館副館長）
- ・報告1「関東中部クラスターレポート宇都宮サイト」大久保達弘（宇都宮大学農学部教授）・平井英明同（同学部教授）
- ・報告2「関東中部クラスターレポート神奈川サイト」佐土原聡（横浜国立大学大学院環境情報研究院教授）・佐藤裕一（同研究院研究員）
- ・報告3「関東中部クラスターレポート里海・流域」林しん治（NPO法人海辺つくり研究会）・井上祥一郎（人間総合科学大学伊勢・三河湾流域ネットワーク）
- ・報告4「関東中部クラスターレポート千葉サイト」吉田正彦（千葉県北千葉道路建設事務所次長）・北澤哲弥（千葉県生物多様性センター研究員）・本田裕子（同センター研究員）

#### (4) 平成21年度企画展「生物多様性1：生命のにぎわいとつながり」生物多様性シンポジウム第3回 生命のにぎわいとつながりを世界の子どもの未来へ

日 時：2009年8月29日(土)10:00-16:30

場 所：千葉県立中央博物館講堂

主 催：千葉県生物多様性センター・千葉県立中央博物館・ちば生物多様性県民会議・里山シンポジウム実行委員会

参加者：125名

内 容：

- ・基調講演1「ホテルを通じた生物多様性の保全と再生」 大場信義（大場蛭研究所長）
- ・基調講演2「生物多様性条約・COP10とは！」 草刈秀紀（WWFジャパン事務局長付）
- ・生物多様性企画展見学
- ・子どもたちの生物多様性の夢や保全のアイデア1「シロクマを救え！みんなのアイデア」 鈴木優子（ちば生物多様性県民会議副代表），アイデア2「子どもたちの生き物の夢」 山本博志（くらしのラジオChannelAQ）
- ・分科会1「農林漁業と生物多様性：漁業林業について」コーディネーター：伊藤幹雄（夷隅郡市自然を守る会副会長），報告者：中村松洋（いすみ夢鯨の会会長）・岩井誠（千葉県林業研究会会長）・清水雅樹（NPO森林資源コンサーブ副理事長），参加者48名
- ・分科会2「文化芸術と生物多様性：浮世絵から学ぶ生物多様性について，夏を涼しく暮らす工夫と生物多様性」コーディネーター：田村茂俊（ちば生物多様性県民会議副代表）・佐藤聡子（ちば生物多様性県民会議副代表），報告者：津島寿夫（房総浮世絵美術館長）・本間慶子（財団法人日本自然保護協会），参加者18名
- ・分科会3「まちづくりと生物多様性：“関さんの森を育む会”と生物多様性・四街道での自然の運動から」コーディネーター：佐野郷美（ちば生物多様性県民会議代表），報告者：山田純稔（関さんの森を育む会）・任海正衛（NPO法人四街道メダカの会代表），参加者33名
- ・分科会発表とパネルディスカッション「生命のにぎわいとつながりを世界の子どもの未来へ」パネリスト：手塚幸夫・佐藤聡子・栗原裕治・大場信義・草刈秀紀，コーディネーター：中村俊彦（千葉県立中央博物館副館長・千葉県生物多様性センター副技監）・鈴木優子
- ・子どもたちからのメッセージ・セレモニと閉会挨拶

#### (5) 平成21年度企画展「生物多様性1：生命のにぎわいとつながり」生きもののにぎわい子ども発表会・コンサート

日 時：2009年8月1日(土)13:00-16:30

場 所：千葉県立中央博物館講堂

主 催：千葉県立中央博物館・里山シンポジウム実行委員会・千葉県生物多様性センター

参加者：112名

内 容：

- ・オープニング演奏・生きものの歌 ちばぞうれっしゃ合唱団

- ・合唱団紹介 佐藤聰子（自然と文化研究会代表）
- ・あいさつ 佐久間豊（千葉県立中央博物館館長）
- ・発表1「好きです三島：地域全体が教室」君津市立三島小学校（4年生10名）
- ・発表2「私たちの夢，未来にとどけ！：生きものいっぱい未来は地球の財産」大多喜町老川小学校（4年生10名）
- ・発表3「都会の里山・いのちの森」千葉市立稲毛第二小学校（6名）
- ・発表4「田畑と生きものいのちのつながり：サンライズプランの生きもの調査を通して」旭市立古城小学校（5年生10名）
- ・子どもシンポジウム「生きものたちになったつもりで人間に訴えたいことは何・未来の地球はどうなってほしいか・未来のために何ができるか」パネラー：遠藤菜織子・阿部拓海・明石 亮（君津市立三島小学校），富塚健太・阿部拓海・中村理央菜（大多喜町立老川小学校），星希望・須藤祐希・星遼香・滝口慶人（千葉市立稲毛第二小学校），金杉祥平・實川仁美・實川裕斗（旭市立古城小学校），コーディネーター：横田耕明（千葉市立稲毛第二小学校ボランティア）

#### (6) 平成21年度企画展「生物多様性1：生命のにぎわいとつながり」生物多様性入門講演会「生物多様性とは」

日 時：2009年8月22日(土)13:00-14:30

場 所：千葉県立中央博物館講堂

主 催：千葉県生物多様性センター・千葉県立中央博物館

参加者：70名

内 容：

- ・講演1「生物多様性とは」中村俊彦（千葉県生物多様性センター副技監・千葉県立中央博物館副館長）
- ・講演2「生物多様性と私たちの生活」音谷紗絵（千葉県環境生活部自然保護課）

#### (7) 生物多様性市民企画展示のふりかえりフォーラム

日 時：2009年12月5日(土)13:00-14:30

場 所：千葉県立中央博物館講堂

主 催：里山シンポジウム実行委員会，協力：千葉県立中央博物館・千葉県生物多様性センター

参加者：40名

内 容：

- ・挨拶1 金親博榮（里山シンポジウム実行委員会代表）
- ・挨拶2 佐久間 豊（千葉県立中央博物館館長）
- ・アンケート結果報告 中村俊彦（千葉県立中央博物館副館長・千葉県生物多様性センター副技監）・栗原裕治（里山シンポジウム実行委員会副代表）
- ・市民企画展示のふり返り（映像とナレーション）山本博志（くらしのラジオChannelAQ）
- ・参加市民からの評価 テーマ展示等の代表者
- ・博物館からの評価 新 和宏（教育普及課長）・桑原和之（環境教育研究科上席研究員）・吹春俊光（植物学研究科上席研究員）
- ・パネルディスカッション パネリスト：佐久間 豊・新 和宏・吹春俊光・木下敬三（里山シンポジウム実行委員）・佐藤聰子（ちば生物多様性県民会議副代表）・佐野郷美（ちば生物多様性県民会議代表），コーディネーター：小西由希子（里山シンポジウム実行委員会副代表）
- ・総括 手塚幸夫（ちば生物多様性県民会議副代表）

### 2.6.2 房総のヒメコマツシンポジウム～絶滅の危機にあるヒメコマツを守る～

日 時：2010年3月14日(日)13:00-16:00

場 所：千葉県立中央博物館講堂

主 催：千葉県環境生活部自然保護課・千葉県立中央博物館・房総のヒメコマツ研究グループ，協力：東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林・千葉県農林総合研究センター森林研究所

参加者：80名

内 容：

- ・主催者あいさつ（千葉県環境青果物部自然保護課・渡邊課長）
- ・かつての房総のヒメコマツ（岩瀬 徹）
- ・これまでの経緯（房総のヒメコマツ研究グループ・藤平代表）
- ・房総のヒメコマツの現状（県立中央博物館・尾崎煙雄）
- ・系統保存と増殖の取り組み（東京大学千葉演習林・池田）
- ・希少種保全とヒメコマツ回復計画（生物多様性センター）

### 2.6.3 自然誌シンポジウム「雲南の自然」

日 時：2010年3月25日(月・祝) 13:00-16:00

場 所：千葉県立中央博物館講堂

主 催：千葉県立中央博物館。共催 東京情報大学

参加者：76名

内 容：

- ・開催趣旨の説明（原 正利）
- ・講演「雲南の森について—多様性、気候、地形—」（雲南大学教授 唐 勤）
- ・講演「雲南の茶をめぐる生態環境史」（立教大学教授 上田 信）
- ・質問・討論

春の展示「雲南の地衣類」の開催にあわせ、生物多様性の極めて高い中国雲南省の自然、および茶を中心とした自然と人間との関わりについて紹介する講演を行い、質疑、応答を行った。

### 2.7 中央博セミナー

第1回 2009年7月24日 黒住耐二「各地で貝をみて考える—正倉院御物と韓国／蔚山の自然貝層—」

第2回 2009年9月10日 米谷 博「中央博物館を例にした環境調査—保存担当者学芸員研修の参加報告—」

第3回 2009年10月22日 落合啓二「千葉県の哺乳類に関する最近の研究成果あれこれ」

第4回 2009年11月19日 原 正利「ボルネオ島ムルド山（海拔2,423m）の植生と植物—科学研究費調査報告—」

第5回 2010年1月21日 天野 誠「西ネパールの植物と人々の暮らし—海外調査報告—」（公開中央博セミナーとして開催）

第6回 2010年2月18日 岡崎浩子「化石密集層と水路実験」

第7回 2010年3月7日 堀江義一「世界のコウジキン類の分布と生態を調べて—アマゾンからタクラマカン砂漠まで—」（公開中央博セミナーとして開催）

### 2.8 館友、共同研究、市民研究、研究生の受け入れ等

2.8.1 館友（氏名，（旧職名），「研究課題名」，受入担当職員）：2名

大場達之、（元副館長）、「千葉県の植物相に関する研究」、宮田昌彦

吉村光敏（元地学研究科長）「地形景観を主題にした鳥瞰図のデータベース化／千葉県の滝の地形学的研究」岡崎浩子

2.8.2 共同研究員（各研究員の「研究課題名」，受入担当職員）：17名

1「河川水害要因解明のための基礎的実験」岡崎浩子

2「動物遺体から見た縄文時代の生活復元」黒住耐二

3「遺跡出土脊椎動物遺体の解析」黒住耐二

4「千葉県のフロラに関する研究」古木達郎

5「房総半島における海藻・海草の民俗植物学的研究」宮田昌彦・古木達郎

6「千葉県産菌類（きのこ）についての研究・千葉県産維管束植物についての研究」吹春俊光

7「虫夏草の多様性と系統分類に関する研究」吹春俊光

8「日本産*Geastrum*属（担子菌類）の研究」吹春俊光

- 9 「日本産*Tulostoma*属（担子菌類）の研究」吹春俊光
- 10 「東日本における地衣類相調査」原田 浩
- 11 「地衣類の化学分類」原田 浩
- 12 「地衣類の共生藻に関する研究」原田 浩
- 13 「赤城山の地衣類」原田 浩
- 14 「Korean Lichen Flora (韓国の地衣類相)」原田 浩
- 15 「カプトゴケ科地衣類の分布および地衣類の多様性に関する研究」原田 浩
- 16 「都市近郊の林野における植生の変容と保全について」林 浩二
- 17 「千葉県に侵入した外来種フロリダマミズヨコエビの生態と分布」倉西良一

### 2.8.3 市民研究員（各研究員の「研究課題名」，受入担当職員）： 30名

- 1 「博物館の教育普及活動について」新 和宏
- 2 「房総半島中部に分布する万田野砂礫層の礫供給源（後背地）の探求（継続）」高橋直樹
- 3 「房総半島中部に分布する万田野砂礫層の礫供給源（後背地）の探求（継続）」高橋直樹
- 4 「房総半島中部に分布する万田野砂礫層の礫供給源（後背地）の探求（継続）」高橋直樹
- 5 「房総半島中部に分布する万田野砂礫層の礫供給源（後背地）の探求（継続）」高橋直樹
- 6 「房総半島中部に分布する万田野砂礫層の礫供給源（後背地）の探求（継続）」高橋直樹
- 7 「房総半島中部に分布する万田野砂礫層の礫供給源（後背地）の探求（継続）」高橋直樹
- 8 「房総半島中部に分布する万田野砂礫層の礫供給源（後背地）の探求（継続）」高橋直樹
- 9 「房総半島中部に分布する万田野砂礫層の礫供給源（後背地）の探求（継続）」高橋直樹
- 10 「房総半島中部に分布する万田野砂礫層の礫供給源（後背地）の探求（継続）」高橋直樹
- 11 「房総半島中部に分布する万田野砂礫層の礫供給源（後背地）の探求（継続）」高橋直樹
- 12 「房総の蘚苔類（コケ植物）誌」古木達郎
- 13 「房総の蘚苔類（コケ植物）誌」古木達郎
- 14 「房総の地衣類誌」原田 浩
- 15 「黒姫山周辺の地衣類」原田 浩
- 16 「都市近郊における地衣類の分布」原田 浩
- 17 「筑波山周辺の地衣類相」原田 浩
- 18 「苗場山の地衣相」原田 浩
- 19 「地衣類の内部組織の観察」原田 浩
- 20 「房総の植物誌」原田 浩
- 21 「佐倉市の地衣類相」原田 浩
- 22 「地衣成分の化学分析」原田 浩
- 23 「北八ヶ岳の池畔とその周辺の地衣類相」原田 浩
- 24 「地衣類の顕微鏡観察」原田 浩
- 25 「茨城県北部の地衣類相」原田 浩
- 26 「地衣類の顕微鏡観察」原田 浩
- 27 「白井市周辺の地衣類」原田 浩
- 28 「房総の和算について」米谷 博
- 29 「呑海作「銚江喬遊絵巻」と広重作「下総銚子の浜外浦」米谷 博
- 30 「フォークロアの中の科学—鴨川市内浦湾周辺伝承調査と分析—」島立理子

### 2.9 海外研究者訪問（国名、所属、受け入れ担当者）：20人

#### 1) 本館

- ・大韓民国（National Institute of Biological Resources Ministry of Environment）佐久間 豊・中村



俊彦 2名

- ・タイ (タイ菌学会会長, 王立キングモンクット工科大学助教授) 吹春俊光 1名
- ・ネパール (エベレスト大学講師) 吹春俊光 1名
- ・ベトナム (ホーチミン生物工学研究所) 吹春俊光 1名
- ・ベトナム (タイニュエン大学) 吹春俊光・原田浩 3名
- ・ベトナム (ホーチミン生物工学研究所所長) 吹春俊光・原田浩 1名
- ・中華人民共和国 (Department of Dermatology, First Affiliated Hospital, Xinjiang Medical University) 堀江義一 1名
- ・シンガポール (National University of Singapore) 駒井智幸 1名
- ・中華民国 (National Taiwan University) 駒井智幸 1名
- ・中華民国 (National Chung Hsing University) 駒井智幸 1名
- ・アメリカ合衆国 (雲南大学生態学・地植物学研究所) 原 正利 1名
- ・中華人民共和国 (Marine Research Station Taiwan National Academy of Science (Academia Sinica) 大庭照代 1名
- ・中華民国 (高雄大学) 大庭照代 1名
- ・ニュージーランド (Honorary Curator at the Queensland Herbarium) 尾崎煙雄 1名
- ・オーストラリア (Seed Savers' Network) 島立理子 2名
- ・オーストラリア (クインズランド大学) 倉西良一 1名

## 2.10. 研究業績・委員・社会貢献等

佐久間 豊 (館長)

【学術論文・学術書】

木村和也・会田信行・阿由葉 司・池田秀史・奥田昌明・香川 淳・風岡 修・楠田 隆・黒住耐二・斉藤岳由・酒井 豊・佐久間 豊・高橋康明・高島英世・楡井 久・檜山知代・古野邦雄・丸井敬司・安田敬一・吉田 剛・吉野秀夫. 2009. 千葉市中央区道場南の地下地質環境について. 第19回環境地質シンポジウム論文集, pp. 7-12. 第19回環境地質シンポジウム.

佐久間 豊・勝山輝男・田原直樹・尾崎煙雄・佐藤誠・平川南. 1 2010. 3 「パネルディスカッション「博物館が地域に果たす役割」」MUSEUM第40・41号 pp. 51-66. 千葉県博物館協会

【教育普及書】

佐久間 豊. 2009. 8. 1 「古代陸奥国と房総三国」友の会ニュースNo. 67 pp2-3 千葉県立中央博物館友の会

佐久間 豊. 2010. 3 「九十九里町イワシ博物館における爆発事故の教訓」千葉県文化財救済ネットワークシステム構築推進事業 文部科学省平成21年博物館ネットワーク構築推進事業 p2 千葉県博物館協会

佐久間豊. 2010. 3 「開催挨拶」千葉県文化財救済ネットワークシステム構築推進事業」文部科学省平成21年博物館ネットワーク構築推進事業 pp73-74 千葉県博物館協会

【委員・社会貢献等】

文化庁埋蔵文化財発掘調査体制等の整備充実に関する調査研究委員会委員.

日本博物館協会理事.

千葉県博物館協会会長.

祭祀考古学会監事.

埋蔵文化財行政研究会世話人.

「池田の池」復元研究会副会長.

NPO法人青葉台さわやかネットワーク青葉大学運営委員.

NPO法人生涯学習応援団ちば専門委員.

## 齋木 勝 (副館長)

### 【学術論文・学術書】

齋木 勝 2010. 篠崎四郎金石文研究の軌跡. 千葉県立中央博物館研究報告—人文科学—11 (2) pp. 229-251

齋木 勝 2010. 千葉県多古町五十塚古墳群の埴輪—栗山川上流部の埴輪群 『池上悟還暦記念論文集』 pp. 345-354

### 【教育普及書】

齋木 勝. 2010. 中央博物館の役割(生物多様性と中央博物館) 中央博物館だより(67): 2

### 【研究発表】

齋木 勝 2009.10.17. 第15回石仏入門講座. 「石塔研究の最前線」千葉県立中央博物館・房総石造文化財研究会.

### 【委員・社会貢献等】

伊能忠敬協議会委員(香取市立伊能忠敬記念館).

## 中村俊彦 (副館長)

### 【学術論文・学術書】

金子是久・中村俊彦. 2009. 冬期湛水が水田雑草に及ぼす影響. 日本景観生態学会誌, 14(1): 67-72.

### 【学術報告書】

中村俊彦・林 纈治・本田裕子・井上祥一郎・北澤哲弥・野村英明・小倉久子. 2010. 概要. In日本の里山・里海評価関東中部クラスター(編), 里山・里海: 日本の社会生態学的生産ランドスケープ・関東中部の経験と教訓, pp. 9-14. 国連大学, 東京.

中村俊彦・林 纈治・本田裕子・北澤哲弥・野村英明・小倉久子・佐藤裕一・山本美穂. 2010. 歴史的・叙文的文脈. In日本の里山・里海評価関東中部クラスター(編), 里山・里海: 日本の社会生態学的生産ランドスケープ・関東中部の経験と教訓, pp. 15-44. 国連大学, 東京.

中村俊彦・林 纈治・本田裕子・北澤哲弥・大久保達弘. 2010. シナリオ. In日本の里山・里海評価関東中部クラスター(編), 里山・里海: 日本の社会生態学的生産ランドスケープ・関東中部の経験と教訓, pp. 123-130. 国連大学, 東京.

中村俊彦・本田裕子. 2010. 里山, 里海の語法と概念の変遷. 千葉県生物多様性センター研究報告, 2: 13-20.

中村俊彦・北澤哲弥・本田裕子. 2010. 国連ミレニアム生態系評価(MA)及び日本における里山・里海のサブ・グローバル評価(里山里海SGA)プロジェクト. 千葉県生物多様性センター研究報告, 2: 3-12.

中村俊彦・北澤哲弥・本田裕子. 2010. 里山里海の構造と機能. 千葉県生物多様性センター研究報告, 2: 21-30.

中村俊彦・北澤哲弥・本田裕子. 2010. 里山里海の生態系と都市. 千葉県生物多様性センター研究報告, 2: 31-38.

中村俊彦・北澤哲弥・本田裕子. 2010. 千葉県における農業生産と食料自給の現状. 千葉県生物多様性センター研究報告, 2: 70-72.

中村俊彦・北澤哲弥・本田裕子. 2010. 千葉県の里山里海の生態系サービスの現状と将来シナリオ. 千葉県生物多様性センター研究報告, 2: 157-179.

吉田正彦・宇野晃一・山口和子・石崎晶子・小倉久子・中村俊彦. 2010. 千葉県の里沼の恵みと人々の営み. 千葉県生物多様性センター研究報告, 2: 114-140.

### 【教育普及書】

中村俊彦. 2009. 生物多様性とは. In千葉県生物多様性センター・千葉県立中央博物館(編), 千葉県生物多様性ハンドブック, pp. 2-4. 千葉県生物多様性センター, 千葉市.

中村俊彦. 2009. 里山海からの通信30: 「おもい」の力とうれしい知らせ. ふれあい毎日, 100: 3.

中村俊彦. 2009. 里山海からの通信31: 「ヤノマミ・原初の森に生きる」と「沸騰都市」. ふれあい毎日, 101: 2.

中村俊彦. 2009. 里山海からの通信32: グローバル化と生きる力. ふれあい毎日, 103: 2.

中村俊彦. 2009. 里山海からの通信33: 「生物多様性展」を是非とも見に来て下さい! ふれあい毎日,

104: 3.

中村俊彦. 2009. 里山海からの通信34:「モザイク構造」がもたらす「持続可能性」. ふれあい毎日, 105: 2.

中村俊彦. 2009. 里山海からの通信35:我慢を支える文化. ふれあい毎日, 106: 2.

中村俊彦. 2009. 里山海からの通信36:奥山と大灘(だいなん). ふれあい毎日, 107: 6.

中村俊彦. 2009. 里山海からの通信37:「森」と「林」の違い,そして「山」. ふれあい毎日, 108: 3.

中村俊彦. 2010. 里山海からの通信38:春の七草と田. ふれあい毎日, 109: 6.

中村俊彦. 2010. 里山海からの通信39:子どもの自然欠損障害. ふれあい毎日, 110: 2.

中村俊彦. 2010. 里山海からの通信40:コンピューターは子どもに毒. ふれあい毎日, 111: 5.

中村俊彦. 2010. 里山里海サブグローバル(SGA)生態系評価について. *In*里山シンポジウム実行委員会(編),第6回里山フェスティバル「里山シンポジウム」報告書, pp. 16-17. 里山シンポジウム実行委員会・佐倉市・敬愛大学・ちば里山センター・千葉県緑化推進委員会・千葉県.

白井 豊・中村俊彦. 2010. 東京湾のかつての干潟の風景と里海. 東京湾学会誌3(2): 32-33.

【ウェブサイト】

中村俊彦. 2009.7. 生物多様性1:生命のにぎわいとつながり「虫、魚、鳥、・・・草、木、・・・人」その素晴らしさを親から子へ、そして孫へ、多様性生物稀少標本ネットワーク.

【委員・社会貢献等】

千葉県千葉の里山・森づくりプロジェクト推進会議委員.

千葉県生物多様性体験学習推進事業補助金選考委員.

千葉県NPO生物多様性モデル事業補助金選考委員.

成東・東金食虫植物群落保護検討会作業部会委員(山武市教育委員会),2009.4.1-2010.3.31. 作業部会: 2009.4.30. 検討会: 2009.11.19.

千葉市環境審議会委員.

船橋市環境審議会委員.

市川市環境審議会専門委員.

佐倉市市民文化資産運用委員会委員.

我孫子市谷津ミュージアム事業推進専門家会議議長.

国連大学日本における里山・里海サブグローバル評価科学者パネル.

南関東エコロジカル・ネットワーク形成に関する検討委員会委員(国土交通省関東地方整備局).

印旛沼流域水循環健全化会議委員.

財団法人日本自然保護協会理事.

ちば・谷津田フォーラム代表.

里山シンポジウム実行委員.

千葉大学大学院自然科学研究科客員准教授.

東京湾学会副会長

## 庶務部教育普及課

### 新 和宏

【学術報告書】

新 和宏. 2010. 千葉県文化財救済ネットワークシステム構築推進事業. 140 pp. 千葉県博物館協会, 千葉市.

【教育普及書】

新 和宏. 2009. 化石は語る～サンゴは巨大隕石を見たか～. 千葉県立中央博物館友の会ニュース, (67): 4-5.

新 和宏. 2009. 地域振興委員会設置等,協会の機構改革について. 千葉県博物館協会報 ちばの博物館, (125): 2.

新 和宏. 2009. 千葉県文化財救済ネットワークシステム構築推進事業の設立経緯と事業計画. 史料ネットNews Letter(東北大学歴史資料ネットワーク), (62): 3-4.

新 和宏. 2010. 企画展「生物多様性1」の経緯と,今後への提言. 中央博物館だより, (67): 3.

## 地引尚幸

【委員・社会貢献等】

木更津市史調査研究・執筆員（木更津市教育委員会）, 2009.11.12-2010.3.31. 木更津市史編集事業にかかわる民俗班会議: 2009.1.5.

宮 正樹

【学術論文・学術書】

- Miya, M., T.W. Pietsch, J.W. Orr, T.P. Satoh, H.-C. Ho, R. Arnold, A.M. Shedlock, M. Shimazaki, M. Yabe & M. Nishida. 2010. Evolutionary history of anglerfishes (Teleostei: Lophiiformes): A mitogenomic perspective. *BMC Evolutionary Biology*, 10: 58.
- Doosey, M.H., H.L. Bart, Jr., K. Saitoh & M. Miya. 2010. Phylogenetic relationships of catostomid Fishes (Actinopterygii: Cypriniformes) based on mitochondrial ND4/ND5 gene sequences. *Molecular Phylogenetics and Evolution*, 54(3): 1028–1034.
- Hirayama, M., T. Mukai, M. Miya, Y. Murata, Y. Sekiya, T. Yamashita, M. Nishida, S. Watabe, S. Oda & H. Mitani. 2009. Intraspecific variation in the mitochondrial genome among local populations of Medaka *Oryzias latipes*. *Gene*, 457(1/2): 13–24.
- Inoue, J. G., Y. Kumazawa, M. Miya & M. Nishida. 2009. The historical biogeography of the freshwater knifefishes using mitogenomic approaches: a Mesozoic origin and out-of-India migration of the Asian notopterids (Actinopterygii: Osteoglossomorpha). *Molecular Phylogenetics and Evolution*, 51(3): 486–499.
- Lavoué, S., M. Miya & M. Nishida. 2010. Mitochondrial phylogenomics of anchovies (family Engraulidae) and recurrent origins of pronounced miniaturization in the order Clupeiformes. *Molecular Phylogenetics and Evolution*, 56(1): 480–485.
- Mayden, R.L., W.-J. Chen, H.L. Bart, M.H. Doosey, A.M. Simons, K.L. Tang, R.M. Wood, M.K. Agnew, L. Yang, M.V. Hirt, M.D. Clements, K. Saitoh, M. Miya & M. Nishida. 2009. Reconstructing the phylogenetic relationships of the Earth's most diverse clade of freshwater fishes — Order Cypriniformes (Actinopterygii: Ostariophysi): A case study using multiple nuclear loci and the mitochondrial genome. *Molecular Phylogenetics and Evolution*, 51(3): 500–514.
- Near, T.J. & M. Miya. 2009. Actinopterygii. In S.B. Hedges and S. Kumar (Eds.) *Timetree of Life*, pp. 328–331. Oxford University Press, New York.
- Poulsen, J.Y., P.D.R. Møller, S. Lavoué, S.W. Knudsen, M. Nishida & M. Miya. 2009. Higher and lower-level relationships of the deep-sea fish order Alepocephaliformes (Teleostei: Otocephala) inferred from whole mitogenome sequences. *Biological Journal of the Linnean Society*, 98(4): 923–936.
- Setiamarga, D.H.E., M. Miya, J.G. Inoue, N.B. Ishiguro, K. Mabuchi & M. Nishida. 2009. Divergence time of the two regional medaka populations in Japan as a new time scale for comparative genomics of vertebrates. *Biology Letters*, 5(5): 812–816.
- Takada, M., K. Tachihara, T. Kon, G. Yamamoto, K. Iguchi, M. Miya & M. Nishida. 2010. Biogeography and evolution of *Carassius auratus*-complex in East Asia. *BMC Evolutionary Biology*, 10: 7.
- Yagishita, N., M. Miya, Y. Yamanoue, S.M. Shirai, K. Nakayama, N. Suzuki, T.P. Satoh, K. Mabuchi, M. Nishida & T. Nakabo. 2009. Mitogenomic evaluation of the unique facial nerve pattern as a phylogenetic marker within the perciform fishes (Teleostei: Percomorpha). *Molecular Phylogenetics and Evolution*, 53(1): 258–266.
- 【研究発表】
- Miya, M. 2009.5. Deep-sea mystery solved: Astonishing larval transformations and extreme sexual dimorphism (plus DNA sequences) unite three fish families DNA Barcoding of Marine Biodiversity (MarBOL). Ocean Research Institute, The University of Tokyo, Tokyo.
- Kon, T., M. Miya, L. Rüber, M. Nakatani, T.P. Satoh, T. Yoshino & M. Nishida. 2009.6. The origin of the paedomorphic fish *Schindleria* inferred from whole mitochondrial DNA sequences. The 8th Indo-Pacific Fish Conference. Australian Society for Fish Biology. Fremantle, Australia.
- Mabuchi, K., M. Miya, Y. Azuma & M. Nishida. 2009.6. Pliocene transequatorial dispersal of antitropical labrid genus *Pseudolabrus* detected by molecular phylogeny and divergence time estimation. The 8th Indo-Pacific Fish Conference. Australian Society for Fish Biology. Fremantle, Australia.
- Miya, M., T. Sado, K. Saitoh, H.L. Bart, Jr., M.H. Doosey, I. Doadrio, Y. Keivany, J. Shrestha, V. Lheknim, R. Zardoya, M. Nishida, R.L. Mayden. 2009.7. Cypriniformes Tree of Life: A Mitochondrial Phylogenomic Approach Based on 363 Sequences. Joint Meeting of Ichthyologists and Herpetologists. American Society of Ichthyologists and Herpetologists. Portland, Oregon, USA.
- Tang, K., H. Bart, Jr., A. Simons, R. Wood, M. Miya, M. Nishida, K. Saitoh, W.-J. Chen, T. Sado, M. Agnew, M.

- Clements, M. Doosey, M. Vincent Hirt, Lei Yang & R. Mayden. 2009.7. Cypriniformes Tree of Life: Molecular phylogeny of the Earth's most diverse clade of freshwater fishes. Joint Meeting of Ichthyologists and Herpetologists. American Society of Ichthyologists and Herpetologists. Portland, Oregon, USA.
- Bart, Jr. H., R. Mayden, R. Wood, A. Simons, K. Saitoh, M. Miya, M. Nishida, P. Reneau, W-J. Chen, K. Tang, T. Sado, M. Doosey, Lei Yang, V. Hirt & M. Agnew. 2009.7. Cypriniformes Tree of Life: Phylogenetic informativeness of amino acid substitutions and protein structure changes in four nuclear genes for inferring relationships of cypriniform fishes. Joint Meeting of Ichthyologists and Herpetologists. American Society of Ichthyologists and Herpetologists. Portland, Oregon, USA.
- 昆 健志・宮 正樹・Rüber Lukas・中谷 将典・佐藤 崇・吉野 哲夫・西田 睦. 2009.9. 隠された多様性を持つ幼形進化的シラスウオ科魚類(ハゼ亜目)の起源と形態的進化の停滞. 日本進化学会. 北海道大学, 札幌.
- 宮 正樹. 2009.9. 魚類のミトコンドリア系統進化ゲノミクス: 現状と展望. 日本進化学会. 北海道大学, 札幌.
- 宮 正樹・佐土哲也・斉藤憲治・西田 睦. 2009.10. ミトゲノム超行列に基づくコイ目系統の網羅的解析. 日本魚類学会. 東京海洋大学, 品川.
- 【委員・社会貢献等】
- ちばの魚イラストコンテスト審査員(千葉県農林水産部水産局水産課振興室), 2009.10.7. 審査会: 2009.10.7.
- 科学研究費委員会専門委員(独立行政法人日本学術振興会), 2009.12.1-2010.11.30.
- 日本魚類学会編集委員, 2009.1.1-2009.12.31. 編集委員会: 2009.10.9.
- 日本進化学会編集委員, 2010.1.1-2011.3.31. 役員会: 2009.2.10.
- 日本プランクトン学会編集委員, 2009.1.1-2009.12.31.

#### 矢本節朗

##### 【教育普及書】

- 矢本節朗・米谷 博. 2009. 平成21年度企画展『関東灘礼賛—利根川下流域の酒文化—』, 展示図録. 千葉県立中央博物館.

#### 萩野康則

##### 【教育普及書】

- 萩野康則. 2009. ちば水辺の生命, 89, イソフサヤスデ. 読売新聞(千葉県版), 2009年4月5日, 千葉2, 13版: 30.
- 萩野康則. 2009. KISHIDAIAとTAKAKUWAIA. Kishidaia, (96): 16-18. 東京蜘蛛談話会, 東京.

##### 【研究発表】

- 萩野康則. 2009.11. 千葉県立中央博物館春の展示「クモ・蜘蛛・くも」終了報告. 2009年度東京蜘蛛談話会11月例会. 東京環境工科専門学校, 東京都渋谷区.

##### 【委員・社会貢献等】

- 千葉県レッドデータブック改訂委員会委員(千葉県環境生活部自然保護課), 2009.4.1-2010.3.31. 平成21年度千葉県レッドデータブック改訂委員会: 2009.4.5; 10.5; 2010.3.21.
- 希少野生動物種保存推進員(環境省自然環境局), 2009.7.1-2010.3.31.
- 日本土壌動物学会編集委員, 2008.5.25-2010.5.29. Edaphologia編集委員会: 2009.5.6.

#### 安齋信人

##### 【教育普及書】

- 安齋信人. 2009. 文化財No. 329「六斎市」. 広報もばら, 2009年7月1日号. 茂原市.
- 安齋信人. 2009. 万祝にみる豊漁の姿—房総の万祝と紺屋—, 難破船と穀宿—海の難所, 房総半島—, 関澤明清と近代水産業—房総近代漁業のパイオニア—. 図説安房の歴史, pp. 122-123, 124-125, 174-175. 郷土出版社, 長野県松本市.

#### 浅井秀彦

##### 【教育普及書】

- 浅井秀彦. 2010. ちば水辺の生命, 133, 銚子のアンモナイト. 読売新聞(千葉県版), 2010年3月7日, 千

葉2, 13版: 34.

### 伊左治鎮司

#### 【学術論文・学術書】

兼子尚知・岡崎浩子・平山 廉・高桑祐司・樽 創・伊左治鎮司・鶴飼宏明・加藤久佳・百原 新・中里裕臣・奥田昌明. 2009. 下総層群の中期更新世陸生生物化石群と古環境. デジタルブック 最新第四紀学. 日本第四紀学会.

#### 【学術報告書】

伊左治鎮司. 2010. 桑島化石壁（手取層群桑島層）の堆積環境. 桑島化石壁産出化石調査報告書, pp. 49-54. 石川県白山市教育委員会.

#### 【委員・社会貢献等】

桑島化石壁産出化石調査協議会委員（石川県白山市教育委員会）, 2009.4.1-2010.3.31. 桑島化石壁産出化石調査団協議会： 2009.7.1.

### 自然誌・歴史研究部

#### 宮野伸也（部長兼動物学研究科長）

#### 【教育普及書】

宮野伸也. 2009. 20周年記念展示 中央博物館20年のあゆみ. 中央博物館だより, (66): 2-3.

宮野伸也・野口裕司. 2009. ツマアカクモバチ (=ツマアカコブベッコウ) を袖ヶ浦市で採集. 房総の昆虫, (43): 39. 千葉県昆虫談話会.

宮野伸也・立川浩之. 2009. キノカワハゴロモを鴨川市で採集. 房総の昆虫, (43): 38. 千葉県昆虫談話会.

宮野伸也・立川浩之. 2009. マダラアシナガヤセバエを勝浦市で採集. 房総の昆虫, (43): 39. 千葉県昆虫談話会.

#### 【研究発表】

宮野伸也. 2009.7. 生物多様性保全に果たす千葉県立中央博物館の役割. 生物多様性シンポジウム第1回/生物多様性保全研究の最前線. 千葉県立中央博物館, 千葉市.

宮野伸也. 2009.10. アシナガバチ幼虫のハンドレリングの試み. 日本昆虫学会第69回大会. 三重大学, 津市.

深澤悟・長谷川雅美・宮野伸也. 2009.10. 伊豆諸島のハチ類相-種数面積および種数距離の関係-. 日本昆虫学会第69回大会. 三重大学, 津市.

宮野伸也. 2009.12. フタモンアシナガバチの幼虫を人工給餌で育てる. 千葉県昆虫談話会第73回例会. 千葉県立中央博物館, 千葉市.

宮野伸也. 2010.3. アシナガバチの社会生活. ハチ屋の会. 国立科学博物館, 東京.

#### 【委員・社会貢献等】

千葉県レッドデータブック改訂委員会委員動物部会長（千葉県環境生活部自然保護課）, 2009.4.1-2010.3.31. 平成21年度千葉県レッドデータブック改訂委員会: 2009.4.5; 10.5; 11.1; 2010.3.21.

希少野生動植物種保存推進員（環境省自然環境局）, 2009.7.1-2010.3.31.

日本昆虫学会庶務幹事, 2009.4.1-2010.3.31. 会議: 2009.7.29; 10.9; 11.27; 11.30; 12.25.

### 筑紫敏夫（主席研究員）

#### 【委員・社会貢献等】

千葉県文書館古文書調査員, 2009.4.1-2010.3.31.

千葉歴史学会編集委員, 2009.4.1-2010.3.31.

千葉県郷土史研究連絡協議会理事, 2009.4.1-2010.3.31.

千葉県文化財保護協会理事, 2009.4.1-2010.3.31.

木更津市文化財保護審議会副会長（木更津市教育委員会）, 2009.4.1-2010.3.31.

富津市文化財審議会委員（富津市教育委員会）, 2009.4.1-2010.3.31.

東京湾学会理事, 2009.4.1-2010.3.31.

## 地学研究科

### 岡崎浩子

#### 【学術論文・学術書】

岡崎浩子・中里裕臣. 2009. 更新統の浅海堆積システムと堆積シーケンス. デジタルブック 最新第四紀学. 日本第四紀学会.

兼子尚知・岡崎浩子・平山 廉・高桑祐司・樽 創・伊左治鎮司・鶴飼宏明・加藤久佳・百原 新・中里裕臣・奥田昌明. 2009. 下総層群の中期更新世陸生生物化石群と古環境. デジタルブック 最新第四紀学. 日本第四紀学会.

#### 【学術報告書】

岡崎浩子・加藤久佳. 2010. 地層観察会. 房総半島中部の下総層群—古東京湾の三角洲堆積物—. 深田研ライブラリー, (119): 37 pp. 深田地質研究所, 東京.

#### 【教育普及書】

岡崎浩子. 2010. 地学散歩: 日本地質百選—国指定天然記念物「犬吠埼」. 中央博だより, (67): 7.

岡崎浩子・高橋直樹・加藤久佳. 2010. 平成21年度地学資料集 房総ジオツアー「銚子—屏風ヶ浦—九十九里浜の地質・地形をめぐる」, DVD版. 千葉県立中央博物館.

#### 【研究発表】

岡崎浩子・中里裕臣. 2009.8. 堆積構造の3次元解析手法としての電磁波反射法（地中レーダー）の可能性（予報）. 日本第四紀学会2009年大会. 琵琶県立琵琶湖博物館, 草津市.

Okazaki, H. 2009.9. Facies change on steep slopes of the Pleistocene coarse-grained, gilbert-type delta, Japan. 27th International Association of Sedimentologists Meeting. Alghero. Alghero—Italy.

岡崎浩子. 2009.12. 小型平面水路でつくる蛇行河川の形態変化. つくば地形セミナー. つくば地形教室, つくば市.

岡崎浩子・郭 栄珠・中里裕臣・平塚賢二郎. 2010.3. 平面水路でみる流路変遷と3次元解析（予報）. 日本堆積学会2010年茨城大会. 茨城大学, 水戸市.

#### 【委員・社会貢献等】

印西市文化財審議委員, 2009.4.1-2010.3.31. 文化財審議会: 2009.6.10; 2010.3.9.

教科図書検定調査審議会臨時委員（文部科学省）, 2009.4.1-2010.3.31. 教科図書検定調査審議会: 2009.10.9; 10.16; 10.23; 10.30; 2010.2.8; 2.15; 2.19; 2.26; 3.8.

日本第四紀学会編集幹事, 2009.4.1-2009.7.31. 幹事会・編集委員会: 2009.4.11; 5.16, 6.13, 7.11, 18.

日本第四紀学会評議委員, 2009.4.1-2010.3.31. 評議委員会: 2009.8.29; 2010.1.22.

日本地質学会論文賞推薦委員, 2009.4.1-2010.3.31. 堆積部会: 2009.9.23; 12.12.

### 高橋直樹

#### 【学術論文・学術書】

高橋直樹・荒井章司. 2010. 神奈川県大磯町西小磯海岸の三浦層群大磯層から蛇紋岩礫の産出—環伊豆地塊蛇紋岩帯構成要素の可能性—平塚市博物館研究報告「自然と文化」, (33): 1-8. 平塚市博物館, 平塚市.

#### 【学術報告書】

高橋直樹. 2010. 環伊豆地塊蛇紋岩帯としての大磯丘陵. 大地の謎を探るⅢ 相模川の生い立ちを探る会のあゆみ, pp. 137-139. 平塚市博物館 相模川の生い立ちを探る会, 平塚市.

#### 【教育普及書】

岡崎浩子・高橋直樹・加藤久佳. 2010. 平成21年度地学資料集 房総ジオツアー「銚子—屏風ヶ浦—九十九里浜の地質・地形をめぐる」, DVD版. 千葉県立中央博物館.

#### 【研究発表】

高橋直樹. 2009.7. 嶺岡帯斑れい岩類の岩石学的性質とその時代変化. 湘南地球科学の会第133回例会. 千葉県立中央博物館, 千葉市.

高橋直樹. 2009.8. 嶺岡帯オフィオライト岩類の起源—斑れい岩類を中心に—. 房総地学会第56回談話会. 千葉県立中央博物館, 千葉市.

高橋直樹・荒井章司. 2009.9. 嶺岡・瀬戸川帯の砕屑性蛇紋岩礫及び蛇紋岩起源粒子の岩石学的性質. 日本地質学会第116年学術大会. 岡山理科大学, 岡山市.

高橋直樹. 2010.3. 房総半島の地質研究史—特に小池 清をめぐる—. 地学史研究会第38回例会. 早

稲田奉仕園セミナーハウス, 東京都新宿区.

【委員・社会貢献等】

千葉工業大学非常勤講師. 2009.4.1-2010.3.31. 一般教養科目「地球科学」.

千葉県立船橋高等学校SSH運営指導委員, 2009.4.1-2010.3.31. SSH運営指導委員会: 2009.6.20; 2010.2.23.

千葉県地学教育研究会幹事, 2009.4.1-2009.10.31. 庶務担当. 幹事会: 2009.5.23; 12.19.

## 加藤久佳

【学術論文・学術書】

兼子尚知・岡崎浩子・平山 廉・高桑祐司・樽 創・伊左治鎮司・鵜飼宏明・加藤久佳・百原 新・中里裕臣・奥田昌明. 2009. 下総層群の中期更新世陸生生物化石群と古環境. デジタルブック 最新第四紀学. 日本第四紀学会.

【学術報告書】

岡崎浩子・加藤久佳. 2010. 地層観察会. 房総半島中部の下総層群—古東京湾の三角洲堆積物—. 深田研ライブラリー, (119): 37 pp. 深田地質研究所, 東京.

【教育普及書】

岡崎浩子・高橋直樹・加藤久佳. 2010. 平成21年度地学資料集 房総ジオツアー「銚子-屏風ヶ浦-九十九里浜の地質・地形をめぐる」, DVD版. 千葉県立中央博物館.

【研究発表】

加藤久佳・栗原行人・時田徹. 2009.6. 関東地方の中-上部中新統からの超巨大オオグソクムシ化石の産出. 日本古生物学会2009年年会. 千葉大学, 千葉市.

Kato, H. and Karasawa, H. 2009.9. Sexual dimorphisms of fossil Callianassoidea (Decapoda: Thalassinoidea): examples in Japanese Cenozoic species. The Crustacean Society summer meeting in Tokyo. 東京海洋大学, 東京都品川区.

加藤久佳・柄沢宏明. 2010.2. 日本産化石スナモグリ類のハサミ脚に見られる性的2型について. 日本古生物学会第159回例会. 滋賀県立琵琶湖博物館, 滋賀県草津市.

## 動物学研究科

### 朝倉 彰

【学術論文・学術書】

Asakura, A. 2009. Evolution of mating system in decapod crustaceans. Crustacean Issues, 19: 121-182.

【委員・社会貢献等】

千葉大学非常勤講師 博物館博実習, 2009.9.

千葉県レッドデータブック改訂委員会委員 (千葉県環境生活部自然保護課), 2009.4.1-2010.3.31. 平成21年度千葉県レッドデータブック改訂委員会: 2009.4.5, 2009.10.5, 2010.3.21.

希少野生動植物種保存推進員 (環境省自然環境局), 2009.7.1-2010.3.31.

国際甲殻類学会副会長, 2008.1.1-2009.12.31. Board Meeting: 2009.1.3; 9.20,

日本甲殻類学会評議員, 2007.1.1-2009.12.31. 評議員会: 2009.9.20.

### 直海俊一郎

【教育普及書】

直海俊一郎. 2009. 進化群, つまり自然界におけるリアルな種の認識. 生物科学, 60(4): 205-218.

直海俊一郎・米山 勇. 2009. 千葉県流山市から発見された *Trachymela slaonei* Blackburn (甲虫目: ハムシ科) について. 房総の昆虫, (41): 10.

【研究発表】

直海俊一郎. 2009.4. 種問題の解決に向けて. 日本生物地理学会第64回大会(立教大学, 東京都)講演要旨集, p.19. 立教大学, 東京都.

直海俊一郎. 2009.4. 種問題の解決に向けて. 日本菌学会関東支部平成21年度年次大会. 玉川大学, 町田市.

直海俊一郎. 2009.6. 個体群リネージ種概念: 種概念と認識規準の混同を避ける. 日本動物分類学会第45回大会. 名古屋港水族館. 名古屋市.



直海俊一郎. 2009.9. 種概念問題と種の境界設定問題を区別する. 日本昆虫学会第69回大会. 三重大学, 津市.

【委員・社会貢献等】

日本生物科学者協会編集員, 2009.4.1-2010.3.31.

日本生物地理学会編集委員・幹事, 2009.4.1-2010.3.31. 幹事会: 2009.4.4.

日本昆虫学会評議員, 2009.4.1-2010.3.31.

日本昆虫分類学会編集委員・幹事, 2009.4.1-2010.3.31.

ハネカクシ談話会幹事, 2009.4.1-2010.3.31.

## 黒住耐二

【学術論文・学術書】

黒住耐二. 2009. 微小陸産貝類が示す古環境. 縄文時代, 第3巻, 大地と森の中で—縄文時代の古生態系—, pp. 124-138. 同成社, 東京.

黒住耐二. 2009. 微小貝類からみた東京湾沿岸の巨大貝塚の時代. 東京湾巨大貝塚の時代と社会, pp. 203-221. 雄山閣, 東京.

木村和也・会田信行・阿由葉 司・池田秀史・奥田昌明・香川 淳・風岡 修・楠田 隆・黒住耐二・斉藤岳由・酒井 豊・佐久間 豊・高橋康明・高島英世・楡井 久・楡山知代・古野邦雄・丸井敬司・安田敬一・吉田 剛・吉野秀夫. 2009. 千葉市中央区道場南の地下地質環境について. 第19回環境地質シンポジウム論文集, pp. 7-12. 第19回環境地質シンポジウム.

【学術報告書】

黒住耐二. 2009. 犬島貝塚から得られた微小貝類遺体(予報). 犬島貝塚第2次発掘調査概報/犬島貝塚調査保護プロジェクトチーム. 第3回研究会・講演会資料集「犬島貝塚2009」, pp. 36-41. 犬島貝塚調査保護プロジェクトチーム, 北海道大学.

黒住耐二. 2009. 喜界島における非海産貝類の現況調査. WWFジャパン南西諸島生物多様性評価プロジェクト. フィールド調査報告書, pp. 103-118. (財)世界自然保護基金ジャパン, 東京.

黒住耐二(分担執筆). 2009. WWFジャパン南西諸島生物多様性評価プロジェクト報告書. WWFジャパン南西諸島生物多様性評価プロジェクト報告書. 178 pp. (財)世界自然保護基金ジャパン, 東京.

黒住耐二. 2009. 貝類遺存体. 東名遺跡Ⅱ, 第6分冊, 東名遺跡2次総括編, 佐賀市埋蔵文化財調査報告書, (40): 71-85. 佐賀市教育委員会, 佐賀.

黒住耐二. 2009. 貝類. 東名遺跡Ⅱ, 第6分冊, 東名遺跡2次総括編, 佐賀市埋蔵文化財調査報告書, (40): 127-140. 佐賀市教育委員会, 佐賀.

黒住耐二. 2010. 千葉県印西市の更新統下総層群「木下貝層」摸式地の貝化石群. 印西の歴史, (5): 69-88. 印西市教育委員会.

黒住耐二. 2010. 貝類. 東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)～東京都レッドリスト～. 2010年版, pp. 104-107. 東京都環境局.

黒住耐二. 2010. 遺跡における攪乱層の貝類遺体組成は何を示すか? —2009年度ナガラ原東貝塚発掘調査一. ナガラ東原貝塚6, 考古学研究室報告, (45): 37-42. 熊本大学.

黒住耐二. 2010. 陸平貝塚から得られた微小貝類遺体について. 茨城県稲敷郡美浦村陸平貝塚一調査研究報告書4・1987年度確認調査の成果一, 陸平研究所叢書, (5): 145-154. 美浦村教育委員会, 茨城県美浦村.

黒住耐二. 2010. 微小貝類遺体. 茨城県稲敷郡美浦村陸平貝塚一調査研究報告書5・2008年度確認調査の成果一, 陸平研究所叢書, (6): 77-83. 美浦村教育委員会, 茨城県美浦村.

黒住耐二. 2010. 北谷城から得られた貝類遺体. 北谷城, 北谷町文化財調査報告書, (32): 138-147. 北谷町教育委員会, 沖縄県北谷町.

黒住耐二. 2010. 貝類遺体. 首里城跡一御内原北地区発掘調査報告書(I), 沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書, (54): 440-451. 沖縄県立埋蔵文化財センター.

黒住耐二. 2010. 貝類遺体等(シーリ遺構内). 首里城跡一御内原北地区発掘調査報告書(I), 沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書, (54): 472-476. 沖縄県立埋蔵文化財センター.

黒住耐二. 2010. 宮古島外間遺跡出土の貝類遺体. 外間遺跡, 宮古島市埋蔵文化財調査報告書, (3):

- 117-125. 宮古島市教育委員会, 沖縄県宮古島市.
- 黒住耐二・金子浩昌. 2009. 宮城県松島町の瑞巖寺境内遺跡から得られた微小貝類遺体. 瑞巖寺境内遺跡, 第2分冊, 写真図版・付編, pp. 183-187. (宗)瑞巖寺, 宮城県松島町.
- 黒住耐二・大須賀 健. 2009. 種子島の陸産および陸水産貝類の現況調査. WWFジャパン南西諸島生物多様性評価プロジェクト. フィールド調査報告書, pp. 80-103. (財)世界自然保護基金ジャパン, 東京.
- 黒住耐二・田中秀典. 2010. 道休畑遺跡から得られた微小貝類遺体. 道休畑遺跡, pp. 159-164, pl. 99. 国土交通省中国地方整備局浜田河川国道事務所・島根県教育委員会.

【教育普及書】

- 黒住耐二. 2009. 千葉県の希少種. ハマグリ. 生命のにぎわいとつながり, 生物多様性ちばニュースレター, (13): 3. 生物多様性センター, 千葉.
- 黒住耐二. 2009. 千葉県の外来種. ムラサキイガイ. 生命のにぎわいとつながり, 生物多様性ちばニュースレター, (13): 4. 生物多様性センター, 千葉.
- 黒住耐二. 2009. 「アサリはどうやって産まれてくるの?」回答. 子供の科学, 72(8): 47.
- 黒住耐二. 2010. 干支にちなむ貝一寅一. 1 p. 千葉県立中央博物館.
- 中井達郎・黒住耐二・安部真理子・大野正人. 2009. 3Dマップで考え、伝える生物多様性. 月刊 地図中心, (442): 16-21.
- 財団法人日本自然保護協会・WWFジャパン (分担執筆). 2009. 辺野古・大浦湾アオサンゴの海. 生物多様性が豊かな理由—合同調査でわかったこと—. 12 pp. (財)日本自然保護協会・WWFジャパン, 東京.

【研究発表】

- 阿部芳郎・鈴木正博・吉田邦夫・樋泉岳二・黒住耐二. 2009.5. 千葉県成田市台方花輪貝塚の調査—縄文時代終末から弥生時代初頭の居住活動と遺跡形成に関する研究—. 日本考古学協会第75回総会. 早稲田大学, 東京都新宿区.
- 黒住耐二. 2009.8. 「池田の池」成立以前の海浜と生息貝. 第3回「池田の池」復元研究会成果発表会. 地球汚染・地質汚染基礎科学センター, 香取市.
- 榎本輝樹・齊藤 肇・下迫健一郎・木村俊介・中村 匡・古殿 太郎・風間真紀・陶山典子・会田真理子・西 栄二郎・黒住 耐二・駒井 智幸・富川 光・佐藤雅典・中山聖子・多留聖典・風呂田利夫. 2009.10. 2008年多摩川河口の底生生物種多様性; 多変量解析による検討. 2009年度日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会. 北海道大学水産学部, 函館市.
- 木村和也・会田信行・阿由葉 司・池田秀史・奥田昌明・香川 淳・風岡 修・楠田 隆・黒住耐二・斉藤岳由・酒井 豊・佐久間 豊・高橋康明・高島英世・楡井 久・楡山知代・古野邦雄・丸井敬司・安田敬一・吉田 剛・吉野秀夫. 2009.12. 千葉市中央区道場南の地下地質環境について. 第19回環境地質シンポジウム. 早稲田大学, 東京都新宿区.
- 黒住耐二. 2009.12. 千葉市中央区道場南のボーリングコアから得られた貝類について. 千葉県の物語・環境・観光と古関東深海盆ジオパークを考えるシンポジウム. 「更級日記」と池田の池. 菅原孝標女は見たか! 千葉県の天女を. 「池田の池」復元研究会・古関東深海盆ジオパーク認定推進協議会. 千葉県立中央博物館, 千葉市.
- 黒住耐二・樋泉岳二・山里昌次. 2009.12. 沖縄諸島における農耕開始直前期遺跡の動物遺体—沖縄県南城市新原貝塚の事例 (予報) —. 第13回動物考古研究集会. 茨城県自然博物館, 坂東市.

【委員・社会貢献等】

- 千葉県レッドデータブック改訂委員会委員 (千葉県環境生活部自然保護課), 2008.7.11-2010.3.31. 平成21年度千葉県レッドデータブック改訂委員会: 2010.3.21.
- 希少野生動物種保存推進員 (環境省自然環境局), 2009.7.1-2010.3.31.
- 「東京都における保護上重要な野生生物種の種に関する検討会」(本土部) その他無脊椎動物専門部会委員 (自然環境研究センター (東京都環境保健部)), 2009.5.10.-2010.3.31. 「東京都における保護上重要な野生生物種の種に関する検討会」(本土部) その他無脊椎動物専門部会: 2009.5.27; 7.23; 12.25; 2010.2.3.
- 栃木県レッドリスト改訂委員会土壌動物部会検討委員 (栃木県環境森林部), 2009.4.1-2010.3.31.
- 南西諸島生物多様性評価プロジェクト地域検討会委員 (WWFジャパン), 2009.4.1-2010.3.31.

辺野古・大浦湾検討会議委員（日本自然保護協会）,2009.4.1-2010.3.31. 辺野古・大浦湾検討会議: 2009.4.20.

平成21年度自然環境保全基礎調査 動物分布調査及び普及啓発冊子作製業務に関する陸産・淡水産貝類ワーキンググループ委員（自然環境研究センター）, 2009.9.9. 平成21年度自然環境保全基礎調査 動物分布調査及び普及啓発冊子作製業務に関する陸産・淡水産貝類ワーキンググループ会議: 2009.9.9.

東邦大学東京湾生態系研究センター訪問研究員, 2009.4.1-2010.3.31. 東邦大学東京湾生態系研究センター会議: 2009.5.14.

明治大学特定研究ユニット日本先史文化研究所研究推進員, 2009.4.1-2010.3.31.

日本貝類学会評議員, 2009.4.1-2010.3.31.

## 柳 研介（千葉県環境生活部自然保護課併任）

### 【学術論文・学術書】

柳 研介. 2009. 日本産イソギンチャク類分類の現状と展望. 月刊海洋, 464: 2-11.

### 【教育普及書】

柳 研介. 2009. イソギンチャクに見る房総の海洋生物の多様性. 生命のにぎわいとつながり（生物多様性ちばニュースレター）, (12): 1-2.

柳 研介. 2009. 千葉県の外来種 2.アメリカザリガニ. 生命のにぎわいとつながり（生物多様性ちばニュースレター）, (14): 4.

### 【研究発表】

柳 研介・岩尾研二.2009.10.キンチャクガニに保持されるイソギンチャクの分類学的研究（予報）.2009年度日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会.北海道大学水産学部, 北海道函館市.

藤倉克則・奥谷喬司・長濱統彦・能木裕一・D. Lindsay・山本啓之・北里 洋・長野由梨子・高木義弘・白山義久・久保田信・伊勢戸徹・西田周平・横山 博・西川 淳・伊勢優史・長谷川四郎・大塚 攻・澤本彰三・村山 司・MJ.Grygier・柳 研介・駒井智幸・立川浩之・齋藤暢宏・松浦啓一・藤田敏彦・斎藤 寛・田近謙一・下村通誉・今原幸光・鈴木紀毅・野村恵一・中町美和・山口寿之・西栄二郎・福岡弘紀・遠部卓・志賀直信・柁原 宏・古屋秀隆・後藤太一郎・雪吹直史・上田拓史・河地正伸・岩崎 望・田中次郎・鈴木秀和・堀田拓史・中村光一郎. 2009.10. 日本における海洋生物の多様性-Census of marine Life-2009年度日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会.北海道大学水産学部, 北海道函館市.

柳 研介・岩尾研二.2009.09.カニハサミイソギンチャクについて.第5回日本腔腸動物等談話会.鶴岡市立加茂水族館, 山形県鶴岡市.

藤倉克則・奥谷喬司・長濱統彦・能木裕一・D. Lindsay・北里 洋・白山義久・久保田信・伊勢戸徹・長谷川四郎・大塚 攻・澤本彰三・村山 司・MJ. Grygier・柳 研介・齋藤暢宏・松浦啓一・藤田敏彦・田近謙一・下村通誉・今原幸光・鈴木紀毅・野村恵一・中町美和・山口寿之・西栄二郎・福岡弘紀・遠部卓・志賀直信・柁原 宏・西田周平・横山博・西川淳・古屋秀隆・後藤太一郎・雪吹直史・堀田拓史・中村光一郎. 2009.06. 海洋生物のセンサスCensus of Marine Lifeの活動と日本の海洋生物の多様性. 日本動物分類学会大45回大会. 名古屋港水族館, 愛知県名古屋市.

### 【委員・社会貢献等】

非常勤講師 熊本大学

日本ベントス学会 自然史学会連合連絡委員

## 植物学研究科

### 古木達郎

#### 【学術報告書】

千葉県外来種対策（植物）検討委員会（編）（分担執筆）. 2010. 千葉県の外来種（植物）の現状等に関する報告書. 220 pp. 千葉県外来種対策（植物）検討委員会, 千葉市.

環境省自然環境局野生生物課（編）（分担執筆）. 2010. 改訂レッドリスト付属説明資料 蘚苔類. 20 pp. 環境省自然環境局野生生物課, 東京.

#### 【教育普及書】

古木達郎. 2009. ちば水辺の生命, 109, ウキゴケ. 読売新聞（千葉県版）, 2009年9月6日, 千葉2, 13版: 28.

- 古木達郎. 2010. コケ植物門. *In* 桐谷圭治(編), 改訂版 田んぼの生きもの全種リスト, pp. 366-377 pp. NPO法人農と自然の研究所・NPO 法人生物多様性農業支援センター, 糸島市・町田市.
- 古木達郎. 2010. 絶滅危惧種の保全. *In* 千葉県生物多様性センター・千葉県立中央博物館(編), p. 23. 千葉県生物多様性センター, 千葉市.
- 【研究発表】**
- 古木達郎. 2009.8. ミドリホラゴケモドキ *Calypogeia granulata* Inoue (苔類、ツキヌキゴケ科) の分類学的研究. 日本蘚苔類学会第回大会. 立正大学, 熊谷市.
- 【委員・社会貢献等】**
- 千葉県児童生徒・教職員科学作品展審査員(千葉県総合教育センター), 2009.10.8.,9.
- 千葉県レッドデータブック改訂委員会委員(千葉県環境生活部自然保護課), 2009.4.1-2010.3.31. 平成21年度千葉県レッドデータブック改訂委員会: 2010.3.23.
- 千葉県外来種対策(植物)検討委員会委員(千葉県環境生活部自然保護課) 2009.4.1-2010.3.31. 千葉県外来種対策(植物)検討委員会: 2009.6.19; 2010.2.19, 2010.3.25.
- 成東・東金食虫植物群落保護検討会作業部会委員(山武市教育委員会), 2009.4.1-2010.3.31. 作業部会: 2009.4.30. 検討会: 2009.11.19.
- 絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会委員(環境省自然環境局), 2009.4.1-2010.3.31. 環境省自然環境局 絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会委員会: 2010.3.4.
- 希少野生動植物種保存推進員(環境省自然保護局), 2009.4.1-2010.3.31.
- 絶滅危惧植物・移入植物専門第二委員会委員(日本植物分類学会), 2009.4.1-2010.3.31,
- 日本蘚苔類学会編集幹事, 2009.4.1-2009.12.31; 副編集幹事, 2010.1.1-3.31.
- 千葉県生物学会幹事・事務局長, 2009.4.1-2010.3.31. 幹事会: 2009.6.5; 11.15; 2010.2.20.

## 吹春俊光

### 【学術報告書】

- 千葉県外来種対策(植物)検討委員会(編)(分担執筆). 2010. 千葉県の外来種(植物)の現状等に関する報告書. 220 pp. 千葉県外来種対策(植物)検討委員会, 千葉市.
- 環境省自然環境局野生生物課(編)(分担執筆). 2010. 改訂レッドリスト附属説明資料 菌類. 28 pp. 環境省自然環境局野生生物課.

### 【教育普及書】

- 吹春俊光. 2009. きこの下には死体が眠る? 菌糸が織り成す不思議な世界. 232 pp. 技術評論社, 東京.
- 吹春俊光. 2009. きこの分布拡大と地球環境. *In* 長沢栄史(監), 日本の毒きのこ(増補改訂版), pp. 248-255. 学研, 東京.
- 吹春俊光. 2010. きこのかび関連図書の紹介. 千葉菌類談話会通信, 26: 23-27.
- 吹春俊光. 2009. きこの特集「きのこヘンテコ博覧会」. 子供の科学, 2009年11月号: 22-25.
- 吹春俊光. 2010. ナメコのまわりのヌルヌルは何ですか? 子供の科学, 2010年3月号: 48.
- 吹春俊光. 2010. 冬から春にかけての野生きのこ. ビオフィリア, 21: 44-48.
- 吹春俊光. 2010. ちば水辺の生命, 135, チャダイゴケ. 読売新聞(千葉版), 2010年3月21日, 千葉2, 13版: 32.

### 【研究発表】

- 吹春俊光, 清水公德, 田中千尋. 2009.8. 奄美大島とニュージーランドで見つかった *Coprinopsis* 属の未知アンモニア菌2種. 日本菌学会第53回大会. 鳥取大学, 鳥取市.
- 吹春俊光・清水公德. 2009.9. 粗面の胞子をもつ日本産ヒトヨタケ類2種の分類学的検討. 日本きのこ学会13回大会. 武庫川女子大, 兵庫県西宮市.
- Raut, J. K., A. Suzuki, C. Tanaka, K. Shimizu, T. Fukihar, S. Takesihige, K. Taniguchi. 2009.11. *Coprinopsis* spp. collected from urea amended pine and aspen forests in Canada. アジア菌学会議 AMC2009. 国立自然科学博物館, 台中市, 台湾.

### 【委員・社会貢献等】

- 京都大学非常勤講師

千葉県レッドデータブック改訂委員(千葉県環境生活部自然保護課),2009.4.1-2010.3.31. 平成21年度千葉県レッドデータブック改訂委員会:2010.3.23.  
絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会委員(環境省自然環境局),2009.4.1-2010.3.31. 環境省自然環境局 絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会委員会:2010.3.4.  
希少野生動植物種保存推進員(環境省自然保護局),2009.4.1-2010.3.31.  
きのこアドバイザー研修登録委員会委員(日本特用林産振興会・林野庁),2009.4.1-2010.3.31.きのこアドバイザー研修登録委員会委員会.  
信州きのこマイスター認定協議会(長野県中野市),2009.4.1-2010.3.31. 信州きのこマイスター講師会.  
絶滅危惧植物・移入植物専門第二委員会委員(日本植物分類学会),2009.4.1-2010.3.3.  
日本きのこ学会理事,2009.4.1-2010.3.31, 理事会.  
日本菌学会評議員,2009.4.1-2010.3.31, 評議員会.

## 原田 浩

### 【学術論文・学術書】

Harada, H. 2009. *Aspidothelium cinerascens* (lichenized Ascomycota, Thelenellaceae), an addition to the lichen flora of Taiwan, with notes on *Aspidothelium*. *Lichenology*, 8(2): 133-138.  
Harada, H. & L.-S. Wang. 2009. Taxonomic study on *Bryoria* (lichenized Ascomycota, Parmeliaceae) of East Asia (3). Anatomy of apothecia in comparison with parmeliaceous lichens. *Lichenology*, 8(1): 5-29.  
Wang, L.-S. & H. Harada. 2009. Taxonomic study on *Bryoria* (lichenized Ascomycota, Parmeliaceae) of East Asia (5). Cortical anatomy in branches of varying thickness. *Lichenology*, 8(2): 117-131.  
原田 浩・王 立松. 2009. 日本産ハリガネキノリ属地衣類(予報). *Lichenology*, 8(2): 158.  
原田 浩・山本好和・佐藤大樹. 2009. 沖縄本島ヤンバル地方の地衣フロラ(2). *Lichenology*, 8(2): 145-150.  
木下 薫・高橋邦夫・原田 浩・小山清隆. 2009. 地衣多糖類. *Lichenology*, 8(2): 159.  
坂田歩美・原田 浩. 2009. 千葉県産のカシゴケ属地衣類. *Lichenology*, 8(2): 157.  
坂田歩美・原田 浩・佐藤大樹. 2009. 日本産カシゴケ属地衣類の分類学的検討. *Lichenology*, 8(2): 91-115.  
山本好和・高橋奏恵・原 光二郎・小峰正史・原田 浩. 2009. 分布資料(21). クロボシゴケ属2種. オオクロボシゴケ *Pyxine limbulata* とコナクロボシゴケ *Pyxine soredata*. *Lichenology*, 8(1): 79-85.  
山本好和・高橋奏恵・原 光二郎・小峰正史・小杉真貴子・原田 浩. 2009. 分布資料(22). ヘリトリツメゴケ *Peltigera collina* とフイリツメゴケ *P. didactyla* の新産地. *Lichenology*, 8(2): 167-169.  
吉村 庸・原田 浩・Hur J.-S. 2009. 日本地衣類誌(1). ツメゴケ属 *Peltigera*. *Lichenology*, 8(1): 31-72.

### 【学術報告書】

千葉県外来種対策(植物)検討委員会(編)(分担執筆). 2010. 千葉県の外来種(植物)の現状等に関する報告書. 220 pp. 千葉県外来種対策(植物)検討委員会, 千葉市.

### 【教育普及書】

原田 浩. 2009. 書評「Lücking R. 2008. Foliicolous lichenized fungi. *Flora Neotropica Monograph* 13: 1-866」. *Lichenology*, 8(1): 87.  
原田 浩. 2009. 中学生が職場体験学習で地衣体験. 日本地衣学会ニュースレター, (96): 352-353.  
原田 浩. 2009. こんなの作りましたー“地衣曼荼羅”下敷き. 日本地衣学会ニュースレター, (96): 353-354.  
原田 浩. 2010. 平成21年度春の展示 雲南の地衣類. 中央博物館だより, (67): 5.  
原田 浩・木下靖浩・小山内行雄・安斉唯夫. 2009. 第29回青空地衣教室(神奈川県箱根町箱根樹木園, 2009年6月7日)で観察された地衣類. 日本地衣学会ニュースレター, (95): 348-349.  
原田 浩・木下靖浩・小山内行雄・坂田歩美. 2009. 日本地衣学会第8回観察会(日光, 2009.9.12-13)で観察された地衣類. 日本地衣学会ニュースレター, (98): 361-362.

### 【研究発表】

原田浩・王立松. 2009.7. 日本産ハリガネキノリ属地衣類 (予報). 日本地衣学会第8回大会. 京都学園大学, 亀岡市.

原田浩・坂田歩美. 2009.7. 千葉県産のカシゴケ属地衣類. 日本地衣学会第8回大会. 京都学園大学, 亀岡市.

木下薫・高橋邦夫・原田浩・小山清隆. 2009.7. 地衣類多糖類. 日本地衣学会第8回大会. 京都学園大学, 亀岡市.

**【委員・社会貢献等】**

千葉県レッドデータブック改訂委員 (千葉県環境生活部自然保護課), 2009.4.1-2010.3.31. 平成21年度千葉県レッドデータブック改訂委員会: 2010.3.23.

希少野生動植物種保存推進員 (環境省自然環境局), 2009.7.1-2010.3.31.

栃木県レッドリスト改訂専門委員会委員 (栃木県環境森林部), 2009.4.1-2010.3.31.

日本地衣学会編集委員長, 2009.4.1-2010.3.31.

自然史学会連合事務局, 2009.4.1-2010.3.31.

日本植物分類学会編集委員, 2009.4.1-2010.3.31.

ヒコビア会編集委員, 2009.4.1-2010.3.31.

**天野 誠**

**【学術論文・学術書】**

天野 誠. 2009. 千葉県立中央博物館に収蔵されているロシア産カヤツリグサ科植物のコレクションについて. 莎草研究, 14: 43-56.

**【学術報告書】**

千葉県外来種対策 (植物) 検討委員会 (編) (分担執筆). 2010. 千葉県の外来種 (植物) の現状等に関する報告書. 220 pp. 千葉県外来種対策 (植物) 検討委員会, 千葉市.

**【教育普及書】**

天野 誠. 2009. ちば水辺の生命, 102, マコモ. 読売新聞 (千葉県版), 2009年7月5日, 千葉2, 13版: 34.

天野 誠. 2009. ちば水辺の生命, 134, アサザ. 読売新聞 (千葉県版), 2010年3月14日, 千葉2, 13版: 32.

**【研究発表】**

天野誠. 2010.1. 西ネパールの植物と人々の暮らし ―海外調査調査―. 中央博セミナー. 千葉県立中央博物館, 千葉市.

**【ウェブサイト】**

齋木健一・天野 誠. 2009.4. 身近な野草・雑草を調べてみよう. 千葉県立中央博物館ウェブサイト: デジタルミュージアム.

**【委員・社会貢献等】**

千葉県外来種対策 (植物) 検討委員会委員 (千葉県環境生活部自然保護課) 2009.4.1-2010.3.31. 千葉県外来種対策 (植物) 検討委員会: 2009.6.19; 2010.2.19; 2010.3.25.

希少野生動植物種保存推進員 (環境省自然環境局), 2009.4.1-2010.3.31.

**齋木健一 (千葉県環境生活部自然保護課併任)**

**【教育普及書】**

齋木健一. 2009. パレオントグラフィ 恐竜を食べた哺乳類. ニュートン, 29(5): 112-113.

齋木健一. 2009. パレオントグラフィ 史上最大の陸上哺乳類. ニュートン, 29(6): 116-117.

齋木健一. 2009. パレオントグラフィ 長く鋭い牙を持つサーベルタイガー. ニュートン, 29(7): 120-121.

齋木健一. 2009. 秋の七草 ―なくなってしまった里山の草原―. 生物多様性ちばニュースレター, (15): 1-2.

齋木健一. 2009. 千葉県の希少種 (千葉県レッドデータブックから) フジバカマ. 生物多様性ちばニュースレター, (15): 2.

齋木健一. 2009. 千葉県の希少種 (千葉県レッドデータブックから) オオフサモ. 生物多様性ちばニ

ユースレター, (16): 2.

齋木健一. 2010. パレオントグラフィ 哺乳類の祖先が栄えた時代. ニュートン, 30: 118-119.

齋木健一. 2010. パレオントグラフィ 爬虫類の台頭. ニュートン, 30(2): 118-119.

齋木健一. 2010. パレオントグラフィ 巨大恐竜たちの時代. ニュートン, 30(3): 116-117.

【ウェブサイト】

齋木健一・天野 誠. 2009.4. 身近な野草・雑草を調べてみよう. 千葉県立中央博物館ウェブサイト: デジタルミュージアム.

【委員・社会貢献等】

北総里山会議自然環境部会委員 (千葉県総合企画部地域づくり推進課), 2009.4.1-2010.3.31. 委員会: 2009.7.24; 2010.2.5; 3.2.

鶴枝ヒメハルゼミ発生地保護協議会アドバイザー(茂原市教育委員会), 2009.4.1-2010.3.31. 協議会: 2010.1.28.

自然史学会連合運営委員, 2009.4.1-2010.3.31. 運営委員会: 2009.5.22; 10.31; 11.7-8; 12.19.

千葉生物学会幹事・自然活動普及副部会長, 2009.4.1-2010.3.31. 幹事会: 2009.6.5; 11.15; 2010.2.20.

日本地質学会 自然史学会連合連絡委員

自然史学会連合 運営委員

北総里山会議自然環境部会 委員

堀江義一

【研究発表】

Yaguchi, T., Tanaka, R., Matsuzawa T., Abliz, P., Hui, Y., Horie, Y. 2009.5. Classification of the pathogenic *Aspergillus* section Fumigati and *Neosartorya* based on phylogenetic analysis, and value based on the morphology. The 17th Congress of The International Society for Human and Animal Mycology. Keio Plaza Hotel Tokyo. Tokyo.

Matsuzawa, T., Yaguchi, T., Horie, Y., Tanaka, R., Gono, T. 2009.5. Development of rapid and specific molecular discrimination method in the pathogenic *Emericella* species. The 17th Congress of The International Society for Human and Animal Mycology. Keio Plaza Hotel Tokyo, Tokyo.

矢口貴志、堀江義一、松澤哲宏、田中玲子、Paride Abliz、Yan Hui. 2009. 痙攣性カビ毒生産菌 *Neosartorya* の系統分類とヘテロタリック種の評価. 日本マイコトキシシン学会第66回学術講演会. 千葉大学けやき会館, 千葉市.

【委員・社会貢献等】

千葉大学真菌医学研究センター非常勤講師. 2009.4.1-2010.3.31

千葉県環境アドバイザー (千葉県環境生活部), 2009.4.1-2010.3.31.

日本菌学会理事, 2009.4.1-2010.3.31; 授賞および授賞論文選考委員会委員長, 2009.4.1-2010.3.31; 編集委員および日菌報編集責任者, 2009.4.1-2011.3.31.

歴史学研究科

田村 隆

【学術論文・学術書】

田村 隆. 2009. 回廊の古民族誌. 東北学, 22: 25-39.

【学術報告書】

小野 昭・田村 隆・国武貞克・芹澤清六・中村洋一・布川嘉英・井上 巖. 2010. 高原山黒曜石原産地遺跡群剣ヶ峯地区発掘調査報告書, pp. 7-18. 矢板市教育委員会.

【委員・社会貢献等】

富里市文化財審議委員会委員 (富里市教育委員会), 2009.4.1-2010.3.31. 委員会: 2009.7.27; 2010.3.15.

高原山黒曜石原産地遺跡群剣ヶ峯地区調査委員会委員 (矢板市教育委員会), 2009.4.1-2010.3.31. 委員会: 2009.7.9; 10.6; 11.23.

米谷 博

【教育普及書】

- 米谷 博. 2009. 伊能忠敬. ゆとり, (53): 12-16. 京葉銀行, 千葉市.
- 米谷 博. 2009. 香取市谷中の光明真言塔. 房総石造物研究会会報, (103): 2-3. 房総石造物研究会.
- 米谷 博. 2010. 香取市石納の出羽三山塔. 房総石造物研究会会報, (105): 2-3. 房総石造物研究会.
- 米谷 博. 2009. 盗みを働いた我がままな弟の勘当. 古文書にみる昔の芦崎, (57), 3 pp. 私家版.
- 米谷 博. 2009. 深川町医者殺人事件の手配書. 古文書にみる昔の芦崎, (58), 5 pp. 私家版.
- 米谷 博. 2009. 江戸時代は村人が裁判員. 古文書にみる昔の芦崎, (59), 2 pp. 私家版.
- 米谷 博. 2009. 芦崎田んぼの風除け施設. 古文書にみるむかしの芦崎, (60), 4 pp. 私家版.
- 米谷 博. 2010. 利根川下流域の河岸と農村. 河川文化, (49): 10-11. (社)日本河川協会, 東京.
- 矢本節朗・米谷 博. 2009. 平成21年度企画展『関東灘礼賛—利根川下流域の酒文化—』, 展示図録. 千葉県立中央博物館.

【研究発表】

- 米谷 博. 2009.9. 房総を旅した和算家. 房総文化懇話会. 千葉経済大学, 千葉市.

清藤一順

【教育普及書】

- 清藤一順・田邊由美子. 2009. 平成21年度秋の展示 生物多様性2: 人と自然とのかかわり 縄文の躍動—海と生きた人々の文化—. 67 pp. 千葉県立中央博物館.
- 清藤一順. 2009. 「縄文の躍動—海と生きた人々の文化—」. エリート情報, (559): 01. (株)エリート情報社, 成田市.
- 清藤一順. 2009. ちば水辺の生命, 110, 縄文の躍動①. 読売新聞 (千葉県版), 2009年9月13日, 千葉2, 13版: 28.
- 清藤一順. 2009. ちば水辺の生命, 111, 縄文の躍動②. 読売新聞 (千葉県版), 2009年9月20日, 千葉2, 13版: 22.
- 清藤一順. 2009. ちば水辺の生命, 116, 縄文の躍動⑦. 読売新聞 (千葉県版), 2009年10月25日, 千葉2, 13版: 30.
- 清藤一順. 2009. ちば水辺の生命117縄文の躍動⑧. 読売新聞 (千葉県版), 2009年11月1日, 千葉2, 13版: 30.
- 清藤一順. 2009. ちば水辺の生命118縄文の躍動⑨. 読売新聞 (千葉県版), 2009年11月8日, 千葉2, 13版: 30.
- 清藤一順. 2009. ちば水辺の生命120縄文の躍動⑩. 読売新聞 (千葉県版), 2009年11月22日, 千葉2, 13版: 22.

【委員・社会貢献等】

- 柏市文化財保護委員会委員 (柏市教育委員会), 2009.4.1-2010.3.31, 柏市文化財保護委員会, 2009.10.1; 2010.2.10.
- 柏市史編さん委員会委員・参与 (柏市教育委員会), 2009.5.1-2010.3.31. 柏市史編さん委員会: 2009.5.19; 2010.2.5. 柏市史編集会議: 2009.4.24.
- 松戸市史編さん委員会上巻改訂部会員 (松戸市教育委員会), 2009.7.1-2010.3.31. 松戸市史上巻改訂事業に係る原始・古代部会: 2009.11.1; 2010.2.16.
- 流山市史編さん審議会委員 (流山市教育委員会), 2008.5.16-2010.5.15. 流山市史編さん審議会: 2009.10.23.

田邊由美子

【教育普及書】

- 田邊由美子. 2010. 東北出土の房総関係文字資料. 4 pp. 千葉県立中央博物館.
- 田邊由美子. 2009. ちば水辺の生命, 112, 縄文の躍動③. 読売新聞 (千葉県版), 2009年9月27日, 千葉2, 13版: 32.
- 田邊由美子. 2009. ちば水辺の生命, 113, 縄文の躍動④. 読売新聞 (千葉県版), 2009年10月4日, 千葉2, 13版: 28.
- 田邊由美子. 2009. ちば水辺の生命, 114, 縄文の躍動⑤. 読売新聞 (千葉県版), 2009年10月11日, 千葉2, 13版: 22.



- 田邊由美子. 2009. ちば水辺の生命, 115, 縄文の躍動⑥. 読売新聞(千葉県版), 2009年10月18日, 千葉2, 13版: 32.
- 田邊由美子. 2009. ちば水辺の生命, 119, 縄文の躍動⑩. 読売新聞(千葉県版), 2009年11月15日, 千葉2, 13版: 34.
- 清藤一順・田邊由美子. 2009. 平成21年度秋の展示 生物多様性2: 人と自然とのかかわり 縄文の躍動—海と生きた人々の文化—. 千葉県立中央博物館, 千葉.
- 【委員・社会貢献等】
- 田邊由美子. 講師. 2010.3.6. 観音崎自然博物館. 観音崎公園歴史ガイドツアー. 観音崎自然博物館, 横須賀市.

## 資料管理研究科

### 斉藤明子

#### 【学術論文・学術書】

- 斉藤明子・尾崎煙雄・盛口 満. 2009. 千葉県におけるクロマダラソテツシジミの初記録と発生初期の生息域. 月刊むし, (465): 28-32.

#### 【学術報告書】

- 斉藤明子. 2010. 千葉県文化財救済ネットワークシステム構築に向けて. 千葉県文化財救済ネットワークシステム構築推進事業, p. 10. 千葉県博物館協会, 千葉市.

#### 【教育普及書】

- 斉藤明子. 2009. 千葉県初記録のサタカミキリモドキ. 房総の昆虫, (43): 36. 千葉県昆虫談話会, 四街道市.

- 斉藤明子. 2009. 初めての南米—フレンチギアナ採集ツアー参加報告—. 月刊むし, (467): 30-34.

- 斉藤明子・城田義友. 2009. いすみ地域で行われた県内採集・調査会参加報告. 房総の昆虫, (43): 42-43. 千葉県昆虫談話会, 四街道市.

- 斉藤明子・尾崎煙雄. 2010. 千葉県で見つかったクロマダラソテツシジミ. 中央博物館だより, (67): 6.

#### 【委員・社会貢献等】

- 教育学部非常勤講師. 2009.5.28, 10.21.

- 千葉県文化財救済ネットワークシステム構築推進事業実行委員会委員(千葉県博物館協会), 2009.4.1-2010.3.31. 千葉県文化財救済ネットワークシステム構築推進事業実行委員会: 2010.1.20.

- 展示制作業者選定委員(国立科学博物館), 2009.11.2-2009.11.30. 企画展「日本の生物多様性とその保全」展示設計業者選定委員会: 2009.11.12.

- 日本昆虫学会庶務幹事・評議員, 2009.4.1-2010.3.31. 総会、評議員会: 2009.10.11.

### 御巫由紀

#### 【教育普及書】

- Maebara, K. & Y. Mikanagi. 2009. The 12h International Heritage Rose Conference in Sakura, 2011 and The City of Sakura Rose Garden (Kusabue-no-oka), Japan. Rose Annual, 26: 42-46. Indian Rose Society.

- 御巫由紀. 2009. Plava ruža. Godišnji Žurnal, 1: 14. Royal Servian Rose Society.

- 御巫由紀. 2009. アデレード, 魔法の時間. 茨城ばら会会報, 168: 15-23.

- 御巫由紀. 2009. 赤いバラの起源. NHK趣味の園芸, 2009年4月号: 37. NHK出版, 東京.

- 御巫由紀. 2009. 世界バラ会連合世界大会(バンクーバー2009年6月18日~24日). オールドローズとつるばらのクラブ会報, 134: 8-15. オールドローズとつるばらのクラブ, 東京.

- 御巫由紀. 2009. ヴィンテージガーデン訪問記. オールドローズとつるばらのクラブ会報, 136: 14-17. オールドローズとつるばらのクラブ, 東京.

- 御巫由紀. 2009. 世界の図譜(16) セイヨウタンポポ. NHK学園機関誌「絵画」, 09冬号: 45. NHK学園, 東京.

- 御巫由紀・小笠原左衛門尉亮軒. 2009. 「江戸時代の園芸文化史」展示の詳細 浮世絵部門. 千葉大学園芸学部戸定会会報「天皇皇后両陛下下行幸啓記念特別号」, pp.16-17. 千葉大学園芸学部戸定会, 千葉.

【研究発表】

Mikanagi, Y. 2009.5. Natural Hybrids of *Rosa sambucina* Koidz., and the potential ornamental value of breeding hybrid *sambucina*. 5th International Symposium on Rose Research and Cultivation. 長良川国際会議場, 岐阜市.

Maebara, K. & Y. Mikanagi. 2009.6. The City of Sakura Rose Garden (Kusabue-no-oka), Japan. WFRS World Rose Convention - Vancouver 2009. Westin Bayshore Hotel, Vancouver, Canada.

【委員・社会貢献等】

ちば環境再生推進委員会助成部会委員 (千葉県環境財団), 2009.4.1-2010.3.31.

緑の調査専門委員 (市川市), 2009.4.1-2010.3.31.

国際香りのばら新品種国際コンクール審査委員 (国営越後丘陵公園), 2009.4.1-2010.3.31.

収蔵庫を考える懇談会委員 (ミュージアムパーク茨城県自然博物館), 2009.4.1-2010.3.1.収蔵庫を考える懇談会, 2010.2.18.

千葉大学非常勤講師, 2009.4.1-2010.3.31.

千葉県生物学会幹事・事務副局長, 2009.4.1-2010.3.31. 幹事会: 2009.6.5; 11.15; 2010.2.20.

友田暁子

【教育普及書】

友田暁子. 2009. 美術館図書室SIG解題リレー, レファレンスブック・ガイド8. アート・ドキュメンテーション通信, (83): 14. アート・ドキュメンテーション学会.

駒井智幸

【学術論文・学術書】

Komai, T. 2009. A new species of the alpheid shrimp genus *Salmonesus* (Decapoda: Caridea) from the Ryukyu Islands, Japan, associated with callinassid ghost shrimp (Decapoda: Thalassinidea). *Crustaceana*, 82: 869-880.

Komai, T. 2009. A new species of the hermit crab genus *Catapagurooides* (Crustacea: Decapoda: Anomura: Paguridae) from shallow water in the Ryukyu Islands, Japan. *Species Diversity*, 14: 197-205.

Komai, T. & T.-Y. Chan. 2009. A new genus and species of Crangonidae (Decapoda: Caridea) with a large plate-like eye from the abyssal zone off Taiwan, northwestern Pacific. *Journal of Crustacean Biology*, 29: 254-265.

Komai, T. & T.-Y. Chan. 2010. Two new species of alvinocaridid shrimps (Crustacea: Decapoda: Caridea) from hydrothermally influenced field off northeastern Taiwan. *Zootaxa*, 2372: 15-32.

Komai, T. & P. Collins. 2010. Two species of caridean shrimps (Decapoda: Hippolytidae and Nematocarcinidae) newly recorded from hydrothermal vents on the Manus Basin, southwestern Pacific. *Crustacean Research*, 38: 28-41.

Komai, T. & H. Komatsu. 2009. Deep-Sea shrimps and lobsters (Crustacea: Decapoda: Penaeidea, Caridea, Polychelidea) from northern Japan, collected during the Project Research on Deep-sea Fauna and Pollutants off Pacific Coast of Northern Honshu, Japan, 2005-2008. *National Museum of Nature and Science Monographs*, 39: 495-580.

Komai, T., F.-J. Lin & T.-Y. Chan. 2009. A new mud shrimp species of *Calastacus* (Crustacea: Decapoda: Thalassinidea) from the South China Sea. *Zootaxa*, 2088: 24-30.

Komai, T., F.-J. Lin & T.-Y. Chan. 2010. Five new species of Axiidea (Crustacea: Decapoda: Axiidae) from deep-water off Taiwan, with description of a new genus. *Zootaxa*, 2352: 1-28.

Komai, T. & M. Osawa. 2009. A new hermit crab species of the genus *Catapagurus* (Crustacea: Decapoda: Anomura: Paguridae) from the Ryukyu Islands, southern Japan. *Zootaxa*, 2211: 57-68.

Komatsu, H. & T. Komai. 2009. Thalassinidea, Anomura and Brachyura (Crustacea: Decapoda) from northeastern Japan, collected during the Project "Research on Deep-sea Fauna and Pollutants off Pacific Coast of Northern Honshu, Japan, 2005-2008. *National Museum of Nature and Science Monographs*, 39: 581-613.

Ng, P. K. L., S. T. Ahyong & T. Komai. 2009. On the male of *Aphanodactylus loimiae* Konishi & Noda, 1999 (Crustacea: Brachyura: Pinnotheridae). *Raffles Bulletin of Zoology*, 58: 75-78.

【研究発表】

榎本 輝樹・齊藤 肇・中村 匡・白井一洋・福島正明・古殿太郎・風間真紀・大野幸正・西 栄二

郎・黒住 耐二・駒井智幸・中山聖子・文珠正哲・陶山典子・細澤豪志・多留聖典・風呂田利夫。  
2009.10. 2008年多摩川河口の底生生物種多様性；多変量解析による検討。2009年度日本ベント  
ス学会・日本プランクトン学会合同大会。北海道大学水産学部, 函館市。

藤倉克則・奥谷喬司・長濱統彦・能木裕一・Dhugal Lindsay・山本啓之・北里 洋・白山義久・久保  
田信・伊勢戸徹・西田周平・横山 博・西川 淳・伊勢優史・長谷川四郎・大塚 攻・澤本彰  
三・村山 司・Mark J. Grygier・柳 研介・駒井智幸・齋藤暢宏・松浦啓一・藤田敏彦・齋藤寛・  
田近謙一・下村通誉・今原幸光・鈴木紀毅・野村恵一・中町美和・山口寿之・西榮二郎・福岡弘  
紀・遠部 卓・志賀直信・柁原 宏・古屋秀隆・後藤 太一・雪吹直史・上田拓史・河地正伸・  
岩崎 望・田中次郎・鈴木秀和・堀田拓史・中村光一郎。2009.10. 日本における海洋生物の多  
様性 - Census of Marine Life -。2009年度日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会。  
北海道大学水産学部, 函館市。

#### 【委員・社会貢献等】

相模灘地域の生物相の起源探究に関する調査研究外部委員（国立科学博物館）, 2009.4.1-2010.03.31.

沖縄本島大浦湾の十脚甲殻類相の調査調査委員（NPO法人海の自然史研究所）, 2009.6.17-2009.6.27.

久米島周辺海域における海洋底生生物を中心とした生物多様性を調べる研究調査委員,（琉球大学・台  
湾国立海洋大学・シンガポール国立大学）, 2009.11.13-2009.11.23.

日本動物分類学会英文誌編集委員, 2009.4.1-2009.12.31.

日本甲殻類学会英文誌編集委員, 2009.4.1-2009.12.31.

#### 生態・環境研究部

原 正利（部長兼環境科学研究科長）

#### 【学術論文・学術書】

Hara, M. 2010. Climatic and historical factors controlling horizontal and vertical distribution patterns of two  
sympatric beech species, *Fagus crenata* Blume and *F. japonica* Maxim., in eastern Japan. *Flora*, 205:  
161-170.

Sungpalee, W., A. Itoh, M. Kanzaki, K. Sri-ngernyuang, H. Noguchi, T. Mizuno, S. Teejuntuk, M. Hara, K.  
Chai-udom, T. Ohkubo, P. Sahunalu, P. Dhanmmanonda, S. Nanami, T. Yamakura & A. Sorn-ngai. 2009.  
Intra- and interspecific variation in wood density and fine-scale spatial distribution of stand-level wood  
density in a northern Thai tropical montane forest. *Journal of Tropical Ecology*, 25: 359-370.

#### 【学術報告書】

原 正利. 2009. 日本列島と中国の対比－植生の視点から－. *CROSSROADS*, 22 : 8-9.

窪山恵美・原 正利・菅沼孝之. 2010. 猿田神社社叢の特徴と保全上の留意点. 地球環境基金助成  
調査報告書 豊かな社叢をつくるために～社叢管理の手引き～, pp. 23-28. NPO法人社叢学会, 京  
都.

#### 【研究発表】

原 正利・平吹喜彦・竹原明秀・富田瑞樹・菅野 洋. 2010.3. 栗駒山におけるブナ自然林の20年間  
の動態. 日本生態学会第57回大会. 東京大学, 東京.

#### 【委員・社会貢献等】

鶴枝ヒメハルゼミ発生地保護協議会アドバイザー（茂原市教育委員会）. 2009.4.1-2010.3.31. 協議  
会, 2010.1.28.

松戸市立博物館協議会委員（松戸市教育委員会）, 2009.4.1-2010.3.31. 協議会, 2009.11.21.

文化財審議会委員及び歴史民俗資料館運営委員会委員（印旛村教育委員会）, 2009.4.1-2010.3.22. 委員  
会: 2009.7.1.

文化財審議会委員（印西市教育委員会）, 2010.3.23-3.31.

千葉大学大学院理学研究科客員准教授, 2009.4.1-2010.3.31.

国立歴史民俗博物館客員教授, 2009.4.1-3.-31. 会議: 2009.5.23; 6.6; 7.13; 8.26; 11.20; 2010.1.8; 2.2.

日本生態学会Ecological Research編集委員, 2009.4.1-2010.3.31.

千葉県生物学会副会長, 2009.4.1-2010.3.31. 幹事会: 2009.6.5, 11.15, 2010.2.20.

#### 生態学研究科

## 大庭照代

### 【学術論文・学術書】

- 大庭照代. 2009. 自然音の聞き分け～「ききみみずきん」. 騒音制御, 33(6) : 425-429.  
大庭照代. 2010. 自然の音体験を支援する科学技術―「ききみみずきん」が学校にやってくる日のために―. 科学技術教育, (221) : 8-10.

### 【教育普及書】

- 大庭照代. 2009. 平成21年度(2009)千葉県立中央博物館生態園観察会「鳥のさえずり」4月26日チェックリスト. 2 pp. 千葉県立中央博物館.  
大庭照代. 2009. 聞きわけよう！鳥のさえずり①シジュウカラ. しんぶん赤旗, 2009年5月6日: 10.  
大庭照代. 2009. 聞きわけよう！鳥のさえずり②アオバズク. しんぶん赤旗, 2009年5月13日: 10.  
大庭照代. 2009. 聞きわけよう！鳥のさえずり③カワセミとアカショウビン. しんぶん赤旗, 2009年5月20日: 10.  
大庭照代. 2009. 聞きわけよう！鳥のさえずり④カッコウ、ツツドリ. しんぶん赤旗, 2009年5月27日: 10.  
大庭照代. 2009. 聞きわけよう！鳥のさえずり⑤オオルリ、キビタキ. しんぶん赤旗, 2009年6月3日: 10.  
大庭照代. 2009. ちば水辺の生命, 98, カイツブリ続編①. 読売新聞(千葉県版), 2009年6月7日, 千葉2, 13版: 34.  
大庭照代. 2009. ちば水辺の生命, 99, カイツブリ続編②. 読売新聞(千葉県版), 2009年6月14日, 千葉2, 13版: 34.  
大庭照代. 2009. ちば水辺の生命, 100, カイツブリ続編③. 読売新聞(千葉県版), 2009年6月21日, 千葉2, 13版: 34.  
大庭照代. 2009. ちば水辺の生命, 101, カイツブリ続編④. 読売新聞(千葉県版), 2009年6月28日, 千葉2, 13版: 34.  
大庭照代. 2009. ちば水辺の生命, 108, 音で感じる多様性. 読売新聞(千葉県版), 2009年8月30日, 千葉2, 13版: 32.  
大庭照代. 2010. 生態園観察ノートNo.16. カイツブリ 舟田池のちいさながんばりやさん. 31 pp. 千葉県立中央博物館.  
大庭照代. 2009. 舟田池のカイツブリー小さながんばりやさん. 毎日新聞社, 毎日新聞朝刊, 2009年6月12日, イベント案内.  
大庭照代. 2009. 舟田池のカイツブリー小さながんばりやさん. エリート情報, 547号 : 1. エリート情報社, 成田市.  
大庭照代. 2010. 軽井沢さえずり減少. 朝日新聞夕刊, 2010年1月26日, 3版: 10.

### 【ウェブサイト】

- 大庭照代. 2010.3. 生態園観察ノートNo.16発行のお知らせ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.  
大庭照代. 2009.5. 生態園トピックス展「舟田池のカイツブリ」広報. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.  
大庭照代. 2009.5. 聞きわけよう！鳥のさえずり①シジュウカラ. しんぶん赤旗 ウェブサイト <http://www.jcp.or.jp.akahata.html.menu2.index.html>.  
大庭照代. 2009.5. 聞きわけよう！鳥のさえずり②アオバズク. しんぶん赤旗 ウェブサイト <http://www.jcp.or.jp.akahata.html.menu2.index.html>.  
大庭照代. 2009.5. 聞きわけよう！鳥のさえずり③カワセミとアカショウビン. しんぶん赤旗 ウェブサイト <http://www.jcp.or.jp.akahata.html.menu2.index.html>.  
大庭照代. 2009.5. "聞きわけよう！鳥のさえずり④カッコウ、ツツドリ. しんぶん赤旗 ウェブサイト <http://www.jcp.or.jp.akahata.html.menu2.index.html>.  
大庭照代. 2009.6. 聞きわけよう！鳥のさえずり⑤オオルリ、キビタキ. しんぶん赤旗 ウェブサイト <http://www.jcp.or.jp.akahata.html.menu2.index.html>.

### 【委員・社会貢献等】

- 日本サウンドスケープ協会理事, ワーキンググループ音環境調査会(耳をたよりにプロジェクト)代表. 2009.4.1-2010.3.31.

## 林 紀男

### 【学術論文・学術書】

- 林 紀男・稲森隆平・稲森悠平. 2009. 中山間地と平地の水田生態系に出現する甲殻類（鰓脚綱・顎脚綱）. 四万十・流域圏学会誌, 8(2): 37-42.
- 林 紀男・稲森隆平・岩渕成紀. 2009. 冬期湛水が水田の原生物現存量に及ぼす影響. 日本水処理生物学会誌, 45(3): 143-152.
- 林 紀男・大内 匠・稲森隆平・岩渕成紀. 2009. 水田土壌中のミジンコ休眠卵孵化率に及ぼす耕作法の影響. 千葉生物誌, 59(1): 35-38.
- 久城 圭・林 紀男・西廣 淳. 2009. 印旛沼における「高水敷の掘削」による散布体バンクからの沈水植物群落の再生. 応用生態工学会誌, 12(2): 141-147.

### 【学術報告書】

- 林 紀男・宮田直幸・尾崎保夫. 2010. 秋田の水田に見られるワムシ類. 秋田自然史研究, 57: 16-19.
- 林 紀男・岡野邦宏・尾崎保夫. 2009. 滝ノ頭（秋田県男鹿市）の浮遊微生物相. 秋田自然史研究, 56: 13-17.

### 【教育普及書】

- 林 紀男. 2009. 生態園トピックス展「アメリカザリガニ」解説書. 21pp. 千葉県立中央博物館.
- 林 紀男. 2010. 舟田池の水草復活を目指して. 中央博物館だより, (67): 8.
- 林 紀男. 2009. ちば水辺の生命, 108, タマカイエビ. 読売新聞（千葉県版）, 2009年7月19日, 千葉2, 13版: 28.

### 【研究発表】

- 林 紀男. 2009.7. ふゆみず田んぼ報告<プランクトン>. 第2回生物多様性シンポジウム. 千葉県立中央博物館, 千葉市.
- 林 紀男・久城 圭・西廣 淳. 2009.8. 印旛沼（千葉県）湖底の埋土種子から発芽させた沈水植物の系統維持. 水草研究会.山形テルサ, 山形市.
- Tomita, M., Saito, Y., Hayashi, N., Hara, K. 2009.9. Effects of landscape structures on aquatic plant species richness in the drainage basin of lake Teganuma, Japan. 15th International Symposium on Problems of Landscape Ecological Research. Institute of Landscape Ecology Slovak Academy of Sciences Bratislava, スロバキア.
- 林 紀男・富田瑞樹・齋藤康宏・原慶太郎. 2009.11. 外来水生植物ナガエツルノゲイトウ繁茂域拡大の要因. 日本水処理生物学会. 高知市文化プラザかるぼーと, 高知市.
- 大内 匠・林 紀男・稲森隆平・西村 浩・鈴木宗広・千葉圭一郎・稲森悠平. 2009.11. 生態工学技法を導入した水田管理における有機農法と従来法の比較効果解析. 日本水処理生物学会. 高知市文化プラザかるぼーと, 高知市.
- 神蔵雄生・稲森隆平・類家翔・林 紀男・西村 浩・稲森悠平. 2009.11. 有毒藍藻類Microcystis属産生ミクロキスチンの葉菜植物への影響解析. 日本水処理生物学会, 高知市文化プラザかるぼーと, 高知市.
- 呂 志江・稲森隆平・石田慶一・林 紀男・西村 浩・稲森悠平. 2009.11. 沈水植物ササバモ等の水生動物存在下の水質改善機能の評価. 日本水処理生物学会.高知市文化プラザかるぼーと, 高知市.
- 石田慶一・ 呂志江・稲森隆平・林 紀男・西村 浩・稲森悠平. 2009.11. 沈水植物オオカナダモ等の水生植物存在下における浄化機能解析. 日本水処理生物学会. 高知市文化プラザかるぼーと, 高知市.
- 稲森隆平・林 紀男・徐 開欽・稲森悠平. 2009.11. 沈水植物・フロート浄化技法の水生動物共存機能の効果解析. 日本水処理生物学会. 高知市文化プラザかるぼーと, 高知市.
- 鈴木理恵・徐 開欽・稲森隆平・林 紀男・大内山高広・稲森悠平. 2009.11. フロート式水耕栽培浄化法における沈水植物・水生動物による水質改善効果の解析. 日本水処理生物学会. 高知市文化プラザかるぼーと, 高知市.
- 林 紀男. 2009.12. 湖岸植生の再生に向けた取り組みの現状と課題. 秋田県立大学八郎湖研究会公開シンポジウム. 秋田県立大学, 秋田市.

- 村上和仁・林紀男・稲森隆平・稲森悠平・杉浦 桂. 2010.3. マイクロコズム生態系における底質改善材 (Mg・Ca) のP/R比による影響解析. 第37回土木学会関東支部技術【研究発表】会. 日本大学, 東京.
- 神蔵雄生・林 紀男・稲森隆平. 2010.3. 有毒藍藻類*Microcystis aeruginosa*産生ミクロキスティンの葉菜作物への影響解析. 第44回日本水環境学会年会. 福岡大学, 福岡市.
- 大内 匠・林 紀男・稲森隆平・稲森悠平. 2010.3. 生態工学技法を導入した水田管理における有機農法と従来法の比較効果解析. 第44回日本水環境学会年会. 福岡大学, 福岡市.
- 稲森隆平・林 紀男・徐 開欽・稲森悠平. 2010.3. 有毒ミズメイガ等捕食者水生動物の沈水植物再生復元のための存在効果機能解析評価. 第44回日本水環境学会年会. 福岡大学, 福岡市.
- 鈴木理恵・徐 開欽・林 紀男・稲森悠平. 2010.3. フロート式水耕栽培・沈水植物浄化法における季節変化を考慮した浄化機能比較解析. 第44回日本水環境学会年会. 福岡大学, 福岡市.
- 呂 志江・稲森隆平・石田慶一・林 紀男・西村 浩・稲森悠平. 2010.3. 生態工学技法としての土着沈水植物等の水生動物共存下システムの季節変遷下の浄化機能解析. 第44回日本水環境学会年会. 福岡大学, 福岡市.
- 國松 渉・三富葉子・富士啓仁・岡野邦宏・林 紀男・宮田直幸・尾崎保夫. 2010.3. 沈水植物を用いた植生浄化における植物体刈り取りの影響. 第44回日本水環境学会年会. 福岡大学, 福岡市.
- 田中仁志・池田和弘・見島伊織・柿本貴志・須藤隆一・袋 昭太・小林紀子・酒井有紀・島多義彦・武田文彦・中野和典・林 紀男・稲森隆平・稲森悠平. 2010.3. 植生浮島を用いた沈水植物群落再生試験における 動植物プランクトンおよび水質特性. 第44回日本水環境学会年会. 福岡大学, 福岡市.
- 小林紀子・酒井有希・袋 昭太・田中仁志・中野和典・林 紀男・稲森隆平・稲森悠平. 2010.3. 沈水植物の保全・再生に及ぼす魚類の影響解析. 第44回日本水環境学会年会. 福岡大学, 福岡市.
- 袋 昭太・島多義彦・田中仁志・須藤隆一・中野和典・林 紀男・稲森隆平・稲森悠平. 2010.3. 沈水植物の浄化に及ぼす懸濁性負荷・可溶性窒素、リン負荷特性解析. 第44回日本水環境学会年会. 福岡大学, 福岡市.
- 吉田耕治・久保田洋・袋 昭太・田中仁志・中野和典・林 紀男・稲森隆平・稲森悠平. 2010.3. 沈水植物のメタン発酵への適用に向けた連続発酵特性解析. 第44回日本水環境学会年会. 福岡大学, 福岡市.
- 賀数邦彦・鈴木範子・稲森隆平・林 紀男・稲森悠平. 2010.3. 水圏モデル生態系マイクロコズムに及ぼすLASのP/R比による影響解析. 第44回日本水環境学会年会. 福岡大学, 福岡市.
- 村上和仁・林 紀男・稲森隆平・稲森悠平・杉浦 桂. 2010.3. P/R 比によるマイクロコズム生態系におけるMnの影響解析. 第44回日本水環境学会年会. 福岡大学, 福岡市.
- 【ウェブサイト】.
- 林 紀男. 2010.10. 生態園トピックス展「アメリカザリガニ」広報. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 【委員・社会貢献等】
- 植生ワーキンググループ委員 (千葉県県土整備部河川環境課), 2009.4.1-2010.3.31. 印旛沼水質改善技術検討会: 2009.7.17; 2010.1.28; 3.18.
- 水生植物再生検討会委員 (千葉県環境生活部水質保全課), 2009.4.1-2010.3.31. 手賀沼水生植物再生事業検討会: 2009.6.8; 8.7; 8.18; 10.18.
- 独立行政法人国立環境研究所客員研究員, 2009.4.1-2010.3.31. 会合: 2010.1.3-4.
- 公立学校法人秋田県立大学生物資源科学部客員研究員, 2009.4.1-2010.3.31. 秋田県立大学八郎湖研究会公開シンポ: 2009.12.22.
- 国立大学法人福島大学共生システム理工学類客員研究員, 2009.4.1-2010.3.31. 講義: 2009.6.15; 7.27.
- 八郎湖研究会委員 (秋田県生活環境部環境管理課八郎湖環境対策室), 2009.4.1-2010.3.31. 会議: 2009.12.14; 2010.3.1.
- 日本水処理生物学会評議員, 編集委員, 2010.1.1-2010.3.31.
- 千葉県生物学会幹事・編集副部長. 2009.4.1-2010.3.31. 幹事会: 2009.6.5; 11.15; 2010.2.20.
- 東邦大学理学部非常勤講師 2009. 9. 1-4.

## 奥田昌明

### 【学術論文・学術書】

兼子尚知・岡崎浩子・平山 廉・高桑祐司・樽 創・伊左治鎮司・鶴飼宏明・加藤久佳・百原 新・中里裕臣・奥田昌明. 2009. 下総層群の中期更新世陸生生物化石群と古環境. デジタルブック最新第四紀学. 日本第四紀学会.

木村和也・会田信行・阿由葉 司・池田秀史・奥田昌明・香川 淳・風岡 修・楠田 隆・黒住耐二・斉藤岳由・酒井 豊・佐久間 豊・高橋康明・高島英世・楡井 久・檜山知代・古野邦雄・丸井敬司・安田敬一・吉田 剛・吉野秀夫. 2009. 千葉市中央区道場南の地下地質環境について. 第19回環境地質シンポジウム論文集, pp. 7-12. 第19回環境地質シンポジウム.

中川 毅・奥田昌明・米延仁志・三好教夫・竹村恵二. 2009. 琵琶湖の堆積物を用いたモンスーン変動の復元 —ミランコビッチ=クズバツハ仮説の矛盾と克服—. 第四紀研究, 48(3): 207-225.

### 【学術報告書】

奥田昌明. 2009. 千葉市中央区道場南チビッコ広場からのボーリングコア上部 3.85 m の花粉分析結果. 「更級日記」と池田の池 2009 報告書, 第一部 基礎科学報告, pp. 25-26. 「池田の池」復元研究会, 千葉県香取市.

### 【教育普及書】

奥田昌明. 2010. 生態園トピックス展「生態園の植物・四季の見どころ」. 中博だより, (67): 10.

### 【研究発表】

奥田昌明・中川 毅・竹村恵二. 2009.8. 花粉による琵琶湖堆積物からの古気候復元の現状と課題. 日本第四紀学会2009年大会シンポジウム「古環境変動へ貢献する湖沼堆積物研究の役割」. 滋賀県立琵琶湖博物館, 滋賀県草津市.

奥田昌明. 2009.8. 千葉市都町チビッコ広場コア、本町公園コアの花粉分析. 「池田の池」復元研究会 第3回研究成果発表会. 地球汚染・地質汚染基礎科学研究センター, 香取市.

奥田昌明. 2009.12. 「池田の池」の存在とその成り立ち; 花粉学の観点から. 千葉県の歴史と物語 観光を考えるシンポジウム (菅原孝標女は見たか、千葉の天女を). 千葉県立中央博物館, 千葉市.

### 【ウェブサイト】

奥田昌明. 2010.3. 生態園トピックス展「生態園の植物・四季の見どころ」広報. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

## 浅田正彦 (千葉県環境生活部自然保護課併任)

### 【学術論文・学術書】

Ozaki, M., K. Kaji, N. Matsuda, K. Ochiai, M. Asada, T. Ohba, E. Hosoi, H. Tado, T. Koizumi, G. Suwa and S. Takatsuki. 2009. The relationship between food habits, molar wear and life expectancy in wild sika deer populations. *Journal of Zoology*. 280:202-212.

### 【学術報告書】

浅田正彦. 2009. 千葉県におけるニホンジカの個体数推定 (2008年度). 千葉県生物多様性センター研究報告. 1:1-8. 千葉県生物多様性センター, 千葉市.

浅田正彦. 2009. 千葉県におけるニホンジカの捕獲状況および栄養状態モニタリング (2008年度). 千葉県生物多様性センター研究報告. 1:9-20. 千葉県生物多様性センター, 千葉市.

浅田正彦. 2009. 千葉県におけるキョンの分布状況と個体数推定 (2008年度). 千葉県生物多様性センター研究報告. 1:21-26. 千葉県生物多様性センター, 千葉市.

浅田正彦. 2009. 千葉県におけるキョンの栄養状態モニタリング (2008年度). 千葉県生物多様性センター研究報告. 1:27-29. 千葉県生物多様性センター, 千葉市.

浅田正彦・篠原栄里子. 2009. 千葉県におけるアライグマの個体数試算 (2009年). 千葉県生物多様性センター研究報告. 1:30-40. 千葉県生物多様性センター, 千葉市.

浅田正彦・林 薫・林 浩二. 2009. 千葉県の県管轄河川における特定外来生物緊急調査. 千葉県生物多様性センター研究報告. 1:41-47. 千葉県生物多様性センター, 千葉市.

北澤哲弥・浅田正彦. 2010. 千葉県の里山における野生鳥獣の保護管理と生態系サービス. 千葉県生物多様性セ

ンター研究報告.2:85-101.千葉県生物多様性センター, 千葉市.

【教育普及書】

浅田正彦.2009.外来種の影響.千葉県生物多様性ハンドブック 1 千葉県の生物多様性を守るために.24.千葉県生物多様性センター, 千葉市.

浅田正彦.2009.身近な自然の調べ方.千葉県生物多様性ハンドブック 1 千葉県の生物多様性を守るために.25-26.千葉県生物多様性センター, 千葉市.

浅田正彦.2009.生態園のタヌキ.友の会ニュース.(68):9.千葉県立中央博物館友の会, 千葉市.

【研究発表】

高田まゆら・鈴木 牧・落合啓二・浅田正彦・宮下 正. 2009.11. 景観構造を考慮したシカによる水稲被害発生機構の解明. 2009年度日本哺乳類学会大会. 台湾大学, 台湾, 台北市.

【委員・社会貢献等】

日本哺乳類学会 ニホンジカ保護管理検討作業部会委員

日本哺乳類学会 外来動物対策作業部会委員

八千代市 八千代市谷津・里山保全推進会議委員

農林水産省(財団法人自然環境研究センター) 平成21年度鳥獣害対策専門家育成事業検討委員会委員

房総の山のフィールド・ミュージアム

小田島高之(千葉県環境生活部自然保護課併任)

【委員・社会貢献等】

(財) リモート・センシング技術センター 衛星データ利用推進委員会委員

尾崎煙雄

【学術論文・学術書】

Maeda, Y., J. Miyamoto, K. Ozaki, M. Moriguchi & A. Kakishita. 2009. Natural distribution of *Lilium alexandrae* (Liliaceae) in Amami Islands of Ryukyu Archipelago, Japan. *Journal of phytogeography and taxonomy*, 57(2): 77-87.

尾崎煙雄. 2009. 千葉県初記録のクリイロコガネ. 千葉生物誌, 59(1): 47.

尾崎煙雄. 2010. 君津市清和でヒナノシャクジョウを確認. 千葉生物誌, 59(2): 27.

尾崎煙雄. 2010. 2009年の千葉県内におけるクロメンガタスズメの記録. 千葉生物誌, 59(2): 43-44.

斉藤明子・尾崎煙雄・盛口 満. 2009. 千葉県におけるクロマダラソテツシジミの初記録と発生初期の生息域. 月刊むし, 465: 28-32.

【学術報告書】

房総のヒメコマツ研究グループ. 2010. 平成21年度ヒメコマツ現地調査業務報告書. 36 pp. 房総のヒメコマツ研究グループ, 君津市.

【教育普及書】

尾崎煙雄. 2009. 館山でクロマダラソテツシジミを確認. 愛好会通信, (183): 4. 安房生物愛好会, 館山市.

尾崎煙雄. 2009. 三島小の土場. しいむじな, (25): 4.

尾崎煙雄. 2009. 巨大イモムシ調査中. しいむじな, (26): 4.

尾崎煙雄. 2010. ホソミオツネトンボ. しいむじな, (27): 2.

尾崎煙雄. 2010. ソテツを食うチョウ. しいむじな, (27): 4.

尾崎煙雄. 2010. アズマギク. しいむじな, (28): 2.

尾崎煙雄. 2010. ウグイスカグラ. しいむじな, (28): 4.

尾崎煙雄. 2010. 平成21年度の房総の山のフィールド・ミュージアムの活動. 中央博物館だより, (67): 9.

尾崎煙雄. 2009. ちば水辺の生命, 95, マムシ. 読売新聞朝刊, 2009年5月18日, 千葉2, 13版: 24.

尾崎煙雄. 2010. ちば水辺の生命, 126, ホソミオツネトンボ. 読売新聞朝刊, 2010年1月17日, 千葉2, 13版: 24.

斉藤明子・尾崎煙雄. 2010. 千葉県で見つかったクロマダラソテツシジミ. 中央博物館だより, (67): 6.



【研究発表】

尾崎煙雄. 2009.10. 房総の山のフィールド・ミュージアムについて.千葉県博物館協会研修会シンポジウム 美術館・博物館が地域にできること. 千葉県立中央博物館, 千葉市.

遠藤良太・池田裕行・鈴木祐紀・尾崎煙雄・藤平量郎. 2009.10. 房総半島産ヒメコマツつぎ木苗の種子生産状況. 第61回日本森林学会関東支部大会. 国立女性教育会館, 埼玉県嵐山町.

尾崎煙雄. 2010.3. 房総のヒメコマツの現状. 房総のヒメコマツシンポジウム. 千葉県立中央博物館, 千葉市.

【ウェブサイト】

尾崎煙雄. 2009.4.1. 教室博日記No.663 ウワミズザクラ1. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.4.6. 教室博日記No.664 ウワミズザクラ2. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.4.11. 教室博日記No.665 ウワミズザクラ3. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.4.12. 教室博日記No.666 コガシラコバネナガカメムシ1. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.4.14. 教室博日記No.667 ウワミズザクラ4. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.4.14. 教室博日記No.668 コガシラコバネナガカメムシ2. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.4.15. 教室博日記No.669 ウワミズザクラ5. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.4.16. 教室博日記No.671 ウワミズザクラ6. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.4.17. 教室博日記No.672 ウワミズザクラ7. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.4.19. 教室博日記No.673 ウワミズザクラ8. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.4.21. 教室博日記No.674 イヌザクラ1. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.4.24. 教室博日記No.678 コガシラコバネナガカメムシ3. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.4.26. 教室博日記No.679 ウワミズザクラ9. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.4.30. 教室博日記No.681 イヌザクラ2. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.5.3. 教室博日記No.682 シロマダラの幼蛇. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.5.3. 教室博日記No.683 タヌキのため糞. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.5.8. 教室博日記No.685 シラホシコヤガ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.5.8. 教室博日記No.686 三島小の土場1. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.5.15. 教室博日記No.691 ヒメマルカツオブシムシ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.5.18. 教室博日記No.693 ウワミズザクラ10. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.5.22. 教室博日記No.696 三島小の土場2. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.5.22. 教室博日記No.697 ヒゲナガクロハバチ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.5.24. 教室博日記No.698 クリ1. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.5.27. 教室博日記No.700 コマルハナバチの盗蜜. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.5.29. 教室博日記No.701 クリ2. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.6.1. 教室博日記No.704 アリ塚. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.6.2. 教室博日記No.706 カルガモの巣. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.6.9. 教室博日記No.708 アマガエルがたくさん. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.6.9. 教室博日記No.709 ゴマダラオトシブミ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.6.12. 教室博日記No.710 三島小の土場3. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.6.17. 教室博日記No.711 オオイシアブ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.6.18. 教室博日記No.712 ビロードハマキ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.6.23. 教室博日記No.714 クサギカメムシ幼虫日記. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

尾崎煙雄. 2009.6.26. 教室博日記No.715 オオモンクロベッコウ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

- 尾崎煙雄. 2009.6.26. 教室博日記No.716 三島小の土場4. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.7.1. 教室博日記No.720 コハクオナジマイマイ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.7.3. 教室博日記No.721 三島小の土場5. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.7.6. 教室博日記No.722 ウワミズザクラ1 1. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.7.15. 教室博日記No.724 ゴボウの花. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.7.16. 教室博日記No.725 マユタテアカネ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.7.18. 教室博日記No.727 蛾の誘惑1. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.7.19. 教室博日記No.728 セスジスズメ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.7.20. 教室博日記No.729 ウバユリ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.7.20. 教室博日記No.730 ウワミズザクラ1 2. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.7.26. 教室博日記No.731 ウワミズザクラ1 3. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.7.28. 教室博日記No.732 ヒメマイマイカブリ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.7.29. 教室博日記No.733 蛾の誘惑2. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.8.1. 教室博日記No.736 虫こぶ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.8.7. 教室博日記No.737 三島小の土場6. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.8.7. 教室博日記No.738 オオゴキブリ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.8.11. 教室博日記No.743 クワカミキリ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.8.11. 教室博日記No.744 蛾の誘惑3. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.8.11. 教室博日記No.745 ウワミズザクラ14. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.8.20. 教室博日記No.746 ツクツクホウシタケ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.8.26. 教室博日記No.747 ヒナノシヤクジョウ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.8.27. 教室博日記No.748 クロメンガタスズメ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.9.3. 教室博日記No.750 アヤニジュウシトリバ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.9.3. 教室博日記No.751 ヘクソカズラの虫こぶ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.9.4. 教室博日記No.752 稲穂にゴマダラカミキリ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.9.9. 教室博日記No.754 秋のハナダカバチ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.9.10. 教室博日記No.755 コアオハナムグリ1. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.9.11. 教室博日記No.756 トラマルハナバチ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.9.24. 教室博日記No.760 コアオハナムグリ2. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.9.26. 教室博日記No.761 タラノキの花. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.9.26. 教室博日記No.762 ウワミズザクラ15. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.10.4. 教室博日記No.763 ミョウガの実. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.10.15. 教室博日記No.766 ハラビロカマキリ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.10.16. 教室博日記No.767 ケバエの幼虫. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.10.16. 教室博日記No.768 クロヤツシロラン. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.10.19. 教室博日記No.770 チュウレンジ幼虫日記. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

- 尾崎煙雄. 2009.10.21. 教室博日記No.771 チャノキの花. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.11.3. 教室博日記No.772 ワスレナグモの調査. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.11.9. 教室博日記No.774 ツマグロオオヨコバイ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.11.10. 教室博日記No.775 ゴボウの花. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.11.16. 教室博日記No.776 ホソヘリカメムシ幼虫. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.11.18. 教室博日記No.777 ヨコヅナサシガメ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.11.18. 教室博日記No.778 ヒガンバナの葉. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.11.28. 教室博日記No.781 ナナホシテントウ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.11.28. 教室博日記No.782 ベニバナボロギク. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.12.4. 教室博日記No.783 キマワリの幼虫. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.12.9. 教室博日記No.784 ヒメコマツに予防注射. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2009.12.18. 教室博日記No.786 跳ねるウジ虫. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2010.1.13. 教室博日記No.790 マゴジャクシ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2010.1.15. 教室博日記No.791 モクレイシの実. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2010.1.15. 教室博日記No.792 真冬のドイカミキリ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2010.1.20. 教室博日記No.793 ヨコヅナサシガメ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2010.2.17. 教室博日記No.799 ヒガンバナの葉2. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2010.2.18. 教室博日記No.800 ウグイスカグラ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2010.2.19. 教室博日記No.801 ナナホシテントウ2. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2010.2.19. 教室博日記No.802 ヌマガエル. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2010.2.26. 教室博日記No.803 コウモリバエ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2010.3.4. 教室博日記No.806 アオモジ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2010.3.4. 教室博日記No.807 ウグイスカグラ2. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2010.3.5. 教室博日記No.808 ヒメウス. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2010.3.5. 教室博日記No.809 アオオビハエトリ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2010.3.10. 教室博日記No.810 ハクモクレン. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2010.3.11. 教室博日記No.811 ハクモクレン2. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2010.3.12. 教室博日記No.812 タマムシ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2010.3.12. 教室博日記No.813 ネコヤナギの花に来る虫. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2010.3.13. 教室博日記No.814 ハクモクレン3. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2010.3.20. 教室博日記No.815 ミツマタ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2010.3.20. 教室博日記No.816 シマヘビ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2010.3.26. 教室博日記No.817 ショカツサイ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2010.3.26. 教室博日記No.819 ネコヤナギの花. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 尾崎煙雄. 2010.3.27. 教室博日記No.820 ウグイスカグラ3. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 【委員・社会貢献等】**
- 千葉県ヒメコマツ保全協議会委員(千葉県環境生活部自然保護課), 2009.4.1-2010.3.31. 協議会: 2009.7.16; 11.9; 2010.2.10.
- 君津市博物館基本構想検討委員(君津市教育委員会), 2009.4.1-2010.3.31. 委員会: 2009.7.2; 10.20; 2010.2.8.
- 環境省モニタリングサイト1000里地調査検討委員(財団法人日本自然保護協会), 2009.4.1-2010.3.31. 委員会: 2009.5.14; 7.19; 9.6; 10.1; 2010,2,4; 2.28.

千葉県生物学会幹事・編集部委員, 2009.4.1-2010.3.31.幹事会・総会: 2009.6.5; 2010.2.20.

## 島立理子

### 【教育普及書】

- 島立 理子. 2009. 「おばあちゃんの畑」が結ぶ人と知恵. 文化庁月報, (489): 30.  
島立 理子. 2009. 七年目の「しいむじな」. しいむじな, (25): 1.  
島立 理子. 2009. 2年目の「おばあちゃんの畑」. しいむじな, (25): 4.  
島立 理子. 2009. 「ホウキグサ」ふたつ. しいむじな, (26): 4.  
島立 理子. 2010. 「おばあちゃんの畑」プロジェクトのお十夜～「畑」からうまれた人の輪～. しいむじな, (27): 1.  
島立 理子. 2010. 古文書の中のシシキリマチ. しいむじな, (27): 4.  
島立 理子. 2010. 麦踏み. しいむじな, (28): 4.

### 【ウェブサイト】

- 島立理子. 2009.5.30. 教室博日記No.703 「千葉旭」の田植え. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.  
島立理子. 2009.9.2. 教室博日記No.749 藁の扱い方. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.  
島立理子. 2009.9.6. 教室博日記No.753 棒術のけいこはじめ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.  
島立理子. 2010.2.5. 教室博日記No.796 やまおやじ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

### 【委員・社会貢献等】

野田市史編さん委員会専門員調査研究員 (野田市史編さん委員会), 2009.4.1-2010.3.31.

## 大木淳一

### 【学術論文・学術書】

Watanabe, N., T. Itaya, J. Ohki and K. Shuto. 2009. Middle Miocene back-arc volcanism in the Tappi-zaki area, Northeast Japan arc: plagioclase K-Ar age constraints. Sci. Rep., Niigata Univ.(Geology), (24): 91-108.

### 【教育普及書】

- 大木淳一. 2009. ちば水辺の生命, 96, ニホンアカガエル. 読売新聞朝刊, 2009年5月24日, 千葉2, 13版: 28.  
大木淳一. 2009. 生きものつながり雑学コーナー「クロオオアリ」. 私たちの自然 (547): 11.  
大木淳一. 2009. 田んぼのジャンボタニシ. しいむじな, (25): 4.  
大木淳一. 2009. 枝に刺さった生きものたちの謎を追う. しいむじな, (26): 1.  
大木淳一. 2009. 山が燃える… . しいむじな, (26): 4.  
大木淳一. 2009. 生きものつながり雑学コーナー「トゲアリ」. 私たちの自然, (551): 11.  
大木淳一. 2009. 写真のえほん8「たんぼのおばけタニシ」. 32pp. そうえん社, 東京.  
大木淳一. 2010. はやにえ速報. しいむじな, (27): 4.  
大木淳一. 2010. ヒメツチハンミョウよ, おまえもか! しいむじな, (28): 4.  
大木淳一. 2010. 水辺の生きもの事情1「真冬に幻のカエル探し」 しんぶん赤旗, 2010年2月5日: 10, 日本共産党中央委員会.  
大木淳一. 2010. 水辺の生きもの事情2「アカガエル産卵前線北上中」 しんぶん赤旗, 2010年2月12日: 10, 日本共産党中央委員会.  
大木淳一. 2010. 水辺の生きもの事情3「アカガエルの受難」 しんぶん赤旗, 2010年2月19日: 10, 日本共産党中央委員会.  
大木淳一. 2010. 水辺の生きもの事情4「変わりゆく田んぼの原風景」 しんぶん赤旗, 2010年2月26日: 10, 日本共産党中央委員会.  
山口 剛・大木淳一. 2010. 生き物の世界を覗こう 身近な昆虫、アリを観察してみよう. 私たちの自然, 51(553): 16-17. 日本鳥類保護連盟, 東京都杉並区.

### 【ウェブサイト】

- 大木淳一. 2009.4.15. 教室博日記 No.670 トゲアリの巣って. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.  
大木淳一. 2009.4.22. 教室博日記 No.675 アオガエルの卵1ーシュレーゲルアオガエル, 千葉県立中央博物館ウェブサイト

- 大木淳一. 2009.4.22. 教室博日記 No.676 アオガエルの卵2ーモリアオガエル. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2009.4.22. 教室博日記 No.677 アオガエルの卵3ーカジカガエル. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2009.5.8. 教室博日記 No.684 クロオオアリのお引っ越し. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2009.5.10. 教室博日記 No.687 今日は『地質の日』. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2009.5.10. 教室博日記 No.688 ミカドオオアリの結婚飛行. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2009.5.15. 教室博日記 No.692 賢い蜂か臆病蜂か?. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2009.5.20. 教室博日記 No.694 泳げないモリアオオタマ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2009.5.25. 教室博日記 No.699 7mmの旅立ち. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2009.5.29. 教室博日記 No.702 フキにピンク. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2009.6.1. 教室博日記 No.705 おばけタニシだ!. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2009.6.5. 教室博日記 No.707 おばけタニシの卵が…!. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2009.6.20. 教室博日記 No.713 おばけタニシが夕方一斉に産卵!. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2009.6.29. 教室博日記 No.718 親グモの背中に子グモをのせて…!. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2009.6.29. 教室博日記 No.719 アメンボ恐るべし. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2009.7.7. 教室博日記 No.723 かわいい…!. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2009.7.16. 教室博日記 No.726 ミドリガメだ…!. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2009.7.30. 教室博日記 No.734 アリも逃げる. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2009.7.31. 教室博日記 No.735 山が燃える…!. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2009.8.8. 教室博日記 No.741 マントル昆布. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2009.9.15. 教室博日記 No.758 自然のトロフィー. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2009.9.19. 教室博日記 No.759 今年の秋もピンク色…!. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2009.10.6. 教室博日記 No.764 九十九里にもクロメンガタスズメ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2009.10.7. 教室博日記 No.765 今度は緑のクロメンガタスズメ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2009.10.16. 教室博日記 No.769 ト.ゲアリのお引っ越し?. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2009.11.6. 教室博日記 No.773 がんばれ、ト.ラツグミ!. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2009.11.27. 教室博日記 No.779 モズのはやにえ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2009.11.28. 教室博日記 No.780 カメムシが刺さってる!. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2009.12.17. 教室博日記 No.785 ヤンマタケだ!. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2009.12.25. 教室博日記 No.787 オオキンカメムシのはやにえだ!. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2009.12.25. 教室博日記 No.788 ヒメツチハンミョウも…!. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2010.1.8. 教室博日記No.789 ヒメツチハンミョウがない!. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2010.1.22. 教室博日記No.794 ミミズは引っかける. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 大木淳一. 2010.1.29. 教室博日記No.795 ミミズの丸干しのお味は?. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

- 大木淳一. 2010.2.9. 教室博日記 No.797 メスも大変だ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.  
 大木淳一. 2010.2.17. 教室博日記 No.798 イカル群れ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.  
 大木淳一. 2010.2.26. 教室博日記 No.804 タゴガエルも繁殖シーズンだ!. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.  
 大木淳一. 2010.3.3. 教室博日記 No.805 タゴガエルの卵だ!. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.  
 大木淳一. 2010.3.26. 教室博日記 No.818 田んぼに白い泡. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.

## 江口誠一

### 【学術論文・学術書】

- Eguchi, S., N. Okada, S. Siripatanadilok & T. Veenin. 2009. Opal phytolith fossils in the soil of tropical seasonal forest in Sakaerat, northeast Thailand. *Proceedings of the FORTROP II: Tropical Forestry Change in a Changing World*, 5: 149-156.  
 江口誠一・河野樹一郎. 2009. 第四紀の生物群 植物珪酸体. デジタルブック最新第四紀学. 日本第四紀学会, 東京.

### 【教育普及書】

- 江口誠一. 2009. よみがえりの草. *しいむじな*, (25): 4.  
 江口誠一. 2009. トウジ垣. *しいむじな*, (26): 4.  
 江口誠一. 2010. 天上の水辺. *しいむじな*, (27): 4.  
 江口誠一. 2010. 房総丘陵の町を探る. *しいむじな*, (28): 1.  
 江口誠一. 2010. 味な井戸. *しいむじな*, (28): 4.  
 江口誠一. 2010. 館のない博物館から(26)蕁糸のゆくえ. *館報せいわ*, (334): 4. 君津市清和公民館, 君津市.  
 江口誠一. 2009. ちば水辺の生命, 97, コウボウシバ. *読売新聞朝刊*, 2009年5月31日, 千葉2, 13版: 34.  
 江口誠一. 2010. ちば水辺の生命, 125, ケヤキ. *読売新聞朝刊*, 2010年1月10日, 千葉2, 13版: 24.

### 【研究発表】

- 江口誠一・岡田直紀・S. Siripatanadilok・T. Veenin. 2009.6. タイ東北部サケラートにおける熱帯季節林下の植物珪酸体. 第19回日本熱帯生態学会年次大会. 大阪市立大学, 大阪市.  
 江口誠一・岡田直紀・S. Siripatanadilok・T. Veenin. 2009.7. 東北タイにおける熱帯季節林下の植物珪酸体化石群. 日本文化財科学会第26回大会. 名古屋大学, 名古屋市.  
 江口誠一・岡田直紀・S. Siripatanadilok・T. Veenin. 2009.10. タイ東北部サケラートにおける熱帯季節林下の植物珪酸体化石群. 日本地理学会2009年秋期学術大会. 琉球大学, 沖縄県西原町.  
 江口誠一・岡田直紀・S. Siripatanadilok・T. Veenin. 2009.11. 東北タイ各地域の表層部より産出した植物珪酸体化石群. 第24回日本植生史学会大会. 熊本大学, 熊本市.  
 岡田直紀・江口誠一・S. Siripatanadilok・T. Veenin. 2010.2. Opal phytolith fossils as a key to the past vegetation changes of seasonal forests in Thailand. *Agenda of The 1st Sakaerat Researchers' Meeting*. サケラート環境研究ステーション, タイ・ナコンラチャシマ.

### 【ウェブサイト】

- 江口誠一. 2009.4.27. 教室博日記No.680 コウボウシバ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.  
 江口誠一. 2009.5.10. 教室博日記No.689 シオクグ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.  
 江口誠一. 2009.5.10. 教室博日記No.690 アシハラガニ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.  
 江口誠一. 2009.5.22. 教室博日記No.695 オニスゲ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.  
 江口誠一. 2009.6.26. 教室博日記No.717 国境の社. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.  
 江口誠一. 2009.8.7. 教室博日記No.739 キビ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.  
 江口誠一. 2009.8.7. 教室博日記No.740 マテバシイ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.  
 江口誠一. 2009.8.9. 教室博日記No.742 アブラゼミ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.  
 江口誠一. 2009.9.11. 教室博日記No.757 ナガノギイネ. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.  
 江口誠一. 2009.5. 観察会・見学会の記録. 小櫃川をのぼる1. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.  
 江口誠一. 2009.8. 観察会・見学会の記録. 小櫃川をのぼる2. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.  
 江口誠一. 2009.9. 観察会・見学会の記録. 山の学校6 6初秋の里の生きもの. 千葉県立中央博物

館ウェブサイト。

- 江口誠一. 2009.11. 観察会・見学会の記録. 小櫃川をのぼる3. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 江口誠一. 2009.12. 観察会・見学会の記録. 山の学校69冬の山の生きもの. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 江口誠一. 2010.1. 観察会・見学会の記録. 房総丘陵の町を探る. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 江口誠一. 2010.2. 観察会・見学会の記録. 小櫃川をのぼる4. 千葉県立中央博物館ウェブサイト.
- 江口誠一. 2009.7. しいむじなメールNo.64ニュース. カラムシ工作. 千葉県立中央博物館メールマガジン.
- 江口誠一. 2009.8. しいむじなメールNo.65ニュース. カボチャの収穫. 千葉県立中央博物館メールマガジン.
- 江口誠一. 2009.10. しいむじなメールNo.67ニュース. 珍品種の脱穀. 千葉県立中央博物館メールマガジン.
- 江口誠一. 2009.12. しいむじなメールNo.69ニュース. 嵐の収穫祭. 千葉県立中央博物館メールマガジン.
- 【委員・社会貢献等】
- 大学非常勤講師. 2009.6.9, 6.19, 7.1, 8.19, 8.25, 8.27, 8.31. 千葉大学理学部. ナチュラルヒストリー. 千葉県立中央博物館, 千葉市.
- 日本植生史学会第7期役員・会計監査, 2009.10.1-2010.3.31. 総会: 2009.11.8.

## 環境科学研究科

### 落合啓二

#### 【学術論文・学術書】

- Ochiai, K. 2009. *Muntiacus reevesi* (Ogilby, 1839). In Ohdachi, S. D., Y. Ishibashi, M. A. Iwasa and T. Saitoh (eds.), *The Wild Mammals of Japan*, pp. 299-300. Shoukadoh Book Sellers, Kyoto and the Mammalogical Society of Japan, Tokyo.
- Ochiai, K. 2009. *Capricornis crispus* (Temminck, 1845). In Ohdachi, S. D., Y. Ishibashi, M. A. Iwasa and T. Saitoh, (eds.), *The Wild Mammals of Japan*, pp. 306-309. Shoukadoh Book Sellers, Kyoto and the Mammalogical Society of Japan, Tokyo.
- Matsuo, R. & K. Ochiai. 2009. Dietary overlap among two introduced and one native sympatric carnivore species, the raccoon, the masked palm civet, and the raccoon dog, in Chiba Prefecture, Japan. *Mammal Study*, 34: 187-194.
- Ozaki, M., K. Kaji, N. Matsuda, K. Ochiai, M. Asada, T. Ohba, E. Hosoi, H. Tado, T. Koizumi, G. Suwa & S. Takatsuki. 2010. The relationship between food habits, molar wear and life expectancy in wild sika deer populations. *Journal of Zoology*, 280: 202-212.
- 永田純子・落合啓二. 2009. 千葉県における昭和20年代のイノシシ頭骨をもちいた遺伝解析: 近年のイノシシ個体群との比較. *野生生物保護*, 12: 27-31.

#### 【教育普及書】

- 落合啓二. 2009. ちばの野生動物 —アナグマ—. シティライフ外房東金版, No.101 (4月25日号): 4. シティライフ株式会社, 市原市.
- 落合啓二. 2009. ちばの野生動物 —タヌキ—. シティライフ外房長生夷隅版, No.664 (5月30日号): 2. シティライフ株式会社, 市原市.
- 落合啓二. 2009. ちばの野生動物 —タヌキ その2—. シティライフ外房中央版, No. 674 (7月11日号): 4. シティライフ株式会社, 市原市.
- 落合啓二. 2009. ちばの野生動物 —イヌ・ネコ—. シティライフ外房長生夷隅版, No. 676 (7月25日号): 3. シティライフ株式会社, 市原市.
- 落合啓二. 2009. ちばの野生動物 —ヒナユモリ—. シティライフ市原版, No. 976 (8月1日号): 3. シティライフ株式会社, 市原市.
- 落合啓二. 2009. ちば水辺の生命, 107, ニホンカワウソ. 読売新聞 (千葉県版), 2009年8月9日, 千葉2, 13版: 26.

#### 【研究発表】

高田まゆら・鈴木 牧・落合啓二・浅田正彦・宮下 正. 2009.11. 景観構造を考慮したシカによる  
水稻被害発生機構の解明. 2009年度日本哺乳類学会大会. 台湾大学, 台湾, 台北市.

【委員・社会貢献等】

千葉県特定鳥獣保護管理計画（ニホンジカ）策定検討会委員・作業部会委員（千葉県環境生活部自然  
保護課）, 2009.4.1-2010.3.31. 検討会・作業部会: 2009.7.13; 2010.1.22.

千葉県特定外来生物（アカゲザル）防除実施計画策定検討会委員・作業部会委員（千葉県環境生活部  
自然保護課）, 2009.4.1-2010.3.31. 検討会・作業部会: 2009.7.29; 12.22.

千葉県特定外来生物（アライグマ）対策検討会副会長・作業部会委員（千葉県環境生活部自然保護課）,  
2009.4.1-2010.3.31. 検討会・作業部会: 2009.9.10.

千葉県特定外来生物（キョン）防除実施計画策定検討会副会長・作業部会委員（千葉県環境生活部自  
然保護課）, 2009.4.1-2010.3.31. 検討会・作業部会: 2010.3.24.

千葉県レッドデータブック改訂委員会委員, 千葉県環境生活部自然保護課, 2008.3.-, 平成21年度千葉県レ  
ッドデータブック改訂委員会: 2009.4.24; 10.29; 2010.1.23; 3.12.

希少野生動植物種保存推進員（環境省自然保護局）, 2009.7.1-2010.3.31.

日本哺乳類学会シカ保護管理検討作業部会委員, 2009.4.1-2010.3.31.

## 大野啓一

【学術報告書】

大野啓一. 2009. 北総にアマゾンチカガミが帰化. 千葉県植物誌資料, 25: 238-241.

大橋春香・星野義延・大野啓一. 2009. 奥多摩地方におけるシカの過密度化と植物群落の変化. 植  
生情報, 13: 79-82.

【教育普及書】

大野啓一. 2009. 植生学をもっと面白く. 植生情報, (13): 11-14.

大野啓一. 2009. 9月の柳絮—「奥鬼怒自然歩道と土呂部のススキ草地」から—. 友の会ニュース,  
(68): 4-5.

大野啓一. 2010. 書評『日本樹木誌1』. フェノロジー研究, (45): 25.

【研究発表】

大野啓一. 2009.11. 琉球と台湾の亜熱帯照葉樹林とその温度領域の対比. 植生学会第14回大会. 鳥  
取大学, 鳥取市.

【委員・社会貢献等】

千葉県文化財課・香取市教育委員会. 天然記念物の現状変更許可に関わる植生調査と評価 調査員.  
2009.10.22.

我孫子市環境審議会委員（我孫子市）, 2010.1.27-2010.3.31. 審議会: 2010.2.26.,

我孫子市岡発戸新田地区エコアップ懇談会委員（我孫子市）. 懇談会: 2009.10.7; 2010.3.12.

自然環境保全基礎調査植生調査ブロック調査会議委員（環境省）.

植生学会運営委員、編集委員、企画委員, 2009.4.1-2010.3.31. 運営委員会、編集委員会、企画委員会:  
2009.10.31.

千葉県生物学会幹事・総務副部長. 2009.4.1-2010.3.31.

フェノロジー研究会事務局、編集委員長, 2009.4.1-2010.3.31.

## 由良 浩

【教育普及書】

由良 浩. 2010. 書評「海から来た植物—黒潮が運んだ花たち—」. フェノロジー研究, (45): 29-30.

由良 浩. 2010. 本当の「観察」. 授業ですぐ使える! 「自然観察ワークシート集」, p. 75. 自然観察  
指導プログラム開発委員会発行, 千葉市.

由良 浩. 2009. ちば水辺の生命, 104, ガクアジサイ. 読売新聞（千葉県版）, 2009年7月19日, 千葉  
2, 13版: 26.

【委員・社会貢献等】

千葉県行徳内陸性湿地再整備検討協議会委員（千葉県環境生活部自然保護課）, 2009.4.1-2010.3.31. 協  
議会: 2010.3.16.

成東・東金食虫植物群落保護検討会作業部会委員（山武市教育委員会）, 2009.4.1-2010.3.31. 作業部会:



2009.4.30. 検討会: 2009.11.19.

## 林 浩二

### 【学術報告書】

浅田正彦・林 薫・林 浩二. 2009. 千葉県の県管轄河川における特定外来生物緊急調査. 千葉県生物多様性センター研究報告, (1): 41-47.

### 【教育普及書】

林 浩二. 2009. オニバスと佐原のナガバコウホネ. 千葉県立中央博物館友の会ニュース, (68): 7.

林 浩二. 2009. 学びとは、バラバラなことがつながる快感. 第2回つなぐ人フォーラム実施報告書, p.42. 第2回つなぐ人フォーラム実行委員会・(財)キープ協会, 山梨県北杜市.

林 浩二. 2010. ちば水辺の生命, 136, オオガハス. 読売新聞(千葉県版), 2010年3月28日, 千葉2, 13版: 32.

### 【研究発表】

林 浩二. 2009.7. 「環境保全活動・環境教育推進法」の改正を考える. 日本環境教育学会第20回大会. 東京農工大学, 東京都府中市..

### 【委員・社会貢献等】

日本環境教育学会運営委員, 2009.4.1-2013.3.31. 運営委員会, 常任運営委員会: 2009.5.24; 7.24; 12.13; 2010.2.28; 3.22.

日本生態学会生態学教育専門委員会委員, 2009.4.1-2010.3.31. 委員会: 2009.12.9

水草研究会幹事, 2009.4.1-2011.3.31.

## 山口 剛

### 【教育普及書】

山口 剛・大木淳一. 2010. 生き物の世界を覗こう 身近な昆虫、アリを観察してみよう. 私たちの自然, 51(553): 16-17. 日本鳥類保護連盟, 東京都杉並区.

山口 剛. 2010. よりわかりやすい自由研究にするために. 千葉県児童生徒・教職員科学作品展 科学の種 科学自由研究のすすめ, p. 2. 千葉県総合教育センター, 千葉市.

### 【研究発表】

山口 剛. 2009.11. アリの飛降り. 日本動物行動学会第28回大会. 筑波大学, つくば市.

## 環境教育研究科

### 白井 豊

#### 【教育普及書】

白井 豊. 2009. おわりに. In 西川博孝・桑原和之(編), 平成21年度千葉県立中央博物館大利根分館収蔵品展「水辺の野鳥たち」, 展示解説書, p7. 千葉県立中央博物館大利根分館, 香取市.

白井 豊・中村俊彦. 2010. 東京湾のかつての干潟の風景と里海. 東京湾学会誌3(2): 32-33.

白井 豊・高梨俊夫・中村俊彦(編). 2009. 千葉県立中央博物館開館20周年記念シンポジウム 自然系博物館のこれから! 21pp. 千葉県立中央博物館.

#### 【研究発表】

桑原和之・白井 豊. 2010.3. バイオマスの取組を広報いたしましたー千葉県産木質プラスチック素材を使った環境教育ー. 千葉県木質バイオマス新用途開発プロジェクト木質プラスチック部会. 平成21年度木質プラスチック部会. 千葉県産業支援技術研究所天台庁舎, 千葉市.

#### 【委員・社会貢献等】

房総石造文化財研究会常任幹事, 2009.4.1-2010.3.31. 定期総会, 2009.4.25. 新年懇談会, 2010.1.27.

## 桑原和之

### 【学術論文・学術書】

桑原和之. 2010. シギ・チドリ類. 野生動物保護の事典, 497-502. 朝倉書店, 東京.

### 【学術報告書】

平田豊治・桑原和之. 2009. 野田山ラインセンサス結果2008年 石川野鳥年鑑2008, pp. 99-100. 日本野鳥の会石川支部, 金沢.

【教育普及書】

- 桑原和之. 2009. ちば水辺の生命, 90, ヨシゴイ. 読売新聞(千葉県版), 2009年4月12日, 千葉2, 13版.
- 桑原和之. 2009. ちば水辺の生命, 91, オオバン. 読売新聞(千葉県版), 2009年4月19日, 千葉2, 13版.
- 桑原和之. 2009. ちば水辺の生命, 92, ミユビシギ. 読売新聞(千葉県版), 2009年4月26日, 千葉2, 13版.
- 桑原和之. 2009. ちば水辺の生命, 93, コブハクチョウ. 読売新聞(千葉県版), 2009年5月3日, 千葉2, 13版.
- 桑原和之. 2009. ちば水辺の生命, 94, シロエリオオハム. 読売新聞(千葉県版), 2009年5月10日, 千葉2, 13版.
- 桑原和之. 2009. 日本で越冬するシギ・チドリたち. *Birder*, 23(11): 43.
- 桑原和之. 2009. チュウシャクシギ. 私たちの自然, 50(546): 12-13.
- 桑原和之. 2009. 生きもののつながり雑学コーナー, ゴイサギ. 私たちの自然, 50(548): 18.
- 桑原和之. 2009. 水田に飛来するシギ・チドリ類. 私たちの自然, 50(549): 8-10.
- 桑原和之. 2010. タゲリ. 私たちの自然, 51(553): 14-15.
- 桑原和之. 2010. 野鳥の撮影をする前に. 生命のにぎわい調査団生命のにぎわい通信, (11): 1.
- 西川博孝・桑原和之(編). 2009. 平成21年度千葉県立中央博物館大根分館収蔵品展「水辺の野鳥たち」, 展示解説書. 8 pp. 千葉県立中央博物館大根分館, 香取市.

【研究発表】

- 桑原和之・箕輪義隆・小田島高之・長島 充. 2009.9. 利根川下流域におけるシギ・チドリ類の生息状況. 日本鳥学会2009年度大会. 北海道大学, 函館市.
- 桑原和之・箕輪義隆・小田島高之. 2009.11. 2003年4月5日, 利根川下流に飛来したハイロヒレアシシギ. 2009年度モニタリングサイト1000 海域・干潟分野シギ・チドリ類個体数モニタリング調査 モニタリングサイト交流会. 沖縄県市町村自治会館, 那覇市.
- 桑原和之・箕輪義隆・長屋ゆみ子・佐藤達夫. 2009.11. 千葉県のシロチドリの繁殖状況, 2008-2009年. 2009年度モニタリングサイト1000 海域・干潟分野シギ・チドリ類個体数モニタリング調査 モニタリングサイト交流会. 沖縄県市町村自治会館, 那覇市.
- 桑原和之. 2009.12. 資料を展示するのは簡単ではありません. 生物多様性市民企画展示のふりかえりフォーラム. 千葉県立中央博物館, 千葉市.
- 桑原和之・白井 豊. 2010.3. バイオマスの取組を広報いたしましたー千葉県産木質プラスチック素材を使った環境教育ー. 千葉県木質バイオマス新用途開発プロジェクト木質プラスチック部会. 平成21年度木質プラスチック部会. 千葉県産業支援技術研究所天台庁舎, 千葉市.

【委員・社会貢献等】

- 千葉県レッドデータブック改訂委員会委員(千葉県環境生活部自然保護課), 2009.4.1-2010.3.31. 平成21年度千葉県レッドデータブック改訂委員会: 2009.4.24; 10.29; 2010.1.10; 3.12.
- 三番瀬環境学習施設等検討委員会委員(千葉県環境生活部環境政策課温暖化対策推進室), 2009.4.1-2010.3.31. 第10・11回三番瀬環境学習施設等検討委員会会議: 2009.7.31; 10.28.
- 平成21年度千葉市平和公園オオタカ生息環境保全検討委員(千葉市衛生局), 2008.4.1-2010.3.31.
- 環境省委託鳥類標識調査協力員(環境省), 2009.4.1-2010.3.31.
- 希少野生動植物種保存推進員(環境省), 2009.4.1-2010.3.31.
- 環境省モニタリングサイト1000シギ・チドリ類調査解析ワーキンググループ会合検討委員会委員, バードリサーチ(環境省), 2009.4.1-2010.3.31. 検討委員会: 2009.11.14.
- 平成21年度千葉市平和公園オオタカ生息環境保全検討委員(千葉市衛生局), 2008.4.1-2010.3.31.
- 水鳥類重要渡来地鳥類生息状況調査調査員(財団法人日本鳥類保護連盟), 2009.3.1-2010.3.2.

倉西良一

【学術論文・学術書】

- Sluys, R., I. Smolders, M. Kawakatsu, T.W. Pietsch & R.B. Kuranishi. 2009. Freshwater planarians from the Kuril Islands and Kamchatka (Platyhelminthes, Tricladida). *Species Diversity*, 14(4): 307-322.
- 倉西良一・酒井 周. 2010. 伊豆大島で採集されたトビケラ目昆虫. *兵庫陸水生物*, 61: 35-39.

Sluys, R.・I. Smolders・川勝正治・T.W. Pietsch・倉西良一. 2010. 千島列島とカムチャツカ半島産の淡水生三岐腸類. タクサ, 28: 65.

【学術報告書】

Kuranishi, R.B. 2009. The current status of distribution and proliferation of the alien species *Crangonyx floridanus* Bousfield, with has invaded in the Tama river system, and forecasts of its impact on the ecosystem. 研究助成成果報告書要約版2008, 37: 20. とうきゅう環境浄化財団, 東京.

倉西良一. 2009. 伊豆大島のヒゲナガカワトビケラの記録紹介. 水辺の輪, 27: 19.

倉西良一. 2009. 多摩川水系に侵入した外来動物『フロリダマミズヨコエビ』の分布・拡散の現状と生態系への影響予測(研究概要). 研究助成成果報告書要約版2008, 37: 8. とうきゅう環境浄化財団, 東京.

倉西良一. 2010. 河川上流域の水生昆虫の分布と遺伝的多様性に基づく保全生態学的研究. 科学研究費補助金(基盤研究C) 研究成果報告書. 138pp.

倉西良一・金田彰二・石綿進一・清水高男・平良裕之・佐竹 潔. 2009. 多摩川水系に侵入した外来動物『フロリダマミズヨコエビ』の分布・拡散の現状と生態系への影響予測. とうきゅう環境浄化財団 2004-2005年度助成事業報告書. 60 pp. とうきゅう環境浄化財団, 東京.

倉西良一・室瀬秋宏. 2010. 北海道宗谷支庁におけるムカシトンボの初記録とモイワサナエの記録. 月刊むし, 469: 48-49.

小林草平・倉西良一・原 昌久・西村 登. 2009. ヒゲナガカワトビケラの生息環境の観点で房総の河川を見る. 水辺の輪, 27: 13-18.

【教育普及書】

倉西良一. 2009. ヨコエビ 外来種がひっそり定着「ちば水辺の生命(いのち)」. 読売新聞(千葉県版), 2009年7月12日.

倉西良一. 2009. 2010年第74回例会報告. 昆虫ニュース千葉, 7: 1-2.

倉西良一. 2009. ひっそりと定着したか? 外来種ヨコエビ. 友の会ニュース, (67): 8-9.

倉西良一. 2009. 多摩川水系に侵入した外来動物フロリダマミズヨコエビの分布・拡散の現状と生態系への影響予測. 多摩川, 122: 11-12.

【研究発表】

Kuranishi, R.B. 2009.6. Taxonomic status of the largest caddisfly *Eubasilissa imperialis* (Nakahara) (Trichoptera; Phryganeidae). 13th International Symposium on Trichoptera. Department of Experimental Zoology and Evolutionary Biology University of Lodz, Poland (Bialowieza).

倉西良一. 2009.9. 房総半島のヒメボタル—再発見の経緯—. ヒメボタル研究会2009. 都立八王子労政会館, 東京.

梯 公平・倉西良一・鎌田直人. 2009.9. 房総のヒメボタル; 鴨川市内浦山から 東大演習林地帯の分布と分布域での個体数推定. ヒメボタル研究会2009. 都立八王子労政会館, 東京.

倉西良一. 2009.10. トビケラ目昆虫の世界最大種 オオムラサキトビケラの再発見. 日本昆虫学会 第69回大会. 三重大学, 津市.

梯 公平・倉西良一・鎌田直人. 2009.10. メボタルの異なるスケールにおける分布状況と標識再捕獲法による個体群パラメータの推定. 個体群生態学会第25回大会. 同志社大学, 京都.

倉西良一. 2009.10. 世界最大のトビケラ目昆虫 オオムラサキトビケラの分類学的位置. 水生昆虫研究会第33回大会. キープ自然学校, 北杜市.

倉西良一. 2009.11. 身近な淡水動物の最近の話題『淡水外来動物問題とトビケラ目昆虫』—房総の川の生き物と環境を知ろう—. 房総淡水動物懇談会第3回例会. 千葉県立中央博物館, 千葉市.

倉西良一. 2010.2. 湧水や溪流の水生昆虫とその最近の話題. 淡水生物研究会77回例会. 山梨県環境科学研究所, 富士吉田市.

倉西良一. 2010.2. 私が出会った昆虫とトビケラ目昆虫の研究で最近分かったこと. 千葉県昆虫談話会第74回例会. 千葉県立中央博物館, 千葉市.

梯 公平・倉西良一・鎌田直人. 2010.3. バイトトラップを用いたヒメボタル (*Luciola parvula*) 幼虫の移動分散距離の推定. 第57回日本生態学会東京大会. 東京大学, 東京

【委員・社会貢献等】

千葉県レッドデータブック改訂委員会分科会委員(千葉県環境生活部自然保護課), 2009.4.1-2010.3.31.  
平成21年度千葉県レッドデータブック改訂委員会昆虫分科会: 2009.11.1.

シャープゲンゴロウモドキ保全協議会委員（千葉県環境生活部自然保護課），2009.4.1-2010.3.31. 協議会: 2009.7.10; 11.13.

### 大利根分館

西川博孝

【教育普及書】

西川博孝・桑原和之（編）. 2009. 平成21年度千葉県立中央博物館大利根分館収藏品展「水辺の野鳥たち」, 展示解説書. 8 pp. 千葉県立中央博物館大利根分館, 香取市.

### 大多喜城分館

高橋 覚

【委員・社会貢献等】

東京湾学会理事

富里市文化財審議委員

2010.1.26. 講師. 大多喜藩の職制について. 博物館文化講座. 千葉県生涯大学外房学園. 茂原市.

### 分館海の博物館

宮田昌彦

【学術報告書】

宮田昌彦. 2010. 千葉県外来種対策（植物）検討委員会（編）（分担執筆）. 千葉県の外来種（植物）の現状等に関する報告書. 220 pp. 千葉県外来種対策（植物）検討委員会, 千葉市.

【委員・社会貢献等】

三番瀬評価委員会委員（千葉県環境政策課）2008. 4. 1-2010. 3. 31.

三番瀬海生生物作業部門検討委員会委員（千葉県環境政策課）2008. 4. 1-2010. 3. 31.

千葉県外来種対策（植物）検討委員会委員（千葉県環境生活部自然保護課），2009. 4. 1-2010. 3. 31. 千葉県外来種対策（植物）検討委員会

千葉県レッドデータブック改訂委員会委員（千葉県環境生活部自然保護課），2009. 4. 1-2010. 3. 31. 平成21年度千葉県レッドデータブック改訂委員会

勝浦市公民館運営委員会委員（勝浦市），2009. 4. 1-2010. 3. 31.

稀少野生動植物種保存推進員（環境省自然保護局），2009. 4. 1-2010. 3. 31.

日本応用藻類学会編集委員会幹事，2009. 4. 1-2010. 3. 31.

千葉大学非常勤講師2009. 4. 1-2010. 3. 31.

### 川瀬裕司

【教育普及書】

川瀬裕司. 2009. 海の紳士録, 43. カゴカキダイ-成長で変わる体の縞模様. 千葉日報朝刊. 2009年5月11日.

川瀬裕司. 2009. 巨大エイに獲物をさらわれる！-シドニーで潜水中の出来事-. 海の博物館メールマガジン「海からのたより」(52).

川瀬裕司. 2009. 海の紳士録, 48. アミメハギ-小さな体で卵を守る母親. 千葉日報朝刊. 2009年6月22日.

川瀬裕司. 2009. 海の博物館の収蔵資料. 千葉県立中央博物館分館海の博物館平成21年度収蔵資料展「大収蔵資料展-大きなモノから小さなモノまで」展示解説シート1. 1p.

川瀬裕司. 2009. 大きな生きもの・小さな生きもの. 千葉県立中央博物館分館海の博物館平成21年度収蔵資料展「大収蔵資料展-大きなモノから小さなモノまで」ワークシート1. 1p.

川瀬裕司. 2009. 海の紳士録, 53. スズメダイ-お父さんの子育て. 千葉日報朝刊. 2009年7月27日.

川瀬裕司. 2009. 海の紳士録, 57. カラチョウザメ-中国からやって来た珍客. 千葉日報朝刊. 2009年9月7日.

川瀬裕司. 2009. 海の紳士録, 63. ボウズハゼ-吸盤を使い岩登り. 千葉日報朝刊. 2009年10月19日.

川瀬裕司. 2009. 海の紳士録, 68. ウツボ-冬の風物詩「なまだ」の開き. 千葉日報朝刊. 2009年11月

30日.

川瀬裕司. 2010. 海の紳士録, 72. ゴンズイー-危険な毒魚2種が明らかに. 千葉日報朝刊. 2010年1月11日.

川瀬裕司. 2010. 夜の磯で見られる魚たち. 海の博物館メールマガジン「海からのたより」(60).

川瀬裕司. 2010. ちば水辺の生命, 129. フェヤッコダイ-熱帯性魚類, 黒潮で北上. 読売新聞千葉版. 2010年2月7日.

川瀬裕司. 2010. ちば水辺の生命, 130. ヨソギ-夫婦で子育て東奔西走. 読売新聞千葉版. 2010年2月14日.

川瀬裕司. 2010. 海の紳士録, 78. オニヒゲ-実は美味, 厳つい顔の深海魚. 千葉日報朝刊. 2010年3月1日.

#### 【研究発表】

Kawase, H. and T. Sunobe. 2009. 6. Reproductive Behavior and Sex Change of Australian Endemic Cales (Odacidae). 8th Indo-Pacific Fish Conference. Esplanade Hotel Fremantle, Perth, Australia.

川瀬裕司・須之部友基. 2009. 10. オダクス科2種 (*Heteroscarus acroptilus*, *Olisthops cyanomelas*) の産卵行動と性転換現象. 日本魚類学会年会. 東京海洋大学, 東京.

#### 【委員・社会貢献等】

日本魚類学会電子情報委員会委員長

第9回インド洋・太平洋魚類国際会議実行委員

### 立川浩之

#### 【学術論文・学術書】

Kogure, Y. and H. Tachikawa. 2009. A new species of the genus *Astroceramus* (Echinodermata, Asteroidea, Goniasteridae) from the Ogasawara Islands, Japan. Biogeography, 11: 77-82.

小川数也・立川浩之. 2009. 小笠原諸島のサンゴフジツボ類. 日本生物地理学会会報, 64: 89-96.

#### 【教育普及書】

立川浩之. 2009. 小笠原諸島の海の生きものから. 友の会ニュース, 66: 14.

立川浩之. 2009. ビーチコーミングでヤシの実を探そう. 海の博物館メールマガジン「海からのたより」(53).

立川浩之. 2010. 深海のサンゴに「虫コブ」を作る甲殻類. 海の博物館メールマガジン「海からのたより」(61).

立川浩之. 2009. 海の紳士録, 40. ガンガゼ. 千葉日報朝刊, 2009.4.20.

立川浩之. 2009. 海の紳士録, 45. コシタカサザエ. 千葉日報朝刊, 2009.5.25.

立川浩之. 2009. 海の紳士録, 50. アラレタマキビ. 千葉日報朝刊, 2009.7.6.

立川浩之. 2009. 海の紳士録, 55. マガキガイ. 千葉日報朝刊, 2009.8.24.

立川浩之. 2009. 海の紳士録, 56. エチゼンクラゲ. 千葉日報朝刊, 2009.8.31.

立川浩之. 2009. 海の紳士録, 65. タコノマクラ. 千葉日報朝刊, 2009.11.2.

立川浩之. 2009. 海の紳士録, 70. ミスガイ. 千葉日報朝刊, 2009.12.21.

立川浩之. 2010. 海の紳士録, 75. エダミドリイシ. 千葉日報朝刊, 2010.2.1.

立川浩之. 2010. 海の紳士録, 80. ホッスガイ. 千葉日報朝刊, 2010.3.15

宮野伸也・立川浩之. 2009. キノカワハゴロモを鴨川市で採集. 房総の昆虫, 43: 38.

宮野伸也・立川浩之. 2009. マダラアシナガヤセバエを鴨川市で採集. 房総の昆虫, 43: 39.

#### 【研究発表】

立川浩之・Mei-Fang Lin, Si-Min Chao, Kun-Shuan Lee, Chaolun Allen Chen. 2009.5. 台湾近海産の非造礁性イシサンゴ類(予報). 日本動物分類学会第45回大会. 2009年6月13-14日. 名古屋港水族館, 名古屋市.

Tachikawa, H. and M. J. Grygier. 2009.9. *Petrarca madreporae* (Crustacea: Ascothoracida) collected alive from the deepwater coral *Madrepora oculata* in Japan, with remarks on its early nauplius larvae. The Crustacean Society Summer Meeting in Japan 2009. Sep. 20-24, 2009. Tokyo University of Marine Science and Technology, Tokyo.

立川浩之. 2009.10. サンゴと命名規約. 2009年度日本造礁サンゴ分類研究会. 2009年10月6日. 九州大学天草臨海実験所, 熊本県苓北町.

立川浩之. 2009.11. 国際動物命名規約とサンゴの学名. 日本サンゴ礁学会第12回大会自由集会. 2009年11月27日. 琉球大学熱帯生物圏研究センター瀬底研究施設, 沖縄県本部町.  
北野裕子・立川浩之・野村恵一・深見裕伸. 2009.11. スリバチサンゴ属におけるオオスリバチサンゴの特異性. 日本サンゴ礁学会第12回大会. 2009年11月27-28日. 本部町立中央公民館, 本部町.

## 菊地則雄

### 【学術論文・学術書】

Niwa, K., S. Iida, A. Kato, H. Kawai, N. Kikuchi, A. Kobiyama and Y. Aruga. 2009. Genetic diversity and introgression in two cultivated species (*Porphyra yezoensis* and *Porphyra tenera*) and closely related wild species of *Porphyra* (Bangiales, Rhodophyta). *J. Phycol.* 45: 493-502.

### 【教育普及書】

菊地則雄. 2009. 海の紳士録, 41. カモガシラノリ. 千葉日報朝刊, 2009.4.27.

菊地則雄. 2009. 海の紳士録, 46. フサイワズタ. 千葉日報朝刊, 2009.6.1.

菊地則雄. 2009. 海そうを見直そう (各海藻の解説). *aff* 40(6): 20-22.

菊地則雄. 2009. 海の紳士録, 52. ウミトラノオ. 千葉日報朝刊, 2009.7.20.

菊地則雄. 2009. 世界で唯一千葉県沖にのみ生育する海藻「オオノアナメ」. 海の博物館メールマガジン「海からのたより」(54).

菊地則雄. 2009. 海の紳士録, 58. カイゴロモ. 千葉日報朝刊, 2009.9.14.

菊地則雄. 2009. 海の紳士録, 61. トサカノリ. 千葉日報朝刊, 2009.10.5.

菊地則雄. 2009. コラム□ アサクサノリとスサビノリ ノリ養殖に見る在来種と外来種. 日本プランクトン学会・日本ベントス学会(編), 海の外来生物人間によって攪乱された地球の海. pp. 151-152. 東海大学出版会. 神奈川県秦野市.

菊地則雄. 2009. Mid Congress Tour "Katsura Seaweed Collection Tour" 開催記. 藻類 57: 150.

菊地則雄. 2009. 海の紳士録, 66. オゴノリ. 千葉日報朝刊, 2009.11.16.

菊地則雄. 2010. 海の紳士録, 71. ミル. 千葉日報朝刊, 2010.1.4.

菊地則雄. 2010. ちば水辺の生命, 128. オオノアナメ. 読売新聞千葉版, 2010.1.31.

菊地則雄. 2010. 海の紳士録, 76. アオノリ. 千葉日報朝刊, 2010.2.15.

菊地則雄. 2010. 千葉県立中央博物館分館海の博物館の学校連携活動. 科学技術教育 (221): 14-16.

菊地則雄. 2010. 海の紳士録, 81. アサクサノリ. 千葉日報朝刊, 2010.3.22.

菊地則雄. 2010. ニセウシケノリ, タニウシケノリ. 環境省自然環境局野生生物課(編), 改訂レッドリスト付属説明資料 藻類. p. 2. 環境省自然環境局野生生物課. 東京.

### 【研究発表】

藤吉栄次・玉城泉也・小林正裕・阿部真比古・菊地則雄・須藤祐介. 2009.5. 沖縄県沿岸で採集した紅藻アマノリ葉状体の外部形態等について. 沖縄生物学会第46回大会, 名桜大学, 沖縄県名護市.

Abe, M., M. Kobayashi, M. Tamaki, E. Fujiyoshi and N. Kikuchi. 2009.8. Identification of Japanese *Porphyra* species by PCR-RFLP in the partial mitochondrial DNA -preliminary study-. 9th International Phycological Congress. Tokyo, Japan.

Tamaki, M., M. Kobayashi, E. Fujiyoshi, M. Abe, N. Kikuchi, T. Kiriyama and S. Arai. 2009.8. Distribution pattern of *Porphyra tanegashimensis* (Bangiales, Rhodophyta) using PCR-RFLP analysis around western Japan. 9th International Phycological Congress. Tokyo, Japan.

Zuccarello, G. C., N. Kikuchi and J. A. West. 2009.11. Molecular evolution of the Erythropeltiales (Rhodophyta): Diversity in morphologically simple red algae. 24th Australasian Society for Phycology and Aquatic Botany Meeting. Townsville, Australia.

菊地則雄. 2010.2. 千葉県内における絶滅危惧種紅藻アサクサノリの生育地. 千葉県生物学会2010年度会員研究発表会, 千葉県立中央博物館, 千葉市.

玉城泉也・阿部真比古・伏屋玲子・藤吉栄次・小林正裕・須藤祐介・菊地則雄. 2010.3. ツクシアマノリ副基準標本からの葉緑体rbcL-S領域のDNA増幅と南日本各地のアマノリ属各種の塩基配列との比較. 平成22年度日本水産学会春季大会, 日本大学生物資源科学部, 神奈川県藤沢市.

### 【委員・社会貢献等】

第9回国際藻類学会議実行委員

2010.3.21 浦安市郷土博物館観察会講師「海藻の観察会」. 浦安市.

## 奥野淳兒

### 【学術論文・学術書】

- Okuno, J. 2009. *Cinetorhynchus brucei*, a new species of shrimp (Decapoda, Caridea, Rhynchocinetidae) from the Ryukyu Islands, Japan. *Crustaceana* 82(7): 939–949.
- Okuno, J. and A. J. Bruce. 2010. Designation of *Ancylomenes* gen. nov., for the 'Periclimenes aesopius species group' (Crustacea: Decapoda: Palaemonidae), with the description of a new species and a checklist of congeneric species. *Zootaxa* 2372: 85–105.
- Saito, T., J. Okuno and T.-Y. Chan. 2009. A new species of *Stenopus* (Crustacea: Decapoda: Stenopodidae) from the Indo-West Pacific, with a redefinition of the genus. *Raffles Bull. Zool., Suppl.* (20): 109–120.
- 奥野淳兒・布村 昇. 2010. 富山市科学博物館所蔵の富山湾ならびに富山県内陸水産コエビ類（甲殻亜門：十脚目）. 富山市科学博物館研究報告 (33): 77–87.

### 【教育普及書】

- 奥野淳兒. 2009. 海の紳士録, 39. アカイソガニ. 千葉日報朝刊, 2009年4月6日.
- 奥野淳兒. 2009. 海の紳士録, 44. ゼブラガニ. 千葉日報朝刊, 2009年5月18日.
- 奥野淳兒. 2009. 海の紳士録, 49. イバラガニモドキ. 千葉日報朝刊, 2009年6月29日.
- 奥野淳兒. 2009. 海の紳士録, 54. オオホモラ. 千葉日報朝刊, 2009年8月3日.
- 奥野淳兒. 2009. 「大収蔵資料展」で展示されたタイプ標本. 海の博物館メールマガジン「海からのたより」 (55).
- 奥野淳兒. 2009. 海の紳士録, 60. クロスジニセツノヒラムシ. 千葉日報朝刊, 2009年9月28日.
- 奥野淳兒. 2009. 海の紳士録, 64. ソメンヤドカリ. 千葉日報朝刊, 2009年10月26日.
- 奥野淳兒. 2009. 海の紳士録, 69. マダラテッポウエビ. 千葉日報朝刊, 2009年12月7日.
- 奥野淳兒. 2010. 平成21年度マリンサイエンスギャラリー「海の生きものの共生-パートナーシップの多様性-」リーフレット. 2 pp. 千葉県立中央博物館 分館海の博物館.
- 奥野淳兒. 2010. 海の紳士録, 74. ヒメソバガラガニ. 千葉日報朝刊, 2010年1月25日.
- 奥野淳兒. 2010. 平成21年度マリンサイエンスギャラリー「海の生きものの共生-パートナーシップの多様性-」展示解説書. 14 pp. 千葉県立中央博物館 分館海の博物館.
- 奥野淳兒. 2010. 平成21年度マリンサイエンスギャラリー「海の生きものの共生-パートナーシップの多様性-」ワークシート. 1 p. 千葉県立中央博物館 分館海の博物館.
- 奥野淳兒. 2010. ちば水辺の生命, 131. ハクセンアカホシカクレエビ. 読売新聞千葉版, 2010年2月21日.
- 奥野淳兒. 2010. 海の紳士録, 77. ムチカラマツエビ. 千葉日報朝刊, 2010年2月22日.
- 奥野淳兒. 2010. 分館海の博物館平成21年度マリンサイエンスギャラリー「海の生きものの共生-パートナーシップの多様性-」. 中央博物館だより (67): 10.

### 【研究発表】

- 奥野淳兒. 2009. 6. カクレエビ亜科アカホシカクレエビ種群の分類学的位置と西部太平洋より得られた1未記載種. 日本動物分類学会第45回大会, 名古屋港水族館, 名古屋市.
- Okuno, J. 2009. 9. An unfamiliar species of the hydroid-associated pontonine shrimp (Decapoda: Caridea: Palaemonidae) from Suruga Bay, Japan. The Crustacean Society Summer Meeting & the 47th Annual Meeting of Carcinological Society of Japan, Tokyo University of Marine Science and Technology, Tokyo.
- 藤田喜久・大澤正幸・奥野淳兒・駒井智幸・成瀬貫. 2009. 11. 沖縄島大浦湾における十脚甲殻類の種多様性. 日本サンゴ礁学会第12回大会. 本部町立中央公民館, 沖縄県本部町.

### 【委員・社会貢献等】

- 日本動物分類学会選挙管理委員会（委員長）
- WWF 南西諸島生物多様性評価プロジェクト（標本の採集と同定）
- 久米島海洋生物合同調査-KUMEJIMA2009（標本の採集と同定）
- 地球規模生物多様性情報機構（GBIF）（標本の同定）

## 村田明久

### 【教育普及書】

- 村田明久. 2009. 海の紳士録, 42. ケハダエボシ-他の生物のすき間に暮らす. 千葉日報朝刊. 2009年5月4日.
- 村田明久. 2009. 海の紳士録, 47. フルイヒラフジツボ-石の裏のフジツボ. 千葉日報朝刊. 2009年

6月8日.

村田明久. 2009. 海の紳士録, 51. ヤツデヒトデ-分裂で1匹が2匹に. 千葉日報朝刊. 2009年7月13日.

村田明久. 2009. 海の紳士録, 59. ケヤリムシ-花のような? ゴカイ. 千葉日報朝刊. 2009年9月21日.

村田明久. 2009. 月を見て潮を思う. 海の博物館メールマガジン「海からのたより」 (56).

村田明久. 2009. 海の紳士録, 62. ヘンゲボヤ-群体性のホヤ. 千葉日報朝刊. 2009年10月12日.

村田明久. 2009. 海の紳士録, 67. ユズダマカイメン-球状の海綿動物. 千葉日報朝刊. 2009年11月23日.

村田明久. 2010. 海の紳士録, 73. ハナカゴ-左右非対称のフジツボ. 千葉日報朝刊. 2010年1月18日.

村田明久. 2010. ちば水辺の生命, 132. ユノミフジツボ-ウミガメの前脚で暮らす. 読売新聞千葉版. 2010年2月28日.

村田明久. 2010. 海の紳士録, 79. マメコブシガニ-前に歩くカニ. 千葉日報朝刊. 2010年3月8日.

## 大久保 守

### 【教育普及書】

大久保 守, 2009. 里山への思いをこめて-渡欧画家・原勝郎の苦悩と輝き-, No.1~10. 千葉日報朝刊, 平成21年5月23日 ~ 10月10日.

大久保 守, 2009. 春の海辺は海藻でいっぱい. 海の博物館メールマガジン「海からのたより」 (50).

大久保 守, 2009. 鵜原理想郷の由来について海の博物館メールマガジン「海からのたより」 (57).

### 【委員・社会貢献等】

大久保 守, 2009. 7. 石井光楓の生涯とその画業, 千葉市美術館.

大久保 守, 2009. 9. 土曜講座「青木繁《海の幸》など数々の名作を産んだ南房総の海と自然」, 石橋財団ブリヂストン美術館.



### 3. 展示

#### 3.1 常設展示

##### 1) 本館

##### (1) 音声ガイド

平成 22 年 3 月 19 日開始し、本年度は本館の房総の生物展示室の 15 ヶ所に設置し、無料サービスを開始した。

##### 2) 生態園

##### (1) 「タヌキがすんでいます」：平成 21 年 4 月 26 日更新

舟田池や鳥類の剥製標本をタヌキの展示に変更した。タヌキの剥製 2 体、胃及び糞内容物標本、青葉の森公園における電波発信機調査結果パネル、解説パネル等を展示。

#### 3.2 企画展示

##### 3.2.1 本館企画展

##### (1) 生物多様性展 1：生命のにぎわいとつながり「虫、魚、鳥、・・草、木、・・・人」その素晴らしさを親から子へ、そして孫へ

概要 豊かな生命（いのち）に育まれる地球

環境と約 40 億年に及ぶ生命の歴史、また多種多様な生物多様性の世界とその危機、生物多様性の宝庫の里山・里沼・里海、さらに私たちの暮らしとのかかわりや生物多様性の素晴らしさを守り伝える取り組みについて、千葉県生物多様性センターとの共同主催、また、ちば生物多様性県民会議・里山シンポジウム実行委員会・中央博物館友の会との共催、さらに環境省・八都県市首脳会議環境問題対策委員会地球温暖化特別部会・千葉県生物学会・生物多様性 Japan・（財）日本自然保護協会の後援により、展示はもとより講演会やシンポジウム等の 42 事業を実施した。生物多様性と言う多様な学術分野に及ぶ総合テーマに対し、市民・NPO と一体になった企画運営により社会へその重要性を広げるメッセージを強調した企画展となった。



会期 平成 21 年 7 月 4 日（土）～8 月 31 日（月）（57 日間）

会場 千葉県立中央博物館第一企画展示室，第二企画展示室，第一ホール，企画展示室周辺廊下，かかわり展示室の一部等

入場者数 25,858 人

主な展示品 「地球史・生命史に関する展示資料」岩石・化石標本 82 点、写真 7 点、復元画 3 点、復元模型 1 点。「遺伝子レベルの多様性資料」赤米黒米標本等 13 点。「動物の多様性資料」イッカク等動物標本 76 点、写真 8 点。「植物の多様性資料」シラネアオイ等レプリカ 14 点、標本 1 点、写真 60 点。「菌類の多様性資料」マツタケ等レプリカ 13 点、標本 5 点、写真 32 点。「生物多様性の理解のために関係資料」書籍等 8 点、写真 3 点。「博物館と標本とその重要性資料」昆虫標本 1 式 89 点。動物タイプ標本等 13 点、写真 16 点。「都市化・温暖化と生物多様性の危機関係資料」トキ剥製標本ほか約 50 点、写真約 30 点、映像 1 点。共催団体の展示品は、1 週間毎に全て展示換えした。

担当者 中村俊彦・斎木 勝・原 正利・橋本香緒里・新 和宏・萩野康則・斉藤明子・高橋直樹・加藤久佳・古木達郎・朝倉 彰・落合啓二・大庭照代・白井 豊・斎木健一・浅田正彦（なお全館職員が展示やイベント等に協力）

### 3.2.2 本館季節展示

#### (1) 春の展示 クモ・蜘蛛・くもー8本足の糸つむぎ職人ー

概要 クモは嫌われることの多い生物であるが、よく見ると美しい種類が多く、生活も面白いものがたくさんいる。また、クモの造る網も、実に多様性に富んでいる。それら良く知られているとはいいがたいクモとその網を、実物標本、写真、拡大模型、映像、データベース等を用いて、分かりやすく紹介した。

会期 平成21年3月7日(土)～5月31日(日)(21年度開催54日間)

会場 第1企画展示室、2階ホール

入場者数 31,332人(21年度開催54日分)

主な展示品 液浸標本198点、乾燥標本20点、クモ網標本84点、拡大模型6点、クモグッズ35点、クモ種説明パネル171点、文字パネル43点、画像パネル52点、複合パネル30点、映像3点、データベース1点

担当者 萩野康則(館内協力者:宮野伸也,宮正樹,朝倉彰,直海俊一郎,黒住耐二,館外協力者:東京蜘蛛談話会)

#### (2) 秋の展示 生物多様性2:人と自然のかかわり『縄文の躍動ー海と生きた人々の文化ー』

概要 県内で発掘調査された貝塚や東北地方の主要な遺跡の発掘調査成果を併せて展示し、縄文時代の人々の溢れ出る活力、特に海に対する生産活動と精神文化を紹介した。また、関連行事として「貝塚フォーラム・記念講演会」やミュージアムトーク・子ども体験教室(勾玉・ペンダント・貝輪・土偶・土版づくり)、アングイン編み・火起こし(千葉市加曽利貝塚博物館との共催事業)などを開催し、房総地域の文化・歴史への興味を促進し、地域づくりの基盤を醸成した。



会期 平成21年9月26日(土)～平成21年11月23日(月・祝)(52日間)

会場 第1企画展示室、第2企画展示室、2階ホール、かかわり展示室側廊下壁面

入場者数 28,643名

主な展示品 約1,400点(重要文化財54点) 松戸市幸田貝塚深鉢(重要文化財)、流山市三輪野山貝塚ヒスイ製玉類、千葉市加曽利貝塚深鉢、千葉市有吉北貝塚大珠、千葉市有吉南貝塚イルカ下顎製腰飾、我孫子市下ヶ戸宮前遺跡ミミズク土偶・耳飾、佐倉市宮内井戸作遺跡ミミズク土偶、市原市西広貝塚骨角貝製装身具、青森県三内丸山遺跡深鉢(重要文化財を含む)、岩手県御所野遺跡深鉢、岩手県軽米町長倉遺跡土偶、宮城県気仙沼市田柄貝塚漁撈具(重要文化財)、宮城県東松島市里浜貝塚漁撈具、宮城県七ヶ浜町大木囲貝塚深鉢ほか

受けた助成 地域文化芸術振興プラン(文化庁):世界に誇る縄文文化とその造形美「縄文の躍動」(代表者:中央博物館長)。助成額:10,032,000円  
「海と船の企画展」海と船の博物館(財団法人日本海事科学振興財団):縄文の躍動ー海と生きた人々の文化ー(代表者:中央博物館長)。助成額:1,700,000円

担当者 清藤一順、田邊由美子、田村隆、米谷博

#### (3) 冬の展示 出土遺物巡回展「房総発掘ものがたりー地下50cm,文字の世界ー」地域展示「東北出土の房総関係文字資料」

概要 千葉県内及び東北地方で実施された発掘調査により出土した文字資料等を展示した。併せて文字資料をテーマに、千葉県遺跡調査研究発表会を開催した。

会期 平成22年1月9日(土)～2月21日(日)(38日間)

会 場 第1企画展示室  
 入 場 者 数 5,575人  
 主な展示品 千葉県内から出土した墨書土器など約700点、東北地域から出土した房総関係文字資料3点、『続日本紀』、解説パネル、写真パネル  
 担 当 者 田邊由美子  
 (館内協力者：田村隆・米谷博・清藤一順)



#### (4) 春の展示 雲南の地衣類

概 要 中国南西部に位置する雲南省は、ヒマラヤ山脈の東側に位置し、6000mを超え氷河を抱く高山があるかと思えば、象の住む亜熱帯まで多様な自然環境があり、東アジアで最も生物相が多様な場所であると言われている。そこで1994年から6度にわたり当館職員が地衣類の調査を行った。そのとき収集された標本と、撮影された写真によって、雲南の地衣類と自然、人々の暮らしを紹介した。  
 会 期 平成22年3月13日(土)～5月9日(日) (16日間、3月31日現在)  
 会 場 第1企画展示室  
 入 場 者 数 2,670人(3月31日現在)  
 主な展示品 中国雲南省産地衣類標本、雲南における地衣類・自然・人々の暮らしに関する撮影写真、計483点。  
 担 当 者 原田 浩

### 3.2.3 本館トピックス展示

#### (1) ちいさな小さなアンモナイト展ー銚子産化石の新着資料からー

概 要 当博物館で収集した銚子産化石の新着資料から、白亜紀前期の小さなアンモナイト化石数点を展示・紹介した。  
 会 期 平成21年3月24日(火)～5月10日(日) (42日間、21年度7日間)  
 会 場 地学展示室  
 入 場 者 数 1,559人(20,21年度合計10,233人)。  
 主な展示品 プルケリアなど銚子層群産アンモナイト化石6種8点。

担 当 者 浅井秀彦

#### (2) 天然記念物・希少野生動植物種 ミヤコタナゴ

概 要 天然記念物と希少野生動植物種に指定されているミヤコタナゴの現状と保護について紹介した。  
 会 期 平成21年6月2日(火)～28日(日) (24日間)  
 会 場 2階入口ホール  
 入 場 者 数 3,654人  
 主な展示品 解説パネル、映像資料、ミヤコタナゴ・ヤリタナゴ等液浸標本  
 担 当 者 田邊由美子(館内協力者：駒井智幸・宮正樹・黒住耐二・伊左治鎮司 白井豊・倉西良一・斎木勝・田村隆・米谷博・清藤一順。館外協力者：川瀬裕司・佐藤昭夫・嶺島英寿・望月賢二・尾崎真)



#### (3) 干支(えと)にちなむ貝ー寅年ー

概 要 干支にちなんだ名前を持つ貝類を紹介した。  
 会 期 平成22年1月5日(火)～1月31日(日) (24日間)  
 会 場 2階入口ホール

入場者数 3,127人  
主な展示品 トラマイマイ・トラフケボリ・ゴマフダマ等5種7個体  
担当者 黒住耐二

#### (4) ウナギの進化的起源は深海に！

概要 概要：ウナギは川や湖などの淡水域で成長し、そこから数千キロメートルも離れた外洋で産卵を行うことが知られている。しかしながら、ウナギがなぜこのような大規模な回遊を行うのか、長いこと謎とされてきた。最近、千葉県立中央博物館の宮正樹上席研究員もその一員として加わる研究グループが行なった詳細な遺伝子解析により、ウナギが外洋の深海に生息していた祖先から進化してきた可能性が高いことが明らかになった。古代ギリシャのアリストテレス以来、謎とされてきたウナギのなかまの由来を歴史的側面から明らかにした画期的な研究結果として、内外のメディアに広く取り上げられた。本トピックス展では、これらの報道では見ることはできなかった本物の標本を展示すると同時に、研究内容の概要について紹介した。

会期 平成22年1月16日（火）～2月28日（日）（38日間）

会場 2階ホール

入場者数 5,749人

主な展示品 ウナギ目魚類の液浸標本計24点。ニホンウナギの卵・仔魚の標本5点。関連パネル・ポスター等。

担当者 宮正樹

#### (5) 篠崎四郎の房総金石文研究－金属や石に刻まれた文字の世界－

概要 考古学者篠崎四郎氏は昭和初期から昭和30年代にかけて、県内を巡りながらお寺の梵鐘・仏法具や板碑などの金石文史料を調査して、昭和17年に「房総金石文の研究」にまとめ、あらゆる金石文史料を拓本した。今回、本館に収蔵されている拓本史料と同氏の金石文研究について紹介した。

会期 平成22年2月2日（火）～3月14日（日）（36日間）

会場 第2企画展示室

入場者数 5,337人

主な展示品 江戸・武蔵・下総等金石拓本集（篠崎四郎旧蔵）、本土寺（松戸市）梵鐘拓本、超林寺（成田市）雲板拓本、浄泉寺（酒々井市）雲板拓本、清光寺（酒々井市）銅造阿弥陀像背銘拓本、長楽寺（印西市）梵鐘拓本、成田不動尊（成田市）碑拓本、大慈恩寺（成田市）金銅幡・戒体箱金具拓本、妙楽寺（神崎町）板碑拓本、香取神社（香取市）海獣葡萄鏡拓本、観福寺（香取市）銅仏光背銘拓本、円福寺（調子市）梵鐘拓本、本漸寺（東金市）梵鐘拓本、報恩寺（長南町）鰐口拓本、妙覚寺（長南町）鰐口拓本、万光寺（茂原市）梵鐘拓本、笠森寺（長南町）柄鏡・磐拓本、小網寺（館山市）梵鐘拓本等。

担当者 齋木勝

#### (6) 房総における縄文の美

概要 特別講演「縄文の美と精神文化に関連して、実施した。房総という地域における縄文文化が、具体的にどのような造形美を創り上げたのか、土器や装身具類を展示してご紹介した。

会期 平成22年3月5日（金）～3月14日（日）（9日間）

会場 歴史展示室前廊下

入場者数 1,306人

主な展示品 柏市中山新田遺跡出土土器、千葉市有吉南貝塚出土腰飾、君津市三直貝塚出土玉類、君津市三直貝塚出土耳飾等。

担当者 清藤一順

### (7) 授業に役立つ県立博物館プロジェクト

概要 千葉県立美術館・博物館では、新学習指導要領の導入を契機に、「授業に役立つ県立博物館プロジェクト」を開始しました。その一環として、各県立美術館・博物館が貸し出し用学習キットを製作しました。これらの学習キットを展示し、プロジェクトの活動を、教職員をはじめ、県民の皆さんに広く知っていただき、貸し出し用学習キットの普及と活用の促進を図ります。

会期 平成 22 年 3 月 24 日（水）～4 月 18 日（日）（16 日間、3 月 31 日現在）

会場 2 階ホール

入場者数 2,597 人（3 月 31 日現在）

主な展示品 美術鑑賞学習キット（千葉県立美術館）、校庭の野草観察キット（千葉県立中央博物館）、磯観察キット（千葉県立中央博物館分館海の博物館）、ソーラーくっかーキット（太陽熱調理器）（千葉県立現在産業科学館）、関宿城下町実感キット 8 千葉県立関宿博物館

主催 千葉県教育庁教育振興部文化財課

### (8) 相模湾の海底をさぐる-JAMSTEC K O-OHO-O 航海報告-

概要 本館職員が搭乗した（独）海洋研究開発機構（JAMSTEC）主催の相模湾海底調査航海の成果と海底調査の実施状況について紹介した。

会期 平成 21 年 3 月 24 日（水）～平成 21 年 5 月 16 日（日）（21 年度開催 7 日間）

会場 第 2 企画展示室及びかかわり展示室前廊下

入場者数 1,122 人（21 年度開催 7 日分）

主な展示品 初島沖シロウリガイ標本、熱川沖海底溶岩、相模湾海底地形図等 72 点

担当者 高橋直樹

## 3.2.4 生態園トピックス展

### (1) 生態園 20 年

概要 開園後 20 年を経過した生態園の自然の変化を、同一場所での新旧の景観写真などで示し、その撮影現場にも案内板を設置した。また、この間の生態園での自然再生と保全への取り組みや、姿を消したり新たに現れた植物などについても写真や標本などで紹介した。

会期 平成 21 年 2 月 24 日（火）～5 月 10 日（日）（21 年度開催 31 日間）

会場 生態園オリエンテーションハウス、植物群落園園路

入場者数 6,859 人（平成 21 年度開催 31 日分）

主な展示品 新旧の景観写真、新旧の管理作業写真、消滅・減少・新出・増加した植物の写真と標本

担当者 大野啓一（館内協力者：由良 浩、原 正利）

### (2) 舟田池のカイツブリー小さながんばりやさん

概要 カイツブリは、全国の水辺に分布する手の平にのるほど小さな水鳥である。生態園の舟田池にも生息し、開館以来 20 年以上にわたり野鳥観察舎からそのユニークな姿と生活ぶりが観察されてきた。本展示では、剥製や写真により、水上生活に適応したカイツブリの体形・水上に作られる浮き巣、繁殖活動を紹介した。生息数調査（1982-2009）では舟田池のカイツブリの繁殖成功率に低下傾向が見られたが、不安定な営巣環境、即ち水生植物の生育の低迷、天敵、悪天候などが要因と考えられ、現在進行中の定期的な池干しや水位調節、水生植物の植栽などが功を奏する日もあろう。本展示では、リアルタイムに観察をカレンダーに記録し、来園された方々の絵や伝言とともに、カイツブリの「がんばり」を見守った。同時開催の生物多様性展 I と連携し、千葉県内に生息するカイツブリ 5 種も紹介した。

会期 平成 21 年 6 月 19 日（火）～8 月 30 日（日）（73 日間）

会場 生態園オリエンテーションハウス、野鳥観察舎  
 入場者数 13,582人  
 主な展示品 カイツブリの剥製・写真・音声、生息数の変遷（1989－2009）、バードガイドによるカイツブリノート、過去の出版物に掲載された記事、体験展示「カイツブリの巣と子育て」、私♡かいつぶり掲示板、ビデオ「カイツブリ 2009 の営巣」、「カイツブリカレンダー2009」、千葉県内に生息するカイツブリ5種の剥製・写真  
 担当者 大庭照代（館内・外協力者：千葉県立中央博物館友の会バードガイド各位・綾富美子・安斎信人・石脇佐紀子・泉宏子・上野幸雄・内田博・桑原和之・小林真弓・小林琴香・神伴之・百目木純子・布留川毅・丸山聡栄・箕輪義隆・横地留奈子）

### (3) アメリカザリガニ

概要 環境省から要注意外来生物に指定されたアメリカザリガニは湖沼・水路などで在来の生きものたちに多大な影響を及ぼしている。生態園の舟田池では、異常に増えたアメリカザリガニが水辺植生に壊滅的な打撃を与え、生態系を攪乱し続け大きな問題を引き起こしてきた。本展示では、アメリカザリガニの特徴・生態、舟田池で実施している駆除対策、水生植物被害実験などの成果を紹介した。  
 会期 2009（平成21）年10月6日（火）～11月8日（日）（29日間）  
 会場 生態園オリエンテーションハウス  
 入場者数 9,198人  
 主な展示品 ザリガニ類各種標本、アメリカザリガニ水槽（抱卵個体水槽、稚ザリガニ水槽含む）、ザリガニ拡大模型、解説パネル、絵本、参考書籍、塗り絵、ペーパークラフトなど  
 担当者 林 紀男（館内協力者：駒井智幸、館外協力者：中田和義・井上嘉明・田中一典）

### (4) 生態園の植物・四季の見どころ

概要 本館・分類展示室の「生態園紹介コーナー」にて2003年より5年間に渡り紹介した、生態園内の四季おりおりの植物写真を、A1に拡大印刷して展示した。具体的にはクロモジ、キツタ、アカメガシワ、ムラサキシキブ、サンショウ、アラカシ、カゴノキなど。また展示に用いた主要写真67点を、A3サイズ1枚の展示図録に版組し、配布した。  
 会期 平成22年3月16日（火）～5月16日（日）（21年度開催 12日間）  
 会場 生態園オリエンテーションハウス  
 入場者数 3,149人（21年度開催 12日間）  
 主な展示品 植物写真76枚（春の花、初夏の新葉、秋の果実、冬の樹皮）。植物写真の撮影場所を一覧した生態園地図  
 担当者 奥田昌明

## 3.2.5 大利根分館

### (1) 企画展 関東灘礼賛－利根川下流域の酒文化－

概要 利根川下流域で発展した酒造りの歴史をたどり、絵馬や実際に使われていた道具類とともに酒造りの工程を展示した。  
 会期 平成21年5月30日（土）～6月28日（日）（32日間）  
 会場 第3展示室  
 入場者数 5,621人（32日間）  
 主な展示品 墨書土器、酒造関係古文書、酒造道具、絵馬、絵図、写真、酒銘ラベルなど  
 担当者 矢本節朗（館内協力者：西川博孝、米谷 博）

### (2) 収蔵品展 水辺の野鳥たち

概要 大利根分館付近の水田や利根川周辺、銚子川河口付近で見られるさまざまな野鳥たちを標本や写真で紹介した。

会期 平成21年4月4日(土)～5月10日(日)(32日間)

会場 第3展示室

入場者数 673人(32日間)

主な展示品 鳥類標本、箕輪義隆氏鳥類精密画、野鳥生態写真(高島斉二・白川浩一氏撮影)など

担当者 西川博孝(館内協力者:桑原和之、白井 豊)

### (3) 収蔵品展 むかしの道具

概要 小学校3・4年生の社会科学習の内容に合わせ、衣食住に関する約150点の民具類をハンズオン展示した。

会期 平成21年7月11日(土)～9月30日(水)(70日間)

会場 第3展示室

入場者数 1,914人

主な展示品 昭和30年代の日常の暮らしや遊びに関する民俗資料

担当者 西川博孝(館内協力者:矢本節朗)

## 3.2.6 大多喜城分館

### (1) 企画展「日本メキシコ交流の歴史ーロドリゴ漂着から400年ー」

概要 平成21年は、サン・フランシスコ号が御宿沖で難破し、ドン・ロドリゴをはじめとするメキシコ人300余人が漂着し日本と交流を始めて400年を迎える節目の年であることからロドリゴが漂着した大航海時代の歴史的背景や当時の大多喜の状況、明治以降の両国交流の歴史的あゆみなどとともに大多喜町や御宿町など周辺地域の住民との間で続けられてきた交流の成果を紹介した。



会期 平成21年9月17日(木)～10月25日(日)(34日間)

会場 2階展示室

入場者数 11,027人

主な展示品 本多忠朝所用本小札二枚胴具足、本多忠朝新田開発文書、本多忠朝寄進状、オルテリウス アジア図、南蛮屏風復元模写、ガレオン船模型、ドライコンパス、ハンドログ、砂時計、クロススタフ、アストロラーベ、八分儀、望遠鏡、赤羅背板陣羽織、キリシタン制札[正徳元(1711)年]、薩摩筒、テイセラ日本図 1595、花樹草花蒔絵螺鈿洋櫃、扇面蒔絵螺鈿洋櫃、草花蒔絵螺鈿筆筒、輸出用酒瓶、改三分定メキシコ銀、火縄銃(東南アジア)、房総志料、日墨修好通商条約調印書アカプルコ市との姉妹都市協定関係資料(御宿町)、クエルナバカ市との姉妹都市協定関係資料(大多喜町)、日西墨三国交通発祥記念之碑プレート、深沢幸雄銅版画、影(メヒコ)A、胎動(メヒコ)、凍れる歩廊(ベーリング海峡)、この遙かなる遠い道、掌の中の影

受けた助成 地域文化芸術振興プラン(文化庁): メキシコ交流400年記念事業(9月17日～10月25日)。(代表者:中央博物館長)。助成額:4,948,000円

担当者 高橋 覚

### (2) 収蔵資料展「刀一拵(こしらえ)と刀装具ー」

概 要	当館が収蔵している刀剣と拵及び刀装具に関する資料を展示し作品に込められた匠の技と美について紹介する。
会 期	平成 21 年 10 月 29 日（木）～平成 22 年 1 月 31 日（日）(78 日間)
会 場	2 階展示室
入 場 者 数	21,004 人
主な展示品	日本刀製作工程、太刀、刀、脇差、太刀拵、打刀拵、合口拵、鐔、小柄、筭、目貫、縁金物
担 当 者	小林清隆

### 3.2.7 分館海の博物館

#### (1) 収蔵資料展「大収蔵資料展～大きなモノから小さなモノまで～」

概 要 海の博物館は、平成 21 年 3 月で開館 10 周年を迎えた。これまでに千葉県房総半島周辺をはじめ、全国各地で海の生きものや自然に関する資料を収集してきた結果、登録点数は 55,568 点に達した（平成 21 年 3 月末現在）。そこで、今年度の収蔵資料展では、これまでに収集した様々な資料を紹介した。展示は 4 つの項目で構成された。最初の項目は、「海の博物館の収蔵資料」である。ここでは、海の博物館で収集の対象としている資料とその意義について解説するとともに、資料の形態や保管方法などについて紹介した。また、実際に資料の整理・保管をしている現場を見てもらうため、臨時の収蔵庫見学ツアー（1 回 30 分。合計 6 回、参加者合計 37 名）を実施した。2 つ目の項目は、「大きなモノ」である。ここでは、これまでに収集した資料のうち、マッコウクジラのアゴの骨（長さ 4.9m）やダイオウイカ（2.7m）などの大型標本を展示した。また、約 50 年前に千葉県で捕獲されたダウリアチョウザメ（全長 1.7m）とカラチョウザメ（2.1m）の剥製も展示した。チョウザメ類は、千葉県からは後にも先にもこの 2 個体しか記録がなく、また、それぞれ分布の南限と東限を示す貴重な標本である。3 つめの項目は、「小さなモノ」である。ここでは前項目とは逆に小型標本を展示した。その中でもいちばん小さな標本はミジンワダチガイ（殻長 0.49mm）で、成長しても数 mm にしかならない微小貝の一種である。微小貝は肉眼では形がわかりにくいので、虫眼鏡や実体顕微鏡を通してご覧いただいた。最後の項目は、「モノでないもの」である。海の博物館ではモノである標本以外に、電子情報である動画や写真も一次資料として登録・保管している。今回は、これまでに房総半島各地で撮影した海中景観や生きものの動画資料を編集して、約 7 分間の映像「房総の海の自然と生きものたち」を大型スクリーンで上映した。

会 期	平成 21 年 7 月 18 日（土）～9 月 27 日（日）（開館日数 67 日）
会 場	研修室
入 場 者 数	28,948 人
主な展示品	ダイオウイカ，エチゼンクラゲ，マッコウクジラ
担 当 者	川瀬裕司

#### (2) マリンサイエンスギャラリー「海の生きものの共生—パートナーシップの多様性—」

概 要 「共生」という言葉は、我々の生活の中でもよく使われるようになってきたが、もともとは生物どうしの関係を表す専門用語である。本展示では、海の中で繰り広げられる、様々な共生関係を紹介し、小さな生物が生き抜いていくための知恵の一端を垣間見ていこうとするものである。

会 期	平成 22 年 2 月 20 日（土）～5 月 9 日（日）
会 場	研修室
入 場 者 数	8,125 人（3 月 31 日現在）
主な展示品	ハクマノミとイソギンチャク（水槽）、アカウミガメとカメフジツボ（剥製）、ハクセンアカホシカクレエビとスナイソギンチャク（レプリカ）、オニヒトデとヒトデヤドリエビ（液浸標本）、ムチカラマツとキミシグレカクレエビ（液浸標



本) など。  
担 当 者 奥野淳兒

### 3.3 出前展示

#### 1) 本館

##### (1) エコメッセ 2009 in

概 要 変貌しつつある身近な自然の例として、水生生物の外来種フロリダマミズヨコエビを紹介した。

会 期 平成 21 年 9 月 6 日 (日)

会 場 幕張メッセ国際会議場

入 場 者 数 約 400 人

主な展示品 フロリダマミズヨコエビ (実物)、拡大鏡とモニター画面による展示、フロリダマミズヨコエビに関する研究成果スライドショー

担 当 者 倉西良一、桑原和之、白井 豊

#### 2) 房総の山のフィールドミュージアム

##### (1) 第 38 回清和地区文化祭 (君津市清和公民館) 「房総の山のフィールド・ミュージアム紹介展示」

概 要 パネル、標本などにより房総の山のフィールド・ミュージアム事業の成果を紹介した。

会 期 平成 21 年 10 月 31 日 (土) ~11 月 1 日 (日)

会 場 君津市清和公民館

入 場 者 数 2,400 人 (2 日間)

主な展示品 パネル、昆虫標本

担 当 者 尾崎煙雄、大木淳一、島立理子、江口誠一

#### 3) 大利根分館

##### (1) むかしの道具学校間移動展

概 要 小学校 3・4 年生の社会科学習の内容に合わせ、衣食住に関する民具・解説パネル等を展示した。

会 期 平成 21 年 10 月 13 日 (火) ~10 月 23 日 (金)

会 場 銚子市立双葉小学校

入 場 者 数 417 人 (9 日間)

主な展示品 昭和 30 年代の日常の暮らしや遊びに関する民俗資料

担 当 者 西川博孝

##### (2) むかしの道具学校間移動展

概 要 小学校 3・4 年生の社会科学習の内容に合わせ、衣食住に関する民具・解説パネル等を展示した。

会 期 平成 21 年 10 月 26 日 (月) ~平成 21 年 11 月 9 日 (月)

会 場 匝瑳市立八日市場小学校

入 場 者 数 359 人 (10 日間)

主な展示品 昭和 30 年代の日常の暮らしや遊びに関する民俗資料

担 当 者 西川博孝

##### (3) むかしの道具学校間移動展

概 要 小学校 3・4 年生の社会科学習の内容に合わせ、衣食住に関する民具・解説パネル等を展示した。

会 期 平成 21 年 11 月 11 日 (水) ~平成 21 年 11 月 17 日 (火)

会 場 富里市立七栄小学校

入 場 者 数 358 人 (5 日間)

主な展示品 昭和 30 年代の日常の暮らしや遊びに関する民俗資料  
担 当 者 西川博孝

(4) むかしの道具学校間移動展

概 要 小学校 3・4 年生の社会科学習の内容に合わせ、衣食住に関する民具・解説パネル等を展示した。  
会 期 平成 21 年 12 月 8 日（火）～平成 21 年 12 月 9 日（水）  
会 場 八街市立交進小学校  
入 場 者 数 516 人（2 日間）  
主な展示品 昭和 30 年代の日常の暮らしや遊びに関する民俗資料  
担 当 者 西川博孝

## 4. 教育普及

### 4.1 市民学習支援

#### 4.1.1 当館主催の講座・観察会等

##### 4.1.1.1 事前申込型の行事〈月日（曜日）「行事名」 場所（講師）参加者数〉

###### 1) 本館

###### (1) 子ども体験講座

- 8月9日（日）「海藻の押し葉づくり」研修室（宮田昌彦昌彦）12名
- 12月12日（土）「深海の生き物をさわってみよう」研修室（駒井智幸）29名
- 2月14日（日）「顕微鏡で昆虫を覗いてみよう」研修室（直海俊一郎）16名
- 3月21日（日祝）「ヤドカリの世界」研修室（朝倉 彰）10名

###### (2) 地学講座

- 8月8日（土）「化石の模型をつくろう1」研修室（加藤久佳）40名
- 8月14日（金）「化石の模型をつくろう2」研修室（加藤久佳）37名

###### (3) 動物学講座

- 6月14日（日）「二枚貝類の分類・同定」研修室（黒住耐二）20名
- 7月20日（月祝）「昆虫標本の作り方」研修室（斉藤明子）26名
- 7月26日（日）「ハチを知ろう」研修室（宮野伸也）26名
- 11月8日（日）「土壌動物入門」研修室（萩野康則）15名

###### (4) 植物学講座

- 4月18日（土）「植物形態学入門 I 花」研修室（原 正利）21名
- 4月19日（日）「地衣類の分類（上級編）」研修室（原田 浩）16名
- 5月24日（日）「地衣類の分類（上級編）」研修室（原田 浩）16名
- 6月28日（日）「地衣類の分類（上級編）」研修室（原田 浩）10名
- 8月2日（日）「地衣類の分類（上級編）」研修室（原田 浩）10名
- 8月30日（日）「地衣類の分類（上級編）」研修室（原田 浩）10名
- 10月25日（日）「地衣類の分類（上級編）」研修室（原田 浩）15名
- 10月31日（日）「植物形態学入門 II 果実」研修室（原 正利）21名
- 11月22日（日）「地衣類の分類（上級編）」研修室（原田 浩）10名
- 11月29日（日）「バラの歴史」研修室（御巫由紀）24名
- 12月20日（日）「地衣類の分類（上級編）」研修室（原田 浩）8名
- 1月11日（月祝）「イネ科入門講座2」研修室（天野 誠）26名
- 1月24日（日）「地衣類の分類（上級編）」研修室（原田 浩）8名
- 2月27日（土）「花粉を見る・調べる（初級）」研修室（奥田昌明）5名
- 2月28日（日）「地衣類の分類（上級編）」研修室（原田 浩）8名
- 3月6日（土）「花粉を見る・調べる（実践）」研修室（奥田昌明）5名
- 3月28日（日）「地衣類の分類（上級編）」研修室（原田 浩）15名

###### (5) 歴史学講座

- 5月24日（日）「房総の和算文化」講堂（米谷 博）12名
- 6月7日（日）「人と生きもののかかわりの歴史」研修室（高梨俊夫）30名
- 6月21日（日）「縄文土器は語る」研修室（清藤一順）
- 7月5日（日）「日本人の祖先をさぐる」研修室（田村 隆）19名
- 2月13日（土）「房総の旧石器時代」研修室（田村 隆）11名
- 2月14日（日）「房総の縄文時代1」研修室（清藤一順）14名
- 2月20日（土）「房総の縄文時代2」研修室（高梨俊夫）9名
- 2月28日（日）「記録にみる考古資料」講堂（米谷 博）10名

## (6) 環境教育講座

5月16日(土)「学んで歩くむらの景観」研修室(白井 豊) 39名

6月7日(日)「環境教育ワークショップ 持続可能な社会のための教育」会議室(林 浩二) 4名

2月6日(土)「水生昆虫と河川環境」研修室(倉西良一) 21名

## (7) かずさ DNA 研究所公開講座

5月23日(土) DNA が暮らしを変える第1回「DNA についての基礎的なことから」「メタボリックシンドロームと DNA」講堂(かずさ DNA 研究所職員) 78名

5月30日(土) DNA が暮らしを変える第2回「遺伝子の働きをどう調べるか?」「身の回りの化学物質と食の安全」講堂(かずさ DNA 研究所職員) 82名

6月13日(土) DNA が暮らしを変える第3回「iPS 細胞とか ES 細胞とはどういうものか」「バイオ燃料開発の現状と将来の可能性」講堂(かずさ DNA 研究所職員) 58名

6月20日(土) DNA が暮らしを変える第4回「生物の多様な生きざまを解析する」「今後の医薬品開発と DNA 研究所」講堂(かずさ DNA 研究所職員) 62名

6月27日(土) DNA が暮らしを変える第5回「生物の運動とそれに関連する疾患」「食糧問題と DNA 研究所」講堂(かずさ DNA 研究所職員) 59名

## 2) 生態園

### (1) 生態園観察会

4月26日(日)「鳥のさえずり」生態園(大庭照代) 22名

4月26日(日)「鳥のさえずり」生態園(大庭照代) 24名

4月26日(日)「鳥のさえずり」生態園(大庭照代) 8名

8月22日(土)「夜に鳴く虫」生態園(大庭照代) 26名

12月6日(日)「鳥のさえずり」生態園(大庭照代) 7名

12月6日(日)「鳥のさえずり」生態園(大庭照代) 7名

### (2) 展示関連行事

5月24日(日)「春のクモの観察」生態園(谷川明男) 25名

## 3) 房総の山のフィールド・ミュージアム(君津市等)

### (1) 房総の山の観察会

5月10日(日)「小櫃川をのぼる1」木更津市・袖ヶ浦市・君津市(江口誠一・島立理子・小田島高之) 15名

7月25日(土)～26日(日)「夏の山の昆虫」君津市(斉藤明子・尾崎煙雄) 19名

8月9日(日)「小櫃川をのぼる2」木更津市・袖ヶ浦市・君津市(江口誠一・島立理子・小田島高之) 15名

11月7日(土)「泥だんごで学ぶ地質学」君津市(大木淳一) 9名

11月15日(日)「小櫃川をのぼる3」木更津市・袖ヶ浦市・君津市(江口誠一・島立理子・小田島高之) 21名

1月30日(土)「房総丘陵の町を探る」君津市(江口誠一・島立理子) 16名

2月14日(日)「小櫃川をのぼる4」木更津市・袖ヶ浦市・君津市(江口誠一・島立理子・小田島高之) 15名

## 4) 大多喜城分館

### (1) 博物館セミナー「大多喜を学ぶ」

7月9日(木)「大多喜松平家家中の身分と職制」大多喜城分館(高橋 寛) 56名

8月27日(木)「東上総の市」大多喜城分館(安齋信人) 40名

3月6日(土)「大多喜城を関東近世城郭と比較する」大多喜城分館(小高春雄) 25名

### (2) 博物館セミナー「古文書講座」

12月3日(木)「古文書講座」 大多喜城分館 (米谷 博) 30名  
1月7日(木)「古文書講座」 大多喜城分館 (高橋 覚) 32名  
2月4日(木)「古文書講座」 大多喜城分館 (高橋 覚) 25名

### (3) 企画展関連講演会等

10月4日(日)「ガレオン船が運んだ日墨友好の夢」 大多喜城分館 (榊 玲子) 32名  
10月17日(土)「ドン・ロドリゴのきた道 大多喜城コンサート」 (地域文化芸術プラン) 大多喜城分館 (高谷秀司氏他) 210名

### (4) 収蔵資料展関連講演会等

11月7日(土)「刀装具について」 (地域文化芸術プラン) 大多喜城分館 (島田弘道氏) 22名  
11月19日(木)「刀剣の見方」 大多喜城分館 (鶴沢幸蔵氏) 40名  
12月12日(土)「日本を支えた火縄銃 (和銃)と和鉄」 (地域文化芸術プラン) 大多喜城分館 (霜 禮次郎氏) 48名  
12月12日(土)「中島流砲術 大多喜城鉄砲隊」 (地域文化振興プラン) 大多喜城分館 (山本恵一氏他) 230名  
1月9日(土)「武術 立見流」 (地域文化芸術プラン) 大多喜城分館 (加藤 紘氏他) 85名  
1月23日(土)「武術 天真正伝香取神道流」 (地域文化振興プラン) 大多喜城分館 (大竹利典氏他)107名

### 5) 分館海の博物館

4月26日(日)「ウミウシを観察しよう」 博物館内 (立川浩之) 16名  
4月29日(水)「親子で磯の生きものを探そう1」 博物館前磯 (村田明久・川瀬裕司) 21名  
5月2日(土)「春の鶴原理想郷で植物を観察しよう」 鶴原理想郷 (菊地則雄) 9名  
5月6日(水)「東洋のガラパゴス—小笠原諸島の海の生きもの—」 博物館内 (立川浩之) 3名  
5月10日(日)「親子で磯の生きものを探そう2」 博物館前磯 (川瀬裕司・奥野淳兒) 15名  
5月21日(木) 高滝中学校昭和27年度卒業生クラス会 展示室 (山岸さゆ里) 22名  
5月24日(日)「海辺にエビ・カニを訪れる会」 博物館前磯 (奥野淳兒・立川浩之) 17名  
6月25日(木) 山武市社会福祉協議会 展示室 (菊地則雄) 14名  
7月3日(金) 船橋市清水山カラオケクラブ 展示室 (村田明久) 21名  
7月4日(土) 千葉市科学館 展示室 (川瀬裕司・中村裕明) 39名  
9月20日(日)「海を見つめる画家たち—鶴原理想郷と安井曾太郎」 博物館内 (大久保 守) 7名  
10月4日(日)「秋の鶴原理想郷で植物を観察しよう」 鶴原理想郷 (菊地則雄) 17名  
10月11日(日)「野生きのご観察会」 いすみ市 (中村裕明) 18名  
10月23日(金) 茂原市教育委員会学校教育課 展示室 (立川浩之) 18名  
10月25日(日)「写生地・鶴原理想郷を探訪しよう」 鶴原理想郷 (大久保 守・中村裕明) 3名  
3月6日(土) NPO 法人海苔のふるさと会 展示室 (菊地則雄) 34名  
3月14日(日)「共生エビの世界」 博物館前磯 (奥野淳兒) 11名  
3月20日(土)「海藻を観察しよう」 博物館前磯 (菊地則雄・川瀬裕司)10名

### 6) 県内外各地で開催した観察会

#### (1) 地学野外観察会

5月10日(日)「地質の日に養老溪谷を歩く」 大多喜町 (徳橋秀一・高橋直樹) 45名  
8月8日(土)「海岸で石ころをひろおう」 富津市 (高橋直樹・安達正嗣 (友の会)) 29名  
9月26日(土) 27日(日)「福島県いわき・棚倉地方の化石採集」 福島県いわき市ほか (加藤久佳・伊左治鎮司) 30名  
10月31日(土) 11月1日(日)「県外岩石観察会3 白河火砕流と白河石・芦野石」 福島県白河市など (高橋直樹・橋本 昇 (友の会)) 25名  
3月6日(土)「南房総の海底地すべり堆積層」 南房総市 (岡崎浩子・高橋直樹) 20名

## (2) 動物観察会

8月9日(日)「夏の昆虫」市原市能満(直海俊一郎)15名

## (3) 植物観察会

5月4日(月祝)「春の植物野外観察会」大多喜町(天野 誠・斎木健一)45名

5月9日(土)「潮だまりの海藻」鴨川市(宮田昌彦昌彦)5名

5月10日(日)「里の地衣類」館山市(原田 浩)12名

7月11日(土)「南房総の海辺と森を歩く」南房総市(原 正利・由良 浩)7名

11月3日(火祝)「秋の植物野外観察会」大多喜町(天野 誠・斎木健一)34名

## (4) 歴史見学会

10月24日(土)「龍角寺古墳群を訪ねる」栄町(高梨俊夫)30名

11月21日(土)「佐原の町並みを訪ねる」香取市(米谷 博)5名

## (5) 環境教育講座

5月24日(日)「東京湾三番瀬の生きもの」三番瀬・船橋市浜町公民館(風呂田利夫(東邦大学)・林 紀男)33名

## (6) 里山観察会

5月9日(土)「里山観察会 新緑の草木(仮題)」房総のむら(大野啓一)9名

8月1日(土)「夏の昆虫」房総のむら(直海俊一郎)24名

9月26日(土)「アカマツ林とキノコ」房総のむら(吹春俊光)22名

## (7) 自然観察会

9月5日(日)「地びき網でとれる砂浜の生きもの」九十九里町(宮 正樹・駒井智幸)70名

### 4.1.1.2 当日参加型の行事(月日(曜日)「行事名」場所(講師)参加者数)

#### 1) 本館

##### (1) 子ども体験講座

5月3日(日祝)「中央博調査隊」展示室(体験交流員)9名

5月4日(月祝)「中央博調査隊」展示室(体験交流員)13名

5月5日(火祝)「手形・足形色紙づくり」研修室(田邊由美子)11名

5月5日(火祝)「中央博調査隊」展示室(体験交流員)18名

5月6日(水振)「石を割ってみよう」一階入り口(高橋直樹)80名

8月5日(水)「1000万年前のミニ化石を探そう」一階入り口(加藤久佳・伊左治鎮司)140名

9月27日(日)「土偶・土版・土鈴づくり」研修室(清藤一順)20名

10月4日(日)「貝輪づくり」研修室(高梨俊夫)24名

10月11日(日)「勾玉づくり」研修室(田村 隆)20名

10月18日(日)「火起こし・アングイン編み体験」1階ホール(清藤一順)99名

11月3日(火祝)「縄文のペンダントづくり」研修室(清藤一順)21名

11月3日(火祝)「木の葉化石発見!!」1階入り口(伊左治鎮司)86名

11月3日(火祝)「塩の結晶を割ってみよう」1階ホール(高橋直樹)68名

11月14日(土)「鹿角ペンダントづくり」研修室(清藤一順)23名

##### (2) 植物学講座

11月7日(土)「野生きのこ鑑定会・きのこ講話」講堂(吹春俊光)34名

##### (3) 歴史学講座

11月1日(日)「古文書講座1」講堂(米谷 博)21名

12月6日(日)「古文書講座2」講堂(米谷 博)27名

#### (4) 環境科学講座

10月17日(土)「石仏入門講座」講堂(白井 豊・沖本 博) 55名

#### (5) 環境教育講座

7月25日(土)「景観を探る」研修室(白井 豊) 5名

8月29日(土)「景観を探る(水鳥編)」研修室(桑原和之) 50名

11月3日(火祝)「房総の川の生き物と環境を知ろう」講堂(倉西良一) 58名

#### (6) 県民の日ワークショップ

6月15日(月)「エコデコイ」研修室(桑原和之) 100名

6月15日(月)「南極の氷にタッチしよう」2階ホール(伊左治鎮司) 450名

#### (7) 夏休み関連行事

7月25日(土)「夏休み自由研究相談会」1階ホール 21名

8月22日(土)「夏休み自由研究相談会」1階ホール・研修室 35名

8月23日(日)「夏休み自由研究相談会」1階ホール・研修室 43名

#### (8) 企画展示関連行事

4月8日(水)千葉県立中央博物館友の会 春の展示「クモ・蜘蛛・くも」解説(萩野康則)

4月12日(日)春の展示「クモ・蜘蛛・くも」を10倍楽しむために 青葉の森町内会(萩野康則)

4月29日(水祝)「クモの不思議」講堂(新海栄一) 124名

6月6日(土)「ミヤコタナゴ」講堂(望月賢二) 200名

7月5日(日)「生物多様性展 記念講演会 地域サステナビリティと生物多様性」講堂(古在豊樹(千葉大学)) 74名

7月11日(土)「生物多様性シンポジウム1:生物多様性保全研究の最前線」講堂(千葉県と大学協定を締結した6大学・中央博物館・生物多様性センターから) 112名

7月18日(土)「生物多様性シンポジウム2:里山里海サブグローバル生態系評価と冬水田んぼ報告」講堂(呉地正行(日本雁を保護する会会長)・大久保 達弘(宇都宮大学)・佐土原聡(横浜国立大学)ほか) 83名

8月1日(土)「生きものにぎわい子ども発表会・コンサート」講堂(ちばぞうれっしゃ合唱団ほか) 112名

8月22日(土)「生物多様性入門講演会「生物多様性とは」」講堂(中村俊彦) 82名

8月29日(土)「生物多様性シンポジウム3:生命のにぎわいとつながりを世界の子どもの未来へー生物多様性条約締約国会議 COP10に向けてー」講堂(草刈秀紀(WWF ジャパン)ほか) 122名

10月14日(水)千葉県立中央博物館友の会 秋の展示 生物多様性2:人と自然のかかわり 『縄文の躍動ー海と生きた人々の文化ー』解説会 千葉県立中央博物館(清藤一順)

10月25日(日)「貝塚フォーラム」講堂(清藤一順) 212名

11月23日(月)「縄文を奏でる」講堂(清藤一順) 62名

2月6日(土)「篠崎四郎の房総金石文研究」展示室(斎木 勝) 5名

2月7日(日)「篠崎四郎の房総金石文研究」展示室(斎木 勝) 15名

2月13日(土)「篠崎四郎の房総金石文研究」展示室(斎木 勝) 50名

2月14日(日)「篠崎四郎の房総金石文研究」展示室(斎木 勝) 10名

2月20日(土)「篠崎四郎の房総金石文研究」展示室(斎木 勝) 7名

2月21日(日)「千葉県遺跡調査研究発表会」講堂(高梨俊夫) 204名

2月27日(土)「篠崎四郎の房総金石文研究」展示室(斎木 勝) 7名

2月28日(日)「篠崎四郎の房総金石文研究」展示室(斎木 勝) 16名

3月6日(土)「篠崎四郎の房総金石文研究」展示室(斎木 勝) 32名

3月7日(日)「拓本をとってみよう」1階ホール(斎木 勝) 6名

3月7日(日)「篠崎四郎の房総金石文研究」展示室(斎木 勝)8名

#### (9) 千葉学講座

10月31日(土)「舟から船へー原始から近世までの日本船の変遷を探るー 龍女建立-龍角寺古墳群と龍角寺-」講堂(横山仁(関宿城博物館)糸原清(房総のむら))74名

11月21日(土)「千葉県立現代産業科学館のカメラコレクションについて」「棟札が語る里見忠義の思い」講堂(豊川公裕(現代産業科学館)岡田晃司(館山市生涯学習課))48名

#### (10) 公開中央博セミナー

1月21日(月祝)「西ネパールの植物と人々の暮らしー海外調査報告-」講堂(天野 誠)81名

3月7日(日)「世界のコウジキンの分布と生態を調べてーアマゾンからタクラマカン砂漠までー」講堂(堀江義一)28名

#### (11) ミュージアム・トーク

4月4日(土)「町中のコケ」生物展示室(古木達郎)3名

4月5日(日)「千葉県でダイヤモンドは出るか?」地学展示室(高橋直樹)13名

4月11日(土)「房総の貝類」地学・生物・分類・海洋展示室(黒住耐二)10名

4月12日(日)「クモ・蜘蛛・くも」企画展示室(萩野康則)24名

4月18日(土)「春の谷津」生物展示室(天野 誠)5名

4月19日(日)「銚子のアンモナイト」地学展示室(浅井秀彦)13名

4月25日(土)「収蔵庫探検」液浸収蔵庫(駒井智幸)14名

4月26日(日)「クモ・蜘蛛・くも」企画展示室(萩野康則)30名

4月29日(水)「生態園ツアー」生態園(奥田昌明)7名

5月2日(土)「生態園ツアー」生態園(奥田昌明)7名

5月3日(日)「中央博調査隊」地学展示室(伊左治鎮司)7名

5月4日(月)「中央博調査隊」地学展示室(伊左治鎮司)10名

5月5日(火)「中央博調査隊」地学展示室(伊左治鎮司)13名

5月6日(水)「昆虫の飛翔」分類展示室(直海俊一郎)14名

5月9日(土)「房総の昆虫」分類展示室(直海俊一郎)2名

5月10日(日)「クモ・蜘蛛・くも」企画展示室(萩野康則)51名

5月16日(土)「縄文時代の暮らし」歴史展示室(田邊由美子)2名

5月17日(日)「銚子のアンモナイト」地学展示室(浅井秀彦)21名

5月23日(土)「江戸時代の漁業」歴史展示室(安齋信人)6名

5月24日(日)「房総の上総掘り」かかわり展示室(地引尚幸)7名

5月30日(土)「江戸時代の村」歴史展示室(安齋信人)9名

5月31日(日)「クモ・蜘蛛・くも」企画展示室(萩野康則)64名

6月6日(土)「6月は環境月間です」かかわり展示室(林 浩二)0名

6月7日(日)「変な虫ーネジレバネ」分類展示室(宮野伸也)8名

6月13日(土)「富士山の噴火と房総」地学展示室(高橋直樹)10名

6月14日(日)「生態園トピックス展解説」生態園(大庭照代)29名

6月15日(月)「房総の貝類」地学・生物・分類・海洋展示室(黒住耐二)10名

6月20日(土)「生態園トピックス展解説」オリエンテーションハウス(大庭照代)40名

6月21日(日)「千葉の野生動物」生物・分類展示室(落合啓二)26名

6月27日(土)「房総の上総掘り」かかわり展示室(地引尚幸)6名

6月28日(日)「化石の言葉を聞こう」地学展示室(新 和宏)43名

7月4日(土)「サンゴと珊瑚」地学展示室(新 和宏)32名

7月5日(日)「驚異の昆虫たち」分類展示室(斉藤明子)10名

7月11日(土)「収蔵庫化石探検」第5収蔵庫(加藤久佳)62名

7月12日(日)「植物の多様性」企画展示室(古木達郎)11名

7月18日(土)「模型で見る農村景観」かかわり展示室(白井 豊)7名



7月19日(日)「房総の森について」生物展示室(原 正利) 11名  
 7月20日(月)「模型で見る農村景観」かかわり展示室(白井 豊) 12名  
 7月25日(土)「展示室でキノコ探検」かかわり・分類展示室(堀江義一) 8名  
 7月26日(日)「収蔵庫探検」液浸収蔵庫(駒井智幸) 21名  
 8月1日(土)「収蔵庫化石探検」第5収蔵庫(加藤久佳) 16名  
 8月2日(日)「展示室でキノコ探検」かかわり・分類展示室(吹春俊光) 15名  
 8月8日(土)「驚異の昆虫たち」分類展示室(斎藤明子) 12名  
 8月9日(日)「植物の多様性」企画展示室(古木達郎) 40名  
 8月15日(土)「地衣類って何？」分類展示室(原田 浩) 6名  
 8月16日(日)「生物多様性展1：昆虫」企画展示室(斎藤明子) 28名  
 8月22日(土)「千葉県の野鳥たち」展示室(桑原和之) 18名  
 8月23日(日)「千葉県の野鳥たち」展示室(桑原和之) 22名  
 8月29日(土)「収蔵庫探検」液浸収蔵庫(駒井智幸) 9名  
 8月30日(日)「砂浜の植物」生態園(由良 浩) 2名  
 9月5日(土)「植物標本はなぜ色が褪せるか？」分類展示室(御巫由紀) 6名  
 9月6日(日)「変な虫ーネジレバネ」分類展示室(宮野伸也) 14名  
 9月12日(土)「房総のクジラ漁」歴史展示室(安齋信人) 23名  
 9月13日(日)「ムシオクリ」かかわり展示室(地引尚幸) 13名  
 9月19日(土)「展示室でキノコ探検」生物展示室(吹春俊光) 15名  
 9月20日(日)「土の中の生き物」生物・分類展示室(萩野康則) 17名  
 9月21日(月)「生活環境のカビ」分類・企画展示室(吹春俊光) 20名  
 9月22日(火)「収蔵庫探検」液浸収蔵庫・第2収蔵庫(宮 正樹) 28名  
 9月23日(水)「千葉県の植物」分類展示室(天野 誠) 15名  
 9月26日(土)「縄文の躍動」企画展示室(清藤一順) 43名  
 9月27日(日)「銚子のアンモナイト」地学展示室(浅井秀彦) 17名  
 10月3日(土)「縄文の躍動」企画展示室(田村 隆) 14名  
 10月4日(日)「収蔵庫探検」液浸収蔵庫・第2収蔵庫(宮 正樹) 33名  
 10月10日(土)「縄文の躍動」企画展示室(田邊由美子) 37名  
 10月11日(日)「縄文の躍動」企画展示室(米谷 博) 17名  
 10月12日(月)「縄文の躍動」企画展示室(清藤一順) 28名  
 10月17日(土)「縄文の躍動」企画展示室(田村 隆) 14名  
 10月18日(日)「縄文の躍動」企画展示室(田邊由美子) 12名  
 10月24日(土)「生態園トピックス展解説」オリエンテーションハウス(林 紀男) 8名  
 10月25日(日)「生態園トピックス展解説」オリエンテーションハウス(林 紀男) 25名  
 10月31日(土)「縄文の躍動」企画展示室(佐久間 豊・米谷 博) 30名  
 11月1日(日)「海岸崖地の植物」生態園(由良 浩) 0名  
 11月3日(火)「人の生活にかかわるカビについて」かかわり・分類展示室(堀江義一) 16名  
 11月7日(土)「人の生活にかかわるカビについて」かかわり・分類展示室(堀江義一) 16名  
 11月8日(日)「縄文の躍動」企画展示室(清藤一順) 30名  
 11月14日(土)「縄文の躍動」企画展示室(田村 隆) 10名  
 11月15日(日)「縄文の躍動」企画展示室(清藤一順) 52名  
 11月21日(土)「縄文の躍動」企画展示室(矢本節朗) 12名  
 11月22日(日)「縄文の躍動」企画展示室(矢本節朗) 12名  
 11月23日(月)「縄文の躍動」企画展示室(田邊由美子) 32名  
 11月28日(土)「房総の森について」生物展示室(原 正利) 10名  
 11月29日(日)「昆虫の飛翔」分類展示室(直海俊一郎) 14名  
 12月5日(土)「12月は地球温暖化防止月間です」かかわり展示室(林 浩二) 3名  
 12月6日(日)「地層の模様」地学展示室(岡崎浩子) 23名  
 12月12日(土)「千葉県でダイヤモンドは出るか？」地学展示室(高橋直樹) 7名  
 12月13日(日)「雑木林のいとなみ」かかわり展示室(大野啓一) 14名  
 12月19日(土)「展示室できのこ探検」かかわり展示室(吹春俊光) 7名

12月20日(日)「収蔵庫化石探検」第5収蔵庫(加藤久佳)7名  
 12月23日(水)「照葉樹林の植物」生物展示室(天野 誠)13名  
 12月26日(土)「雄と雌を決めるしくみ - 動物における性決定」軽食喫茶あおば(宮野伸也)5名  
 12月27日(日)「千葉の野生動物」生物・分類展示室(落合啓二)8名  
 1月9日(土)「房総発掘ものがたり」企画展示室(田村 隆)11名  
 1月10日(日)「房総発掘ものがたり」企画展示室(田邊由美子)18名  
 1月11日(月)「房総発掘ものがたり」企画展示室(米谷 博)19名  
 1月16日(土)「房総発掘ものがたり」企画展示室(清藤一順)7名  
 1月17日(日)「房総発掘ものがたり」企画展示室(田村 隆)13名  
 1月23日(土)「房総発掘ものがたり」企画展示室(田邊由美子)13名  
 1月24日(日)「房総発掘ものがたり」企画展示室(米谷 博)7名  
 1月30日(土)「房総発掘ものがたり」企画展示室(清藤一順)9名  
 1月31日(日)「房総発掘ものがたり」企画展示室(田村 隆)13名  
 2月6日(土)「房総発掘ものがたり」企画展示室(佐久間 豊・田邊由美子)9名  
 2月7日(日)「房総発掘ものがたり」企画展示室(佐久間 豊・清藤一順)14名  
 2月11日(木)「房総発掘ものがたり」企画展示室(矢本節朗)9名  
 2月13日(土)「小動物展示室の秘密」小動物展示室(倉西良一)11名  
 2月14日(日)「銚子のアンモナイト」地学展示室(浅井秀彦)11名  
 2月20日(土)「房総発掘ものがたり」企画展示室(矢本節朗)10名  
 2月21日(日)「房総発掘ものがたり」企画展示室(谷 旬)48名  
 2月27日(土)「植物標本はなぜ色が褪せるか?」分類展示室(御巫由紀)5名  
 2月28日(日)「雑木林のいとなみ」かかわり展示室・生態園(大野啓一)8名  
 3月6日(土)「小動物展示室の秘密」小動物展示室(倉西良一)21名  
 3月7日(日)「地層の模様」地学展示室(岡崎浩子)13名  
 3月13日(土)「雲南の地衣類」企画展示室(原田 浩)61名  
 3月14日(日)「収蔵庫探検」液浸収蔵庫・第2収蔵庫(宮 正樹)12名  
 3月17日(水)「雲南の地衣類」企画展示室(原田 浩)4名  
 3月18日(木)「雲南の地衣類」企画展示室(原田 浩)29名  
 3月20日(土)「生態園トピックス展解説」生態園(奥田昌明)5名  
 3月21日(日)「雲南の地衣類」企画展示室(原田 浩)25名  
 3月22日(月)「雲南の地衣類」企画展示室(原田 浩)5名  
 3月22日(月)「身近なアリの生態」分類展示室(山口 剛)10名  
 3月24日(水)「雲南の地衣類」企画展示室(原田 浩)10名  
 3月27日(土)「房総の海岸生物」海洋展示室(朝倉 彰)24名  
 3月28日(日)「房総の海岸生物」海洋展示室(朝倉 彰)20名  
 3月28日(日)「雲南の地衣類」企画展示室(原田 浩)20名

## 2) 生態園

### (1) 生態園観察会

4月16日(木)「春の植物」生態園(大野啓一)20名  
 5月9日(土)「とりの声キャッチ名人」生態園(大庭照代・小林真弓)20名  
 5月16日(土)「とりの声キャッチ名人」生態園(大庭照代・佐々木明美)17名  
 5月23日(土)「とりの声キャッチ名人」生態園(大庭照代・御須裕子)39名  
 5月30日(土)「とりの声キャッチ名人」生態園(大庭照代・広田由紀江)27名  
 7月19日(日)「カイツブリ大好き」生態園(大庭照代)17名  
 7月20日(月祝)「カイツブリ大好き」生態園(大庭照代)44名  
 8月20日(木)「夏の植物」生態園(原 正利)13名  
 10月31日(土)「とりの声キャッチ名人」生態園(大庭照代・綾富美子)44名  
 11月7日(土)「とりの声キャッチ名人」生態園(大庭照代・佐々木明美)30名  
 11月14日(土)「とりの声キャッチ名人」生態園(大庭照代・御須裕子)0名

- 11月19日(木)「秋の植物」生態園(林 浩二) 8名
- 11月21日(土)「とりの声キャッチ名人」生態園(大庭照代・百目木純子) 19名
- 2月18日(木)「冬の植物」生態園(由良 浩) 3名
- 3月13日(土)「とりの声キャッチ名人」生態園(大庭照代・泉 宏子) 29名
- 3月14日(日)「とりの声キャッチ名人」生態園(大庭照代・佐々木明美) 17名
- 3月14日(日)「森の妖精ゼフィルスに会おう」生態園(倉西良一) 16名
- 3月30日(水)「とりの声キャッチ名人」生態園(大庭照代・神 伴之) 20名
- 3月31日(木)「とりの声キャッチ名人」生態園(大庭照代・広田由紀江) 20名

## (2) 生態園ギャラリー

- 5月8日(金)「あなたの発見おしえてください」生態園(林 浩二) 0名
- 5月9日(土)「あなたの発見おしえてください」生態園(林 浩二) 8名
- 5月10日(日)「あなたの発見おしえてください」生態園(林 浩二) 10名
- 10月2日(金)「あなたの発見おしえてください」生態園(林 浩二) 0名
- 10月3日(土)「あなたの発見おしえてください」生態園(林 浩二) 3名
- 10月4日(日)「あなたの発見おしえてください」生態園(林 浩二) 12名
- 11月3日(火祝)「あなたの発見おしえてください」生態園(林 浩二) 18名

## (3) 生態園連休特別企画

- 5月3日(日祝)「体験！身近な植物の不思議」生態園(原 正利・大野啓一・林 浩二・由良 浩) 300名
- 5月4日(月祝)「体験！身近な植物の不思議」生態園(原 正利・大野啓一・林 浩二・由良 浩) 600名
- 5月5日(火祝)「大集合！ 生態園のケモノたち」生態園(落合啓二・山口 剛) 60名
- 5月6日(水振)「大集合！ 生態園のケモノたち」生態園(落合啓二・山口 剛) 190名
- 10月11日(日)「プランクトンの小宇宙をのぞこう」生態園(林 紀男) 55名
- 10月12日(月祝)「プランクトンの小宇宙をのぞこう」生態園(林 紀男) 47名
- 11月1日(日)「舟田池の水辺を歩こう」生態園(林 紀男) 6名
- 11月3日(火祝)「舟田池の水辺を歩こう」生態園(林 紀男) 14名
- 11月22日(日)「体験！身近な植物の不思議」生態園(原 正利・大野啓一・林 浩二・由良 浩) 25名

## (4) 生態園トピックス展解説

- 4月5日(日)「生態園20年展解説」生態園(大野啓一) 15名
- 4月9日(木)「生態園20年展解説」生態園(大野啓一) 10名

## 3) 房総の山のフィールド・ミュージアム(君津市)

### (1) 房総の山の観察会

- 4月25日(土)「山の学校61」君津市(大木淳一・島立理子・尾崎煙雄) 0名(荒天ため中止)
- 5月23日(土)「山の学校62」君津市(島立理子・尾崎煙雄・江口誠一) 6名
- 6月27日(土)「山の学校63」君津市(尾崎煙雄・江口誠一・大木淳一) 42名
- 7月25日(土)「山の学校64」君津市(大木淳一・島立理子・尾崎煙雄) 32名
- 8月22日(土)「山の学校65」君津市(大木淳一・島立理子・尾崎煙雄) 41名
- 9月26日(土)「山の学校66」君津市(江口誠一・大木淳一・島立理子) 11名
- 10月24日(土)「山の学校67」君津市(尾崎煙雄・江口誠一・大木淳一) 26名
- 11月28日(土)「山の学校68」君津市(島立理子・尾崎煙雄・江口誠一) 9名
- 12月26日(土)「山の学校69」君津市(尾崎煙雄・江口誠一・大木淳一) 13名
- 1月23日(土)「山の学校70」君津市(江口誠一・大木淳一・島立理子) 3名
- 2月27日(土)「山の学校71」君津市(江口誠一・大木淳一・島立理子) 荒天のため中止
- 3月27日(土)「山の学校72」君津市(島立理子・尾崎煙雄・江口誠一) 16名

## (2) 教室博物館

4月1日～3月31日 三島小学校 995名

4月1日～3月31日 蔵玉小学校 139名

## 4) 大多喜城分館

### (1) 体験教室

4月25日(日)「甲冑の試着体験」大多喜城分館(小林清隆・高橋 覚・三森俊彦)6名

5月5日(火)「甲冑の試着体験」大多喜城分館(小林清隆・高橋 覚・三森俊彦)27名

6月15日(月)「甲冑の試着体験」大多喜城分館(小林清隆・高橋 覚・三森俊彦)40名

8月16日(日)「甲冑の試着体験」大多喜城分館(小林清隆・高橋 覚・三森俊彦)21名

9月27日(日)「甲冑の試着体験」大多喜城分館(小林清隆・高橋 覚・三森俊彦)33名

11月3日(火)「甲冑の試着体験」大多喜城分館(小林清隆・高橋 覚・三森俊彦)29名

12月6日(日)「甲冑の試着体験」大多喜城分館(小林清隆・高橋 覚・三森俊彦)21名

### (2) 展示解説会

4月5日(日)「展示解説会」大多喜城分館(高橋 覚)15名

4月12日(日)「展示解説会」大多喜城分館(高橋 覚)16名

4月19日(日)「展示解説会」大多喜城分館(高橋 覚)20名

4月26日(日)「展示解説会」大多喜城分館(高橋 覚)12名

5月3日(日)「展示解説会」大多喜城分館(高橋 覚)10名

5月17日(日)「展示解説会」大多喜城分館(高橋 覚)15名

9月20日(日)「企画展展示解説会」大多喜城分館(高橋 覚)13名

## 5) 分館海の博物館

4月4日(土)「海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう」博物館内(山岸さゆ里・芳賀智恵美)9名

4月18日(土)「微小貝をさがそう」博物館内7名

4月(総計)「展示室の歩き方」展示室(山岸さゆ里・芳賀智恵美)34名

5月3日(日)「博物館探検隊」博物館内(菊地則雄・奥野淳兒)37名

5月4日(月)「エコデコイ“こがもちゃん”の色塗り」博物館内(山岸さゆ里・芳賀智恵美)25名

5月5日(火)「タッチプール」博物館内(奥野淳兒・菊地則雄)57名

5月16日(土)「海藻おしぼを作ろう」博物館内(山岸さゆ里・芳賀智恵美)11名

5月30日(土)「シラスを調べようー冷蔵庫の中の小さな海ー」博物館内(山岸さゆ里・芳賀智恵美)7名

5月(総計)「展示室の歩き方」展示室(山岸さゆ里・芳賀智恵美)5名

6月13日(土)「コーラルプリントをしよう」博物館内(山岸さゆ里・芳賀智恵美)7名

6月27日(土)「海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう」博物館内(山岸さゆ里・芳賀智恵美)5名

7月18日(土)「博物館探検隊(臨時)」博物館内8名

7月20日(月)「磯・いそ探検隊」博物館前磯(菊地則雄・川瀬裕司)20名

7月25日(土)「磯・いそ探検隊」博物館前磯(奥野淳兒・川瀬裕司)15名

7月29日(水)「エコデコイ“こがもちゃん”の色塗り」博物館内(山岸さゆ里・芳賀智恵美)15名

7月(総計)「展示室の歩き方」展示室(山岸さゆ里・芳賀智恵美)8名

8月1日(土)「博物館探検隊(臨時)」博物館内(川瀬裕司)13名

8月2日(日)「海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう」博物館内(山岸さゆ里・芳賀智恵美)59名

8月6日(木)「磯・いそ探検隊」博物館前磯(川瀬裕司・奥野淳兒)18名

8月7日(金)「磯・いそ探検隊」博物館前磯(立川浩之・菊地則雄)18名

8月9日(日)「博物館探検隊(臨時)」博物館内(川瀬裕司)16名

- 8月12日(水)「コーラルプリントをしよう」博物館内(山岸さゆ里・芳賀智恵美) 17名  
 8月13日(木)「タッチプール」博物館内(立川浩之・奥野淳兒) 55名  
 8月14日(金)「タッチプール」博物館内(川瀬裕司・立川浩之) 48名  
 8月15日(土)「タッチプール」博物館内(村田明久・川瀬裕司) 62名  
 8月19日(水)「磯・いそ探検隊」博物館前磯(立川浩之・村田明久) 5名  
 8月20日(木)「磯・いそ探検隊」博物館前磯(村田明久・菊地則雄) 16名  
 8月21日(金)「磯・いそ探検隊」博物館前磯(菊地則雄・中村裕明) 16名  
 8月23日(日)「海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう」博物館内(山岸さゆ里・芳賀智恵美) 30名  
 8月29日(土)「コーラルプリントをしよう」博物館内(山岸さゆ里・芳賀智恵美) 13名  
 8月(総計)「展示室の歩き方」展示室(山岸さゆ里・芳賀智恵美) 13名  
 9月12日(土)「微小貝をさがそう」博物館内 8名  
 9月26日(土)「海藻おしばを作ろう」博物館内(山岸さゆ里・芳賀智恵美) 10名  
 9月(総計)「展示室の歩き方」展示室(山岸さゆ里・芳賀智恵美) 10名  
 10月10日(土)「シラスを調べようー冷蔵庫の中の小さな海ー」博物館内(山岸さゆ里・芳賀智恵美) 4名  
 10月24日(土)「コーラルプリントをしよう」博物館内(山岸さゆ里・芳賀智恵美) 2名  
 10月(総計)「展示室の歩き方」展示室(山岸さゆ里・芳賀智恵美) 8名  
 11月3日(火)「博物館探検隊」博物館内(村田明久・川瀬裕司) 26名  
 11月7日(土)「海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう」博物館内(山岸さゆ里・芳賀智恵美) 4名  
 11月21日(土)「微小貝をさがそう」博物館内 6名  
 12月5日(土)「海藻おしばを作ろう」博物館内(山岸さゆ里・芳賀智恵美) 10名  
 12月19日(土)「海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう」博物館内(山岸さゆ里) 8名  
 1月9日(土)「コーラルプリントをしよう」博物館内(山岸さゆ里・芳賀智恵美) 2名  
 1月23日(土)「シラスを調べようー冷蔵庫の中の小さな海ー」博物館内(山岸さゆ里・芳賀智恵美) 4名  
 2月6日(土)「微小貝をさがそう」博物館内 6名  
 2月20日(土)「海藻おしばを作ろう」博物館内(山岸さゆ里・芳賀智恵美) 10名  
 3月6日(土)「シラスを調べようー冷蔵庫の中の小さな海ー」博物館内(山岸さゆ里・芳賀智恵美) 8名  
 3月27日(土)「コーラルプリントをしよう」博物館内(山岸さゆ里・芳賀智恵美) 12名  
 3月(総計)「展示室の歩き方」展示室(山岸さゆ里・芳賀智恵美) 6名

#### 4.1.2 外部主催の講座・観察会等

##### 4.1.2.1 博物館・植物園主催

###### 1) 本館・大多喜城分館

- 5月23日(土) 国立歴史民俗博物館くらしの植物苑観察会「佐倉城址の初夏の植物」 国立歴史民俗博物館くらしの植物苑・佐倉城址(原 正利) 62名  
 8月23日(日) 福井市自然史博物館 特別講演会「化石と語ろう」 福井市自然史博物館,(伊左治鎮司)  
 9月21日(月) 大阪自然史博物館. 講演会「アンモニア菌の自然誌」 大阪自然史博物館(吹春俊光)  
 10月15日(木) 長野市鬼無里奥据花自然園観察会「野生きのこ」(吹春俊光) 45名  
 10月24日(土) 国立歴史民俗博物館くらしの植物苑観察会「江戸時代のバラ」 国立歴史民俗博物館くらしの植物苑(御巫由紀) 48名  
 1月16日(土) 久留里城址資料館. 地域に見る上総掘りの諸相. 久留里城址資料館, 君津市.(地引尚幸)  
 3月6日(土) 観音崎自然博物館 歴史ガイドツアー(田邊由美子) 10名

#### 4.1.2.3 公民館・図書館・青少年の家主催

##### 1) 本館・大多喜城分館

- 5月15日(金) 足立区生涯学習センター「地域の自然体験と自然しらべ」(浅田正彦) 20名  
5月16日(土) 船橋東部公民館「環境ふりかえり講座」(全5回)第2回(白井 豊) 39名  
5月30日(土) 船橋東部公民館「環境ふりかえり講座」(全5回)第3回(白井 豊) 29名  
6月14日(木) 足立区生涯学習センター「地域の自然体験と自然しらべ」(浅田正彦) 20名  
6月30日(土) 君津市周西公民館 おすすめツアー(体験交流員:島 絵里子・山本みどり) 29名  
7月9日(木) 君津市洋光台クラブ おすすめツアー(体験交流員:安井澄子・夏井琴絵) 25名  
7月12日(日) 稲毛記念館 東京湾の深海生物(宮 正樹) 28名  
7月30日(木) 浦安市美浜公民館 公民館講座(白井 豊) 21名  
7月30日(木) 浦安市美浜公民館 里山体験!水辺の生き物と昆虫観察(白井 豊) 21名  
7月31日(金) 君津市清和公民館 夜間の昆虫観察(尾崎煙雄) 15名  
7月31日(金) 君津市清和公民館 清和子どもプロジェクト オリジナルTシャツをつくろう(染色)(島立理子) 10名  
8月4日(土) 千葉市教育センター 教員の現地研修(理科)(宮野伸也) 29名  
8月6日(木) 八街市立図書館 驚異の深海生物(宮 正樹) 70名  
8月28日(金) 鎌ヶ谷市北中沢児童センター 夏の特別教室 北中沢児童センター(加藤久佳)  
9月3日(木) 佐倉市中央公民館 佐倉市民カレッジ「身近な自然で起こっていること 私が研究活動を通して考えた自然の変化」(倉西良一) 100名  
9月9日(水) 勝浦市中央公民館 山野草教室(由良 浩・林 浩二) 37名  
9月26日(土) 東金市正気公民館 スクミリングガイの出張展示(大木淳一) 2359名  
9月26日(土)~27日(日) 千葉県立中央博物館友の会 福島県いわき・棚倉地方の化石採集. いわき市アンモナイトセンター 藤田礦業採石場(伊左治鎮司)  
10月3日(土) 香取市佐原中央公民館 自然環境講座「水郷佐原の自然が奏でる 音で描く地図2」(大庭照代) 25名  
10月4日(日) 香取市佐原中央公民館 水郷佐原の自然が奏でる音で描く地図 ワークショップ(大庭照代)  
10月3日(土) 足立区生涯学習センター「地域の自然体験と自然しらべ」(浅田正彦) 20名  
10月15日(木) 市原市市津公民館 市津倶楽部バス研修 「房総半島の成り立ち その2-銚子地域について-」(高橋直樹) 30名  
10月17日(土) 市原市南総公民館 南総寺子屋「きのこから見た房総の自然の特徴」(吹春俊光) 45名  
10月25日(日) 君津市清和公民館 親子教室 「清和のシロッカボチャを食べよう」(島立理子) 21名  
11月8日(日) 鎌ヶ谷市南部公民館 プロに学ぶ化石レプリカ製作講座 南部公民館(加藤久佳) 27名  
11月8日(日) 江戸川区立篠崎図書館 きのこの暮らしぶりと南関東のきのこの特徴 篠崎文化プラザ(吹春俊光) 15名  
11月15日(日) 鎌ヶ谷市南部公民館 プロに学ぶ化石レプリカ製作講座 南部公民館(加藤久佳) 25名  
11月22日(日) あすみが丘プラザ 第1回化石探検教室1(加藤久佳) 22名  
12月5日(土) あすみが丘プラザ 第2回化石探検教室2(加藤久佳) 22名  
12月6日(日) 千葉県立鴨川青年の家. 平成21年度鴨川青年の家主催事業「天然記念物枕状溶岩に触れよう」(高橋直樹)  
12月20日(日) 富津市富津公民館 東京湾学講座「古い縁でつながる房総三国と陸奥国」(佐久間 豊).  
2月6日(土) 袖ヶ浦市.根形公民館. 三作神社由来記を読んで考える(地引尚幸)

##### 2) 分館海の博物館

- 5月23日(土) 君津亀山少年自然の家 他地域(立川浩之) 36名
- 6月24日(水) 生涯大学校外房学園 博物館内(村田明久) 40名
- 8月8日(土) 市原市立市津公民館 博物館前磯(菊地則雄) 43名
- 11月8日(日) 鴨川青年の家 他地域(菊地則雄・芳賀智恵美)80名

#### 4.1.2.3 生涯大学・市民大学主催

##### 1) 本館・大多喜城分館

- 6月7日(日) 千葉県生涯大学校京葉学園 おすすめツアー 体験交流員:夏井琴絵) 11名
- 6月7日(日) 千葉県生涯大学校京葉学園「上総掘り」(地引尚幸) 22名
- 8月20日(木) 青葉大学8月講座(佐久間豊・中村俊彦) 30名
- 10月14日(日) 千葉県生涯大学校京葉学園「環境問題」(中村俊彦)
- 10月21日(日) 千葉県生涯大学校京葉学園「環境問題」(中村俊彦)
- 11月10日(土) 千葉県生涯大学校京葉学園 生態園ギャラリー／展示解説(林 浩二・清藤一順) 63名
- 1月26日(火) 千葉県生涯大学校外房学園「大多喜藩の職制」(高橋 寛)75名

#### 4.1.2.4 国・県・市町村主催

##### 1) 本館

- 5月22日(金) 千葉県総合教育センター 研究事業「地域と社会の教育資源を活用した理科教育」(林 浩二) 15名
- 6月12日(金) 山武市生活環境部 第1回景観を知る(浜辺の植物編)(由良 浩) 11名
- 6月20日(土) 国立科学博物館/・日本蕨苔類学会共催コケ類入門講座 国立科学博物館新宿分館(古木達郎) 15名
- 6月30日(火) 山武地域整備センター 「多様性講習会」 山武地域整備センター(斎木健一) 40名
- 7月8日(水) 千葉市生涯学習センター ちばカレッジ「ちばの大地と自然」 千葉市生涯学習センター(斉藤明子)
- 7月8日(水) 千葉市生涯学習センター 第4回講座「ちばカレッジ-ちばの昆虫」(斉藤明子) 20名
- 7月12日(日) 千葉市みどりの協会稲毛記念館. 海の月間記念講演会「東京湾に幻のサメを追う」. 稲毛記念館(宮 正樹)
- 7月22日(水) 千葉市中央区地域振興課 中央区施設見学会「中央博物館」(地引尚幸) 15名
- 7月22日(水) 東京文化財研究所 保存担当学芸員研修ケーススタディ(斉藤明子・米谷 博) 39名
- 7月23日(木) 八千代市環境保全課 八千代子ども環境教室(桑原和之・柏木真弓) 35名
- 7月28日(火) 君津市教育委員会 久留里子どもふれあい教室 君津市立久留里小学校(尾崎煙雄) 35名
- 8月 千葉県文化振興課 「利根川を訪ねる」 利根川下流河川事務所(米谷 博)
- 8月8日(土) 袖ヶ浦市教育委員会 生涯学習課ひらおかジュニアサイエンスセミナー(科学論文作成支援講座)(新 和宏) 24名
- 6月15日(月) 千葉県環境生活部自然保護課 「第1回」アライグマセミナー in ちば 2009(落合啓二)
- 8月2日(金) 岐阜県高山市教育委員会. 荘川化石フォーラム. 高山市役所荘川支所, 高山市(伊左治鎮司)
- 8月15日(土) 千葉県教育振興部生涯学習課 千葉県科学先端技術体験スクール(サイエンススクール)(新 和宏) 30名
- 8月15日(土) 千葉県教育庁教育振興部生涯学習課 サイエンススクール(新 和宏) 30名
- 8月22日(土) 袖ヶ浦市教育委員会生涯学習課 ひらおかジュニアサイエンスセミナー(科学論文作成支援講座)(新 和宏) 24名
- 8月24日(月) 千葉県環境財団 環境と食糧 印西市中央公民館(堀江義一)
- 8月25日(火) 酒々井町教育委員会社会教育課 自然体験教室・千葉県の豊かな自然を学ぼう

- (白井 豊・地引尚幸) 32名
- 8月 文化振興課 「利根川を訪ねる」 利根川下流河川事務所 (米谷 博)
- 8月23日(日) 東京都建設局 講演会「見えてきた!里やまの新しい価値とその未来」 武蔵村山市総合体育館 (中村俊彦)
- 8月27日(木) 千葉市教育委員会・理科教育センター 児童植物観察会 (由良 浩)
- 9月2日(水) 千葉市生涯学習センター ちばカレッジ『ちばの大地と自然』夏休みをする植物たち. 千葉市生涯学習センター (大野啓一) 20名
- 9月12日(月) 千葉県環境生活部環境政策課. エコマインド養成講座「地域の環境保全と土地利用を学ぼう」 大草谷津田いきものの里 (白井 豊)
- 9月30日(金) 林野庁・日本特用林産振興会 ハラタケ目の分類 筑波センター, つくば市 (吹春俊光)
- 9月30日(金) 千葉市生涯学習センター ちばカレッジ第8回「谷津田の環境」 千葉市施与うがい学習センター (中村俊彦)
- 10月4日(日) 千葉県高齢者福祉課 認知症サポーター養成講座 (地引尚幸) 120名
- 10月9日(金) 千葉県博物館協会 コーディネーター「美術館・博物館が地域にできること」 千葉県博物館協会. 千葉県中央博物館講堂 (佐久間 豊)
- 10月10日(土) 千葉観光公社 観察会: 野生のきのこ (吹春俊光) 45名
- 10月13日(火) 千葉県夷隅農林振興センター 観察会: 野生のきのこ 大多喜町農村コミュニティセンター (吹春俊光) 30名
- 10月14日(水) 千葉市生涯学習センター「ちばカレッジ ちばの大地と自然」 房総きのこ今昔 (吹春俊光) 20名
- 10月14日(水) 八千代市環境保全課 印旛沼みためし行動観察会 高野川水生生物調査. 八千代市高野川 (林 紀男) 60名
- 10月18日(日) 千葉菌類談話会 観察会: 野生きのこ (吹春俊光) 70名
- 10月20日(火) 千葉県環境保全推進課 大草谷津田いきものの里・生物環境調査員スキルアップ講座 (天野 誠) 22名
- 10月20日(火) 千葉市. 千葉市生物環境調査員スキルアップ講座 (斎木健一) 24名
- 11月3日(火) 生活環境部水質保全課 H21年度水生生物による水質調査結果考察会 (倉西良一) 52名
- 11月1日(日) 柏市教育委員会. 歴史講演会「房総の縄文文化」. 柏市中央公民館 (清藤一順)
- 11月6日(金) 筑波農林研究交流センター・農業環境技術研究所. 第141回農林交流センターワークショップ「分子系統樹推定法:理論と応用」(宮 正樹)
- 11月23日(月) 千葉県環境財団 平成21年度「スキルアップ講座」(由良 浩) 15名
- 11月28日(土) 千葉県環境生活部自然保護課 森の調査隊/管理講習 (林 浩二・大野啓一・林 紀男) 113名
- 11月28日(土) 千葉県環境生活部自然保護課・千葉県教育委員会 シンポジウム「第2回学校ビオトープフォーラム」(中村俊彦・大野啓一・林 紀男) 60名
- 12月6日(日) 千葉県立鴨川青年の家 天然記念物“枕状溶岩”に触れよう (高橋直樹) 18名
- 12月8日(火) 農林水産省横浜植物防疫所 植物防疫官専門研修「害虫コース」「柄眼目の分類」(黒住耐二) 15名
- 12月11日(金) 千葉県立美術館・博物館における評価制度—その実践経緯と課題,そして提言—. 関東地区博物館協会第2回研究会. 千葉県立美術館 (新 和宏)
- 12月13日(日) 市川緑の市民フォーラム. 市川緑の市民フォーラム第121回例会「生物多様性—その大切さと市民の役割」. 市川市男女共同参画センター (中村俊彦)
- 12月25日(金) 千葉県環境生活部自然保護課「第2回アライグマセミナー in ちば 2009」(浅田正彦) 150名
- 1月13日(水) 千葉県環境財団. 地球環境問題. 市原市市津公民館 (堀江義一)
- 1月18日(火) 鴨川市商工観光課. 鴨川ホリスティックツーリズム認定ガイド養成講座. 鴨川市役所 (新 和宏)
- 1月20日(木) 館山市「千葉県における特定外来生物の状況について」(浅田正彦) 14名



- 1月23日(土)千葉県環境財団. 環境と食糧. 印西市中央公民館(堀江義一)
- 1月30日(土)千葉県環境生活部自然保護課「いのちのにぎわい調査フォーラム」千葉県立中央博物館(斎木健一) 70名
- 2月1日(月)千葉県環境生活部自然保護課「人々の活動と生物多様性」千葉県教育会館(斎木健一)
- 2月7日(日)千葉県博物館職員研修会「千葉県文化財救済ネットワークシステム構築推進事業」. 千葉県博物館職員研修会. 中央博物館 (新 和宏)
- 2月6日(土)千葉県「環境の変化と野生生物による農作物被害」200名
- 2月11日(木)千葉県自然観察指導員 舟田池管理手法解説(林 紀男) 40名
- 2月21日(日)千葉県教育振興財団ほか 千葉県遺跡調査研究発表会(田邊由美子) 204名
- 2月23日(火)千葉東ライオンズクラブ 第78回例会「加曽利貝塚を始めとする縄文遺跡群の世界遺産登録活動について」千葉文化幼稚園2階ホール(佐久間 豊)
- 2月25日(木) 千葉市女性センター. 第5回ナイトセミナー「文化遺産としてのバラ〜ヘリテージローズ〜」. 千葉市女性センター, 千葉市(御巫由紀)
- 3月22日(月) 鎌ヶ谷市環境課講座講師 自然環境講座「鎌ヶ谷の自然と水」第4回. 生涯学習推進センターかまがやまなびいプラザ(由良 浩)

## 2) 分館海の博物館

- 6月17日(水)千葉市生涯学習センター 他地域(立川浩之) 20名
- 7月5日(日)芝山町教育委員会 博物館前磯(菊地則雄) 35名
- 8月9日(日)千葉県夏休みサイエンススクール 博物館前磯・館内(中村裕明) 41名
- 8月10日(月)勝浦市サマースクール 博物館内(中村裕明) 37名

### 4.1.2.5 その他機関・NPO主催

#### 1) 本館・大利根分館・大多喜城分館

- 4月1日(水)房総石造文化財研究会 総会・石仏勉強会(白井 豊)
- 4月3日(金)千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会)(高橋直樹) 9名
- 4月10日(金)千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会)(高橋直樹) 10名
- 4月12日(日)青葉の森町内会独自事業及び中央博物館の利用(地引尚幸) 130名
- 4月12日(日)千葉県ネイチャーゲーム協会「生物多様性と自然観察支援」(浅田正彦) 20名
- 4月17日(金)千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会)(高橋直樹) 11名
- 4月18日(土)ピースシード. アースデイいのちの森 「トーキングサークル いのちのたね」ゲスト 明治神宮(島立理子)
- 4月22日(水)自然と人間を考える会 「小櫃川上流の観察会」東京大学千葉演習林(尾崎煙雄) 30名
- 4月24日(金)千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会)(高橋直樹) 8名
- 4月25日(土)里山シンポジウム実行委員会 里山とミツバチ問題勉強会(宮野伸也) 45名
- 4月25日(土)房総石造文化財研究会 総会・石仏勉強会(白井 豊) 20名
- 4月25日(土)財団法人武蔵野スポーツ振興事業団 親子野あそびクラブ 中央博物館地学展示室 千葉市(加藤久佳)
- 4月26日(日)千葉県立中央博物館友の会 平成21年度中央博物館友の会総会 講演「房総三国と陸奥国」(佐久間 豊)
- 4月26日(日)千葉県立中央博物館友の会 コケサークル第15回研修会(古木達郎・原田 浩) 6名
- 4月30日(木)「おばあちゃんの畑」プロジェクト 農林振興センターから分譲してもらった、「千葉旭」の田植え(島立理子) 21名
- 5月8日(金)千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会)(高橋直樹) 8名
- 5月9日(土)手賀沼にマシジミとガシャモクを復活させる会(柏市手賀沼フィッシングセンター) 手賀沼における二枚貝の生息状況と千葉県における外来二枚貝について. 手賀沼フィッシングセンター(黒住耐二) 17名
- 5月12日(火)「おばあちゃんの畑」プロジェクト 宿場たねまき(島立理子) 10名

- 5月12日(火)「おばあちゃんの畑」プロジェクト 三島小たねまき(島立理子)12名
- 5月13日(水)千葉県立中央博物館友の会 生態園の森について(原 正利)10名
- 5月15日(金)千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会)(高橋直樹)8名
- 5月16日(土) NPO 法人千葉まちづくりサポートセンター「フィールドミュージアムについて-住民と博物館の協働によるフィールドミュージアムの展開」 千葉県立関宿城博物館(佐久間 豊)
- 5月17日(日)佐倉草ぶえの丘NPOバラ文化研究所 御巫由紀と歩く草ぶえの丘バラ園ツアー 佐倉草ぶえの丘, 佐倉市(御巫由紀)23名
- 5月17日(日)里山シンポジウム実行委員会・千葉県ほか 千葉県第6回里山フェスティバル里山シンポジウム「里山里海サブグローバル生態系評価について」 佐倉市志津コミュニティーセンター(中村俊彦)
- 5月21日(木)千葉市野鳥の会 第50回談話会(桑原和之)4名
- 5月22日(金)千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会)(高橋直樹)8名
- 5月22日(土)~23日(日)スマイルの女王「サクラスマイル」に出会う旅 千葉県立中央博物館友の会自然観察会(天野 誠)33名
- 5月23日(土)千葉県立中央博物館友の会. 金谷-化石と地層の観察会- 浜金谷不動岩周辺。(加藤久佳)
- 5月23日(土)「おばあちゃんの畑」プロジェクト 宿場たねまき(島立理子)13名
- 5月28日(木)千葉市野鳥の会 第51回談話会(桑原和之)4名
- 5月28日(木)千葉県立中央博物館友の会 コケサークル第16回研修会 佐倉城址公園(原田 浩)6名
- 5月29日(金)千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会)(高橋直樹)9名
- 5月31日(日)房総地学会 2009年度総会・講演会(高橋直樹)21名
- 6月5日(金)千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会)(高橋直樹)9名
- 6月5日(金)「おばあちゃんの畑」プロジェクト クロゴマ、キビの種蒔き(島立理子)17名
- 6月6日(土)千葉市野鳥の会 第52回談話会(桑原和之)2名
- 6月7日(日)日本地衣学会 第29回青空地衣教室 箱根(原田 浩)20名
- 6月7日(日)財団法人深田地質研究所. 第119回深田研談話会「地層観察会 房総半島中部の下総層群」 県内採砂場など(加藤久佳)
- 6月7日(日)財団法人深田地質研究所 地層観察会 房総半島中部の下総層群 木更津市一袖ヶ浦市(岡崎浩子)
- 6月9日(火)千葉県立中央博物館友の会 生きもの教室「身近な哺乳類-ケモノのくらしと見つけ方-」(浅田正彦)20名
- 6月12日(金)千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会)(高橋直樹)7名
- 6月12日(金)「おばあちゃんの畑」プロジェクト 麦の脱穀(島立理子)13名
- 6月13日(土)矢作町自治会 生態園内解説(大野啓一・林 浩二)30名
- 6月16日(火)「おばあちゃんの畑」プロジェクト 三島小草取り(島立理子)17名
- 6月18日(木)日在-和泉浦の海を育みウミガメを守る会 データの統計的分析方法について(落合啓二)
- 6月19日(金)千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会)(高橋直樹)9名
- 6月25日(木)サポートクラブ「こだまの会」 鬼泪山自然観察路現況調査(大木淳一・尾崎 煙雄)8名
- 7月3日(金)千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会)(高橋直樹)7名
- 7月4日(土)「おばあちゃんの畑」プロジェクト 草取りとヤエナリの種まき(島立理子)15名
- 7月4日(土)千葉県地学教育研究会 2009年度第1回実験教室(高橋直樹)16名
- 7月5日(日)千葉県立中央博物館友の会. 友の会解説「ハチのちょっと詳しい話」 千葉県立中央博物館(宮野伸也)
- 7月6日(月)房総石造文化財研究会 石仏勉強会(白井 豊)16名
- 7月8日(水)千葉県立中央博物館友の会 ちょっと詳しいハチの話(宮野伸也)13名

- 7月11日(土) 千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会) (高橋直樹) 6名
- 7月11日(土) 湘南地球科学の会 第133回例会 (高橋直樹) 18名
- 7月14日(火) 千葉県立中央博物館友の会 模型製作工房見学. 国立科学博物館分館 (加藤久佳)
- 7月15日(水) 懐かしい未来ネットワーク 「おばあちゃんの畑プロジェクト」と房総の山のフィールド・ミュージアム」下北沢たうんほーる らぷらす (島立理子) 21名
- 7月17日(金) 千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会) (高橋直樹) 7名
- 7月17日(水) 千葉菌類談話会 野生きのこ観察会 佐倉城趾公園 (吹春俊光)
- 7月18日(土) 千葉県立中央博物館友の会 いきもの教室 青葉の森公園 (斉藤明子) 21名
- 7月19日(日) 日本自然保護協会 環境省モニタリング1000講習会 (尾崎煙雄) 8名
- 7月23日(木) 千葉市野鳥の会 第53回談話会 (桑原和之) 2名
- 7月25日(土) 千葉市野鳥の会 第54回談話会 (桑原和之) 6名
- 7月29日(水) 千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会) (高橋直樹) 5名
- 7月30日(木) INAX. 講演会:きのこの自然誌 東京銀座INAXギャラリー (吹春俊光)
- 7月30日(木) 社叢学会 社叢の保全に関する調査 (原 正利) 6名
- 8月1日(土) 房総地学会 第56回談話会 (高橋直樹) 18名
- 8月1日(土) 「おばあちゃんの畑」プロジェクト 畑の草取りと在来作物の収穫 (島立理子) 13名
- 8月7日(金) 日本経済新聞社文化・事業局総合事業部「恐竜2009-砂漠の奇跡」ワークショップ指導:化石ワークショップスケッチ・化石さがしにチャレンジ. 幕張メッセ国際展示場11 (伊左治鎮司)
- 8月8日(土) めだかサミット in よつかいどう実行委員会・日本めだかトラスト協会 第11回国めだかシンポジウム四街道大会第一分科会「自然環境を生かすまちづくり」 四街道市文化センター (中村俊彦)
- 8月10日(火) 千葉そごう. そごうキッズアカデミー. 千葉そごう2階 (加藤久佳)
- 8月12日(木) そごう千葉店. カモの話 (桑原和之)
- 8月17日(月) 千葉市野鳥の会 第56回談話会 (桑原和之) 2名
- 8月21日(金) 千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会) (高橋直樹) 6名
- 8月23日(日) 千葉市野鳥の会 第58回談話会 (桑原和之) 2名
- 8月23日(日) 佐倉野草会 押し葉標本同定会 臼井公民館 (大野啓一) 15名
- 8月25日(火) 酒々井町子ども会育成会連絡協議会・酒々井町教育委員会自然体験教室・千葉県の豊かな自然を学ぼう (白井 豊) 40名
- 8月26日(水) 千葉県立中央博物館友の会 コケサークル第17回研修会 富士山 (原田浩) 12名
- 8月28日(金) 千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会) (高橋直樹) 5名
- 8月29日(土) ソニー科学研究会千葉県支部. 昆虫と植物のかかわり. 千葉大学附属小学校 (宮野伸也)
- 8月30日(日) 「おばあちゃんの畑」プロジェクト おばあちゃんの畑で収穫した作物の試食及び、むかしの作物についての意見交換 (島立理子) 31名
- 8月30日(日) 「おばあちゃんの畑」プロジェクト おばあちゃんの畑で収穫した作物の調理法の研究 (島立理子) 20名
- 8月31日(月) 千葉市野鳥の会 第57回談話会 (桑原和之) 2名
- 9月2日(水) 「おばあちゃんの畑」プロジェクト 市宿のおばあちゃんの畑でヤエナリの収穫と早生の稲の稲刈り (島立理子) 15名
- 9月2日(水) 「おばあちゃんの畑」プロジェクト 三島小のおばあちゃんの畑で、カボチャとヤエナリの収穫 (島立理子) 16名
- 9月4日(金) 千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会) (高橋直樹) 8名
- 9月6日(日) ~7日(月) 千葉県立中央博物館友の会 2009年度第2回自然観察会 栃木県日光市. (大野啓一) 31名
- 9月6日(日) 日本自然保護協会 モニタリング1000里地調査講習会 (尾崎煙雄) 20名

- 9月8日(火) 青葉の森町内会 講演会、町内会総会(地引尚幸) 130名
- 9月11日(金) 千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会)(高橋直樹) 7名
- 9月11日(金) 「おばあちゃんの畑」プロジェクト 市宿のおばあちゃんの畑で早生品種の脱穀(島立理子) 6名
- 9月12日(日) 日本腔腸動物談話会「知られていないイソギンチャクの真実」(柳 研介)
- 9月12日(日) 静岡木の子の会. 講演会:きのこの自然誌. 朝霧高原, 静岡県富士宮市. (吹春俊光)
- 9月12日(日)・13日(月) 日本地衣学会. 日本地衣学会観察会. 日光. (原田 浩)
- 9月13日(日) ちば里山センター 房総丘陵の地形地質の観察会「房総丘陵の地形地質」清和県民の森 君津市(大木淳一) 59名
- 9月13日(日) 「おばあちゃんの畑」プロジェクト 市宿のおばあちゃんの畑でキビの脱穀(島立理子) 10名
- 9月20日(日) 臼井文化懇話会. 臼井文化懇話会講演会「日本の野生バラ～佐倉草ぶえの丘バラ園のコレクションを中心に」. 臼井公民館, 佐倉市 (御巫由紀)
- 9月25日(金) 千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会)(高橋直樹) 7名
- 9月26日(土) 千葉県地学教育研究会 2009年度第2回実験教室(高橋直樹) 10名
- 9月27日(日) 千葉県菌類談話会 野生きのこ観察会 千葉県泉自然公園(吹春俊光)
- 9月29日(火) 千葉市野鳥の会 第61回談話会(桑原和之) 5名
- 9月29日(火) 千葉県立中央博物館友の会 昆虫教室(倉西良一) 15名.
- 9月29日(火) 日本特用林産振興会 野生きのこ観察会 筑波山(吹春俊光)
- 10月1日(土) 日中科学技術文化センター 日中水資源と環境に関するシンポジウム「水辺の生物多様性の保全・再生」. 千葉大学ベンチャービジネスラボラトリー(中村俊彦)
- 10月2日(金) 千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会)(高橋直樹) 8名
- 10月3日(土) 千葉県立中央博物館友の会 観察会:野生のきのこ 千葉県泉自然公園(吹春俊光) 25名
- 10月4日(日) 市原市植物研究会 観察会:野生のきのこ 市原市民の森(吹春俊光) 25名
- 10月9日(金) 千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会)(高橋直樹) 8名
- 10月10日(土) (財)千葉県観光公社 野生きのこ観察会 清和県民の森(吹春俊光)
- 10月12日(月) 夷隅市自然を守る会 観察会:野生のきのこ いすみ市山田六区(吹春俊光) 25名
- 10月11日(日) 中央博ボランティア 生態園トピックス展解説(林 紀男) 8名
- 10月15日(木) 中央博ボランティア 生態園トピックス展解説(林 紀男) 19名
- 10月15日(木) (財)ホクト生物科学振興財団 野生きのこ観察会 長野市鬼無里奥裾花自然園, (吹春俊光)
- 10月16日(金) 千葉港ポートパークかもめのクリーン隊. 「貝類から見る千葉海岸の変遷」ちばの海辺の環境学講座 千葉県生涯学習センター(黒住耐二) 23名
- 10月16日(金) 千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会)(高橋直樹) 7名
- 10月17日(土) 房総石造文化財研究会 石仏入門講座(白井 豊) 55名
- 10月17日(土) 房総石造文化財研究会 石仏入門講座(白井 豊・齋木勝) 55名
- 10月18日(日) 千葉県昆虫談話会 第72回例会(直海俊一郎) 23名
- 10月18日(日) (財)千葉市みどりの協会.稲毛記念館 「いなげの海の貝をみてみよう」市民の日記念講演会 いなげの浜(黒住耐二)
- 10月18日(日) 千葉県立中央博物館友の会 コケサークル第18回研修会 昭和の森(原田 浩) 18名
- 10月18日(日) 千葉県菌類談話会 野生きのこ観察会 市原市民の森(吹春俊光)
- 10月23日(金) サポートクラブ「こだまの会」 鬼泪山自然観察路設置準備の打合せ(大木淳一) 6名
- 10月23日(金) 千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会)(高橋直樹) 8名
- 10月24日(土) ちば千年の森をつくる会 観察会:野生きのこ 清和県民の森(吹春俊光) 35名
- 10月25日(日) 日本菌学会西日本支部 野生きのこ観察会 近畿大学農学部 奈良キャンパ

- ス構内 (吹春俊光)
- 10月30日(金)千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会) (高橋直樹) 7名
- 11月1日(土)菌学教育研究会 房総のきのこの特徴 菌学教育研究会 筑波センター (吹春俊光)
- 11月5日(木)サポートクラブ「こだまの会」 鬼泪山自然観察路設置準備 野外展示作成指導 (大木淳一) 2名
- 11月5日(木)千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会) (高橋直樹) 7名
- 11月7日(土)房総地学会 第56回談話会 (高橋直樹) 20名
- 11月8日(日)千葉県立中央博物館友の会 コケサークル第19回研修会 (古木達郎) 6名
- 11月8日(日)シード・サーバーズネットワーク・ジャパン「ねと人の暮らしと生物多様性シンポジウム」パネラー 千葉県立中央博物館 (島立理子) 1名
- 11月8日(日)千葉県立中央博物館友の会友 北総の自然と文化-時を旅する-「加曽利貝塚に学ぶ」 千葉県立中央博物館 (清藤一順) 13名
- 11月13日(金)千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会) (高橋直樹) 10名
- 11月15日(日)千葉県生物学会第62回児童生徒研究発表会 (原 正利・斎木健一) 約200名
- 11月20日(金)手賀沼にマシジミとガシャモクを復活させる会 生態園作業体験 (林 紀男) 6名
- 11月20日(金)千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会) (高橋直樹) 10名
- 11月22日(日)「おばあちゃんの畑」プロジェクト収穫祭2009 (島立理子) 200名
- 11月23日(月)千葉県地学教育研究会 第59回 地学研究発表会 (高橋直樹) 48名
- 11月25日(水)千葉県技術士会・県庁技術士会 千葉県における生物多様性の取り組み 千葉県商工会議所会議室 (中村俊彦)
- 11月26日(木)千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会) (高橋直樹) 8名
- 11月27日(金)千葉県高等学校教育研究会歴史部会 (矢本節朗) 70名
- 11月27日(金)サポートクラブ「こだまの会」 鬼泪山自然観察路設置準備 自然観察路設置計画への助言 (大木淳一) 6名
- 11月29日(日)千葉県地学教育研究会 2009年度第3回実験教室 (高橋直樹)
- 11月29日(日)NPO法人神奈川県自然保護協会「千葉県生物多様性戦略と生物多様性センターの活動」(浅田正彦) 150名
- 11月29日(日)千葉県立中央博物館友の会 コケサークル第20回研修会 青葉の森(原田 浩) 12名
- 12月4日(金)サポートクラブ「こだまの会」 鬼泪山自然観察路設置準備 自然観察路設置計画への助言 (大木淳一・尾崎煙雄) 3名
- 12月4日(金)千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会) (高橋直樹) 7名
- 12月6日(日)房総石造文化財研究会 石仏勉強会 (白井 豊) 17名
- 12月6日(日)房総石造文化財研究会 石仏勉強会「房総の道祖神」(白井 豊・斎木 勝) 17名
- 12月10日(土)千葉県立中央博物館友の会 コケサークル第21回研修会 長福寺 (原田 浩) 7名
- 12月11日(金)NPO法人ふるさと文化研究会 房総の縄文文化 千葉県教育会館, 千葉市 (清藤一順)
- 12月12日(土)「池田の池」復元研究会 「千葉の歴史と物語観光を考えるシンポジウム. 更級日記と池田の池 菅原孝標女は見たか! 千葉の天女を」 千葉県立中央博物館講堂 (佐久間 豊)
- 12月12日(土)千葉市野鳥の会 第62回談話会 (桑原和之) 5名
- 12月12日(土)千葉市野鳥の会 第54回観察会 (桑原和之) 13名
- 12月13日(日)宿場の風の会 宿場の大餅つき大会 (島立理子) 89名
- 12月18日(金)千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会) (高橋直樹) 10名
- 12月19日(土)千葉県地学教育研究会 平成21年度総会・研究発表会・談話会 (高橋直樹) 23名
- 12月20日(日)千葉県昆虫談話会 第73回例会 (直海俊一郎) 37名

- 1月8日(金)千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会)(高橋直樹)8名
- 1月8日(金)ふるさと文化研究会 千葉ふるさと文化大学「房総きのこ今昔」千葉県教育会館(吹春俊光)
- 1月8日(金)NPO法人ふるさと文化研究会 房総きのこ今昔(吹春俊光)150名
- 1月10日(日)千葉市野鳥の会 第62回談話会(桑原和之)6名
- 1月14日(木)千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会)(高橋直樹)6名
- 1月18日(月)千葉県立中央博物館友の会 コケサークル第22回研修会 生態園(古木達郎)13名
- 1月19日(火)地球・人間環境フォーラム「「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」市区町村職員共同研修「生物多様性の保全に向けた地方自治体の役割」,「生物多様性ちば県戦略の策定と県内の取り組みについて」(柳 研介)
- 1月22日(金)千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会)(高橋直樹)10名
- 1月23日(土)千葉菌類談話会 菌学講座(吹春俊光)87名
- 1月28日(木)ちば芽ばえ研究会 ちば芽ばえ研究会発表会(大野啓一)9名
- 1月29日(金)千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会)(高橋直樹)12名
- 2月4日(木)NPO法人大山千枚田保存会「大山の農作物被害を及ぼす野生動物」(浅田正彦)20名
- 2月5日(金)千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会)(高橋直樹)10名
- 2月6日(土)(財)印旛沼基金・八千代市 いんば沼フォーラム in やちよ 八千代台文化センター(中村俊彦)
- 2月11日(木)「おばあちゃんの畑」プロジェクト おばあちゃんの畑プロジェクトの堆肥づくり1(島立理子)14名
- 2月11日(木)千葉県自然観察指導員協議会 特別講演「房総の山のフィールド・ミュージアムについて」千葉県立中央博物館(尾崎煙雄)80名
- 2月11日(木)千葉県自然観察指導員協議会 2010年度総会特別研修会「バックヤードツアー」千葉県立中央博物館(斉藤明子・御巫由紀・加藤佳久)20名
- 2月12日(金)千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会)(高橋直樹)12名
- 2月13日(土)埼玉きのこ研究会講座:アンモニア菌を調べる 上尾コミュニティセンター(吹春俊光)35名
- 2月14日(日)千葉県昆虫談話会 第74回例会(倉西良一)18名
- 2月17日(水)千葉県立中央博物館友の会 コケサークル第23回研修会 泉自然公園(古木達郎)3名
- 2月18日(木)千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会)(高橋直樹)10名
- 2月20日(土)安房生物愛好会 講演会房「総の山のフィールド・ミュージアムと千葉の自然」館山市コミュニティーセンター.館山市(大木淳一)70名
- 2月20日(土)千葉県地学教育研究会 平成21年度 第4回地学実験教室(高橋直樹)12名
- 2月26日(金)千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会)(高橋直樹)12名
- 2月27日(土)千葉市野鳥の会 第64回談話会(桑原和之)7名
- 2月27日(土)千葉県文化財保護協会 平成21年度文化財講演会(斎木 勝・高橋 寛)45名
- 2月28日(日)日本自然保護協会 環境省モニタリング1000里地講習会(尾崎煙雄)30名
- 3月5日(金)千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会)(高橋直樹)9名
- 3月6日(土)文化庁 文化芸術まつり in Chiba(清藤一順)206名
- 3月10日(水)千葉県立中央博物館友の会 友の会展示解説(岡崎浩子)18名
- 3月11日(木)千葉県立中央博物館友の会 自然観察会. 東大千葉演習林(尾崎煙雄)18名
- 3月12日(金)千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会)(高橋直樹)12名
- 3月14日(日)友の会 房総のヒメコマツシンポジウム(尾崎煙雄)80名
- 3月17日(水)千葉県立中央博物館友の会 コケサークル第20回研修会 青葉の森(原田浩)10名
- 3月18日(木)「おばあちゃんの畑」プロジェクト 柿の接ぎ木(島立理子)15名
- 3月18日(木)千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会)(高橋直樹)10名

- 3月20日(土) 房総地学会 第58回談話会(高橋直樹) 20名
- 3月23日(火) 水辺の植物同好会 舟田池共同作業(林 紀男) 11名
- 3月23日(火) 手賀沼にマシジミとガシヤモクを復活させる会 舟田池共同作業(林 紀男) 4名
- 3月26日(金) 千葉県立中央博物館友の会 ヒスイの会(岩石勉強会)(高橋直樹) 7名
- 3月27日(土) 千葉県立中央博物館友の会 「樹木の1年を追う'09」発表会(大野啓一) 9名
- 3月27日(土) 「おばあちゃんの畑」プロジェクト 種子の交換会(島立理子) 31名
- 3月27日(土) 千葉まちづくりサポートセンター・千葉フィールドミュージアム事業推進委員会 三番瀬フィールドミュージアム「里海と景相生態学」 船橋市三番瀬海浜公園(中村俊彦)

## 2) 分館海の博物館

- 6月7日(日) 安房生物愛好会 博物館前磯(村田明久) 22名
- 7月22日(水) 勝浦市商工会 他地域(中村裕明) 40名
- 6月20日(土) NPO 法人千葉まちづくりサポートセンター、千葉県フィールドミュージアム事業推進委員会 「フィールドミュージアムについてー住民と博物館の協働によるフィールドミュージアムの展開」 鵜原理想郷(佐久間 豊ほか) 19名
- 8月5日(水) 国際藻類学会議 博物館前磯(宮田昌彦・菊地則雄) 35名
- 3月21日(日) 千葉県生物多様性センター 博物館前磯(村田明久) 9名

## 4.2 学校教育支援

### 4.2.1 展示を利用した学習プログラム

#### 1) 本館

##### (1) 中央博調査隊

(本館を利用した学習プログラム, 学校以外の団体利用も含む)

- 5月8日(金) 香取市立香取小学校・八都小学校 生物展示室(体験交流員: 島・山本みどり) 57名
- 5月14日(木) 東庄町立東城小学校 生物展示室(体験交流員: 安井澄子) 40名
- 5月29日(金) 酒々井町立大室台小学校 生物展示室(体験交流員: 島 絵里子・山本みどり) 93名
- 6月18日(木) 茂原市立東郷小学校 生物展示室(体験交流員: 夏井琴絵・島 絵里子) 103名
- 6月24日(水) 茨城県自然博物館 生物展示室(体験交流員: 島 絵里子・山本みどり) 26名
- 7月1日(水) 幕張インターナショナルスクール 生物展示室(体験交流員: 島 絵里子) 18名
- 7月5日(日) 四堰さざなみ子供会 生物展示室(体験交流員: 夏井琴絵) 24名
- 7月8日(水) 千葉市立緑町小学校4年生 生物展示室(体験交流員: 島 絵里子・夏井琴絵・柏木真弓) 112名
- 7月10日(金) 千葉市立高州第四小学校3年生 生物展示室(体験交流員: 島 絵里子・山本みどり) 43名
- 7月15日(水) 千葉市立寒川小学校3年生 生物展示室(体験交流員: 安井澄子・山本みどり・柏木真弓) 108名
- 7月23日(木) 八千代市役所環境保全課 生物展示室(体験交流員: 島 絵里子・山本みどり) 39名
- 7月29日(水) 星久喜地区子供ルーム・星久喜小学校子供ルーム 生物展示室(体験交流員: 島 絵里子・山本みどり) 72名
- 7月31日(金) 長柄町学童クラブ 生物展示室(体験交流員: 夏井琴絵) 39名
- 8月4日(火) 大和田小学校学童保育ペガサスキッズ 生物展示室(体験交流員: 夏井琴絵) 19名
- 8月18日(火) 祇園スマイルキッズ学童クラブ 生物展示室(体験交流員: 島 絵里子) 33名

- 名
- 8月19日(水) センシティブ土曜日本語学級 生物展示室(体験交流員:山本みどり) 22名
- 9月30日(水) 君津市南子安小学校 生物展示室(体験交流員:山本みどり・夏井琴絵) 121名
- 10月6日(火) 君津市立周南小学校 生物展示室(体験交流員:山本みどり・安井澄子) 82名
- 10月16日(金) 松戸市立梨香台小学校 生物展示室(体験交流員:島 絵里子・夏井琴絵・柏木真弓) 115名
- 10月28日(水) 白井市立池の上小学校 生物展示室(体験交流員:安井澄子・島 絵里子) 45名
- 10月30日(金) 習志野市立向山小学校 生物展示室(体験交流員:夏井琴絵・安井澄子) 33名
- 11月6日(金) 栄町立安食台小学校 生物展示室(体験交流員:夏井琴絵・島 絵里子) 27名
- 11月10日(火) 東金市立東小学校 生物展示室(体験交流員:島 絵里子・安井澄子・山本みどり) 106名
- 11月17日(火) 柏市立高柳小学校 かかわり展示室(体験交流員:島 絵里子・山本みどり) 111名
- 11月19日(木) 大網白里町立増穂北小学校 生物展示室(体験交流員:島 絵里子) 41名
- 11月25日(水) 仁戸名小学校 生物展示室(体験交流員:山本みどり) 27名
- 11月26日(木) 横芝光町立日吉小学校 地学展示室(体験交流員:夏井琴絵) 17名
- 12月4日(金) 長南町立西小学校 分類展示室(体験交流員:夏井琴絵) 20名
- 1月22日(金) 白子町立関小学校 生物展示室(体験交流員:夏井琴絵) 24名
- 2月2日(火) 北海道大学教員OB (体験交流員:島 絵里子) 1名
- 2月3日(水) 南房総市立南小学校 かかわり展示室(体験交流員:山本みどり・夏井琴絵) 34名
- 2月12日(水) 千葉市立検見川小学校 生物展示室(体験交流員:安井澄子・夏井琴絵) 85名
- 2月26日(金) 千葉市立緑町小学校 かかわり展示室(体験交流員:島 絵里子・夏井琴絵・山本みどり) 85名
- 2月9日(火) 銚子市立富里小学校 分類展示室(体験交流員:島 絵里子) 54名
- 3月4日(木) ふたば保育園 生物展示室(体験交流員:島 絵里子・夏井琴絵・山本みどり) 27名

## 2) 生態園

### (1) 子どものための生態園「森の調査隊」

(生態園を利用した学習プログラムの作成支援と見学日当日の学習をコーディネート)

- 4月12日(日) 千葉県ネイチャーゲーム協会(林 浩二・浅田正彦) 22名
- 4月21日(火) 千葉市立新宿小学校3年生(林 浩二・柏木真弓・山本みどり) 130名
- 4月24日(金) 千葉市立緑町小学校4年生(林 浩二・柏木真弓) 113名
- 4月28日(火) 千葉市立寒川小学校4年生(林 浩二・柏木真弓) 102名
- 4月29日(水) ボーイスカウト市原第3団(林 浩二) 25名
- 5月1日(金) 千葉市立千城台南小学校1-6年生(林 浩二・柏木真弓) 163名
- 5月13日(水) 千葉市立幸町第三小学校3年生(林 浩二・柏木真弓・山本みどり) 160名
- 5月29日(金) 千葉市立上の台小学校3年生(林 浩二・柏木真弓) 121名
- 5月29日(金) 酒々井町立大室台小学校(林 浩二・柏木真弓) 94名
- 6月5日(金) 千葉市立朝日が丘小学校3年生(林 浩二・柏木真弓) 72名
- 6月14日(日) 足立区生涯学習センター(浅田正彦) 11名
- 6月18日(木) 千葉市立東郷小学校3年生(林 浩二・柏木真弓) 103名
- 7月3日(金) 千葉市立宮崎小学校4年生(林 浩二・柏木真弓) 149名
- 7月7日(火) 千葉市立新宿小学校3年生(林 浩二・柏木真弓) 133名



7月10日(金) 千葉市立高洲第四小学校4年生(林 浩二・柏木真弓) 42名  
 7月14日(火) 千葉市立寒川小学校4年生(林 浩二・柏木真弓) 99名  
 7月19日(日) ボーイスカウト(柏木真弓) 20名  
 7月23日(木) 八千代市子ども環境教室(柏木真弓) 39名  
 10月1日(木) 千葉市立宮崎小学校3年生(林 浩二・柏木真弓) 154名  
 11月5日(木) 千葉市立宮崎小学校(林 浩二) 34名  
 11月8日(日) 山武市教育委員会森の調査隊(林 浩二) 10名  
 11月10日(火) 山武市立成東小学校1年生(柏木真弓・山本みどり) 66名  
 11月10日(火) 東金市立東小学校1年生(柏木真弓) 106名  
 11月13日(金) 千葉市立みつわ台小学校4年生(林 浩二・柏木真弓) 71名  
 11月19日(木) 大網白里町立増穂北小学校2年生(柏木真弓) 41名  
 12月2日(水) 千葉市立幸町第三小学校3年生(林 浩二・柏木真弓) 131名  
 12月2日(水) 大網白里町立外箕輪小学校3年生(林 浩二・柏木真弓) 27名  
 12月2日(水) 千葉市立寒川小学校4年生(林 浩二・柏木真弓) 94名  
 2月2日(火) 千葉市立新宿小学校3年生(林 浩二・柏木真弓) 131名  
 3月2日(火) 幕張第二保育所(林 浩二) 30名  
 3月2日(火) 千葉市川戸保育所(林 浩二) 31名  
 3月9日(火) 千葉市立寒川小学校4年生(林 浩二・柏木真弓) 98名  
 3月13日(土) 浦安市美浜公民館(林 浩二・柏木真弓) 17名

## 4.2.2 小・中学校・高校への学習支援

### 4.2.2.1 授業・講座・観察会等

#### 1) 本館・生態園・房総の山のフィールドミュージアム

5月24日(日) 千葉県立木更津高校 平成21年度 SPP 事業「アサギマダラ繁殖戦略」坂田  
 海岸・白浜根本海岸, 館山市.(由良 浩) 15名  
 6月11日(木) 千葉県立君津青葉高校 生態園ギャラリー(林 浩二・柏木真弓) 141名  
 6月18日(木) 君津市立秋元小学校 通学合宿「身近な草で染色をする1」(島立理子) 21名  
 6月24日(水) 君津市立秋元小学校 通学合宿「身近な草で染色をする2」(島立理子) 30名  
 6月24日(水) 千葉県立千葉高校 アサリの発生(黒住耐二) 1名  
 7月2日(木) 君津市立三島小学校5年生総合学習「三島の植物で布をつくる」(島立理子) 9  
 名  
 7月7日(火) 君津市畑沢中学校 千葉県で得られた“カワシンジュガイ”について(黒住耐二)  
 7月8日(水) 多古町立常磐小学校 昆虫について(斉藤明子) 3名  
 7月8日(水) 袖ヶ浦市教育委員会 ひらおかジュニアサイエンスセミナー(科学論文作成支  
 援講座) 袖ヶ浦市平岡公民館(新 和宏)  
 7月8日(水) 君津市教育委員会 夏休みサイエンスチャレンジ講座 君津市立周南小学校(新  
 和宏)  
 7月12日(日) 千葉県立千葉東高等学校 SPP(大野啓一) 35名  
 8月7日(金) 千葉県立船橋高校 SSH 中央博物館見学(高橋直樹・加藤久佳・古木達郎・駒  
 井智幸) 52名  
 8月24日(月) 千葉県立市川高校 SSH 研修高・博連携事業「自然誌博物館と私の研究活動」  
 (倉西良一) 12名  
 8月28日(金) 千葉市立磯辺第三小学校3年1組6班 稲毛の浜の生物について(黒住耐二)  
 9月5日(金) 千葉県立長生高校 SPP 野外実習事前学習. 千葉県立長生高校(加藤久佳)  
 10月1日(木) ~ 2日(金) 千葉県立長生高等学校 SPP 地学野外実習(現地編) 鴨川市周辺  
 (加藤久佳・高橋直樹) 35名  
 10月17日(土) 千葉県立長生高等学校 SPP 地学野外実習(事後講義)(高橋直樹) 35名  
 10月22日(木) 千葉市立仁戸名小学校 「縄文の躍動」の見学と勾玉づくり(米谷 博・田  
 邊由美子) 47名  
 11月 銚子市立銚子高等学校 職業人講話 銚子市立銚子高等学校(米谷 博)

- 11月3日(火)千葉県立木更津高校 平成21年度サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト事業「アサギマダラ繁殖戦略(南下個体のマーキングと寄生虫)」. 横芝光町・南房総市千倉高塚山, 横芝光町・南房総市(原 正利) 10名
- 12月3日(木)君津市立三島小学校 研究授業生活科「なかよしまつりだ ワッショイ!」(島立理子) 10名
- 12月14日(月)南房総市立丸山中学校 SPP事業による理科授業「嶺岡の大地を知ろう(1)」(高橋直樹・岡崎浩子) 51名
- 1月13日(水)君津市立蔵玉小学校. 蔵玉小学校スクールミュージアム「東大千葉演習林『堂沢自然林』の観察会」 東大千葉演習林 君津市(大木淳一・尾崎煙雄)
- 1月16日(土)千葉市立千葉高等学校 SPP「千葉県南端部の地球科学」(事前学習)(岡崎浩子・高橋直樹) 34名
- 1月20日(水)南房総市立丸山中学校 SPP事業による理科授業「嶺岡の大地を知ろう(2)」(高橋直樹) 51名
- 2月6日(土)市川学園中学校・高校 両生類の繁殖生態を考える(倉西良一) 1名
- 2月6日(土)千葉県立長生高等学校 SPP 地学野外実習(研究発表指導)(加藤久佳・高橋直樹) 20名
- 2月17日(水)千葉市立大宮中学校 温暖化と魚類(宮 正樹) 2名
- 3月3日(水)君津市立蔵玉小学校 小学5・6年授業 カエル調査「タゴガエルをさがそう」(大木淳一) 10名
- 3月3日(水)君津市立蔵玉小学校 感謝の会(大木淳一) 70名
- 3月5日(金)君津市立三島小学校 感謝の会(大木淳一・島立理子・尾崎煙雄) 110名

## 2) 大利根分館

- 6月18日(木)佐倉市立志津小学校 展示解説 68名
- 6月22日(月)市原市立内田小学校 展示解説 30名
- 7月23日(木)横芝光町立上塚小学校 展示解説 71名
- 9月25日(金)茨城県行方市立行方小学校・玉川小学校 展示解説 36名
- 9月30日(水)長生村立高根小学校 展示解説 44名
- 9月30日(水)東庄町立笹川小学校 展示解説 59名
- 10月1日(木)本埜村立本埜小学校 展示解説 12名
- 10月2日(金)成田市立桜田小学校 展示解説 17名
- 10月2日(金)柏市立光ヶ丘小学校 展示解説 45名
- 10月2日(金)我孫子市立高野山小学校 展示解説 161名
- 10月9日(金)大網白里町立増穂北小学校 展示解説 64名
- 10月9日(金)香取市立竟成小学校 展示解説 25名
- 10月13日(火)旭市立嚶鳴小学校 展示解説 57名
- 10月14日(水)成田市立前林小学校 展示解説 18名
- 10月16日(金)多古町立中村小学校 展示解説 28名
- 10月16日(金)東金市立正気小学校 展示解説 80名
- 10月23日(金)匝瑳市立吉田小学校 展示解説 10名
- 10月27日(火)香取市立大倉小学校 展示解説 16名
- 10月27日(火)木更津市立東清小学校 展示解説 17名
- 10月30日(金)匝瑳市立八日市場小学校,出前授業 58名
- 11月2日(月)香取市立佐原小学校 展示解説 168名
- 11月4日(水)香取市立湖東小学校 展示解説 22名
- 11月4日(水)香取市立府馬小学校 展示解説 31名
- 11月6日(金)山武市立山武西小学校 展示解説 40名
- 11月10日(火)市川市立南行徳小学校 展示解説 150名
- 11月10日(火)佐倉市立臼井小学校 展示解説 80名
- 11月13日(金)富里市立七栄小学校,出前授業 62名
- 11月18日(水)香取市立新島小学校 展示解説 20名

11月18日(水) 銚子市立高神小学校 展示解説 51名  
 11月24日(火) 香取市立山倉小学校・第一山倉小学校 展示解説 47名  
 11月25日(水) 香取市立神南小学校 展示解説 11名  
 12月3日(木) 君津市立外箕輪小学校 展示解説 49名  
 12月8日(火) 香取市立福田小学校 展示解説 16名  
 12月8日(火) 匝瑳市立平和小学校 展示解説 38名  
 12月10日(木) 神崎町立米沢小学校 展示解説 21名  
 12月16日(水) 旭市立萬歳小学校 展示解説 26名  
 1月12日(火) 香取市立小見川西小学校 展示解説 51名  
 1月15日(金) 旭市立干潟小学校 展示解説 46名  
 1月19日(火) 香取市立小見川東小学校 展示解説 19名  
 1月26日(火) 成田市立川上小学校 展示解説 31名  
 1月27日(水) 香取市立香取小学校 展示解説 29名  
 2月7日(日) 越谷市越谷地区青少年指導員協議会 展示解説,13名  
 2月12日(金) 香取市立北佐原小学校 展示解説 27名  
 3月9日(火) 銚子市立豊岡小学校 展示解説 13名

### 3) 大多喜城分館

5月29日(金) ウォパン中学校 甲冑の試着体験学習(高橋 覚) 24名  
 7月2日(木) 長生村立一松小学校5年 大多喜城解説(高橋 覚) 36名  
 7月3日(金) 大多喜町立老川小学校4・5・6年 大多喜城解説(高橋 覚) 27名  
 9月29日(火) 大多喜町立西中学校3年 大多喜町の歴史(高橋 覚) 17名  
 11月10日(火) 佐倉市立千代田小学校6年 出前授業:甲冑の試着(高橋 覚) 52名  
 11月27日(金) 大多喜町立大多喜小学校4年 展示解説(高橋 覚) 36名  
 12月25日(金) 大多喜町立西中学校1年 総合学習(高橋 覚) 6名

### 4) 分館海の博物館

5月1日(金) 木更津工業高等専門学校 展示室(菊地則雄・奥野淳兒) 44名  
 5月1日(金) 勝浦市立上野小学校 展示室(中村裕明) 52名  
 5月7日(木) 勝浦市立勝浦小学校 展示室(中村裕明) 56名  
 5月8日(金) 勝浦市立豊浜小学校 博物館前磯(菊地則雄) 36名  
 5月19日(金) 東京都小金井市立本町小学校 展示室(川瀬裕司・芳賀智恵美) 56名  
 5月21日(木) 東京都小金井市立緑小学校 展示室(川瀬裕司・村田明久) 42名  
 5月26日(火) 東京都豊島区立竹岡健康学園 他地域(奥野淳兒) 24名  
 5月26日(火) 東京都小金井市立南小学校 博物館前磯(菊地則雄・中村裕明) 84名  
 5月27日(水) 勝浦市立郁文小学校 展示室(菊地則雄) 16名  
 5月27日(水) 星美学園小学校 他地域(村田明久) 136名  
 5月28日(木) 東京都小金井市立第一小学校 博物館前磯(菊地則雄) 138名  
 6月3日(水) 香取市立小見川西小学校 展示室(奥野淳兒・村田明久) 56名  
 6月3日(水) 大多喜町立西畑小学校 他地域(中村裕明) 30名  
 6月7日(日) 千葉県立長生高校 博物館前磯(奥野淳兒) 35名  
 6月8日(月) 御宿町立御宿小学校 他地域(中村裕明) 287名  
 6月8日(月) 勝浦市立興津小学校 他地域(菊地則雄) 131名  
 6月10日(水) いすみ市立長者小学校 博物館前磯(川瀬裕司・中村裕明) 29名  
 6月10日(水) 東京都小金井市立第二小学校 博物館前磯(菊地則雄) 77名  
 6月15日(月) 東京都小金井市立東小学校 博物館前磯(菊地則雄) 93名  
 6月18日(木) 東金市立日吉台小学校 展示室(立川浩之・川瀬裕司) 36名  
 6月23日(火) 大多喜町立西畑小学校 博物館前磯(中村裕明) 29名  
 6月24日(水) 東京学芸大学附属小金井小学校 博物館前磯(中村裕明) 166名  
 6月26日(金) 鴨川市立天津幼稚園 博物館前磯(菊地則雄) 30名  
 7月9日(木) 東京学芸大学附属国際中等教育学校 博物館前磯(中村裕明) 67名

7月15日(水) 千葉県立千葉特別支援学校 展示室(菊地則雄) 58名  
 7月21日(火)～22日(水) 千葉県立長生高校 博物館前磯(奥野淳兒) 70名  
 7月23日(木) いすみ市立太東小学校 博物館前磯(川瀬裕司) 61名  
 7月28日(火) 市川中学校 博物館前磯(中村裕明) 88名  
 8月20日(木) 千葉県立成東高校「SPP研究者招聘講座」博物館前磯(宮田昌彦) 10名  
 8月21日(金) 千葉県立成東高校「SPP研究者招聘講座」博物館前磯(宮田昌彦) 10名  
 8月24日(月) 千葉県立成東高校「SPP研究者招聘講座」博物館前磯(宮田昌彦) 10名  
 9月9日(水) いすみ市立千町小学校 展示室(奥野淳兒・村田明久) 32名  
 9月15日(火) 千葉愛犬動物学園 展示室(奥野淳兒) 30名  
 1月26日(火) 館山市立館野小学校 展示室(立川浩之) 8名

#### 4.2.2.2 中学生・高校生の職場体験学習・職場訪問

##### 1) 本館

7月15日(水) 獨協高等学校 職場体験(岡崎浩子・高橋直樹) 5名  
 10月15日(木) 東金市立東中学校 職場体験学習(天野 誠) 3名  
 10月28日(水) 東金市立北中学校 職場体験学習(駒井智幸・友田暁子) 3名  
 11月5日(木) 千葉市立花園中学校 職場体験学習(黒住耐二) 3名  
 11月5日(木) 千葉市立養護学校 職場体験学習(田村 隆) 1名  
 11月10日(火) 千葉市立土気南中学校 職場体験学習(朝倉 彰) 3名  
 11月10日(火) 千葉市立蘇我中学校 職場体験学習(吹春俊光) 3名  
 11月11日(水) 千葉市立有吉中学校 職場体験学習(原田 浩) 3名  
 11月11日(水) 千葉市立磯辺第一中学校 職場体験学習(島立理子) 3名  
 11月11日(水) 東金市立東金中学校 職場体験学習(原 正利・落合啓二・大野啓一・由良浩) 3名  
 11月18日(水) 千葉市立加曾利中学校 職場体験学習(堀江義一) 3名  
 11月18日(水) 千葉市立磯辺第二中学校 職場体験学習(岡崎浩子・高橋直樹) 2名  
 11月18日(水) 千葉市立貝塚中学校 職場体験学習(斉藤明子) 2名  
 11月26日(木) 千葉市立小中台中学校 職場体験学習(環境科学) 3名  
 11月26日(木) 市原市立ちはら台南中学校 職場体験学習(大庭照代) 3名  
 12月1日(火) 東金市立西中学校 職場体験学習(斉藤明子) 3名  
 12月2日(水) 千葉市立末広中学校 職場体験学習(環境科学) 2名  
 12月2日(水) 千葉市立都賀中学校 職場体験(矢本節朗) 1名  
 12月8日(火) 千葉市立松ヶ丘中学校 職場体験(安齋信人) 4名  
 1月20日(水) 千葉市立泉谷中学校 職場体験学習(林 紀男・奥田昌明) 3名  
 1月20日(水) 千葉市立泉谷中学校 職場体験(林 紀男・奥田昌明) 3名  
 1月20日(水) 千葉市立泉谷中学校 職場体験学習(林 紀男・奥田昌明) 3名  
 1月26日(火) 千葉市立真砂第二中学校 職場体験学習(桑原和之) 3名  
 1月26日(火) 千葉市立真砂第二中学校 職場体験(桑原和之) 3名  
 1月26日(火) 千葉市立真砂第二中学校 職場体験学習(桑原和之) 2名  
 2月9日(火) 千葉市立幸町第1中学校 職場体験学習(桑原和之) 3名

##### 2) 大多喜城分館

8月4日(水)～7日(金) いすみ市立国吉中学校1年(高橋 覚) 14名  
 8月6日(金) 大多喜町立大多喜小学校6年(高橋 覚) 3名  
 1月22日(金) 大多喜町立大多喜小学校6年(高橋 覚) 5名

##### 3) 分館海の博物館

8月4日(火)6日(木) 勝浦市立興津中学校 博物館内(中村裕明) 3名  
 11月19日(木) 勝浦市立清海小学校 博物館内(中村裕明) 2名  
 1月20日(水)22日(金) 勝浦市立勝浦中学校 博物館内(中村裕明・菊地則雄) 9名

1月22日(金)勝浦市立興津中学校 博物館内(菊地則雄)2名

#### 4.2.2.3 インターンシップ(本館)

12月19日(土)千葉大学 インターンシップ(地引尚幸)1名

#### 4.2.2.4 高校の課題研究支援(本館)

7月19日(日)千葉県立県立千葉高校 生物課題研究(由良 浩・山口 剛・萩野康則・林 紀男・堀江義一)42名

### 4.2.3 大学・大学院への学習支援

#### 4.2.3.1 博物館実習

##### 1) 本館

8月19日(水)~27日(木)博物館実習(地引尚幸・全職員)25名

##### 2) 大多喜城分館

8月6日(木)~8日(土)8月16日(日)9月14日(月)~16日(水)共立女子大学(小林清隆、高橋 覚、三森俊彦)1名

#### 4.2.3.2 講義・実習・展示解説等

##### 1) 本館

##### (1) 非常勤講師・研究委員等

- ・客員教授 国立歴史民俗博物館(原 正利)
- ・客員準教授 千葉大学大学院 自然科学研究科(中村俊彦)
- ・客員準教授 千葉大学大学院 理学研究科 生物学総合講義Ⅱ(原 正利)
- ・非常勤講師 千葉大学 千葉大学真菌医学研究センター(堀江義一)
- ・非常勤講師 千葉大学 (御巫由紀)
- ・非常勤講師 千葉大学 博物館学実習(江口誠一)
- ・非常勤講師 千葉大学 教育学部 生物学実験(斉藤明子)
- ・非常勤講師 千葉大学 博物館博実習(朝倉 彰)
- ・非常勤講師 京都大学 生物学実習Ⅱ(吹春俊光)
- ・非常勤講師 熊本大学(柳 研介)
- ・非常勤講師 千葉工業大学 一般教養科目「地球科学」(高橋直樹)
- ・非常勤講師 東邦大学理学部(林 紀男)
- ・客員研究員 公立学校法人秋田県立大学生物資源科学部(林 紀男)
- ・客員研究員 福島大学共生システム理工学類(林 紀男)
- ・訪問研究員 東邦大学東京湾生態系研究センター(黒住耐二)

##### (2) 講義・講座・卒論指導等

通年 千葉工業大学 一般教養科目「地球科学」(高橋直樹)

通年 早稲田大学・千葉大学・お茶の水女子大学 卒論・修士論文指導(新 和宏)

4月25日(土)千葉大学文学部 博物館学実習(駒井智幸)19名

4月29日(水)千葉大学園芸学部 講義「地域自然学」(原田 浩・駒井智幸)6名

4月30日(木)千葉大学園芸学部 分岐年代分析について1名(宮 正樹)1名

5月16日(土)東京学芸大学環境教育専攻 講義・「森の調査隊」実習(林 浩二・島絵里子)34名

5月22日(金)千葉大学大学院 理学研究科 生物学総合講義Ⅱ(原 正利)45名

5月28日(木)千葉大学 教育学部 生物学実験(斉藤明子)27名

6月2日(火)千葉大学 教育学部 生物学実験(斉藤明子)27名

6月9日(火)千葉大学 博物館学実習(江口誠一)2名

6月18日(火)千葉大学 博物館学実習(江口誠一)1名

7月1日(水)千葉大学 博物館学実習(江口誠一)2名

- 8月5日(水) 日本女子大学 博物館実習(加藤久彦) 12名
- 8月5日(水)～8日(土) 京都大学 「生物学実習 II。」京都大学木曾生物学実験所 長野県木曾福島市 (吹春俊光) 25名
- 8月31日(月) 千葉大学 博物館学実習(江口誠一) 2名
- 9月1日(火)～4日(金) 東邦大学理学部 野外実習(集中) 千葉市少年自然の家, 長柄町(林 紀男)
- 9月8日(火) 東京大学附属演習林千葉演習林 全学体験ゼミナール「フィールドで考える野生動物の保護管理」(落合啓二)
- 9月16日(水) 日本女子大学 博物館学実習(林 浩二・駒井智幸) 16名
- 9月22日(火) 千葉大学 博物館概論(駒井智幸・地引尚幸) 26名
- 10月21日(水) 千葉大学 教育学部 生物学実験(斉藤明子) 27名
- 11月15日(日) 千葉大学 未来の科学者養成講座(地引尚幸・宮 正樹) 13名
- 12月2日(水)～4日(金) 鹿児島大学埋蔵文化財調査室. トマチン遺跡出土遺物整理」整理指導 鹿児島大学埋蔵文化財調査室(黒住耐二)
- 12月9日(水) 千葉大学大学院 理学研究科 生物学総合講義Ⅱ (原 正利) 3名
- 12月13日(日) 千葉大学 未来の科学者養成講座(地引尚幸・由良 浩) 6名
- 1月8日(金) 沖縄大学 標本同定千葉県のハイガイ(黒住耐二) 1名
- 1月12日(火) 東京海洋大学・江戸前ESD協議会. 東京湾を科学する—東京湾の深海魚. 大森海苔のふるさと館(宮 正樹)
- 1月17日(日) 千葉大学 未来の科学者養成講座(地引尚幸・斉藤明子) 16名
- 1月19日(火) 千葉大学大学院 系統推定論(宮 正樹) 1名
- 1月22日(金) 東京学芸大学 環境指標としての生物多様性をめぐる自治体の役割と取り組み(齋木健一) 39名
- 2月7日(日) 千葉大学 未来の科学者養成講座ガイダンス(加藤久佳・地引尚幸) 8名
- 2月25日(木)～27日(土) 独立行政法人海洋研究開発機構国際海洋環境情報センター「六放サンゴの特徴とイソギンチャク類について」(柳 研介)
- 2月25日(木)～27日(土) 独立行政法人海洋研究開発機構国際海洋環境情報センター「花虫類の特徴と系統関係」(柳 研介)
- 3月17日(水) 千葉大学大学院園芸学研究科 収蔵庫見学 10名(斉藤明子・御巫由紀・加藤佳久)
- 3月17日(水)～20(土) お茶の水女子大学. 公開臨海実習. お茶の水女子大学湾岸教育研究センター, 館山市(駒井智幸)

## 2) 分館海の博物館

- ・非常勤講師 千葉大学(宮田昌彦)
- ・展示解説 東京学芸大学生物学教室 展示室 4月3日(金) 5名(中村裕明)
- ・展示解説 東京海洋大学海洋政策文化学科 展示室 7月29日(水) 52名(菊地則雄・村田明久)
- ・展示解説 東京海洋大学海洋生物資源学科 展示室 8月5日(水) 82名(川瀬裕司・村田明久)

## 4.2.4 特別支援学校への学習支援

### 1) 本館

- 7月8日(水) 千葉県立千葉盲学校. 博物館実習(由良 浩)
- 7月8日(水) 千葉県立仁戸名特別支援学校「大地の成り立ち」(岡崎浩子) 15名
- 7月10日(金) 千葉県立千葉盲学校 コケ植物について(古木達郎) 7名
- 9月29日(火) 千葉県立仁戸名特別支援学校 千葉県の野鳥(桑原和之) 12名
- 10月14日(水) 四街道特別支援学校. 博物館学習「野菜を解剖しよう」(原 正利)
- 11月13日(金) 四街道特別支援学校 実とタネで遊ぼう(大野啓一) 12名
- 11月18日(金) 千葉県立千葉盲学校 秋の鳴く虫(倉西良一)
- 12月11日(金) 千葉県立千葉盲学校 身近な野鳥(桑原和之) 8名

12月18日(金)桜ヶ丘特別支援学校おすすめツアー(体験交流員(島 絵理子))6名

## 2) 大多喜城分館

8月6日(木)~8日(土)8月16日(日)9月14日(月)~16日(水)千葉県立千葉盲学校  
(小林清隆、高橋 覚、三森俊彦)3名

## 4.3 教員研修

### 1) 本館

- 5月20日(水)八千代市教育研究会小学校部会理科部会 「森の調査隊」研修会(林 浩二)  
5月23日(火)君津市立三島小学校 教員研修講師「カラムシから糸をつくる」(島立理子)  
12名  
5月28日(木)君津市立三島小学校 カラムシから糸をとる(島立理子)7名  
6月4日(木)君津市立三島小学校 身近な生物観察「校庭の生物」君津立三島小学校.(尾崎  
煙雄)7名  
6月20日(土)いすみ市理科教育研究会. 校庭の野草・雑草の教材化. いすみ市立大原小学  
校(斎木健一)7名  
6月25日(木)東金市理科教育研究会. 校庭の野草・雑草の教材化. 東金市立城西小学校(斎  
木健一)26名  
7月20日(月)君津市立蔵玉小学校 講座 蔵玉フェスタ 七曲川(尾崎煙雄)80名  
8月3日(月)独立行政法人科学技術振興機構 「地域科学館等連携講座」(斎木健一・宮 正  
樹)1名  
8月4日(火)千葉市教育委員会 平成21年度理科現地研修会 千葉市少年自然の家(宮野伸也)  
8月5日(水)千葉市少年自然の家フィールドワーク「土の中の生きもの」(萩野康則)31名  
8月11日(火)船橋市飯山満中学校 新任者研修(桑原和之)1名  
8月20日(木)君津地方教育研究会理科部会. 校庭の野草・雑草の教材化. 富津市立富津中  
学校(斎木健一)83名  
8月27日(木)千葉市教育委員会学校教育指導課 平成21年度理科教育センター植物観察  
会 千葉県立中央博物館生態園(原 正利・由良 浩)70名  
8月27日(木)我孫子市教育研究会理科部会. 校庭の野草・雑草の教材化. 我孫子市立湖北  
小学校(斎木健一)25名  
9月16日(水)八千代市教育研究会小学校理科部会. 校庭の野草・雑草の教材化. 八千代  
市立萱田小学校(斎木健一)22名  
10月15日(木)関東地区校長研修会 おすすめツアー(体験交流員:島 絵里子・夏井琴絵)  
30名  
10月20日(火)千葉県総合教育センター 平成21年度高等学校初任者研修会(林 浩二・安  
宅仁志)146名  
11月6日(金)千葉県総合教育センター 小学校自然体験活動講座「小さい秋みつけた」千葉  
県立中央博物館・生態園(天野 誠)21名  
1月13日(水)君津市立蔵玉小学校 東大演習林自然観察会(尾崎煙雄・大木淳一)30名

### 2) 大多喜城分館

8月6日(木)~8日(土)8月16日(日)9月14日(月)~16日(水)幕張総合高校教諭 館  
活動体験(小林清隆、高橋 覚、三森俊彦)1名

### 3) 分館海の博物館

- 6月14日(日)千葉明德高校「教員研修」博物館内(村田明久)6名  
6月25日(木)高校理科部会研修会「教員研修」博物館前磯(立川浩之)7名  
7月23日(木)千葉県総合教育センター「海の環境学習研修会1」 博物館前磯(菊地則雄・  
奥野淳兒・中村裕明)14名  
7月24日(金)千葉県総合教育センター「海の環境学習研修会2」 博物館前磯(菊地則雄・  
中村裕明)15名

## 4.4 標本・学習キットの利用による支援

### 4.4.1 標本の利用

- ・哺乳類骨格標本（ニホンジカ・タヌキ等） 4月23日（木）千葉市立星久喜中学校（落合啓二）
- ・哺乳類骨格標本（ニホンジカ・タヌキ等） 6月3日（水）東京学芸大学附属竹早小学校（落合啓二）
- ・哺乳類骨格標本（ニホンジカ・タヌキ等） 6月21日（日）市川市立第二中学校（落合啓二）
- ・昆虫標本（カブトムシ、アブラゼミ等） 6月24日（水）印旛村立いには野小学校（斉藤明子）
- ・哺乳類骨格標本（ニホンジカ・タヌキ等） 7月9日（木）千葉市立打瀬中学校（落合啓二）
- ・哺乳類剥製標本（アライグマ、ハクビシン等） 7月24日（金）八千代市役所環境保全課の貸し出し（落合啓二）

### 4.4.2 学習キットの利用

#### 1) 本館

- ・化石模型製作： 8月10日（月）そごう千葉店（加藤久佳）34名
- ・化石模型製作： 8月28日（金）鎌ヶ谷市北中沢児童センター（加藤久佳）50名
- ・カエル模型作成キット： 3月4日（木）都田幼稚園（尾崎煙雄）30名
- ・野草カード： 学校の校庭で見られる春の野草を、コンピューターのイメージスキャナーを用いた特殊な方法（スキャノグラフィー）を用いて電子画像化し、それをカードとしてプリントしたもの（野草カード）を作製し、希望の学校へ提供する。また、要望に応じて、観察会での利用方法などを指導する。以下の学校、関係機関に配布した。小学校 63校： 我孫子市立高野山小学校、我孫子市立湖北小学校、我孫子市立湖北台西小学校、我孫子市立新木小学校、我孫子市立第三小学校、我孫子市立第二小学校、我孫子市立第四小学校、我孫子市立並木小学校、我孫子市立根戸小学校、いすみ市立大原小学校、いすみ市立長者小学校、市川市立富美浜小学校、市川市立中山小学校、印旛村立平賀小学校、大網白里町立白里小学校、御宿町立御宿小学校、柏市立大津ヶ丘第二小学校、柏市立田中小学校、柏市立富勢小学校、勝浦市立上野小学校、勝浦市立総野小学校、勝浦市立豊浜小学校、香取市立佐原小学校、香取市立八都小学校、木更津市立祇園小学校、木更津市立八幡台小学校、木更津市立岩根小学校、木更津市立金田小学校、木更津市立鎌足小学校、木更津市立木更津第一小学校、木更津市立木更津第二小学校、木更津市立清見台小学校、木更津市立請西小学校、木更津市立高柳小学校、木更津市立富岡小学校、木更津市立波岡小学校、木更津市立畑沢小学校、木更津市立南清小学校、君津市立大和田小学校、君津市立小櫃小学校、君津市立北子安小学校、君津市立蔵玉小学校、君津市立久留里小学校、君津市立坂畑小学校、君津市立周南小学校、君津市立南子安小学校、君津市立八重原小学校、九十九里町立九十九里小学校、匝瑳市立栄小学校、袖ヶ浦市立昭和小学校、袖ヶ浦市立中川小学校、袖ヶ浦市立根形小学校、館山市立館山小学校、千葉市立さつきが丘西小学校、東金市立城西小学校、流山市立鱈ヶ崎小学校、成田市立公津の杜小学校、富津市立飯野小学校、富津市立佐貫小学校、富津市立吉野小学校、船橋市立飯山満小学校、松戸市立横須賀小学校、松戸市立常盤平第二小学校。中学校 56校： 我孫子市立我孫子中学校、我孫子市立湖北台中学校、我孫子市立湖北中学校、我孫子市立白山中学校、我孫子市立久寺家中学校、我孫子市立布佐中学校、いすみ市立国吉中学校、大網白里町立大網中学校、大網白里町立増穂中学校、大網町立大網中学校、大多喜町立西中学校、木更津市立岩根中学校、木更津市立太田中学校、木更津市立清川中学校、木更津市立第二中学校、木更津市立中郷中学校、木更津市立畑沢中学校、君津市立小櫃中学校、君津市立亀山中学校、君津市立君津中学校、君津市立小糸中学校、君津市立周西中学校、君津市立周西南中学校、山武市立山武中学校、山武市立山武南中学校、山武市立成東中学校、山武市立成東東中学校、山武市立蓮沼中学校、山武市立松尾中学校、芝山町立芝山中学校、袖ヶ浦市立平川中学校、袖ヶ浦市立昭和中学校、袖ヶ浦市立長浦中学校、袖ヶ浦市立根形中学校、千葉市立千城台西中学校、東金



市立北中学校、東金市立東金中学校、東金市立西中学校、東金市立東中学校、富津市立大貫中学校、富津市立佐貫中学校、富津市立天羽中学校、富津市立天羽東中学校、富津市立富津中学校、南房総市立丸山中学校、横芝光町立横芝中学校、千葉市立真砂第一中学校、千葉市立有吉中学校、千葉市立泉谷中学校、千葉市立高洲第二中学校、千葉市立千城台南中学校、千葉市立星久喜中学校、船橋市立若松中学校、水戸市立見川中学校、和歌山県印南町立切目中学校、宮崎市立佐土原中学校。高等学校1校：千葉県立上総高等学校。その他1ヶ所：千葉県総合教育センター（担当：斎木健一・天野 誠）

## 2) 大根分館

### ・むかしの道具（西川博孝）

東庄町立石出小学校 6月1日（月）、7月1日（水）131名  
匝瑳市立豊栄小学校 9月13日（日）、9月19日（土）278名  
旭市立千潟小学校 10月1日（木）、10月16日（金）322名  
東庄町立石出小学校 11月5日（木）、11月27日（金）134名  
香取市立湖東小学校 11月20日（金）、12月1日（火）58名  
香取市立北佐原小学校 1月21日（水）、2月5日（木）147名  
香取市立新島小学校 1月25日（日）、2月5日（木）101名

## 4.5 学習情報センターにおけるレファレンス件数（本館）

259件（標本同定106件、写真同定18件、その他135件）

## 4.6 他機関への支援活動

### 4.6.1 助言・指導等

4月1日（水）千葉県生活環境部バイオマスプロジェクトチーム 第16回こがもちゃん会議（桑原和之・白井 豊）4名  
4月28日（火）習志野市谷津千潟自然観察センター 谷津千潟“貝がら”展 展示指導（黒住耐二）  
5月15日（金）千葉県環境生活部バイオマスプロジェクトチーム 第17回こがもちゃん会議（桑原和之・白井 豊）7名  
5月29日（金）千葉県環境生活部自然保護課 ニホンジカの保護管理についての助言（落合啓二）  
6月5日（金）環境省那覇自然環境事務所 陸産貝類の英名（黒住耐二）  
6月5日（金）千葉県農林水産部 千葉県野生鳥獣対策本部会議（落合啓二）  
6月8日（月）千葉県環境生活部バイオマスプロジェクトチーム 第18回こがもちゃん会議（桑原和之）6名  
6月8日（月）～12日（金）沖縄県立埋蔵文化財センター 具志川島遺跡群の発掘調査に伴う調査指導（黒住耐二）11名  
6月15日（月）千葉県環境生活部バイオマスプロジェクトチーム 第19回バイオマス環境教育推進会議（桑原和之・白井 豊）5名  
6月26日（金）環境省那覇自然環境事務所 陸産貝類の英名（黒住耐二）1名  
7月～3月 農林水産省横浜植物防疫所 「平成21年度病害虫同定診断推進対策事業における傾向調査」 調査指導 千葉県立中央博物館（黒住耐二）  
7月12日（日）袖ヶ浦市教育委員会 夏休み科学論文作成指導（新 和宏）24名  
7月15日（水）千葉県環境財団 地球環境問題 市原市八幡公民館（堀江義一）  
7月25日（土）千葉県環境生活部バイオマスプロジェクトチーム 第20回バイオマス環境教育推進会議（桑原和之・白井 豊）4名  
7月29日（水）～31日（金）南種子町教育委員会 一陣長崎鼻跡発掘調査に伴う調査指導（黒住耐二）9名  
8月8日（土）袖ヶ浦市教育委員会 夏休み科学論文作成指導（新 和宏）24名  
8月20日（木）野田市史編さん室 野田市史民俗編の調査に向けて、衣生活についての調査を

おこなった。(島立理子)

- 8月22日(土) 袖ヶ浦市教育委員会 夏休み科学論文作成指導(新 和宏) 24名  
8月24日(月) 君津市教育委員会 夏休み科学論文作成指導(新 和宏) 25名  
9月6日(日) 千葉県環境生活部バイオマスプロジェクトチーム 第22回 バイオマス環境教育推進会議(桑原和之) 5名  
9月14日(月)～19日(土) 鹿児島県和泊町教育委員会 西原海岸遺跡発掘調査指導(黒住耐二)  
10月7日(水) 沖縄県病害虫防除所 アジアベッコウの農作物被害(黒住耐二)  
10月7日(水) 千葉県農林水産部 「ちばの魚」イラストコンテスト審査(宮 正樹) 8名  
10月22日(木) 千葉県文化財課・香取市教育委員会 天然記念物の現状変更許可に関わる植生調査と評価 香取神宮, 香取市(大野啓一)  
12月8日(火)～11日(金) 沖縄県立埋蔵文化財センター 具志川島遺跡群の発掘調査に伴う調査指導(黒住耐二)  
1月22日(金) 千葉県農林水産部 千葉県野生鳥獣対策本部会議出席(落合啓二)  
2月4日(木)～6日(土) 北谷町教育委員会、「伊礼原D遺跡等出土の貝殻分析」整理指導 北谷町教育委員会, 沖縄県北谷町(黒住耐二)  
3月23日(火) 佐賀市教育委員会 東名遺跡整理調査に伴う整理指導(黒住耐二)

## 4.6.2 委員等(全館)

### 4.6.2.1 国

- ・文部科学省 教科図書検定調査審議会臨時委員(岡崎浩子)
- ・文部科学省 文化庁埋蔵文化財発掘調査体制等の整備充実に関する調査研究委員会委員(佐久間 豊)
- ・独立行政法人国立科学博物館 展示制作業者選定委員(斉藤明子)
- ・独立行政法人国立科学博物館 相模灘地域の生物相の起源探究に関する調査研究外部委員(駒井智幸)
- ・独立行政法人日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員(宮 正樹)
- ・国土交通省関東地方整備局 南関東エコロジカル・ネットワーク形成に関する検討委員会委員(中村俊彦)
- ・環境省自然保護局 絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会委員(古木達郎、吹春俊光)
- ・環境省自然保護局 希少野生動植物種保存推進員(宮田昌彦、宮野伸也、古木達郎、吹春俊光、原田 浩、天野 誠、朝倉 彰、黒住耐二、桑原和之、落合啓二)
- ・環境省 委託鳥類標識調査協力員(桑原和之)
- ・環境省 モニタリングサイト1000シギ・チドリ類調査解析ワーキンググループ会合検討委員会委員, バードリサーチ(環境省), 2009.4.1-2010.3.31. 検討委員会: 2009.11.14. (桑原和之)
- ・環境省 自然環境保全基礎調査植生調査ブロック調査会議委員(大野啓一)
- ・林野庁 きのコアドバイザー研修登録委員会委員(吹春俊光)
- ・国営越後丘陵公園 国際香りのばら新品種国際コンクール審査委員(御巫由紀)
- ・独立行政法人国立環境研究所客員研究員(林 紀男)
- ・農林水産省 平成21年度鳥獣害対策専門家育成事業検討委員会委員(浅田正彦)

### 4.6.2.2 千葉県

- ・千葉県文書館 古文書調査員(筑紫敏夫)
- ・千葉県総合教育センター 児童生徒・教職員科学作品展 科学論文の部(中学校・高等学校) 審査員(古木達郎)
- ・千葉県総合企画部地域づくり推進課 千葉の里山・森づくりプロジェクト推進会議委員(中村俊彦)
- ・千葉県総合企画部地域づくり推進課 北総里山会議自然環境部会委員(斉木健一)

- ・千葉県環境生活部環境政策課 三番瀬環境学習施設等検討委員会委員（桑原和之）
- ・千葉県環境生活部環境政策課 三番瀬評価委員会委員（宮田昌彦）
- ・千葉県環境生活部環境政策課 三番瀬海生生物作業部門検討委員会委員（宮田昌彦）
- ・千葉県環境生活部環境政策課 千葉県環境アドバイザー（堀江義一）
- ・千葉県環境生活部水質保全課 手賀沼水生植物再生事業（林 紀男）
- ・千葉県環境生活部資源循環推進課 バイオマスプロジェクトチーム木質プラスチック部会構成機関委員（桑原和之）
- ・千葉県環境生活部自然保護課 千葉県レッドデータブック改定委員会委員（宮田昌彦、宮野伸也、古木達郎、吹春俊光、原田 浩、朝倉 彰、黒住耐二、桑原和之、落合啓二、萩野康則）；分科会委員（天野誠、御巫由紀、倉西良一）
- ・千葉県環境生活部自然保護課 千葉県外来種対策（植物）検討委員会委員（宮田昌彦、古木達郎、天野 誠）
- ・千葉県環境生活部自然保護課 ヒメコマツ保全協議会（尾崎煙雄）
- ・千葉県環境生活部自然保護課 千葉県特定鳥獣保護管理計画（ニホンジカ）検討会（落合啓二）
- ・千葉県環境生活部自然保護課 千葉県特定外来生物（アカゲザル）防除実施計画策定検討委員会作業部会（落合啓二）
- ・千葉県環境生活部自然保護課 千葉県特定外来生物（アライグマ）対策検討会作業部会（落合啓二）
- ・千葉県環境生活部自然保護課 千葉県行徳内陸性湿地再整備検討協議会委員（由良 浩）
- ・千葉県環境生活部自然保護課 NPO 生物多様性モデル事業補助金選考委員。（中村俊彦）
- ・千葉県環境生活部自然保護課 千葉県生物多様性体験学習推進事業補助金選考委員。（中村俊彦）
- ・千葉県環境生活部自然保護課 シャープゲンゴロウモドキ保全協議会委員（倉西良一）
- ・千葉県県土整備部河川環境課 印旛沼水生植物再生事業（中村俊彦、林 紀男）
- ・千葉県県土整備部 千葉県千葉地域整備センター 桑納川沈水植物再生事業（林 紀男）
- ・千葉市 環境審議会委員。（中村俊彦）
- ・千葉市 衛生局 平成21年度千葉市平和公園オオタカ生息環境保全検討委員（桑原和之）
- ・市川市 緑の調査専門委員（御巫由紀）
- ・船橋市 環境審議会委員。（中村俊彦）
- ・富津市 文化課 富津市文化財審議会（筑紫敏夫）
- ・木更津市 文化課 木更津市文化財保護審議会（筑紫敏夫）
- ・木更津市 教育委員会 木更津市史調査研究・執筆員（地引尚幸）
- ・木更津市 教育委員会 木更津市文化財保護審議会副会長（筑紫敏夫）
- ・君津市 教育委員会 君津市博物館基本構想検討委員（尾崎煙雄）
- ・流山市 教育委員会 流山市史編さん委員会（清藤一順）
- ・柏市 教育委員会 柏市史編さん委員（清藤一順）
- ・柏市 教育委員会 柏市文化財保護委員会委員（清藤一順）
- ・八千代市 八千代市谷津・里山保全推進会議委員（浅田正彦）
- ・市川市 環境審議会専門委員。（中村俊彦）
- ・佐倉市市 民文化資産運用委員会委員。（中村俊彦）
- ・我孫子市 谷津ミュージアム事業推進専門家会議議長。（中村俊彦）
- ・印西市 教育委員会 文化財審議委員（原 正利、岡崎浩子）
- ・山武市 教育委員会 成東・東金食虫植物群落保護検討会作業部会委員（中村俊彦、古木達郎、由良 浩）
- ・富津市 文化財審議会委員（富津市教育委員会）（筑紫敏夫）
- ・富里市 教育委員会 富里市文化財審議委員会委員（田村 隆）
- ・茂原市 教育委員会 鶴枝ヒメハルゼミ発生地保護協議会アドバイザー（原 正利、斎木健一）
- ・松戸市 教育委員会 松戸市史編さん委員会上巻改訂部会員（清藤一順）
- ・松戸市 教育委員会 松戸市立博物館協議会委員（原 正利）

- ・君津市 教育委員会 君津市博物館基本構想検討委員（尾崎煙雄）
- ・野田市 史編さん委員会専門員調査研究員（島立理子）
- ・我孫子市 我孫子市環境審議会委員（大野啓一）
- ・我孫子市 我孫子市岡発戸新田地区エコアップ懇談会委員（大野啓一）
- ・富里市 文化財審議会委員（高橋 覚）
- ・勝浦市 公民館運営委員会委員（宮田昌彦）
- ・印旛村 教育委員会 文化財審議会委員及び歴史民俗資料館運営委員会委員（原 正利）

#### 4.6.2.3 他都道府県

- ・秋田県生活環境文化部環境あきた創造課八郎湖環境対策室 八郎湖研究会委員（林 紀男）
- ・栃木県環境森林部・栃木県立博物館 栃木県レッドデータリスト改訂委員会土壌動物部会検討委員（黒住耐二）
- ・栃木県環境森林部・栃木県立博物館 栃木県レッドリスト改訂専門委員会委員（栃木県環境森林部）
- ・ミュージアムパーク茨城県自然博物館 収蔵庫を考える懇談会委員（御巫由紀）
- ・矢板市教育委員会 高原山黒曜石原産地遺跡群剣ヶ峯地区調査委員会委員（田村 隆）
- ・東京都環境保健部「東京都における保護上重要な野生生物種の種に関する検討会」その他無脊椎動物専門部会委員（黒住耐二）
- ・長野県中野市 信州きのこマイスター認定協議会（吹春俊光）
- ・石川県白山市教育委員会 桑島化石壁産出化石調査協議会委員（伊左治鎮司）

#### 4.6.2.4 各機関等

- ・NPO法人青葉台さわやかネットワーク青葉大学運営委員（佐久間 豊）
- ・NPO法人生涯学習応援団ちば専門委員（佐久間 豊）
- ・伊能忠敬協議会委員(香取市立伊能忠敬記念館)（佐久間 豊）
- ・国連大学日本における里山・里海サブグローバル評価科学者パネル（中村俊彦）
- ・ちば・谷津田フォーラム代表（中村俊彦）
- ・里山シンポジウム実行委員（中村俊彦）
- ・WWF ジャパン 南西諸島生物多様性評価プロジェクト地域検討会委員（黒住耐二）
- ・日本自然保護協会 辺野古・大浦湾検討会議委員（黒住耐二）
- ・自然環境研究センター 平成21年度自然環境保全基礎調査 動物分布調査及び普及啓発冊子作製業務に関する陸産・淡水産貝類ワーキンググループ委員（黒住耐二）
- ・千葉県環境財団 ちば環境再生推進委員会助成部会委員（御巫由紀）
- ・NPO法人海の自然史研究所沖縄本島大浦湾の十脚甲殻類相の調査調査委員（駒井智幸）
- ・財団法人日本自然保護協会 環境省モニタリングサイト1000里地調査検討委員(尾崎煙雄),
- ・財団法人日本鳥類保護連盟 水鳥類重要渡来地鳥類生息状況調査調査員（桑原和之）

### 4.7 受けた助成

#### 1) 本館（2件：2,938,955円）

- ・JST 地域の科学舎推進事業地域活動支援（独立行政法人科学技術振興機構）  
研究代表者：加藤久佳。研究課題：プロに学ぶ化石レプリカ製作講座。助成金額 480,850円。
- ・ふるさと文化再興事業（文化庁）  
研究代表者：斎木 勝。映像記録作成：島立理子。研究課題：「地域伝統文化伝承事業」房総の出羽三山信仰映像記録などの作成。助成金額 2,458,105円。

### 4.8 市民参画

#### 1) 本館・生態園・房総の山のフィールドミュージアム（総計 186名、1484人日）

- (1) 資料整理ボランティア： 博物館資料の整理・保存をサポート。31名、452人日
- (2) 生態園パートナー： 生態園来園者の自然観察をサポート。29名、105人日

- (3) 房総の山の観察会サポーター： 房総の山のフィールド・ミュージアムでの観察会をサポート。9名、43人日
- (4) 講座・観察会・イベントボランティア： 当館で実施する講座・観察会・イベントをサポート。41名、43人日
- (5) 調査・研究ボランティア： 重点調査（いすみ・大多喜植物調査ボランティア）。41名、424人日
- (6) 展示室ボランティア： 常設展示室で展示解説を行い、体験学習室での学習をサポート。33名 431人日
- (7) 「おばあちゃんの畑」プロジェクト活動支援パートナー「おばあちゃんの畑」プロジェクト活動のサポート。2名、4人日

2) 分館海の博物館（総計 12名、53人名）

- (1) 講座・観察会・イベントボランティア： 当館で実施する講座・観察会・イベントをサポート。5名、25人日
- (2) 調査研究ボランティア： 調査・研究に用いる器材の整理をサポート。3名、15人日
- (3) 資料整理ボランティア： 博物館資料の保存・管理をサポート。4名、18人日

## 5. 情報の発信と公開

### 5.1 刊行物一覧

#### 1) 全般

千葉県立中央博物館年報 21号 (20年度版)	冊子	A4	13頁	2,000部
中央博物館だより No.67	冊子	A4	12頁	1,500部
平成22年度行事案内	リーフレット	A4	6頁	25,000部

#### 2) 本館企画展示等

企画展「虫,魚,鳥,...草,木,...人」	ポスター	B2	1頁	300部
	ポスター	A2	1頁	200部
	ちらし	A4	2頁	60,000部
秋の展示「縄文の躍動」	ポスター	A2	1頁	500部
	ちらし	A4	2頁	80,000部
	図録	A4	68頁	500部
春の展示「雲南の地衣類」	ポスター	A2	1頁	200部
	ちらし	A4	2頁	30,000部

#### 3) 生態園

生態園観察ノート No.16「カイツブリ」	冊子	A5	30頁	1,000部
-----------------------	----	----	-----	--------

#### 4) 房総の山のフィールドミュージアム

平成22年度のご案内	リーフレット	A4	2頁	5,000部
ニュースレター「しいむじな」25号	冊子	A4	4頁	5,000部
ニュースレター「しいむじな」26号	冊子	A4	4頁	5,000部
ニュースレター「しいむじな」27号	冊子	A4	4頁	5,000部
ニュースレター「しいむじな」28号	冊子	A4	4頁	5,000部

#### 5) 大利根分館

企画展「関東灘礼賛」	展示図録	A4	53頁	400部
	ちらし	A4	2頁	15,000部
	ポスター	B2	1頁	500部
ニュースレター「たかっぽ通信」2号	冊子	A4	4頁	5,000部
収蔵品展「水辺の野鳥たち」	解説	A4	8頁	200部

#### 6) 大多喜城分館

企画展「日本メキシコ交流の歴史」	ポスター	B2	1頁	500部
	パンフレット	A3	二折	10,000部
	チラシ	A4	2頁	15,000部
収蔵資料展「刀一拵と当装具」	ポスター	B2	1頁	400部
「大多喜城の歴史」	チラシ	A4	2頁	11,000部
	チラシ	B6	1頁	50,000部
スタンプ用紙		B6	1頁	30,000部

## 7) 分館海の博物館

マリンサイエンスギャラリー「海の生きものの共生ーパートナーシップの多様性ー」	ポスター	A2	A2	2,300部
	リーフレット	A4	2頁	20,000部
	展示解説書	A4	16頁	10,000部
「なかよしはだれかな？」	ワークシート	A4	1頁	1,500部
収蔵資料展「大収蔵資料展」 「海の博物館の収蔵資料」 「大きな生きもの・小さな生きもの」	リーフレット	A4	2頁	15,000部
	展示シート	A4	1頁	2,000部
	ワークシート	A4	1頁	2,000部
海の生きもの観察ノート9「磯の魚を観察しよう」	冊子	A5	32頁	5,000部
利用のしおり	リーフレット	A6	8頁	60,000部
ニューズレター「いそっぴ通信 No. 10」	冊子	A4	26頁	2,500部
海の博物館・海中公園・海の資料館共通スタンプ帳	冊子	A6	8頁	50,000部
自然観察エリアガイドマップ「理想郷観察エリア」	冊子	A6	8頁	60,000部

## 5.2 研究成果の公表（カッコ内は20年度）

詳細は「2.10. 研究業績・委員・社会貢献等」を参照。

- (1) 論文・学術書：80編（83編）
- (2) 学術報告：62編（38編）
- (3) 教育普及書：249編（234編）
- (4) 研究発表：113件（108件）

## 5.3 ウェブサイト

- (1) ウェブサイトの更新：401回

当館のウェブサイトを合計401回更新した。そのうち、146回はトップページの更新である。なお、詳細は省略する。職員の記名サイトの詳細は「2.10. 研究業績・委員・社会貢献等」を参照。

- (2) ウェブサイトの作成：179件

職員によるウェブサイトの作成件数は179件。なお、詳細は「2.10. 研究業績・委員・社会貢献等」を参照。

## 5.4 マスコミを通じての発信（130件）

### 1) 本館（生態園、房総の山のフィールドミュージアムを含む）

- 4月1日 日経サイエンス, 4月号:120-124. 日本経済新聞社. 三変化する深海魚を再発見. (宮 正樹)
- 4月1日 ナショナルジオグラフィック日本版, 4月号:7. 日経ナショナルジオグラフィック社. 三つの科 みんな同じ魚だった (宮 正樹)
- 4月1日 ニュートン, 4月号:5. 株式会社ニュートンプレス. 実は親子だった. ニュートン, 4月号:5. 株式会社ニュートンプレス (宮 正樹)
- 4月6日 テレビ東京, オンデンザメについて (宮正 樹)
- 4月8日 ビバビバちばマップ 千葉県立中央博物館. 「朝まるJUST」枠内のコーナー「ビバビバちばマップ」, 6:50-6:55. 千葉テレビ (萩野康則)
- 4月17日 千葉テレビ, ミツバチの減少問題について (宮野伸也)
- 4月17日 テレビ朝日, 長寿ナンバーワンの貝類は何か (黒住耐二)
- 4月20日 日本実務出版, 国際甲殻類学会東京大会の開催について (朝倉 彰)
- 4月25日 シティライフ. シティライフ外房東金版. 101号:4 アナグマ(写真提供). (大木 淳一)

- 4月28日 毎日新聞柏支社、柏市のクマゼミについて（直海俊一郎）
- 4月30日 赤旗編集部、野鳥の鳴き声と生態（大庭照代）
- 5月1日 朝日ふれんど千葉: 7. 朝日ふれんど 生態園ギャラリーあなたの発見おしえてください。（林 浩二）
- 5月8日 週末はミュージアム クモ・蜘蛛・くも-8本足の糸つむぎ職人-. 「ひるどき情報ちば」枠内のコーナー「朝まるJUST」枠内のコーナー, 11:12-11:27. NHK千葉FM（萩野康則）
- 5月10日 ケーブルネットワーク千葉、生態園ギャラリー「あなたの発見おしえてください」について（林 浩二）
- 5月10日 千葉日報、「ハマボウフウ」について（由良 浩）
- 5月13日 日本テレビ、富津干潟の動物について（黒住耐二）
- 5月19日 朝日新聞、ハキリバチの習性について（宮野伸也）
- 5月24日 月刊ダイバー、三番瀬での自然観察会の同行取材（林 紀男）
- 5月26日 千葉日報、中央博物館県民の日関連イベントについて（萩野康則）
- 5月26日 産経新聞、鴨川市小湊ほかで発見されたオオグソクムシ化石について（加藤久佳）
- 6月5日 東京新聞、昭和の森公園内にある「住吉遺跡」について（田邊由美子）
- 6月5日 こあじさし, 2009年6月号: 2. 千葉中央新聞販売クモ・蜘蛛・くも……8本足の糸つむぎ職人.（萩野康則）
- 6月5日 NHK千葉 ひるどき情報千葉, 11:10.（週末はミュージアム「トピックス展・ミヤコタナゴ」. 田邊由美子）
- 6月5・7・16日 読売新聞・東京新聞ほか、トピックス展「天然記念物・希少野生動植物種ミヤコタナゴ」について（田邊由美子）
- 6月10日 読売新聞・毎日新聞、生態園トピックス展「舟田池のカイツブリ」について（大庭照代）
- 6月12日 舟田池のカイツブリー小さながんばりやさん. 毎日新聞朝刊、イベント案内. 毎日新聞社（大庭照代）
- 6月12日 NHK千葉放送局、企画展「関東灘礼賛ー利根川下流域の酒文化ー」について（矢本節朗）
- 6月18日 千葉テレビ、「おばあちゃんの畑」プロジェクトについて（島立理子）
- 6月22日 朝日新聞、スクミリングガイの被害状況及び写真絵本について（大木淳一）
- 6月24日 朝日新聞、アカハライモリについて（大木淳一）
- 6月27日 ホンビノスガイ. 朝日新聞夕刊: 1. 朝日新聞社（黒住耐二）
- 6月27日 ウィークリー千葉県, 22:00. 千葉テレビ ちばっ子元気に！食・農体験. ウィークリー千葉県, 22:00. 千葉テレビ（島立理子）
- 7月1日 シティライフ. シティライフ千葉南版. 83号:4 タヌキ(写真提供).（大木淳一）
- 7月1日 NHK大阪放送局、ヒメリングマイマイについて（黒住耐二）
- 7月4・5・14・31日・8月5・13・17日 朝日新聞・NHK千葉放送局ほか、企画展「生物多様性I」について（中村俊彦）
- 7月5日 千葉日報. 千葉日报社 生物多様性の大切さ訴え. 県中央博で企画展.（中村俊彦）
- 7月5日 トランプメディア、水郷地域の農業で役牛として働いた朝鮮牛について（矢本節朗）
- 7月5日 読売新聞朝刊: 34. 読売新聞社 マコモ.（天野 誠）
- 7月7日 生物の多様さ考える企画展. 県立中央博物館, 朝日新聞朝刊千葉版. 朝日新聞社（中村俊彦）
- 7月8・16日・12月13・15日 日経新聞・朝日新聞ほか、「おばあちゃんの畑」プロジェクトについて（島立理子）
- 7月9日 エリート情報佐倉版、生態園トピックス展「舟田池のカイツブリ」について（大庭照代）
- 7月10・16日 朝日新聞・しんぶん赤旗、メダカの南北集団の分岐年代論文について（宮 正樹）



- 7月10日 テレビ朝日、大阪で発見されたエスカルゴについて（黒住耐二）
- 7月11日 ハチが葉を切るのは何のため。朝日新聞朝刊 BE: 6. 朝日新聞社（宮野伸也）
- 7月12日 NHK 報道局、沖縄島海底洞穴から得られた貝類遺体（黒住耐二）
- 7月14日 日本のメダカ、南北分岐は1800万年前。朝日新聞全国版：8面（社会面）。朝日新聞社（宮 正樹）
- 7月16日 エリート情報, 547号：1. エリート情報社 舟田池のカイツブリー小さながんばりやさん。（大庭照代）
- 7月16日 メダカ、枝分かれば1800万年前。朝日小学生新聞：1面。朝日新聞社（宮 正樹）
- 7月19日 読売新聞千葉版: 26. 読売新聞社 千葉の歴史水辺の生命「ガクアジサイ」。（由良 浩）
- 7月24日 日本テレビ、ナメクジについて（黒住耐二）
- 7月24日 地域新聞千葉南部版。地域新聞社虫、魚、鳥、・・草、木、・・人、その素場らしさを、親から子へ、そして孫へ、21年度千葉県立中央博物館企画展。（中村俊彦）
- 7月25日 エリート情報, 548: 3. エリート情報社再生を目指して！第6回里山シンポジウムの報告から。（中村俊彦）
- 7月31日 NHK, FMラジオ「ひるどき情報ちば」 生物多様性：生命のにぎわいとつながり。（中村俊彦）
- 8月3日 NHK(総合), はよう日本, 7:15. 日本放送協会 沖縄の海に遺跡が眠っている。（黒住耐二）
- 8月4日 産経新聞、東京海底谷の深海生物について（宮 正樹）
- 8月6日 アクア庵のインターネット ラジオ CHANNEL-AQ、生態園の事業について（大庭照代）
- 8月20日 Bay FM、観察会「山の学校」について（大木淳一）
- 8月17日 日本経済新聞夕刊: 11. 日本経済新聞畑に親子が教わったのは・・・（島立理子）
- 8月17日-23日 千葉県立中央博物館企画展「生命のにぎわいとつながり」。千葉ガーデンタウン有線テレビ2チャンネル。ちばガーデンタウン有線テレビ放送局（中村俊彦）
- 8月23日 しんぶん赤旗: 14面（科学面）。日本共産党中央委員会 北のメダカ、南のメダカ、日本列島の形成と深い関係。（宮 正樹）
- 9月10日 読売新聞、『素敵にサンエンス 先生編』について（島 絵里子）
- 9月15日 ケーブルテレビ JCN、生態園と本館展示室について（大野啓一・林 紀男）
- 9月15日 市川よみうり・船橋よみうり、生態園ギャラリー「あなたの発見おしえてください」について（林 浩二）
- 9月17日 NHK 千葉放送局、千葉県におけるキノコについて（吹春俊光）
- 9月23日 ジャパンケーブルネット(株)、千葉県の絶滅危惧種について（天野 誠）
- 9月24日 千葉日報、企画展「日本メキシコ交流の歴史」について（高橋 寛）
- 9月25日 朝日新聞、房総の山のフィールド・ミュージアムについて（尾崎煙雄）
- 9月27日 NHK(総合), ダーウィンが来た, 19:30. 日本放送協会 第164回知床急流に潜る鳥。（大庭照代）
- 9月27・29・30日・11月4日 朝日新聞・千葉日報ほか、秋の展示「縄文の躍動」について（清藤一順）
- 10月1日 朝日新聞社。朝日新聞夕刊。12 日本の原風景侵すピンクの卵 ジャンボタニシ田に異変?千葉の大木さん「心配」現状を写真絵本に（大木淳一）
- 10月1日-31日。生態園の紹介。『月刊エコ専』, 期間中, 週4日程度, 各日1-2回 JCN(ジャパンケーブルネット株式会社)（大野啓一・林 紀男）
- 10月2日 NHK 千葉放送局、菌類の標本について（吹春俊光）
- 10月2日 日本テレビ、英 BBC 制作の深海生物映像について（宮 正樹）
- 10月8日 日本テレビ 08:30 深海魚や深海について、スッキリ！！（宮 正樹）
- 10月9日 誠文堂新光社、野生きのこについて（吹春俊光）
- 10月13日 朝日新聞・千葉版: 29. 朝日新聞社 国内初キジカクコウ確認。（桑原和之）

- 10月14日 NHK千葉放送局 いっとろっけん 房総のきのご観察会と博物館収蔵庫（吹春俊光）
- 10月15日 毎日新聞、青いバラについて（御巫由紀）
- 10月17日 朝日新聞朝刊:30. 朝日新聞社 教室博物館は千客万来（尾崎煙雄）
- 10月29日 NHK、飛び跳ねる巻貝について（黒住耐二）
- 11月1日 日経サイエンス, 11月号:112-115 メダカが語る日本列島の2000万年. (宮 正樹)
- 11月4日 館山湾の飛び跳ねる貝. NHK(総合), ゆうどきネットワーク, 1830. 日本放送協会（黒住耐二）
- 11月6日 NHKひろどき情報千葉, 11:10. 千葉週末はミュージアム「縄文の躍動」. (田邊由美子)
- 11月7日 エリート情報, 559号. エリート情報社 「縄文の躍動—海と生きた人々の文化—」. (清藤一順)
- 11月9日 テレビ朝日 20:30. ナニコレ珍百景 稲毛海浜公園の外来シジミ. (黒住耐二)
- 11月25日 朝日新聞朝刊. 朝日新聞社 沖縄本島大浦湾からエビ・カニの新種発見. (駒井智幸)
- 12月3・12日 朝日新聞千葉支局・千葉テレビ、千葉の歴史と物語観光を考えるシンポジウム「更級日記」と池田の池の開催について（佐久間 豊）
- 12月4日 千葉日報社. 千葉日報. 1 忙人寸語. (大木淳一)
- 12月11日 プロに学ぶ化石の模型づくり. 地域新聞鎌ヶ谷版: 1. 地域新聞社（加藤久佳）
- 12月15日 朝日新聞朝刊, 第2千葉版. 朝日新聞社 先人に学ぶ田舎の底力（島立理子）
- 12月22日 千葉日報社. ちばとび 外来種による水田の異変 郷土の人の本「写真のえほん 8 たんぽのおばけタニシ」(大木淳一)
- 12月24日 FMまるごと千葉 60分, 18:00. 日本放送協会（島立理子）
- 12月22・25日・1月6日 朝日新聞・NHK 科学文化部ほか、英国王立協会 Biology Letters 誌に掲載が決定した Deep-ocean origin of the fresh-water eels (外洋深海に起源したウナギ) 論文について（宮 正樹）
- 1月6日 ケーブルテレビ JCN、生態園観察会「ミドリシジミの卵を探そう」について（倉西良一）
- 1月6日 読売新聞、写真絵本「たんぽのおばけタニシ」について（大木淳一）
- 1月6日 ウナギ ご先祖は深海魚. 朝日新聞夕刊: 12面（社会面）. 朝日新聞社（宮 正樹）
- 1月6日 毎日新聞夕刊: 8面（社会面）. 毎日新聞社 ウナギの祖先是深海魚. (宮 正樹)
- 1月6日 NHK(総合), 正午のニュース, 12:10. 日本放送協会 ウナギの祖先是深海魚だった. (宮 正樹)
- 1月6日 日本経済新聞夕刊: 8面（社会面）. 日本経済新聞社 ウナギ 祖先是深海魚(宮正樹)
- 1月6日 東京新聞夕刊: 8面（社会面）. 東京新聞社 ウナギの祖先 深海生まれ(宮 正樹)
- 1月6日 読売新聞夕刊: 8面（社会面）. 読売新聞社 ウナギの祖先是深海魚(宮 正樹)
- 1月7日 しんぶん赤旗: 14面（社会面）. 日本共産党中央委員会 ウナギの祖先是深海魚（宮 正樹）
- 1月7日 めざましテレビ, 06:30. フジテレビ ウナギの祖先是深海魚（宮 正樹）
- 1月7日 千葉日報: 14面（社会面）. 千葉日報社 ウナギの祖先是深海魚（宮 正樹）
- 1月8日 朝日小学生新聞: 1面. 朝日新聞社 ウナギの祖先是深海魚だった（宮 正樹）
- 1月13日 しんぶん赤旗、トピックス展「干支にちなむ貝—寅年—」について（黒住耐二）
- 1月16日 日本農業新聞. 日本農業新聞. 10 ヨムヨム「たんぽのおばけタニシ」. (大木淳一)
- 1月16・24・28日 読売新聞・共同通信社ほか、速報展「ウナギの進化的起源は深海に！」について（宮 正樹）

- 1月21日 テレビ朝日、「千葉駅構内のムクドリ」について（大庭照代）
- 1月23日 朝日新聞千葉版: 夕刊13面. 朝日新聞社 ウナギの祖先 新説紹介（宮 正樹）
- 1月25日 NHK千葉放送局、千葉の谷津田の自然の特徴と保全活動について（中村俊彦）
- 1月25日 千葉市文化振興財団. あでは. 315:12 エンタメガイド「たんぼのおぼけタニシ」.（大木淳一）
- 1月26日 朝日新聞夕刊3版:10. 朝日新聞社 軽井沢さえずり減少（大庭照代）
- 1月28日 福井新聞、福井県で初めて見つかったカビゴケ（古木達郎）
- 1月28日 少年少女新聞社. 小学図書館ニュース. 868号:4 読んでみよう！調べてみよう！「たんぼのおぼけタニシ」.（大木淳一）
- 2月1日 (株)ニュートンプレス、深海に起源したウナギについて（宮 正樹）
- 2月1日 日経サイエンス社. 日経サイエンス. 464号:123 たんぼのおぼけタニシ.（大木淳一）
- 2月2日 東京放送、ニホンカモシカの生態について（落合啓二）
- 2月3日 ナニコレ珍百景,19:00. テレビ朝日 千葉駅構内の葉っぱになるムクドリ（大庭照代）
- 2月7日・3月13・16・22日 インターネットミュージアム・日本経済新聞千葉支局ほか、春の展示「雲南の地衣類」について（原田 浩）
- 2月25日 読売新聞・千葉版: 読売新聞社「ヤツガシラ」富津に飛来.（桑原和之）
- 2月27日 日本共産党中央委員会. しんぶん赤旗:11 子どもの本『たんぼのおぼけタニシ』.（大木淳一）
- 2月28日 読売新聞社. 読売新聞朝刊: 35 ジャンボタニシ写真絵本 外来種問題 平易に解説.（大木淳一）
- 2月26日 地域新聞（市原西版）千葉県立中央博物館友の会コケサークルの活動について（古木達郎）
- 3月3日 月刊「旅行読売」、タケノコ料理について（三森俊彦）
- 3月7日 読売新聞社. 読売新聞朝刊: 34 ちば週間語録.（大木淳一）
- 3月12日 読売新聞朝刊 読売新聞千葉支局、ナミアゲハの孵化の時期について（斉藤明子）
- 3月12日 フジテレビ、カタツムリについて（黒住耐二）
- 3月19日 NHK. FMまるごと千葉60分. 18:00 田んぼのジャンボタニシ.（大木淳一）
- 3月27日 船橋よみうり新聞社. 船橋よみうり. 801号:3 外来種タニシの稲作被害を危惧「自然に目向けて」と絵本出版（大木淳一）

## 2) 大多喜城分館

- 9月24日 千葉日報社、企画展「日本メキシコ交流の歴史」の概要（高橋 覚）
- 2月10日 日本テレビ、「メレンゲの気持ち」で外観と展示室内の撮影（高橋 覚）
- 3月3日 月刊「旅行読売」、「ドライブ大好き」で外観と展示室内の撮影（三森俊彦）
- 3月11日 ニューファミリー、「ふれあい交差点」で展示室の撮影（三森俊彦）
- 3月16日 NHK総合、「朝いち」内の「産直ライブ」で外観の撮（三森俊彦）
- 3月19日 フジテレビ、「もしもの日曜日おでかけツアー」で外観の撮影（小林清隆）

## 3) 分館海の博物館

- 4月10日 NHK千葉放送局、マリンサイエンスギャラリー「東洋のガラパゴスー小笠原諸島の海の生きものー」について（立川浩之）
- 7月17日 (株)日企、テングサについて（菊地則雄）
- 7月18・20・22日・9月4日 千葉日報・千葉テレビほか、大収蔵資料展「大収蔵資料展ー大きなモノから小さなモノまでー」について（川瀬裕司）
- 7月22日 千葉テレビ、磯・いそ探検隊について（菊地則雄）
- 8月12日 東京新聞、クラゲについて（立川浩之）
- 10月7日 (株)ポプラ社、紅藻アマノリ属藻類について（菊地則雄）
- 11月6日 千葉日報、ハバノリについて（菊地則雄）

- 11月10日 千葉日報、サケの遡上について（川瀬裕司）
- 11月21日・1月15日 株式会社日企・NHK、アサクサノリについて（菊地則雄）
- 1月27日 （株）日企、海藻について（菊地則雄）
- 2月19・20・25日・3月6・25日 NHK千葉放送局・毎日新聞ほか、平成21年度マリンサイエンスギャラリー「海の生きものの共生－パートナーシップの多様性－」（奥野淳兒）
- 2月24日 テレビマンユニオン、アオノリについて（菊地則雄）
- 2月25日 Bay FM、平成21年度マリンサイエンスギャラリー「海の生きものの共生－パートナーシップの多様性－」（奥野淳兒）

## 6. 県立博物館ネットワーク

### 6.1 県立博物館情報システム

県立博物館情報システムに登録された 200,490 点（図書・雑誌を除く）のうち、80,426 点が公開された。このほかにも、様々な出版物、インターネットなどを通じて資料を公開した。

### 6.2 千葉県博物館職員研修会

千葉県教育委員会では博物館職員の資質向上を図るため、県内の博物館等の職員を対象に博物館の運営に関する専門的な情報の提供や技術の習得を目的とした研修会を開催している。開催は年 1 回で、当館が実務を担当している。今年度の実施内容は次のとおりである。

- ・日 時 平成 22 年 2 月 7 日（日） 午後 1 時～4 時 30 分
- ・会 場 千葉県立中央博物館講堂
- ・参加者 53 名（うち博物館等職員 42 名、行政職員 3 名、その他 8 名）
- ・テーマ 「千葉県文化財救済ネットワークについて」
- ・講 師 奥村 弘（神戸大学大学院人文学研究科教授）  
矢田 俊文（新潟大学人文学部教授）  
佐藤 大介（東北大学東北アジア研究センター教育研究支援者）  
手代木 美穂（東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター准教授）  
幅 大（国立歴史民俗博物館管理部博物館事業課展示係専門職員）  
コーディネーター：新 和宏（千葉県立中央博物館教育普及課長）

## 7. 入館者状況

### 7.1 月別入館者

#### 1) 本館・生態園

##### (1) 本館（生態園入園者数を含む）

月	開館日数	個人	団体	計
4月	26	15,138	1,001	16,139
5月	27	14,828	2,203	17,031
6月	26	8,000	1,155	9,155
7月	29	9,748	1,487	11,235
8月	31	14,758	364	15,122
9月	26	9,228	534	9,762
10月	27	12,915	1,857	14,772
11月	26	13,380	1,456	14,836
12月	24	5,938	245	6,183
1月	24	8,112	748	8,860
2月	24	9,077	1,176	10,253
3月	26	11,478	618	12,096
合計	316	132,600	12,844	145,444
通算	6,307	2,976,371	537,634	3,514,005

##### (2) 生態園入園者

月	開館日数	計
4月	26	9,936
5月	27	8,414
6月	26	4,634
7月	27	4,949
8月	27	5,177
9月	26	5,505
10月	27	7,030
11月	26	7,490
12月	24	3,527
1月	24	4,496
2月	24	5,081
3月	26	6,120
合計	310	72,359
通算	6,293	2,580,446

#### 2) 大根分館

月	開館日数	個人	団体	計
4月	26	356	0	356
5月	27	714	97	811
6月	29	4957	505	5,462
7月	27	473	215	688
8月	26	567	113	680
9月	26	302	488	790
10月		10	1817	1,827
11月		7	1243	1,250
12月		26	717	743
1月		4	437	441
2月			50	50
3月			25	25
合計		7416	5707	13,123
通算				

#### 3) 大多喜城分館

月	開館日数	個人	団体	計
4月	26	9,471	949	10,420
5月	27	8,551	455	9,006
6月	25	4,227	869	5,096
7月	27	3,970	453	4,423
8月	26	6,632	103	6,735
9月	24	7,254	221	7,475
10月	25	5,715	627	6,342
11月	25	8,616	1,289	9,905
12月	24	4,594	459	5,053
1月	26	5,148	221	5,369
2月	22	3,902	589	4,491
3月	26	6,546	734	7,280
合計	303	74,626	6,969	81,595
通算				272,817

大多喜城分館の通算は分館となった平成18年度以降の総数

#### 4) 分館 海の博物館

月	開館日数	個人	団体	計
4	27	5,157	169	5,326
5	27	9,510	1,423	10,933
6	25	3,490	2,092	5,582
7	27	6,549	1,767	8,316
8	31	15,853	391	16,244
9	25	6,704	183	6,887
10	23	3,704	434	4,138
11	26	6,813	182	6,995
12	22	2,182	70	2,252
1	25	4,107	137	4,244
2	24	3,056	169	3,225
3	26	6,585	293	6,878
合計	308	73,710	7,310	81,020
通算	6,315	2,650,907	506,043	3,156,950

## 7.2 団体入館者状況

### 1) 本館

#### 入館者数の割合

区分	総数	割合(%)
個人	132,600	91.2
団体	12,844	8.8
合計	145,444	100.0

#### 団体数の内訳

区分		団体数	小計	割合(%)
学生生徒等	大学	4	109	2
	高等学校	7		
	中学校	9		
	小学校	58		
	特別支援学校	2		
	各種学校	3		
	子どもルーム	16		
	子ども会等	9		
学齢前	保育園(所)	18	33	16.1
	幼稚園	15		
	幼児サークル等	0		
一般	身障者施設	10	63	30.7
	老人介護施設	1		
	一般団体	52		
合計			205	100.0

#### 学生生徒団体の地域別割合

区分		団体数	割合(%)
県内	千葉市	35	32.1
	葛南	16	14.7
	東上総	10	9.2
	東葛飾	5	4.6
	北総	20	18.3
	南房総	12	11.0
	不明	2	1.8
他県	東京	6	5.5
	兵庫	1	0.9
	山梨	1	0.9
福島	1	0.9	
合計		109	100.0

#### 学齢前団体の地域別割合

区分		団体数	割合(%)
県内	千葉市	27	81.8
	葛南	2	6.1
	東上総	0	0.0
	東葛飾	1	3.0
	北総	0	0.0
	南房総	3	9.10
合計		23	100.0

#### 一般団体の地域別割合

区分		団体数	割合(%)
県内	千葉市	18	28.6
	葛南	10	15.9
	東上総	5	7.9
	東葛飾	0	0.0
	北総	7	11.1
	南房総	8	12.7
	不明	5	7.9
他県	東京	5	7.9
	茨城	3	4.8
	神奈川	2	3.2
合計		63	100.0

2) 大和分館

入館者数の割合

区分	総数	割合(%)
個人	7416	56.5
団体	5707	43.5
合計	13123	100.0

団体数の内訳

区分		団体数	小計	割合(%)
学生生徒等	大学	0	41	68.3
	高等学校	0		
	中学校	0		
	小学校	41		
	特別支援学校	0		
	各種学校	0		
	子どもルーム	0		
	子ども会等	0		
学齢前	保育園(所)	0	0	0
	幼稚園	0		
	幼児サークル等	0		
一般	身障者施設	0	19	31.7
	老人介護施設	0		
	一般団体	19		

学生生徒団体の地域別割合

区分		団体数	割合(%)
県内	千葉市	0	0
	葛南	1	2.4
	東上総	5	12.3
	東葛飾	2	4.9
	北総	29	70.7
	南房総	3	7.3
	不明	0	0
他県	茨城	1	2.4
合計		41	100.0

一般団体の地域別割合

区分		団体数	割合(%)
県内	千葉市	3	15.9
	葛南	0	0
	東上総	0	0
	東葛飾	0	0
	北総	11	57.6
	南房総	1	5.3
他県	東京	1	5.3
	埼玉	2	10.6
	茨城	1	5.3
合計		19	100.0

3) 大多喜城分館

入館者数の割合

区分	総数	割合(%)
個人	74,626	91.0
団体	6,969	9.0
合計	81,595	100.0

一般団体の地域別割合

区分		団体数	割合(%)
県内	千葉市	69	33.0
他県	神奈川	22	10.0
	東京	56	26.0
	茨城	10	5.0
	埼玉	24	11.0
	栃木	12	6.0
	群馬	15	7.0
	その他	5	2.0
合計		213	100.0



4) 分館海の博物館

入館者数の割合

区分	総計	割合(%)
個人	73,710	90.9
団体	7,310	9.1
合計	81,020	100.0

団体数の内訳

区分		団体数	小計	割合(%)
学生生徒等	大学	3	35	25
	高等学校	4		
	中学校	1		
	小学校	22		
	特別支援学校	1		
	各種学校	2		
	子どもルーム	0		
	子ども会等	2		
学齢前	保育園(所)	0	1	1
	幼稚園	1		
	幼児サークル等	0		
一般	身障者施設	0	104	74
	老人介護施設	0		
	一般団体	12		
	合計			

学生生徒団体の地域別割合

区分		団体数	割合(%)
県内	千葉市	2	6.1
	葛南	1	3.0
	東上総	14	42.4
	東葛飾	0	0
	北総	1	3.0
	南房総	2	6.1
他県	東京	13	39.4
合計		33	100.0

学齢前団体の地域別割合

区分		団体数	割合(%)
県内	南房総	1	100.0
合計		1	100.0

一般団体の地域別割合

区分		団体数	割合(%)
県内	千葉市	9	8.7
	葛南	7	6.7
	東上総	23	22.2
	東葛飾	3	2.9
	北総	2	1.9
	南房総	11	10.6
	他県	東京	31
	埼玉	12	11.5
	茨城	1	0.9
	神奈川	3	2.9
	静岡	1	0.9
	長野	1	0.9
合計		104	100.0

### 7.3 展覧会別入館者状況

#### 1) 本館・生態園

( )は平成20年度の入場者も含めた数

種別	展覧会名	開催時期	開催日数	入場者数
企画展*1	生物多様性1：生命のにぎわいとつながり「虫、魚、鳥、草、木、人―その素晴らしさを親から子へ、そして孫へ―」	7/4～8/31	57	26,439
春の展示*2	クモ・蜘蛛・くも―8本足の糸つむぎ職人―	3/7(前年度)～5/31	21 (74)	4,253 (16,880)
秋の展示*3	生物多様性2：人と自然のかかわり「縄文の躍動―海と生きた人々の文化―」	9/26～11/23	52	9,526
春の展示*4	雲南の地衣類	3/13～5/9(次年度)	16 (3/31現在)	2,670 (3/31現在)
トピックス展*5	ちいさな小さなアンモナイト展―銚子産化石の新着資料から―	3/24(前年度)～5/10	7 (42)	1,559 (10,233)
トピックス展*6	天然記念物・希少野生動植物種 ミヤコタナゴ	6/2～6/28	25	3,654
トピックス展*7	干支にちなむ貝―寅年―	1/5～1/31	24	3,127
トピックス展*8	篠崎四郎の房総金石文研究―金属や石に刻まれた文字の世界―	2/2～3/14	36	5,337
トピックス展*9	房総における縄文の美	3/5～3/14	9	1,306
トピックス展*10	授業に役立つ県立博物館プロジェクト	3/24～4/18(次年度)	16 (3/31現在)	2,597 (3/31現在)
トピックス展*11	相模湾の海底をさぐる―JAMSTEC K0-OHO-0航海報告―	3/24～5/16(次年度)	7 (3/31現在)	1,122 (3/31現在)
生態園トピックス展*12	生態園20年	2/24(前年度)～5/10	31 (66)	6,859 (20,933)
生態園トピックス展*12	舟田池のカイツブリ―小さながんばりやさん	6/9～8/30	79	13,582
生態園トピックス展*12	アメリカザリガニ	10/6～11/8	31	9,198
生態園トピックス展*12	生態園の植物・四季の見どころ	3/16～5/16(次年度)	40 (3/31現在)	16,248 (3/31現在)
速報展*13	ウナギの進化的起源は深海に！	1/16～2/28	38	5,749
出土遺物巡回展*14	房総発掘ものがたり―地下50cm, 文字の世界―	1/9～2/21	38	5,575

\*1-個人・団体入館者、生態園入場者、連携事業等参加者

\*2～11・13・14-個人・団体入館者

\*12-生態園入場者

## 2) 房総の山のフォールドミュージアム

種 別	入場者
三島小教室博物館	995
蔵玉小教室博物館	139
合 計	1,034

## 3) 大利根分館

種 別	展 覧 会 名	開催期間	開催日数	入場者
企画展	関東灘礼賛ー利根川下流域の酒文化ー	5/30～6/28	32	5,621
収蔵品展	水辺の野鳥たち	4/4～5/10	32	673
収蔵品展	むかしの道具	7/11～9/30	70	1,914

## 4) 大多喜城分館

種 別	展 覧 会 名	開催期間	開催日数	合計
企画展	「日本メキシコ交流の歴史ーロドリゴ漂着から400年ー」	9/17～10/25	34	11,027
収蔵資料展	「刀一拵（こしらえ）と刀装具ー」	10/29～1/31	78	21,004

## 5) 分館海の博物館

( )は平成20年度の入場者も含めた数

種 別	展 覧 会 名	開催期間	開催日数	入場者
マリンサイエンスギャラリー	東洋のガラパゴスー小笠原諸島の海の生きものー	2/21(前年度)～5/10	50 (70)	18,206 (22,699)
マリンサイエンスギャラリー	海の生きものの共生ーパートナーシップの多様性ー	2/20～5/9(次年度)	33 (3/31現在)	8,125 (3/31現在)
大収蔵資料展	大きなモノから小さなモノまで～	7/18～9/27	67	28,948

## 8. 組織

### 8.1 千葉県博物館協議会委員

学校教育	小関智子
学校教育	吉野 博
社会教育	小川澄子
社会教育	水島陽子
学識経験者	明石要一
学識経験者	秋田敏彰
学識経験者	大澤雅彦
学識経験者	小野勝弘
学識経験者	川津幸枝
学識経験者	河原純之
学識経験者	栗原裕治
学識経験者	西村和子
学識経験者	竹内順一
学識経験者	田嶋隆威
学識経験者	松浦啓一

### 8.2 職員（平成 22 年 3 月 31 日現在）

館 長	佐久間 豊（国史学）
副 館 長	齋木 勝（仏教考古学）
副 館 長	中村俊彦（環境生活部自然保護課併任）

#### 庶務部

庶務部長(兼)庶務課長 小野高栄一

#### 庶 務 課

主 査	橋本香緒里
主 査	高宮京子
主任主事	長谷久夫
主 事	小泉亜希

#### 教育普及課

課 長	新 和宏（古生物学）
上席研究員	地引尚幸（日本民俗学）
上席研究員	宮 正樹（分子系統学）
上席研究員	矢本節朗（考古学）（9月まで大根分館勤務）
上席研究員	萩野康則（土壤動物学）
上席研究員	安齋信人（日本近世史）
上席研究員	浅井秀彦（古生物学）
上席研究員	伊左治鎮司（古生物学）
副 主 幹	松田 正
嘱託職員	5名（体験交流員）

#### 自然誌・歴史研究部

自然誌・歴史研究部長(兼)動物学研究科長	宮野伸也（社会性昆虫学）
主席研究員	筑紫敏夫（日本近世史）

#### 地学研究科

主席研究員(兼)科長	岡崎浩子（堆積学）
上席研究員	高橋直樹（地質学・岩石学）

上席研究員 加藤久佳（古生物学）

#### 動物学研究科

上席研究員 朝倉 彰（海洋生物生態学）  
上席研究員 直海俊一郎（昆虫分類学）  
上席研究員 黒住耐二（貝類学）  
上席研究員 柳 研介（動物分類学）（環境生活部自然保護課併任）

#### 植物学研究科

科 長 古木達郎（蘚苔類分類学）  
上席研究員 吹春俊光（菌類学）  
上席研究員 原田 浩（地衣類分類学）  
上席研究員 天野 誠（植物細胞分類学）  
上席研究員 齋木健一（古植物学）（環境生活部自然保護課併任）  
上席研究員 堀江義一（菌類分類学）

#### 歴史学研究科

主席研究員(兼)科長 田村 隆  
上席研究員 米谷 博（日本近世史）  
上席研究員 清藤一順（日本考古学）  
研 究 員 田邊由美子（動物考古学）

#### 資料管理研究科

科 長 齊藤明子（昆虫分類学）  
上席研究員 御巫由紀（植物分類学）  
上席研究員 友田暁子（図書資料論）  
上席研究員 駒井智幸（甲殻類分類学）

#### 生態・環境研究部

生態・環境研究部長(兼)環境科学研究科長 原 正利（森林生態学）

#### 生態学研究科

主席研究員(兼)科長 大庭照代（生物音響学）  
上席研究員 林 紀男（微生物生態学）  
上席研究員 奥田昌明（古環境学）  
上席研究員 浅田正彦（哺乳類学）（環境生活部自然保護課併任）  
上席研究員 大木淳一（地質学）（房総の山のフィールドミュージアムチーフ）  
上席研究員 島立理子（民俗学・近代日本史）（房総の山のフィールドミュージアム）  
上席研究員 小田島高之（地質学・リモートセンシング）（環境生活部自然保護課併任）  
上席研究員 尾崎煙雄（森林生態学）（房総の山のフィールドミュージアム）  
研 究 員 江口誠一（古環境学・植生史学）（房総の山のフィールドミュージアム）

#### 環境科学研究科

上席研究員 落合啓二（哺乳類生態学）  
上席研究員 大野啓一（群落生態学）  
上席研究員 由良 浩（植物実験生態学）  
上席研究員 林 浩二（植物生態学・環境教育）  
上席研究員 山口 剛（昆虫生態学）

環境教育研究科

主席研究員(兼)科長 白井 豊 (歴史地理学)  
上席研究員 桑原和之 (鳥類学)  
上席研究員 倉西良一 (水生昆虫学)

(大利根分館)

上席研究員 西川博孝 (考古学)

(大多喜城分館)

上席研究員 小林清隆 (日本考古学)  
上席研究員 高橋 覚 (日本近世史)  
上席研究員 三森俊彦 (日本考古学)  
主任用務員 酒井孝子

(分館海の博物館)

分館長 宮田昌彦 (藻類分類学)  
主 査 檜葉一夫  
副主査 沖村 仁  
上席研究員 中村裕明 (海洋生態学)  
上席研究員 立川浩之 (海洋生物学)  
上席研究員 川瀬裕司 (魚類生態学)  
上席研究員 奥野淳兒 (動物分類学 (十脚甲殻類))  
上席研究員 菊地則雄 (藻類学)  
研究員 村田明久 (蔓脚類行動学、生態学)  
研究員 大久保 守 (近代日本洋画史)  
嘱託職員 2名 (体験学習指導員)

## 9. 予算

### 9.1 平成21年度歳入決算額

(千円)

	本館	大利根分館	大多喜城分館	海の博物館	計
入場料収入	6,555	478	7,959	7,374	22,366
駐車場収入				11,542	11,542
その他収入	725	33	69	6	833
計	7,280	511	8,028	18,922	34,741

### 10.2 平成21年度歳出決算額

#### 1) 本館

(千円)

	決算額	構成比(%)	備考
展示事業費	6,469	3.5	
普及事業費	35,273	19.1	(内訳) 展示解説員等 12,637 博物館情報システム 21,027 要覧等印刷費 462 その他 1,147
調査研究費	8,542	4.6	(内訳) 調査研究費 1,981 重点研究事業 3,056 シンポジウム 85 研究報告書印刷発行 400 房総の山のフィールドM 3,012 その他 50
資料収集保存費	1,828	1.0	
維持管理費	131,892	71.3	
施設整備費	1,029	0.6	
計	185,075	100.0	

#### 2) 分館

(千円)

大利根分館	21,329	—	
大多喜城分館	26,829	—	
海の博物館	84,504	—	

### 10.3 外部資金 (合計：37,648,955円)

#### 1) 本館

(円)

事業	種類	
調査研究	文部科学省科学研究費補助金 代表者 (5件)	11,600,000
調査研究	文部科学省科学研究費補助金 分担者 (7件)	6,430,000
展示	文化庁「地域文化芸術振興プラン」	10,032,000
展示	財団法人日本海事科学振興財団「海と船の企画展」海と船の博物館	1,700,000
教育普及	科学技術振興機構「JST 地域の科学者推進事業地域活動支援」	480,850
教育普及	文化庁「ふるさと文化再興事業」	2,458,105
	小計	32,700,955

#### 2) 大多喜城分館

展示	文化庁「地域文化芸術振興プラン」	4,948,000
----	------------------	-----------

## 10. 千葉県立中央博物館友の会

### 10.1 会員数（平成22年3月31日現在）

・509名（一般392、家族111、賛助6）

### 10.2 平成21年度役員

会 長： 1名  
副 会 長： 2名  
事 務 局 長： 1名  
会 計 監 査： 1名、小野高栄一（中央博物館庶務部長）  
顧 問： 2名、佐久間 豊（中央博物館館長）  
事業部会部長： 1名  
事業部幹事： 15名  
編集部会部長： 1名  
編集部幹事： 2名  
庶務部会会計： 1名  
事 務 局： 1名  
ショップ担当： 4名

### 10.3 事業実施状況

#### 10.3.1 定期総会および講演会

4月26日（日）「房総と陸奥-坂上田村麻呂の時代を中心にして-」  
（講師：佐久間 豊 千葉県立中央博物館館長）参加者80名

#### 10.3.2 青葉の森観察会

4月25日（土） 春の青葉の森 参加者3名  
10月10日（土） 秋の青葉の森 参加者8名

#### 10.3.3 自然観察会

5月22日（日）・23日（土） スミレの女王「サクラスミレに出会う旅 山梨県野辺山・清里 参加者33名  
9月6日（日）～7日（月） 奥鬼怒自然歩道と土呂部のススキ草地 参加者33名  
10月3日（土） キノコの観察-泉自然公園 参加者24名  
3月11日（土） 東大演習林 参加者26名

#### 10.3.4 生きもの教室

5月23日（土） 青葉の森の虫さがし 参加者18名  
6月9日（火） 身近な哺乳類 参加者15名  
6月20日（土） 青葉の森の虫さがし 参加者19名  
7月18日（土） 青葉の森の虫さがし 参加者18名  
9月29日（火） 房総半島のヒメボタル 参加者15名  
11月17日（火） 研究発表会 参加者15名

#### 10.3.5 地学関係

5月23日（土） 金谷化石と地層の観察会 参加者30名  
9月17日（木）～18日（金） 全国地質地形の旅 栃木県那須火山周辺 参加者17名  
10月4日（日）～5日（月） 滝めぐり 火山地域の滝-長野県東部 参加者8名  
3月28日（日） 滝めぐり 清澄山周辺 参加者21名



### 10.3.6 歴史散歩

- 5月31日(日) 勝浦・鴨川に日蓮ゆかりの史跡を訪ねて一小湊方面 参加者20名  
11月22日(日) 袖ヶ浦方面 参加者20名  
2月21日(日) 埼玉県三郷方面 参加者20名

### 10.3.7 北総の自然と文化

- 6月6日(土) 北総台地の生い立ちと本佐倉城 参加者14名  
11月8日(土) 加曾利貝塚に学ぶ 参加者13名

### 10.3.8 その他 博物館との連携

- 4月26日(土) 鳥のさえずり1 夜明けのコーラス 参加者22名  
鳥のさえずり2 早朝のさえずり 参加者24名  
鳥のさえずり3 とりの声をキャッチしよう 参加者8名  
5月5日(火・祝) 縄文手形・足形色紙づくり 参加者11名  
5月9日(土) 潮だまりの海藻 参加者5名  
7月25日(土) 夏休み自由研究相談会(第1回) 参加者21名  
8月5日(水) 1000万年前のミニ化石を探そう 参加者140名  
8月8日(土) 海岸で石ころをひろおう 参加者29名  
8月8日(土) 化石の模型をつくろう 第1回(製作編) 参加者40名  
8月9日(日) 海藻の押し葉づくり 参加者12名  
8月14日(金) 化石の模型をつくろう 第2回(着色編) 参加者37名  
8月22日(土) 夜に鳴く虫 参加者22名  
8月22日(土)・23日(日) 夏休み自由研究相談会(第2回) 参加者10名・3名  
9月5日(土) 地びき網でとれる浜辺の生きもの 参加者79名  
9月26日(土)～27日(日) 福島県いわき・棚倉地方の化石採集 参加者31名  
9月27日(日) 土偶・土版・土鈴づくり 参加者20名  
10月4日(日) 貝輪づくり 参加者25名  
10月11日(日) 勾玉づくり 参加者20名  
10月31日(土)～11月1日(日) 白河火砕流と白河石・芦野石 参加者25名  
11月3日(火・祝) 縄文ペンダントづくり 参加者21名  
11月14日(土) 鹿角ペンダントづくり 参加者24名  
12月5日(土) 南房総の地震と地質 参加者19名  
12月6日(日) 鳥のさえずり4 夜明けのおしゃべり 参加者10名  
鳥のさえずり5 鳥たちのつぶやき 参加者10名

## 10.4 刊行物

『友の会ニュース』第66号(創立20周年記念号)、67号、68号の刊行

## 10.5 サークル活動

### 10.5.1 歴史サークル

- 5月10日(日) 鎌倉の寺と花を訪ねる 参加者21名  
11月1日(日) 武蔵の史跡と自然を訪ねる 参加者33名  
11月15日(日) 中世古文書学習会1 参加者11名  
12月19日(日) 中世古文書学習会2 参加者7名  
2月28日(日) 中世古文書学習会3 参加者4名  
3月14日(日) 江戸大名屋敷庭園を訪ねる その3 参加者33名  
3月21日(日) 中世古文書学習会4 参加者8名

### 10.5.2 コケサークル

- 4月25日(土) 第15回(本年度第1回)年間計画・研修会 参加者6名

5月28日(木)	第16回	地衣類観察会	佐倉城址公園	参加者6名
8月26日(水)	第17回	地衣類観察会	ハナゴケの仲間を見よう(富士山)	参加者12名
10月18日(日)	第18回	地衣類観察会	昭和の森(千葉市)	参加者18名
11月8日(日)	第19回	蘚苔類観察会	養老溪谷(市原市など)	参加者6名
11月29日(日)	第20回	地衣類観察会	青葉の森	参加者12名
12月10日(水)	第21回	地衣類観察会	長福寺(勝浦市)	参加者7名
1月18日(月)	第22回	蘚苔類観察会	生態園	参加者13名
2月17日(水)	第23回	蘚苔類観察会	泉自然公園(千葉市)	参加者3名
3月17日(水)	第24回	地衣類観察会	来年度計画 青葉の森	参加者10名

## 10.6 その他

### 10.6.1 生態園の解説指導業務の受託運営

### 10.6.2 ミュージアムショップの運営

## 千葉県立中央博物館

URL <http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL>

### 本館

〒260-8682 千葉市中央区青葉町 955-2  
TEL 043-265-3111 (代) FAX 043-266-2481

### 大利根分館

〒287-0816 香取市佐原ハ 4500  
TEL 0478-56-0101 FAX 0478-56-1456

### 大多喜城分館

〒290-0216 夷隅郡大多喜町大多喜 481  
TEL 0470-82-3007 FAX 0470-82-4959

### 分館海の博物館

〒299-5242 勝浦市吉尾 123  
TEL 0470-76-1133 FAX 0470-76-1821

### 年報 22

平成 21 年度 (2009.4.1-2010.3.31)

平成 24 年 3 月発行

平成 24 年 8 月修正

編集・発行 千葉県立中央博物館

〒260-8682 千葉市中央区青葉町 955-2

電話 043-265-3111 (代) Fax 043-266-2481

URL <http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL>